調423－（3）－1

第４２３回
地震調査委員会資料

令和８年１月 14 日

気　象　庁

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成９年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成９年10月１日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和８年１月12日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、７政令指定都市。

注** 令和８年１月 12 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『**数値地図 25000（行政界・海岸線）**』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT(Generic Mapping Tool[Wessel,P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx,yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx,yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、Ｐ波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。なお、CMT 解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

Ｐ：Ｐ軸（圧力軸）　　Ｔ：Ｔ軸（張力軸）　　Ｎ：Ｎ軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・Ｍ－Ｔ図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（Ｔ）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」１月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年４月１日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020 年９月以降に発生した地震を含む図については、2020 年８月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

気象庁作成

別紙１

令和７年12月の主な地震活動[注１）]

番号	月　日	時　分	震央地名	深さ(km)	M	Mw	最大震度	備考／コメント
1	12月2日	19時03分	釧路沖[注２）]	45	5.2	5.0	4	太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
2	12月8日	23時15分	青森県東方沖	54	7.5	7.4	6強	**津波警報発表**（12月８日23時15分の地震に対して発表） **津波注意報発表**（12月12日11時44分の地震に対して発表） **津波観測**：久慈港[注３）]64cm[注４）]、浦河[注３）]50cm[注４）]など、北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測（12月８日23時15分の地震により観測） えりも町庶野0.2m[注４）注５）]、八戸港[注３）]14cm[注４）]など津波を観測（12月12日11時44分の地震により観測） **緊急地震速報（警報）発表**（12月８日23時15分及び12月12日11時44分の地震に対して発表） **長周期地震動階級３を観測**（12月８日23時15分の地震により観測） 長周期地震動階級２を観測（12月12日11時44分の地震により観測） 長周期地震動階級１を観測（12月９日06時52分の地震により観測） **北海道・三陸沖後発地震注意情報発表**（12月８日23時15分の地震に対して発表） 12月８日以降、31日までに震度１以上を観測する地震が50回（震度６強：１回、震度４：４回、震度３：６回、震度２：14回、震度１：25回）発生し、このうち最大規模の地震は、12月８日23時15分に発生したM7.5の地震（最大震度６強） 太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震 被害：負傷者46人、住家全壊１棟、一部破損47棟（12月16日15時00分現在、総務省消防庁による）
	12月8日	23時33分	青森県東方沖	42	5.9	－	3	
	12月9日	03時56分	青森県東方沖	19	6.1	6.0	3	
	12月9日	06時52分	青森県東方沖	15	6.6	6.5	4	
	12月9日	18時09分	青森県東方沖	47	5.3	5.2	3	
	12月10日	23時52分	青森県東方沖	36	6.0	5.8	4	
	12月12日	11時44分	青森県東方沖	17	6.9	6.8	4	
	12月12日	12時21分	青森県東方沖	17	5.7	5.5	3	
	12月16日	14時38分	青森県東方沖	15	5.3	5.1	3	
	12月21日	10時29分	青森県東方沖	51	5.6	5.4	4	
	12月26日	01時17分	青森県東方沖	42	5.8	5.7	3	
3	12月12日	19時05分	茨城県南部	52	4.9	4.8	4	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
4	12月14日	23時26分	石川県西方沖[注６）]	8	4.9	4.8	4	「令和６年能登半島地震」の地震活動 2025年12月中に震度１以上を観測する地震が13回（震度４：１回、震度３：１回、震度２：３回、震度１：８回）発生した 12月中の最大規模の地震は、12月14日23時26分に石川県西方沖で発生したM4.9の地震（最大震度４） 地殻内で発生した地震
5	12月20日	21時30分	根室半島南東沖	15	5.4	5.4	3	
6	12月28日	00時05分	台湾付近	86	7.0	6.6	3	フィリピン海プレート内部で発生した地震
7	12月30日	17時12分	奄美大島近海	19	5.7	5.6	4	陸のプレート内で発生した地震
8	12月31日	23時26分	岩手県沖	32	6.1	6.0	4	太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
9			トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動				3	2025年６月21日からのトカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） 12月中に震度１以上を観測した地震が10回（震度３：１回、震度１：９回）発生した 12月中の最大規模の地震は、12月29日07時51分に発生したM3.4の地震（最大震度３） 陸のプレート内で発生した地震
10			トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）の地震活動				3	トカラ列島近海の地震活動（諏訪瀬島付近） 12月中に震度１以上を観測した地震が10回（震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回）発生した 12月中の最大規模の地震は、12月21日22時03分に発生したM3.5の地震（最大震度３） 陸のプレート内で発生した地震

気象庁作成

11			熊本県阿蘇地方の地震活動				3	熊本県阿蘇地方の地震活動 12月中に震度１以上を観測した地震が14回（震度３：２回、震度２：５回、震度１：７回）発生した 12月中の最大規模の地震は、12月29日07時35分に発生したM3.9の地震（最大震度３） 地殻内で発生した地震

注１）「主な地震活動」とは、①震度４以上の地震、②M6.0以上の地震、③陸域でM4.5以上かつ震度３以上の地震、④海域でM5.0以上かつ震度３以上の地震、⑤前に取り上げた地震活動で活動が継続しているもの、⑥その他、注目すべき活動。なお、掲載した震源要素については、後日修正されることがある。

注２）情報発表に用いた震央地名は「根室半島南東沖」である。

注３）国土交通省港湾局の観測施設である。

注４）観測値は後日の精査により変更される場合がある。

注５）巨大津波計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。

注６）情報発表に用いた震央地名は「能登半島沖」である。

期間外の活動[注７）注８）]

番号	月　日	時　分	震央地名	深さ(km)	M	Mw	最大震度	備考／コメント
1	1月6日	10時18分	島根県東部	11	6.4	5.8	5強	**緊急地震速報（警報）を発表**（１月６日10時18分の地震に対して発表） **緊急地震速報（警報）を発表**（１月６日10時28分の地震に対して発表） **緊急地震速報（警報）を発表**（１月６日10時37分の地震に対して発表） **長周期地震動階級４を観測**（１月６日10時18分の地震により観測） 長周期地震動階級１を観測（１月６日10時28分及び10時37分の地震により観測） 島根県東部の地震活動 １月６日以降、１月12日までに震度１以上を観測する地震が51回（震度５強：１回、震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：６回、震度２：14回、震度１：28回）発生し[注９）]、このうち最大規模の地震は、１月６日10時18分に発生したM6.4の地震（最大震度５強） 地殻内で発生した地震
	1月6日	10時28分	島根県東部	12	5.1	－	5弱	
	1月6日	10時37分	島根県東部	14	5.5	5.0	4	

注７）令和８年１月中に発生した地震のうち、最大震度５弱以上の地震、緊急地震速報（警報）、または津波警報・津波注警報を

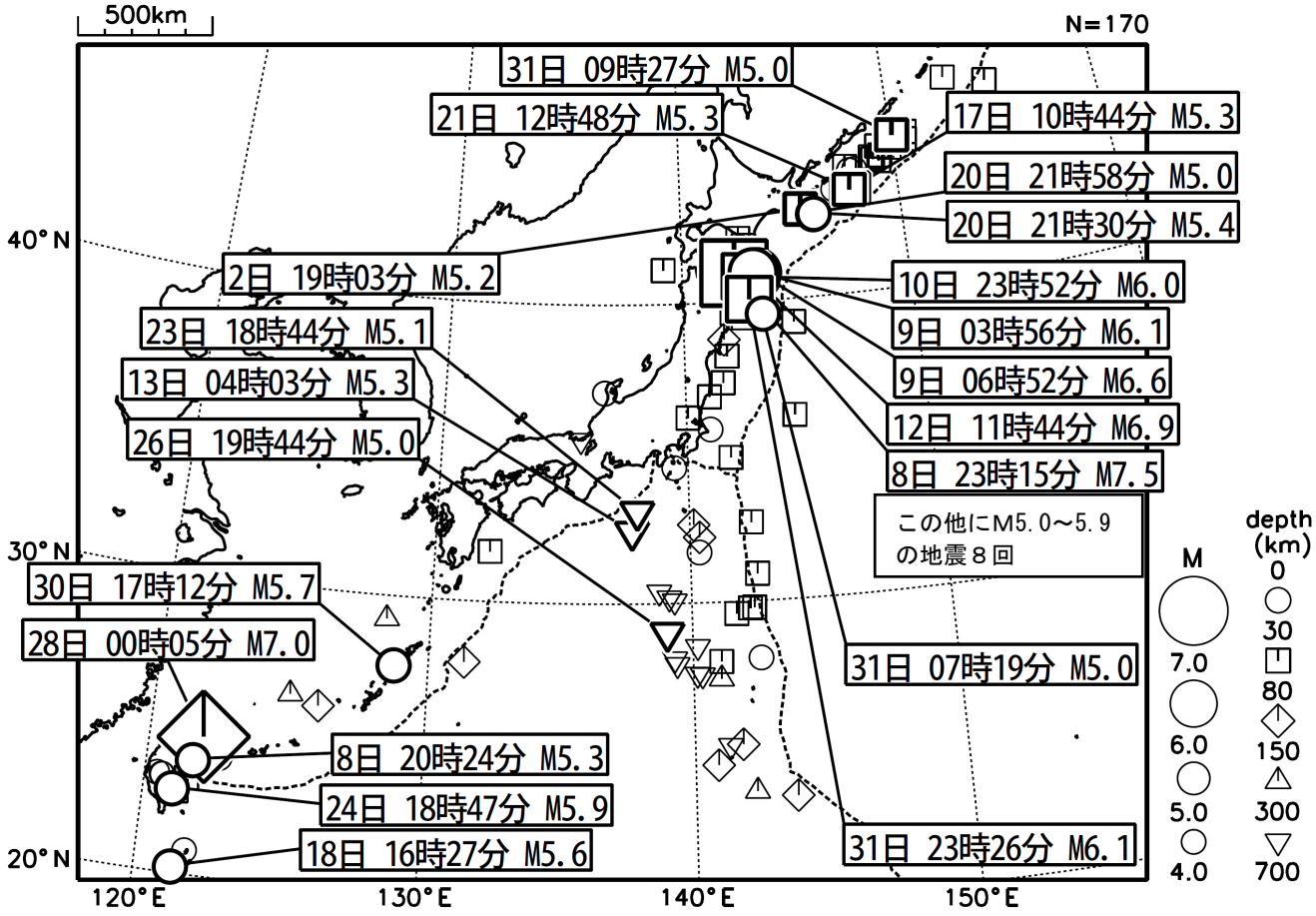
注８）掲載している値は速報値であり、その後の調査で変更する場合がある。

注９）震度１以上を観測した地震の回数は後日の調査で変更する場合がある。

気象庁作成

2025 年 12 月の全国の地震活動
（マグニチュード 4.0 以上）

2025 12 01 00:00 -- 2025 12 31 24:00



・12 月 8 日 23 時 15 分に青森県東方沖で M7.5 の地震（最大震度６強）が発生した。
・12 月 9 日 03 時 56 分に青森県東方沖で M6.1 の地震（最大震度３）が発生した。
・12 月 9 日 06 時 52 分に青森県東方沖で M6.6 の地震（最大震度４）が発生した。
・12 月 10 日 23 時 52 分に青森県東方沖で M6.0 の地震（最大震度４）が発生した。
・12 月 12 日 11 時 44 分に青森県東方沖で M6.9 の地震（最大震度４）が発生した。
・12 月 28 日 00 時 05 分に台湾付近で M7.0 の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度３）が発生した。
・12 月 31 日 23 時 26 分に岩手県沖で M6.1 の地震（最大震度４）が発生した。

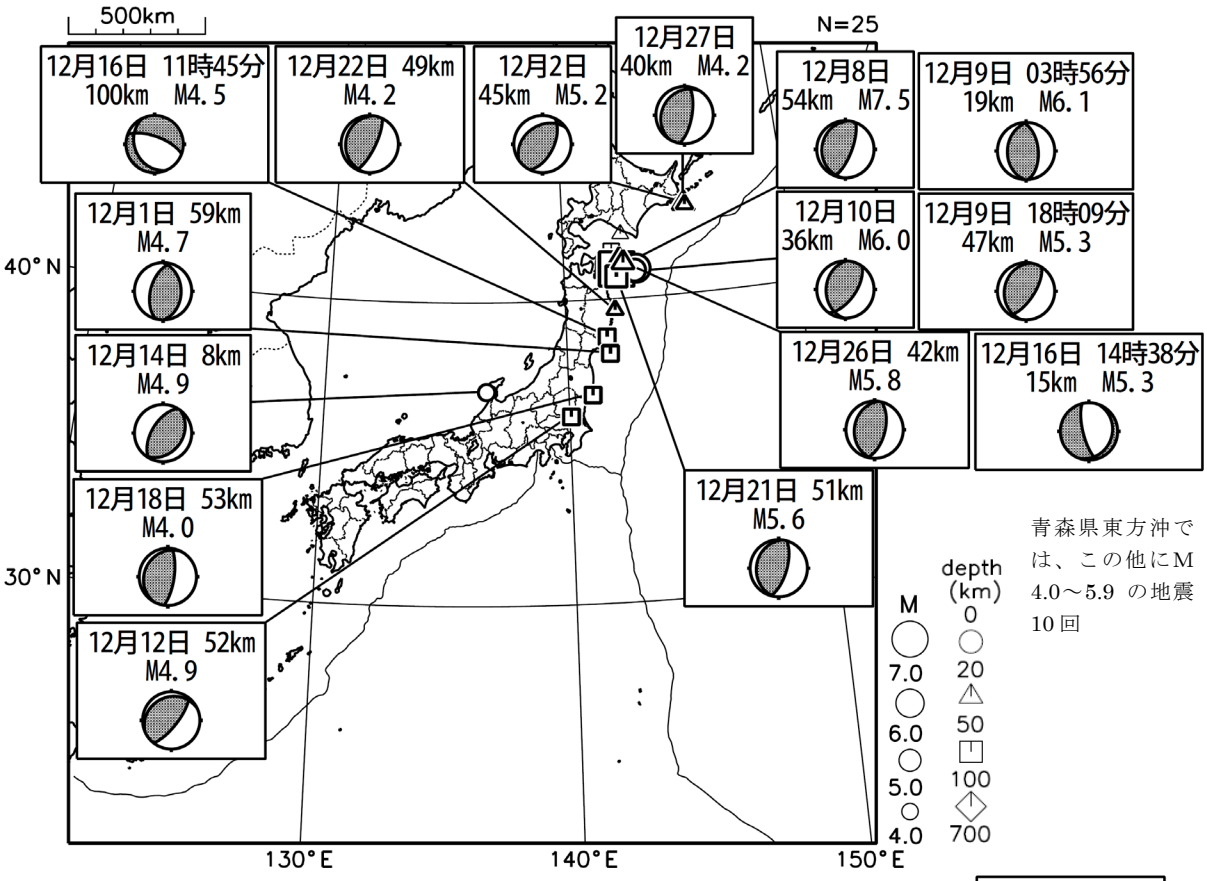
（上記期間外）
・１月６日 10 時 18 分に島根県東部で M6.4 の地震（最大震度５強）が発生した。
・１月６日 10 時 28 分に島根県東部で M5.1 の地震（最大震度５弱）が発生した。

［図中に日時分、マグニチュードを付した地震は M5.0 以上の地震、または M4.0 以上で最大震度５弱以上を観測した地震である。ただし、青森県東方沖の一連の地震活動については、M6.0 以上の地震のみ表記している。また、上に表記した地震は M6.0 以上、または M4.0 以上で最大震度５弱以上を観測した地震である。］

気象庁・文部科学省（気象庁作成資料には、防災科学技術研究所や大学等関係機関のデータも使われています）

主な地震の発震機構（2025 年 12 月）

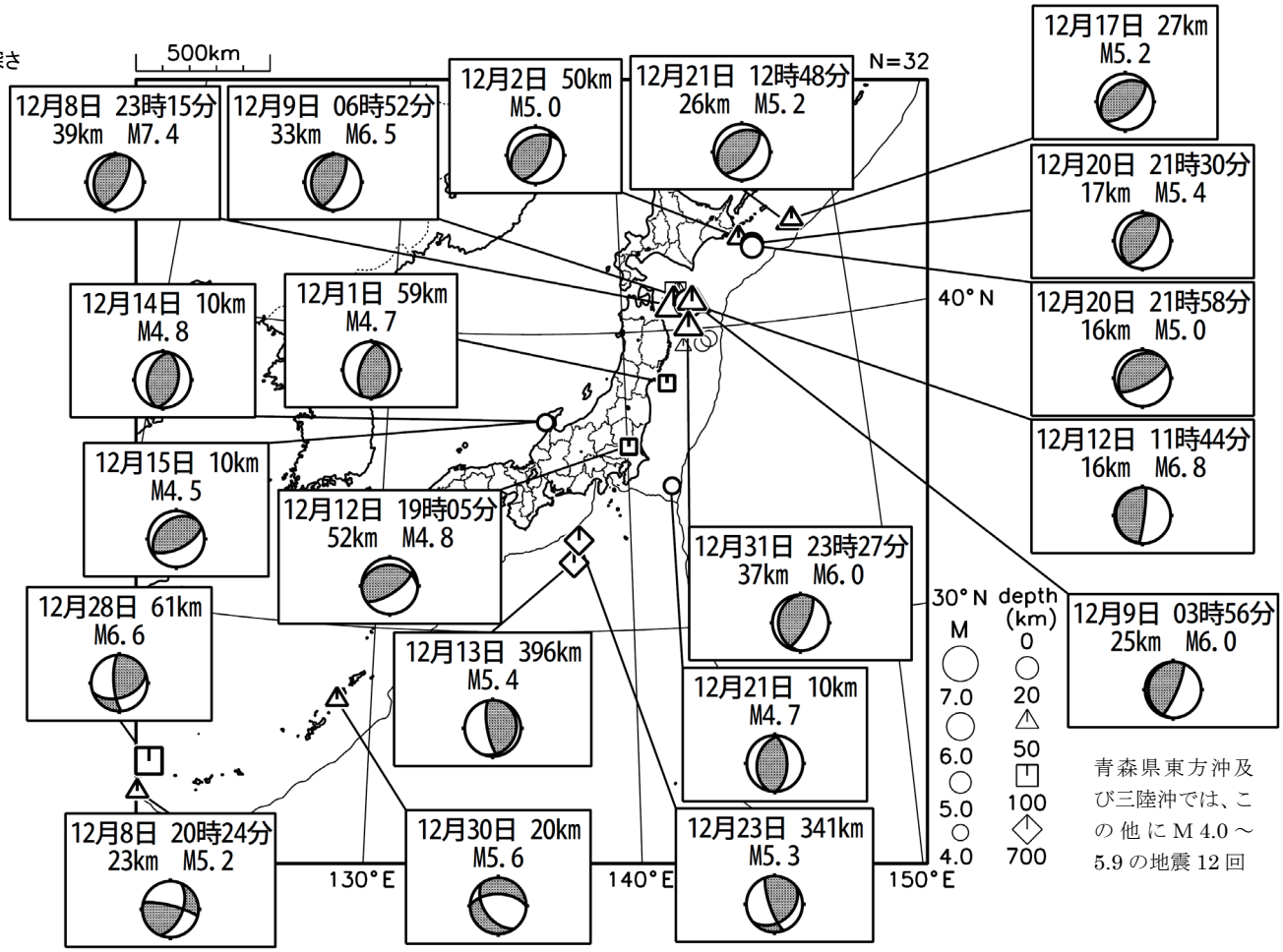
Ｐ波初動解



青森県東方沖では、この他にM 4.0～5.9 の地震 10 回

ＣＭＴ解

Ｍは Mw の値、深さはセントロイド

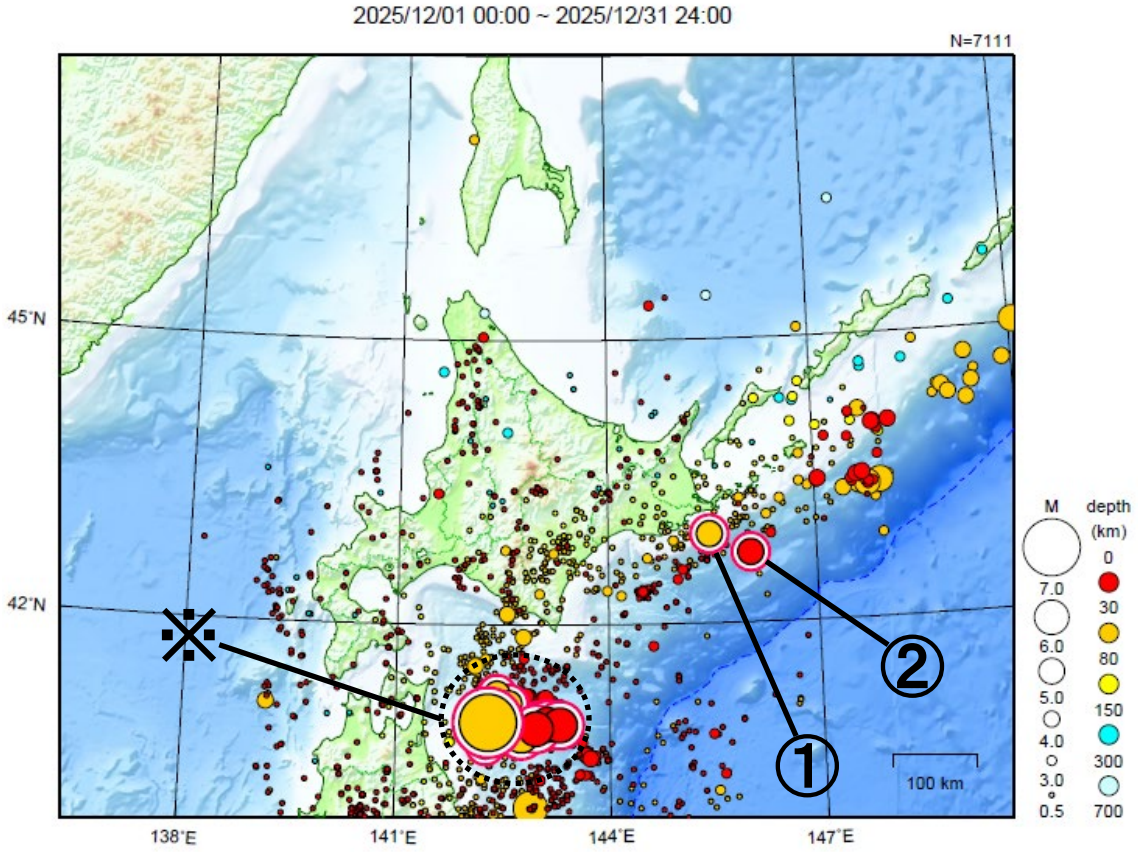


青森県東方沖及び三陸沖では、この他にＭ 4.0～5.9 の地震 12 回

次ページ以降、資料中に発震機構が示されている場合は、特段の断りがない限り「Ｐ波初動解」を示す。

気象庁作成

北海道地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 12 月 2 日に釧路沖で M5.2 の地震（最大震度４）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔根室半島南東沖〕である。

② 12 月 20 日に根室半島南東沖で M5.4 の地震（最大震度３）が発生した。

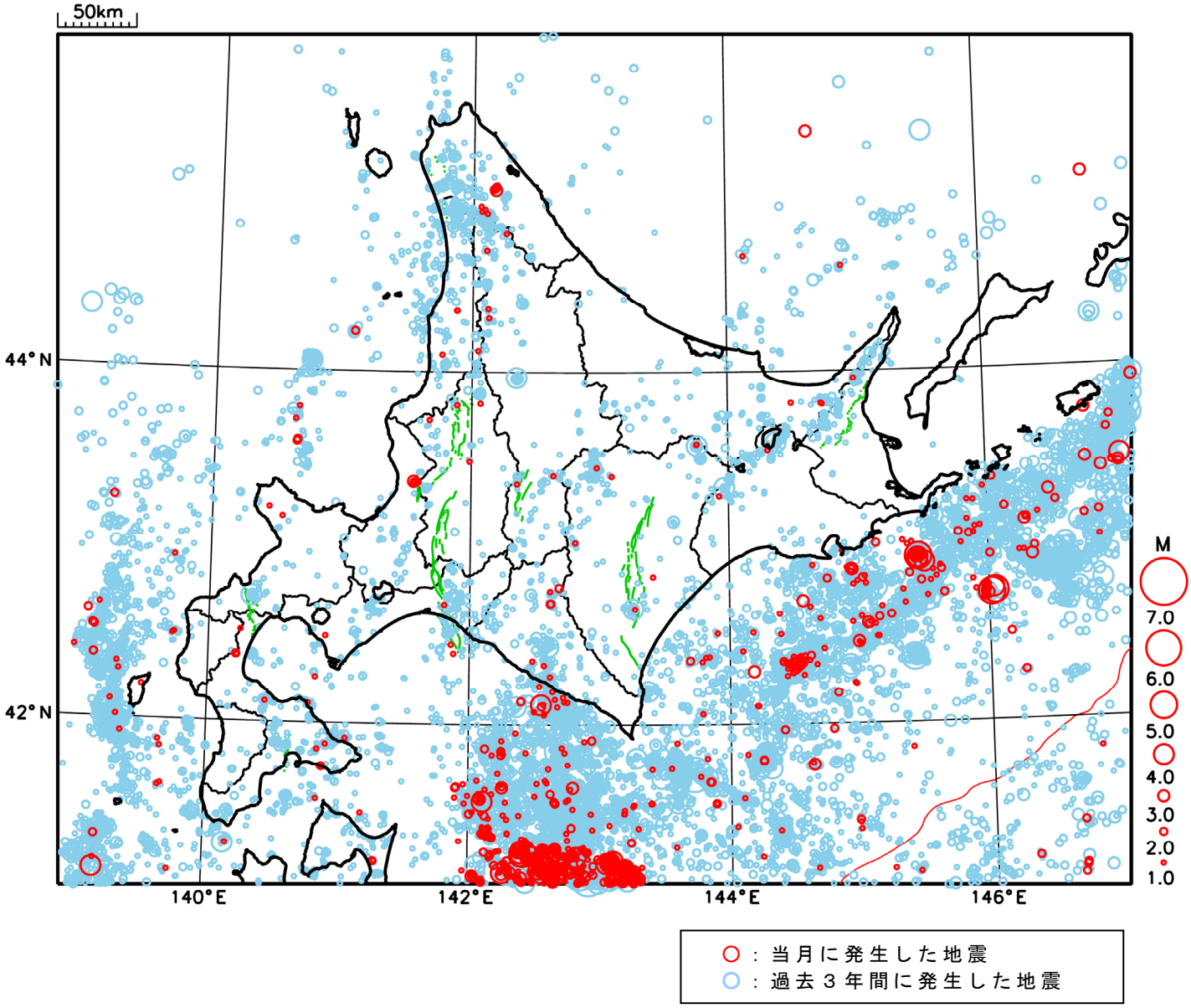
※で示した地震については東北地方の資料を参照。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

北海道地方における 2025 年 12 月の地震活動

（M≧1.0、陸域 深さ 30km 以浅、海域 深さ 60km 以浅）

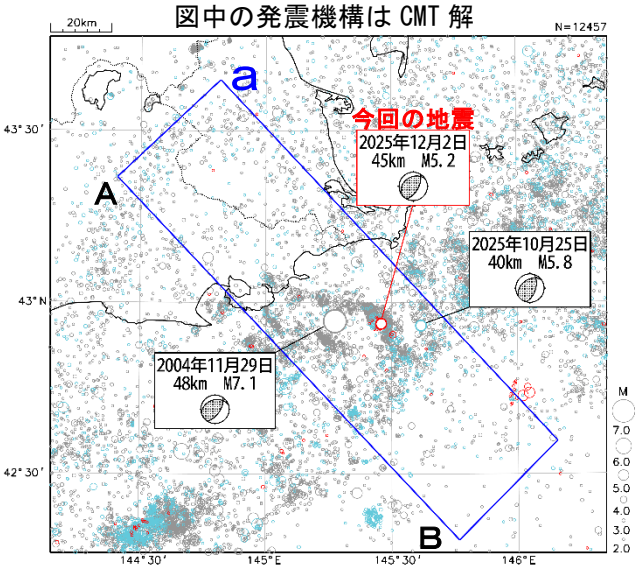


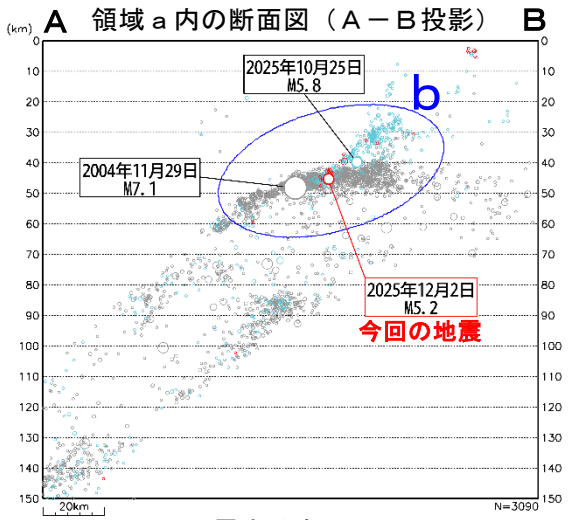
気象庁作成

12 月 2 日　釧路沖の地震

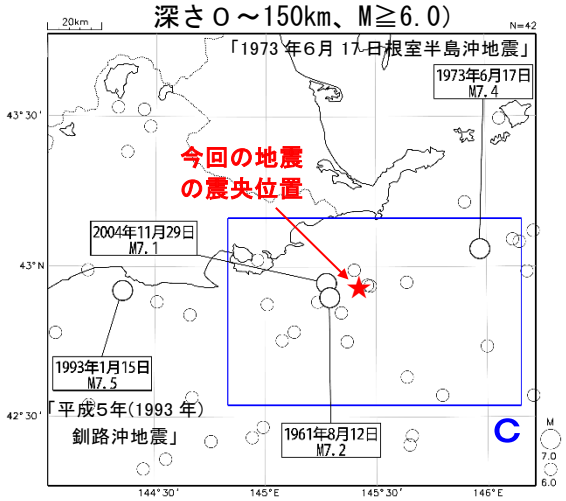
情報発表に用いた震央地名は〔根室半島南東沖〕である。

震央分布図
（2001 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、M≧2.0）
2020 年 9 月以降に発生した地震を水色、
2025 年 12 月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解





震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、M≧6.0）

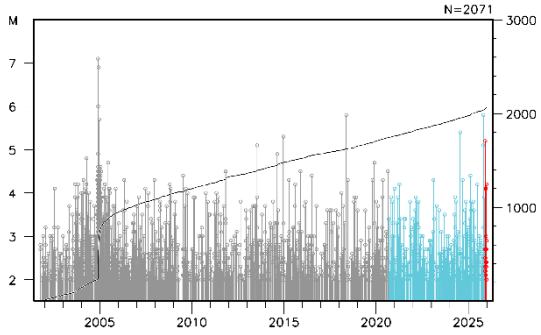


2025年12月 2 日19時03分に釧路沖の深さ45kmでM5.2の地震（最大震度４）が発生した。発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この周辺では、2025年10月25日にM5.8の地震（最大震度５弱）が発生した。

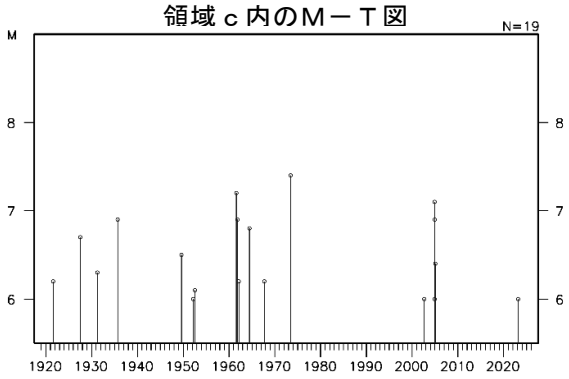
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2004年11月29日に発生したM7.1（最大震度５強）の地震では、負傷者52人、住家被害５棟などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ12cmの津波を観測するなど、北海道太平洋沿岸東部で小さな津波を観測した（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M7.0以上の地震が３回発生している。「1973年６月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度５）では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm(平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図

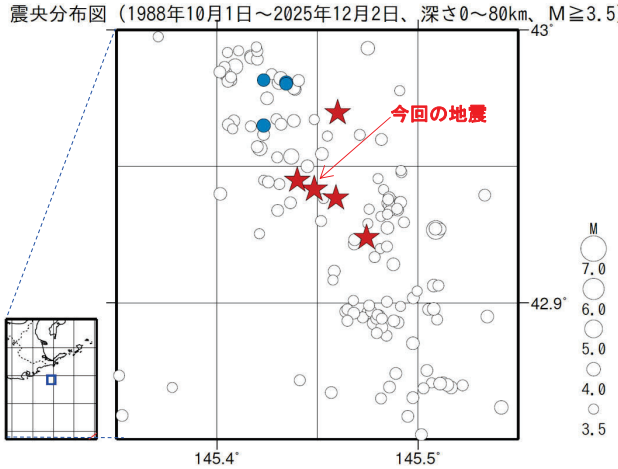


気象庁作成

12月2日の釧路沖の地震（相似地震）

釧路沖で発生した2025年12月2日（M5.2、最大震度4）の地震について、
強震波形による相関解析を行った結果、既往の相似地震グループの最新の相似地震として検出された（グループA）※1。

震央分布図（1988年10月1日～2025年12月2日、深さ0～80km、M≧3.5）

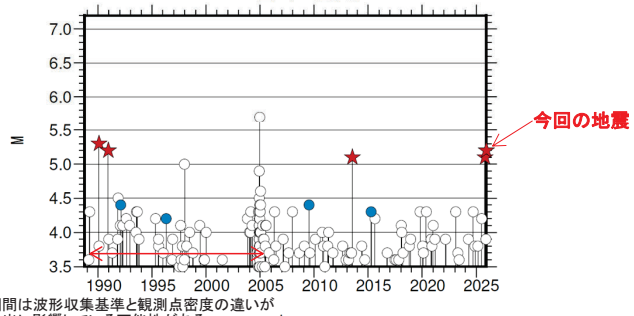


発生間隔と推定年平均すべり量※2

グループ	回数	平均M	震度 最大	震度 最小	発生間隔 平均	発生間隔 最短	発生間隔 最大	平均すべり量（cm/年）
★ A	5	5.18	4	3	8.96	0.11	22.60	4.06
● B	4	4.33	3	2	7.72	4.21	13.22	3.49

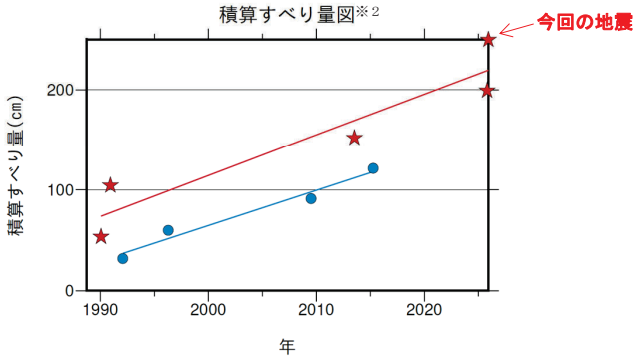
今回の地震

M－T図（上図内）



赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが相似地震検出に影響している可能性がある。

積算すべり量図※2

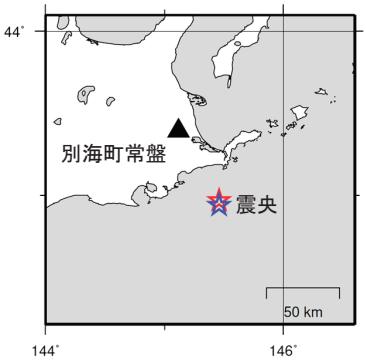


※1 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的に行っている［溜渕ほか、2014］。
※2 すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式［Hanks and Kanamori(1979)］及び 地震モーメントとすべり量の関係式［Nadeau and Johnson(1998)］を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

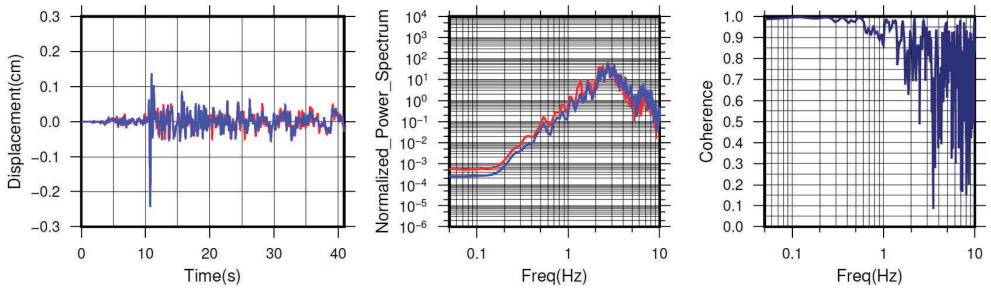
気象庁作成

●波形例

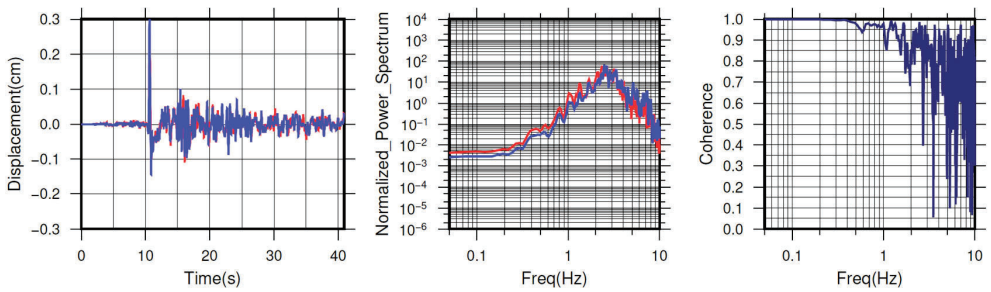
観測点名:別海町常盤
2013/07/16 23:09:27 M5.1
2025/12/02 19:03:04 M5.2



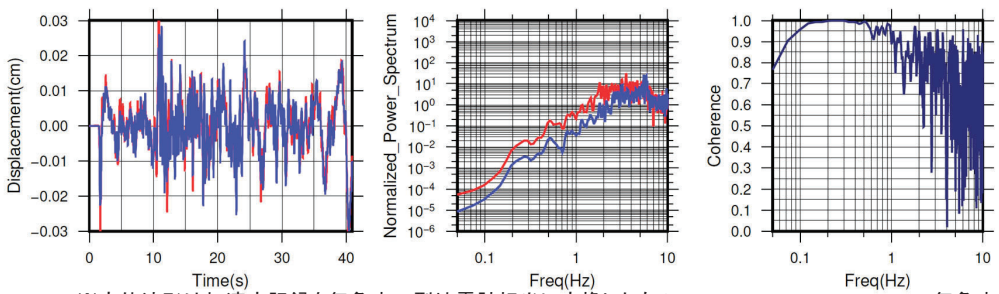
ＮＳ成分: Cohr=0.95 (0.27 - 1.07 Hz)



ＥＷ成分: Cohr=0.97 (0.27 - 1.07 Hz)



ＵＤ成分: Cohr=0.96 (0.27 - 1.07 Hz)

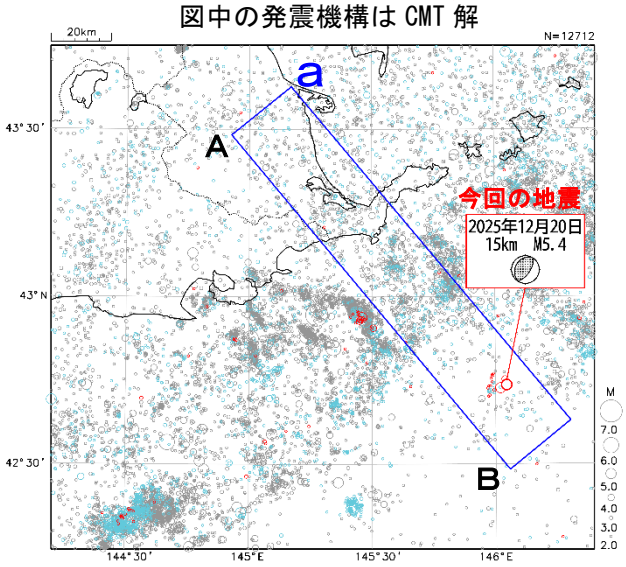


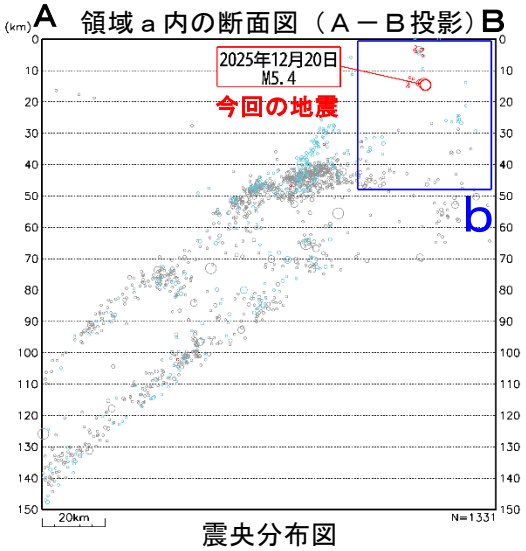
※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したもの

気象庁作成

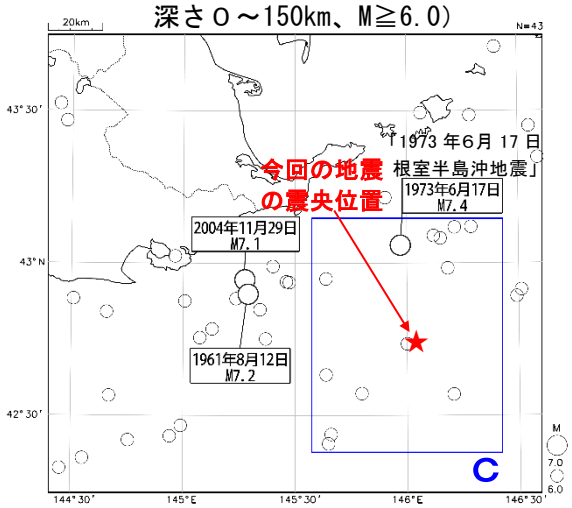
12 月 20 日　根室半島南東沖の地震

震央分布図
（2001 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、M≧2.0）
2020 年 9 月以降に発生した地震を水色、
2025 年 12 月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解





震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、M≧6.0）

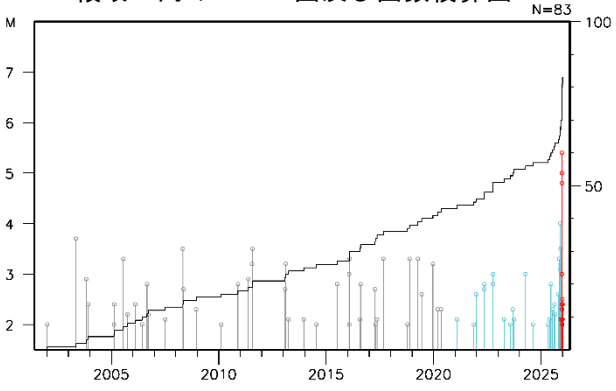


2025年12月20日21時30分に根室半島南東沖の深さ15kmでM5.4の地震（最大震度３）が発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

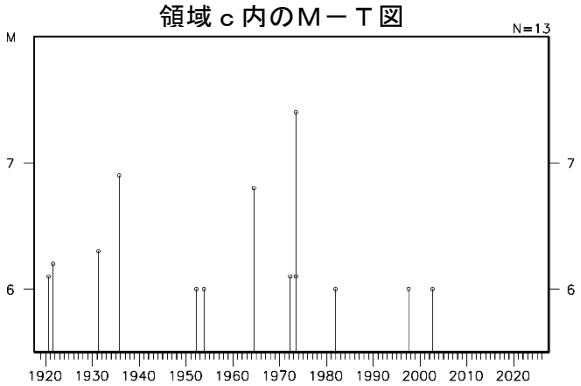
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、Ｍ４程度の地震はまれに発生しているが、M5.0以上の地震は発生していなかった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M7.0以上の地震が１回発生している。「1973年６月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度５）では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm(平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

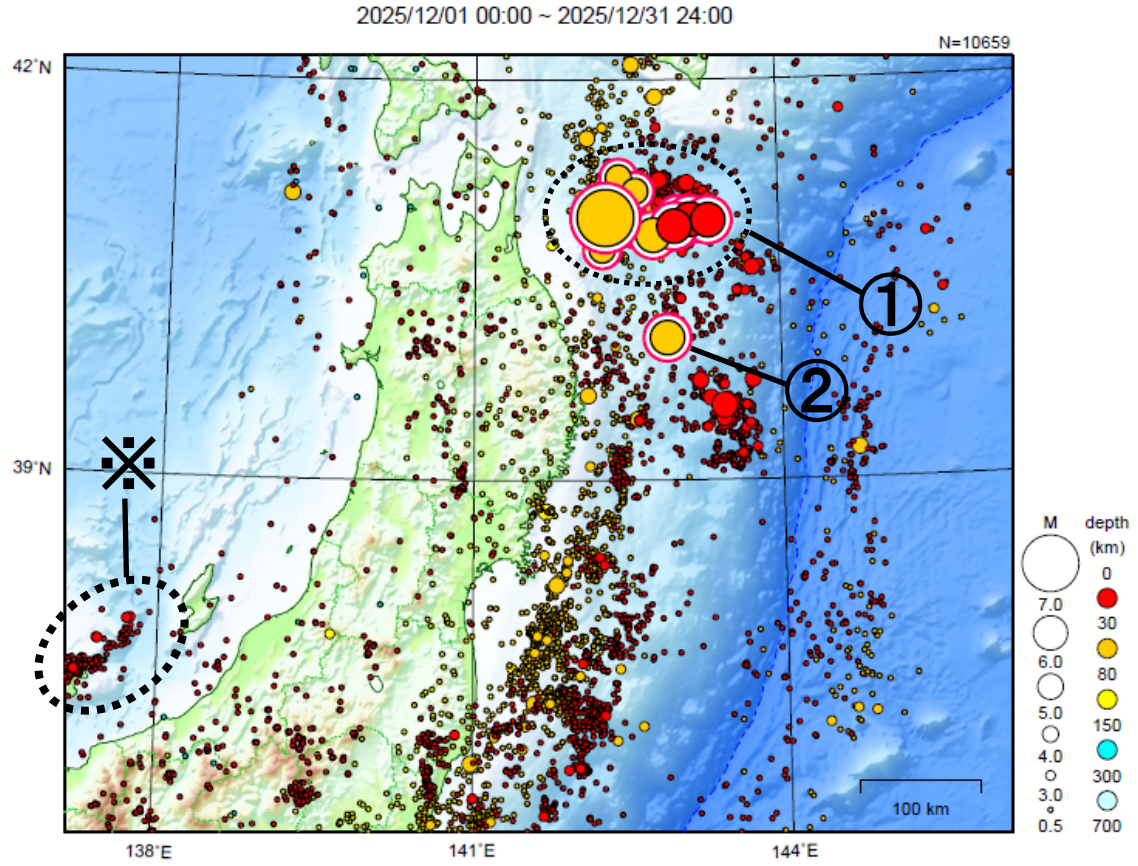


領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

東北地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 12 月 8 日に青森県東方沖で M7.5 の地震（最大震度 6 強）が、12 日には M6.9 の地震（最大震度 4）が発生した。青森県東方沖では、8 日から 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 50 回（震度 6 強：1 回、震度 4：4 回、震度 3：6 回、震度 2：14 回、震度 1：25 回）発生した。

② 12 月 31 日に岩手県沖で M6.1 の地震（最大震度 4）が発生した。

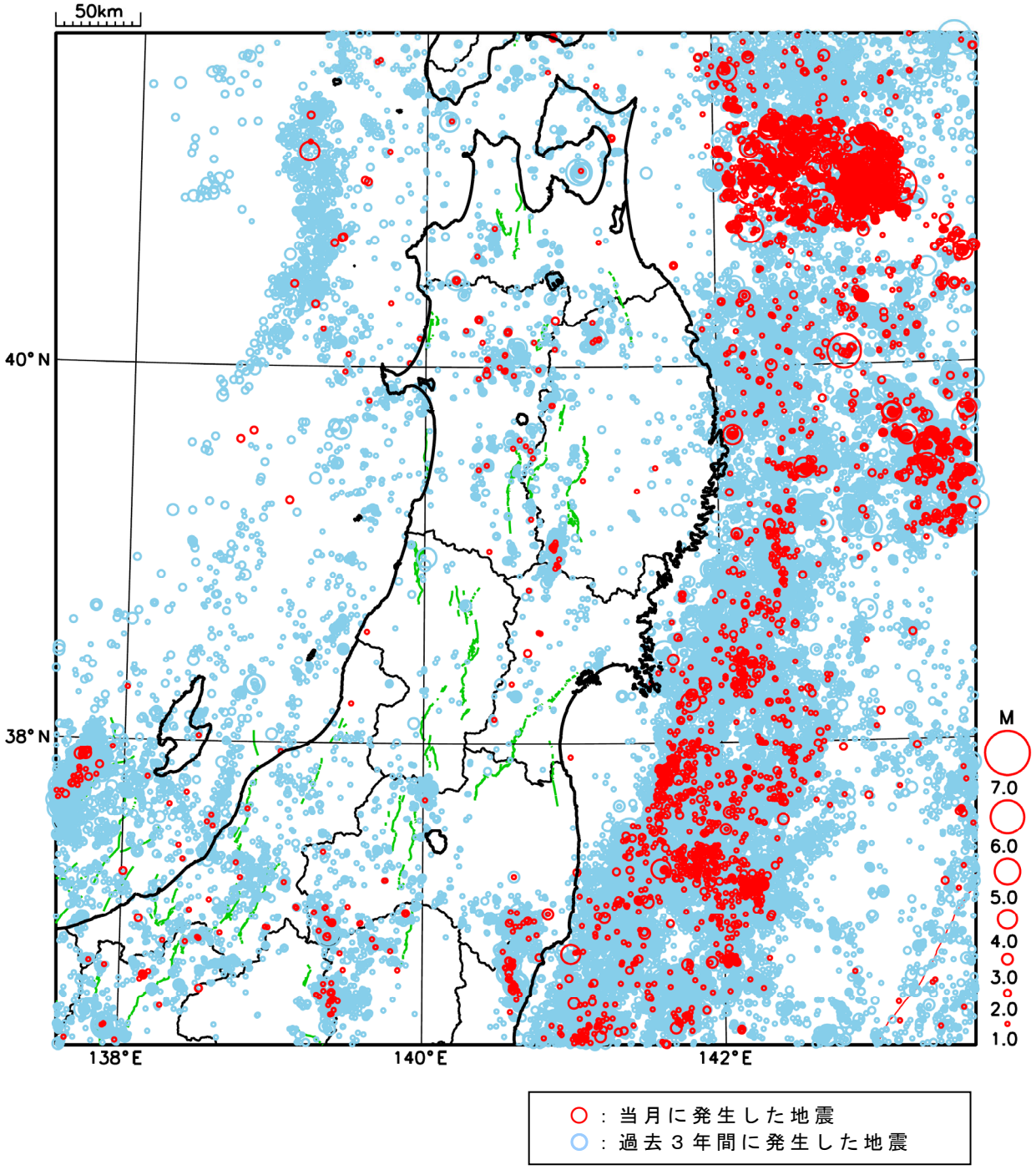
※で示した地震については関東・中部地方の資料を参照。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

東北地方における 2025 年 12 月の地震活動

（M≧1.0、陸域 深さ 30km 以浅、海域 深さ 60km 以浅）



気象庁作成

●特集　青森県東方沖の地震活動

（１）概要

2025年12月８日23時15分に青森県東方沖の深さ54kmでM7.5の地震が発生し、青森県八戸市で震度６強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度６弱～１を観測した。また、青森県三八上北で長周期地震動階級３を観測したほか、北海道から関東地方にかけて及び新潟県で長周期地震動階級２～１を観測した。この地震により、岩手県の久慈港(注１)で64cm(注２)、北海道の浦河(注１)で50cm(注２)など、北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測した。

気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から4.1秒後の23時15分24.0秒に緊急地震速報（警報）を発表した。また、同日23時17分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸及び岩手県に津波注意報を発表し、同日23時23分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸及び岩手県を津波警報に切り替えた。その後、９日02時45分に津波注意報に切り替えて、９日06時20分に津波注意報を解除した。

気象庁は、この地震について震源位置や規模を精査した結果、国の基本計画等に定められている、後発地震への注意を促す情報を発表する基準を満たしており、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖にかけての巨大地震の想定震源域で大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、９日02時00分に北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表した。

この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

更に、12月12日11時44分に青森県東方沖の深さ17kmでM6.9の地震が発生し、北海道及び東北地方で震度４を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度３～１を観測した。また、秋田県内陸北部で長周期地震動階級２を観測したほか、北海道から東北地方にかけて長周期地震動階級１を観測した。この地震により、北海道のえりも町庶野で0.2m(注２、注３)、青森県の八戸港(注１)で14cm(注２)など、北海道と青森県の太平洋沿岸で津波を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から11.5秒後の11時44分31.4秒に緊急地震速報（警報）を発表した。また、同日11時52分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、岩手県及び宮城県に津波注意報を発表し、その後、同日14時05分に津波注意報を解除した。この地震は、発震機構（CMT解）が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

12月８日のM7.5及び12月12日のM6.9の地震発生後には、これらの地震の震源付近で地震活動が一時的に活発となった。その後、地震回数は減少してきているが、12月31日までに震度１以上を観測した地震が50回（震度６強：１回、震度４：４回、震度３：６回、震度２：14回、震度１：25回）発生するなど、地震活動は継続している。

これらの地震により、負傷者46人、住家全壊１棟、一部破損47棟などの被害が生じた（2025年12月16日15時00分現在、総務省消防庁による）。

これらの地震による被害状況を表１－１に、12月８日以降の最大震度別地震回数表を表１－２に、震度１以上の日別地震回数グラフを図１－１に、気象庁及び各地の気象台が発表した主な情報及び報道発表を表１－３～５に示す。

（注１）国土交通省港湾局の観測施設。
（注２）観測値は後日の精査により変更される場合がある。
（注３）巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。

表１－１　青森県東方沖の地震による被害状況
（2025年12月16日15時00分現在、総務省消防庁による）

都道府県名	人的被害				住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損
			重傷	軽傷			
	人	人	人	人	棟	棟	棟
北海道			1	10			2
青森県			1	30	1		45
岩手県				4			
合　計			2	44	1		47

気象庁作成

令和8年1月13日00時現在

12月8日青森県東方沖の地震の最大震度別地震回数表

表1－2　震度1以上の日別最大震度別地震回数表（令和7年12月8日～令和8年1月12日）

（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

日別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
2025/12/8	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3	3	
12/9	8	5	2	1	0	0	0	0	0	16	19	
12/10	4	1	0	1	0	0	0	0	0	6	25	
12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
12/12	6	2	1	1	0	0	0	0	0	10	35	
12/13	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	37	
12/14	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	40	
12/15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41	
12/16	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	44	
12/17	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	46	
12/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	
12/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	
12/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	
12/21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	47	
12/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	
12/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	
12/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	
12/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	
12/26	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	50	
12/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
12/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
12/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
12/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
2026/1/1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	52	
1/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
1/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
1/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
1/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
1/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
1/7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	54	
1/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
総計	27	16	6	4	0	0	0	1	0		54	

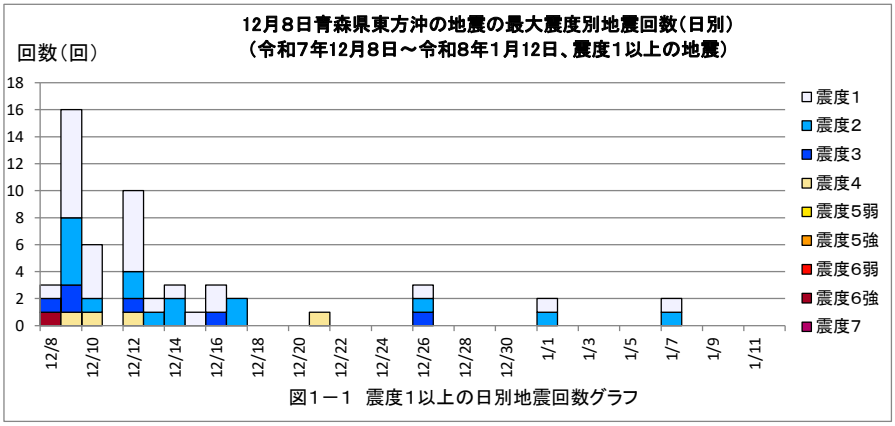
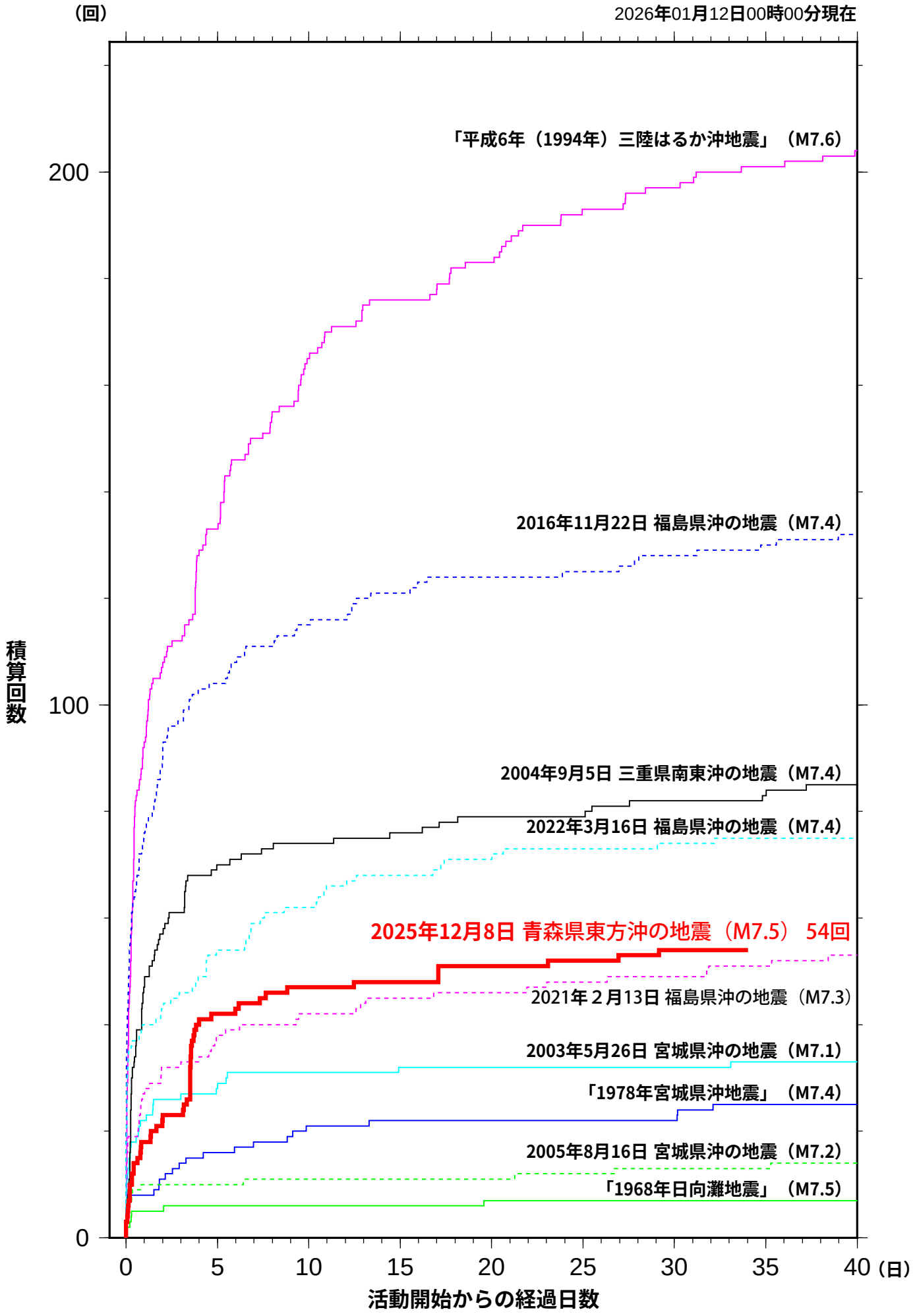


図1－1　震度1以上の日別地震回数グラフ

気象庁作成

図１－２　主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード4.0以上）



※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
※今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

気象庁作成

表１－３　気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2025年12月８日～12月16日）（続く）

月　日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
12 月 8 日	23 時 15 分	地震発生	青森県東方沖
		緊急地震速報（警報）	
	23 時 16 分	震度速報	青森県三八上北で震度６強、以降、逐次更新
	23 時 17 分	津波注意報発表	北海道から岩手県にかけて津波注意報を発表
	23 時 18 分	津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	23 時 19 分	震源・震度情報	M7.2、青森県八戸市で最大震度６強
	23 時 23 分	津波警報発表	北海道から岩手県にかけて津波警報を発表、M7.6
	23 時 24 分	津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	23 時 25 分	長周期地震動に関する観測情報	青森県三八上北で長周期地震動階級３
	23 時 26 分	震源・震度情報	M7.6
	23 時 39 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	８日 23 時 37 分現在の値
	23 時 49 分	津波情報（津波観測に関する情報）	８日 23 時 48 分現在の値
	23 時 55 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	８日 23 時 52 分現在の値
	23 時 56 分	津波情報（津波観測に関する情報）	８日 23 時 55 分現在の値
12 月 9 日	00 時 00 分	津波情報（津波観測に関する情報）	８日 23 時 59 分現在の値
	00 時 02 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	９日 00 時 01 分現在の値
	00 時 05 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	９日 00 時 04 分現在の値
	00 時 07 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 00 時 06 分現在の値
	00 時 10 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 00 時 09 分現在の値
	00 時 12 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	９日 00 時 11 分現在の値
	00 時 16 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 00 時 13 分現在の値
	00 時 18 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 00 時 17 分現在の値
	00 時 27 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	９日 00 時 26 分現在の値
	00 時 30 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	９日 00 時 29 分現在の値
	00 時 34 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 00 時 33 分現在の値
	00 時 50 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 00 時 48 分現在の値
	01 時 05 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 01 時 04 分現在の値
	01 時 14 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 01 時 13 分現在の値
	01 時 15 分	報道発表	津波警報発表、津波の観測状況、防災上の留意事項と今後の見通し、地震活動の詳細
	01 時 20 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 01 時 19 分現在の値
	01 時 38 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 01 時 37 分現在の値
	01 時 57 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 01 時 56 分現在の値
	02 時 00 分	北海道・三陸沖後発地震注意情報 記者会見	Mw7.4、北海道・三陸沖後発地震注意情報に関する留意事項、発表に伴いとるべき防災対応
		顕著な地震の震源要素更新のお知らせ	暫定震源、M7.5
	02 時 24 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 02 時 23 分現在の値
	02 時 45 分	津波注意報発表	津波注意報に切り替え
	02 時 53 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 02 時 49 分現在の値
	03 時 57 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 03 時 53 分現在の値
	06 時 20 分	津波予報発表	津波注意報を解除
	06 時 22 分	津波情報（津波観測に関する情報）	９日 06 時 19 分現在の値
	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第２報）
12 月 10 日	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第３報）
12 月 11 日	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第４報）
12 月 12 日	11 時 44 分	地震発生	青森県東方沖
		緊急地震速報（警報）	
	11 時 45 分	震度速報	北海道、青森県、岩手県で震度４、以降、逐次更新
	11 時 47 分	震源に関する情報	M6.5、若干の海面変動
	11 時 49 分	震源・震度情報	北海道、東北地方で震度４

気象庁作成

表１－３　気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2025年12月８日～12月16日）（続き）

月　日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
12 月 12 日	11 時 52 分	津波注意報発表	北海道から宮城県にかけて津波注意報を発表、M6.7
		津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	11 時 53 分	震源・震度情報	M6.7
	12 時 15 分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	12 日 12 時 14 分現在の値
	12 時 26 分	津波情報（津波観測に関する情報）	12 日 12 時 25 分現在の値
	12 時 39 分	津波情報（津波観測に関する情報）	12 日 12 時 38 分現在の値
	12 時 44 分	津波情報（津波観測に関する情報）	12 日 12 時 43 分現在の値
	12 時 50 分	報道発表	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震について －令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第５報）－
	14 時 00 分	顕著な地震の震源要素更新のお知らせ	暫定震源、M6.9
	14 時 05 分	津波予報発表	津波注意報を解除
	14 時 06 分	津波情報（津波観測に関する情報）	12 日 12 時 43 分現在の値
	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第６報）
12 月 13 日	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第７報）
12 月 14 日	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第８報）
12 月 15 日	16 時 00 分	報道発表	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について（第９報）
12 月 16 日	10 時 30 分	報道発表	北海道・三陸沖後発地震注意情報に伴う特別な注意の呼び掛け期間の終了について　～令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震（第 10 報）について～

気象庁作成

表１－４　北海道地方の管区気象台または地方気象台が発表した主な報道発表及び地震解説資料発表等
（2025年12月8日～12月16日）

月　日	時刻	情報発表、報道発表等の状況［発表官署］	備考（主な内容等）
12 月 9 日	01 時 45 分	報道発表資料（地震解説資料 第１号）［札幌］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について
	02 時 00 分	地震解説資料 第１号［室蘭］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について
	02 時 45 分	地震解説資料 第１号［釧路］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について
	02 時 45 分	地震解説資料 第１号［函館］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について
		報道発表［函館］	気象庁機動調査班（JMA-MOT）の派遣について～青森県東方沖を震源とする地震に伴う現地調査～
	17 時 00 分	報道発表資料（地震解説資料 第２号）［札幌］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～
	17 時 00 分	地震解説資料 第２号［室蘭］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～
	17 時 00 分	地震解説資料 第２号［釧路］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～
	17 時 00 分	地震解説資料 第１号［稚内］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～
	17 時 00 分	地震解説資料 第１号［網走］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～
	18 時 25 分	地震解説資料 第２号［函館］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～
12 月 10 日		報道発表［函館］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分の青森県東方沖の地震における地震被害の現地調査について（報告）
12 月 12 日	13 時 20 分	報道発表資料（地震解説資料 第１号）［札幌］	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震について
	13 時 20 分	地震解説資料 第１号［釧路］	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震について
	14 時 00 分	地震解説資料 第１号［室蘭］	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震について～令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について(第３号)～
	14 時 00 分	地震解説資料 第１号［函館］	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震について
12 月 16 日	11 時 00 分	報道発表資料（地震解説資料 第３号）［札幌］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～
	11 時 00 分	地震解説資料 第３号［釧路］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～
	11 時 00 分	地震解説資料 第４号［室蘭］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～
	11 時 00 分	地震解説資料 第２号［稚内］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～
	11 時 00 分	地震解説資料 第２号［網走］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～
	11 時 20 分	地震解説資料 第３号［函館］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～

気象庁作成

表１－５　仙台管区気象台及び仙台管内の地方気象台が発表した主な報道発表及び地震解説資料
（2025年12月８日～16日）

月　日	時刻	情報発表、報道発表等の状況［発表官署］	備考（主な内容等）
12 月 9 日	01 時 30 分	報道発表［盛岡］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震および津波について
	02 時 20 分	報道発表［仙台］	令和７年 12 月９日 02 時 00 分に発表した北海道・三陸沖後発地震注意情報について
		報道発表［仙台、青森、盛岡］	気象庁 機動調査班（JMA-MOT）の派遣について ～青森県東方沖を震源とする地震に伴う現地調査～
	10 時 30 分	地震解説資料発表［仙台］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について 「９日 08 時現在の震度１以上を観測した地震の回数や９日６時 22 分現在の津波の観測状況など」
		報道発表［青森、盛岡］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震に伴う大雨警報・注意報発表基準の暫定的な運用について
12 月 10 日		報道発表［仙台、青森、盛岡］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分の青森県東方沖の地震における現地調査結果について 「青森県、岩手県内で震度６強～５強を観測した震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施した」
12 月 11 日		報道発表［青森］	気象庁 機動調査班（JMA-MOT）の派遣について ～青森県東方沖を震源とする地震に関する現地調査～ 「12 月 11 日実施予定分についてのお知らせ」
		報道発表［仙台、青森、盛岡］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分の青森県東方沖の地震における現地調査結果について（第２報） 「12 月 10 日実施分の結果についてお知らせ」
12 月 12 日	13 時 20 分	報道発表［盛岡］	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震による津波について
	15 時 30 分	地震解説資料［仙台］	令和７年 12 月 12 日 11 時 44 分頃の青森県東方沖の地震について 「津波注意報を解除。津波に伴う若干の海面変動が観測されており、今後１、２時間程度は継続する可能性が高いため、海に入っての作業や釣りなどに際しては、十分に留意。
		報道発表［仙台、青森、盛岡］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分の青森県東方沖の地震における現地調査結果について（第３報） 「12 月 11 日実施分の結果についてお知らせ」
12 月 16 日	14 時 00 分	地震解説資料発表［仙台］	令和７年 12 月８日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について ～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意の呼びかけ期間終了～

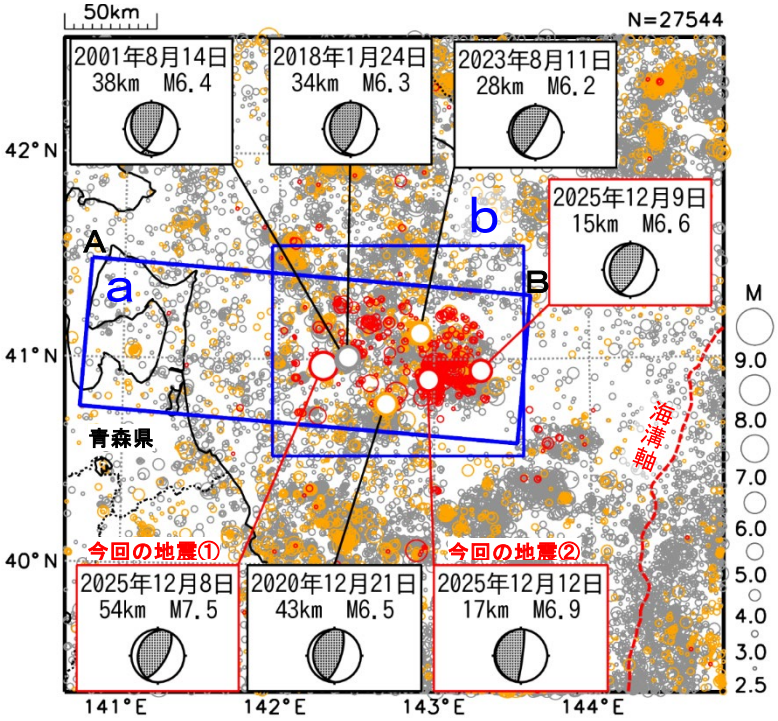
気象庁作成

（２）地震活動

ア．地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

12 月８日 23 時 15 分に青森県東方沖の深さ 54km で M7.5 の地震（最大震度６強、図２－１中①）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、この地震の震央付近（領域ｂ）で、12 月 12 日 11 時 44 分に深さ 17km で M6.9 の地震（最大震度４、図２－１中②）が発生した。発震機構（CMT 解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、領域ｂでは、2023 年８月 11 日に M6.2 の地震（最大震度４）が発生するなど、M6.0 以上の地震がしばしば発生している。



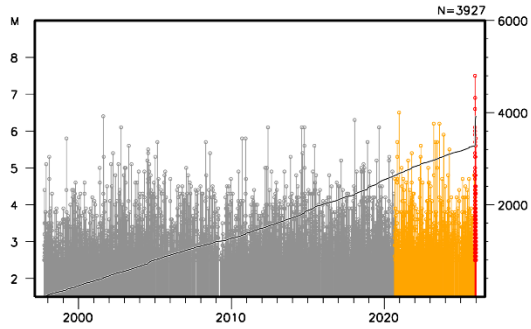


図２―２
領域ｂのＭ－Ｔ図及び回数積算図

図２―１　震央分布図（左図）
（1997 年 10 月１日～2025 年 12 月 31 日、深さ０～160km、M≧2.5）
○1997年10月１日～2020年８月31日
○2020年９月１日～2025年11月30日
○2025年12月１日以降～
図中の発震機構はCMT解を示す

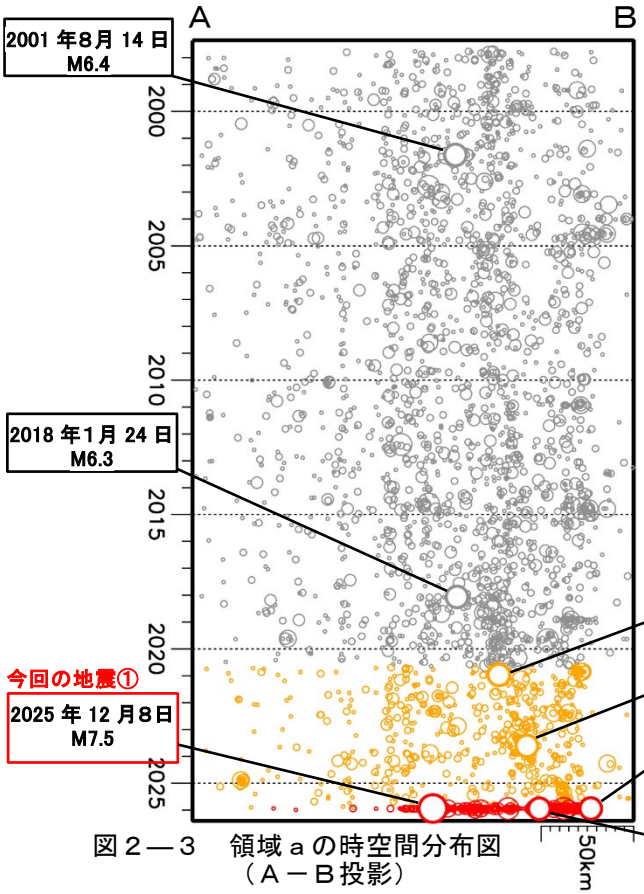


図２―３　領域ａの時空間分布図
（Ａ－Ｂ投影）

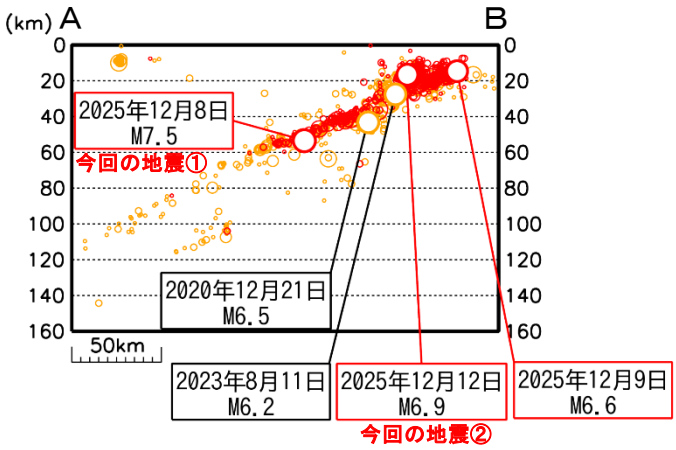


図２―４　領域ａの断面図（Ａ－Ｂ投影）
（2020 年９月１日～2025 年 12 月 31 日）

気象庁作成

12 月 8 日の M7.5 の地震以降の活動をみると、震央付近（領域ｃ）では 12 月 9 日には地震活動域の東端の深さ 15km で M6.6 の地震が発生するなど、地震活動は当初は活発に推移しつつも徐々に収まりつつあった。その後、M7.5 の地震の震央から東に約 60km 付近で、同月 12 日に M6.9 の地震（最大震度４）が発生し、再び地震活動が活発となった。領域ｃでは、12 月 8 日から 31 日までに M6.0 以上の地震が５回発生した。

12月８日から12月31日までに震度１以上を観測した地震は50回（震度６強：１回、震度４：４回、震度３：６回、震度２：14回、震度１：25回）であった。

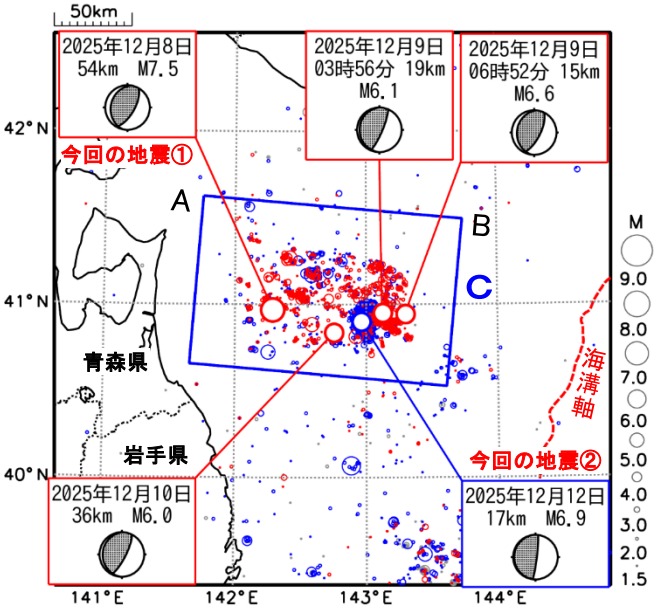


図２―５　震央分布図
（2025 年 12 月１日～2025 年 12 月 31 日、
深さ０～80km、M≧1.5）
○2025年12月１日～2025年12月７日
○2025年12月８日～2025年12月11日
○2025年12月12日～2025年12月31日
図中の発震機構はCMT解を示す。
震源は○○○の順で描画。

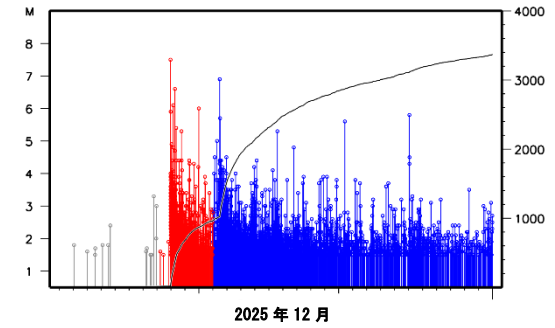


図２―６　領域ｃ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

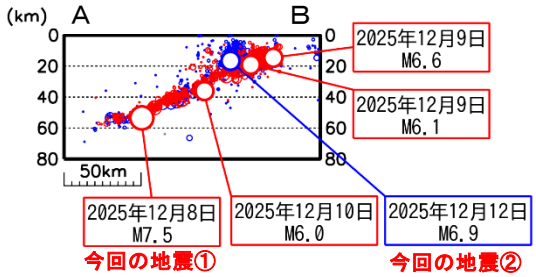


図２―７　領域ｃ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）

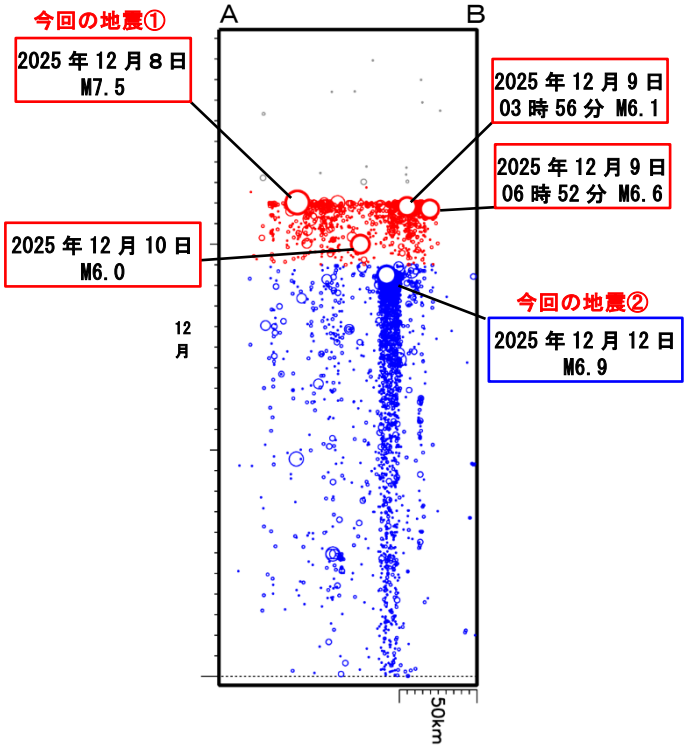


図２―８　領域ｃ内の時空間分布図
（Ａ－Ｂ投影）

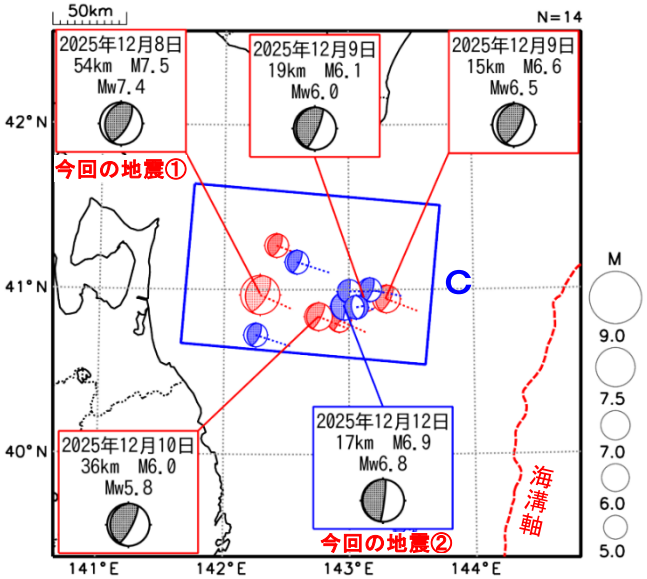


図２―９　震央分布図（CMT解）
（2025年12月１日～2025年12月31日、
深さ０～80km、M≧5.0）
赤色　2025年12月８日～2025年12月11日
青色　2025年12月12日～2025年12月31日
震源球から伸びる軸は圧力軸を示す。
M6.0以上の地震に吹き出しを付けた。
Mwはモーメントマグニチュードを示す。

気象庁作成

イ．発震機構

1997年10月以降に発生した地震の発震機構（CMT解）分布及び発震機構の圧力軸の分布を図２－10に示す。また、図２－10の領域ｅ内の地震の発震機構の型の分布及び圧力軸の向きの分布を図２－11に示す。

今回の地震の震央付近では、逆断層型の地震が多く見られ、発震機構の圧力軸の向きは西北西－東南東方向の地震が多い。今回の地震①（M7.5）は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、今回の地震②（M6.9）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの地震の傾向と概ね調和的である。

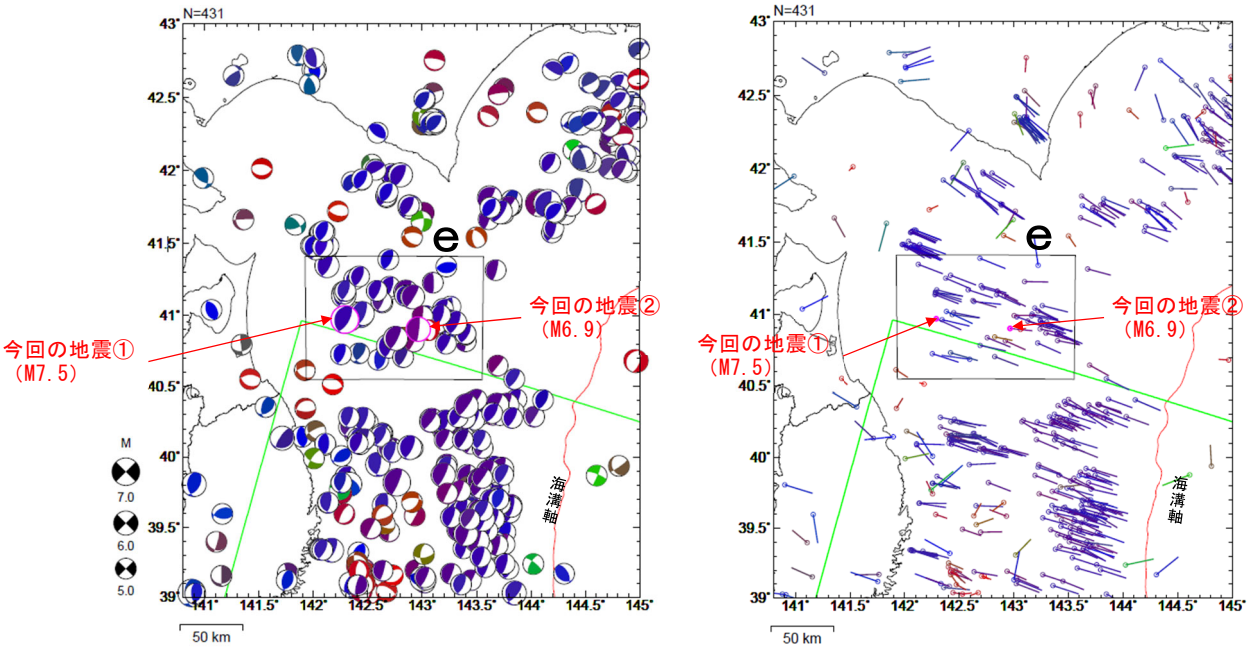


図２－10　発震機構分布図（左）、発震機構の圧力軸の分布（右）
期間：1997年10月１日～2025年12月31日、深さ：０～100km、Ｍ≧5.0、発震機構はCMT解による（震源の位置に表示）。逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。図内の緑枠は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を示す。

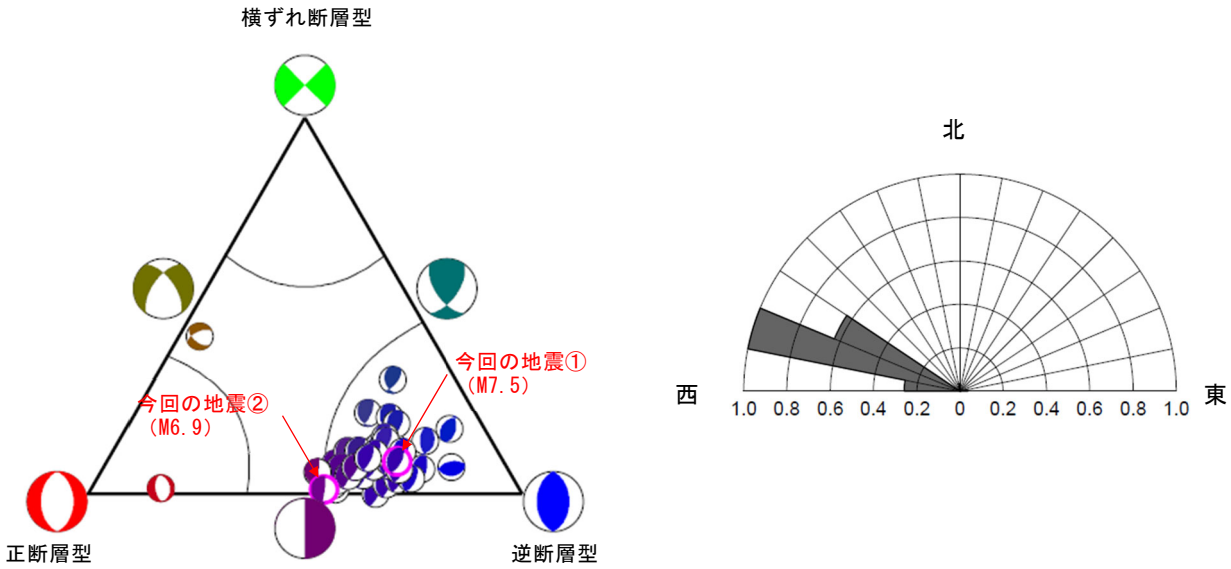


図２－11　図２－10の領域ｅ内の地震の発震機構の型の分布（左）及び発震機構の圧力軸の方位分布（右）
発震機構の型の分布は、逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。

気象庁作成

ウ．過去の地震活動

（ア）1919年以降の過去地震の発生概要

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｆ）では、Ｍ７を超える地震が時々発生している。このうち、1968年５月16日には「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度５）が発生し、青森県八戸［火力発電所］で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟、半壊3,004棟、一部破損15,697棟などの被害が生じた。

また、1994年12月28日には「平成６年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度６）が発生した。この地震により、青森県八戸と岩手県宮古で50cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「験震時報第64巻」による）ほか、死者３人、負傷者688人、住家全壊72棟、半壊429棟、一部破損9,021棟などの被害が生じた（被害は、いずれも「日本被害地震総覧」による）。

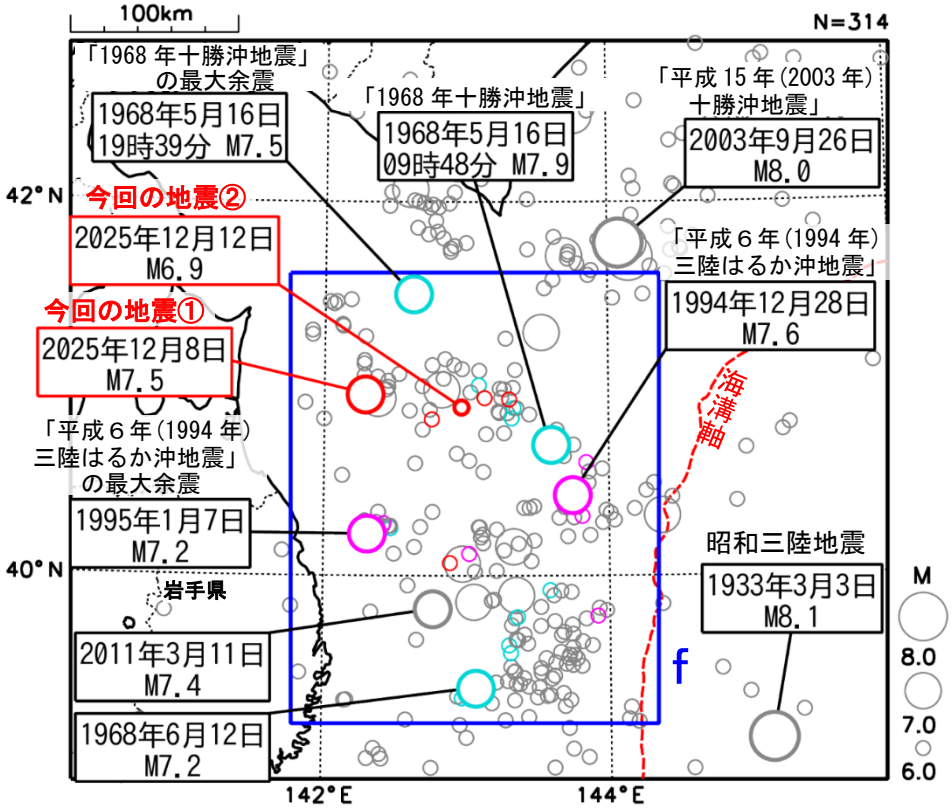


図２－12　震央分布図（1919 年１月１日～2025 年 12 月 31 日、深さ０～100km、M≧6.0
○1968 年５月 16 日～1968 年７月 31 日　○1994 年 12 月 28 日～1995 年２月 28 日
○2025 年 12 月１日以降～　○上記以外の期間

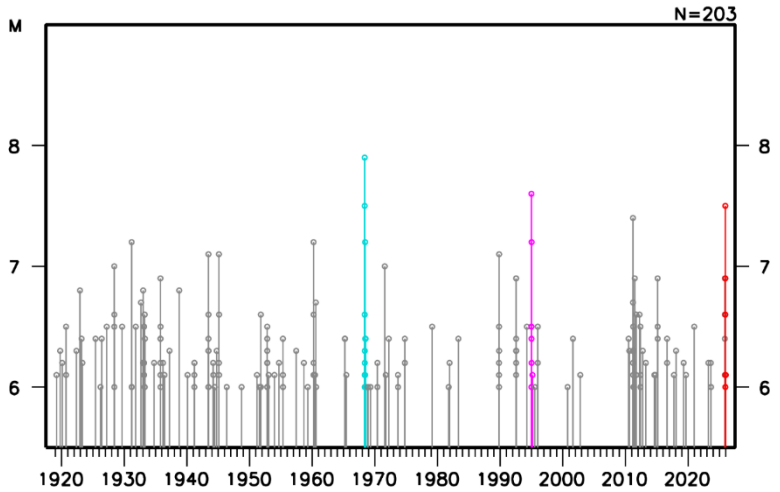


図２－13　領域ｆ内のＭ－Ｔ図

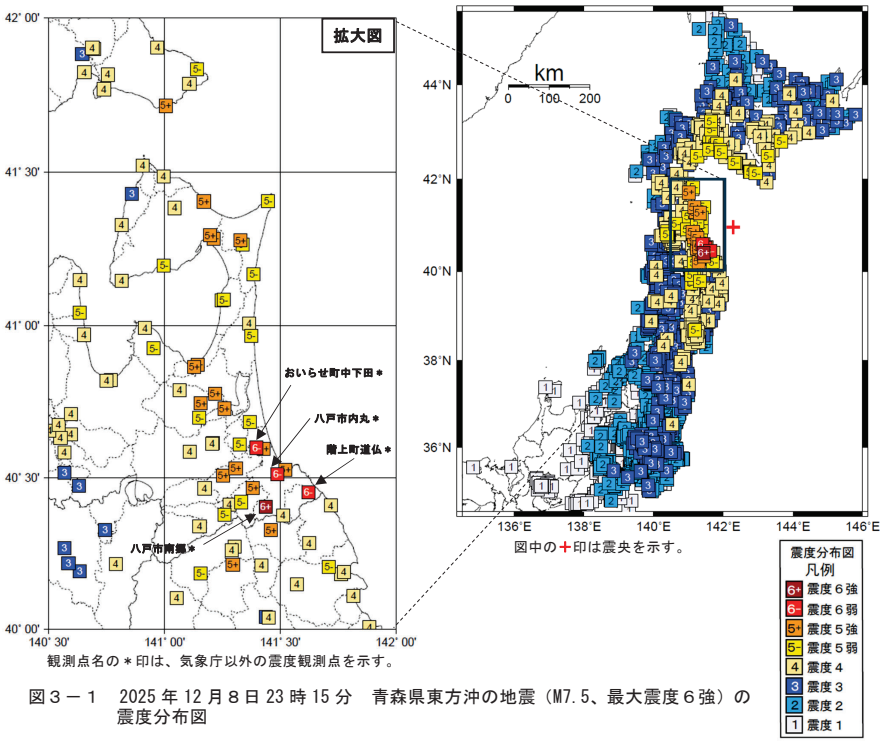
気象庁作成

（３）震度と加速度

2025年12月８日23時15分に発生した地震（M7.5）により、青森県八戸市で震度６強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度６弱～１を観測した。また、12月12日11時44分に発生した地震（M6.9）により、北海道及び東北地方で震度４を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度３～１を観測した。

ア．12月８日23時15分のM7.5の地震の震度と加速度

この地震の震度分布図を図３－１に、推計震度分布図を図３－２に、震度５弱以上を観測した地点の計測震度及び最大加速度を表３－１に示す。

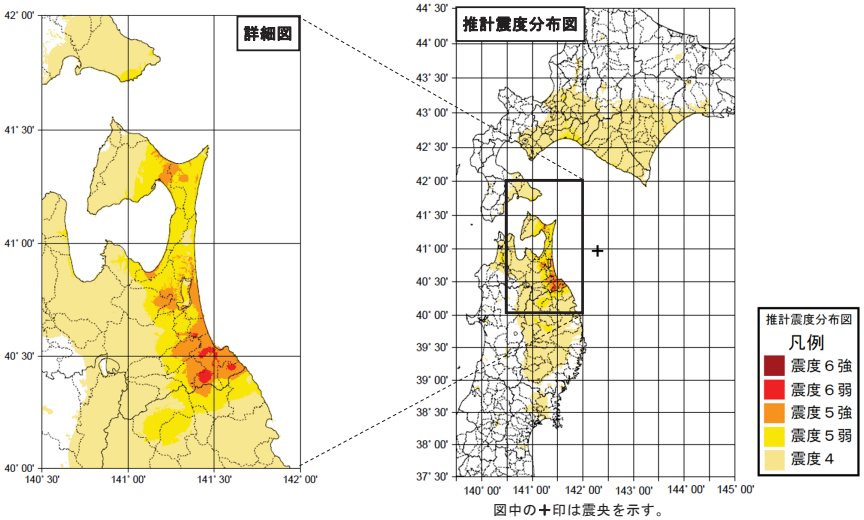


観測点名の＊印は、気象庁以外の震度観測点を示す。

図中の＋印は震央を示す。

図３－１　2025 年 12 月８日 23 時 15 分　青森県東方沖の地震（M7.5、最大震度６強）の震度分布図

気象庁作成



図中の＋印は震央を示す。

図３－２　2025 年 12 月８日 23 時 15 分　青森県東方沖の地震（M7.5、最大震度６強）の推計震度分布図

※本推計震度分布図は、地震発生当日に作成されたものである。

＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより１階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が１階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

気象庁作成

表３－１　2025 年 12 月８日 23 時 15 分 青森県東方沖の地震の計測震度及び最大加速度
（震度５弱以上）　（続く）

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度(gal=cm/s/s)				
					合成	南北成分	東西成分	上下成分	震央距離(km)
青森県	八戸市	八戸市南郷	６強	6.0	819.7	728.2	525.2	215.5	95.6
青森県	八戸市	八戸市内丸	６弱	5.5	517.4	466.2	273.3	119.6	84.7
青森県	階上町	階上町道仏	６弱	5.7	385.9	325.8	289.4	119.6	80.6
青森県	おいらせ町	おいらせ町中下田	６弱	5.6	371.0	309.9	273.0	80.2	85.8
北海道	函館市	函館市泊町	５強	5.0	313.8	199.8	312.3	90.1	135.8
青森県	八戸市	八戸市湊町	５強	5.3	456.4	408.2	385.7	235.7	81.4
青森県	野辺地町	野辺地町田狭沢	５強	5.2	336.0	326.3	283.0	112.0	97.3
青森県	野辺地町	野辺地町野辺地	５強	5.3	387.5	332.7	337.8	182.1	98.6
青森県	七戸町	七戸町森ノ上	５強	5.2	249.2	246.7	209.0	100.7	98.7
青森県	東北町	東北町上北南	５強	5.3	328.0	258.0	226.7	201.8	91.1
青森県	東北町	東北町塔ノ沢山	５強	5.1	379.1	323.8	372.7	138.5	92.9
青森県	五戸町	五戸町古舘	５強	5.3	458.8	407.6	329.5	185.0	96.2
青森県	五戸町	五戸町倉石中市	５強	5.1	313.8	234.5	307.7	133.5	101.6
青森県	青森南部町	青森南部町苫米地	５強	5.1	224.7	195.9	198.5	86.6	94.9
青森県	おいらせ町	おいらせ町上明堂	５強	5.2	190.3	187.7	110.4	86.4	83.8
青森県	むつ市	むつ市金曲	５強	5.2	246.2	212.9	227.6	67.9	97.1
青森県	むつ市	むつ市金谷	５強	5.2	289.7	285.9	235.8	73.6	98.6
青森県	むつ市	むつ市大畑町中島	５強	5.2	300.4	285.7	217.7	70.9	105.7
青森県	東通村	東通村砂子又沢内	５強	5.2	318.0	258.6	273.5	118.8	87.7
岩手県	一戸町	一戸町高善寺	５強	5.0	232.6	211.8	179.8	101.7	119.0
岩手県	軽米町	軽米町軽米	５強	5.1	328.2	183.3	327.6	86.0	100.1
北海道	新篠津村	新篠津村第４７線	５弱	4.9	124.4	122.7	84.1	34.0	256.2
北海道	千歳市	千歳市北栄	５弱	4.5	132.0	93.8	130.2	44.2	213.1
北海道	千歳市	新千歳空港	５弱	4.6	110.1	105.7	97.1	48.0	207.8
北海道	千歳市	千歳市若草	５弱	4.5	166.7	121.8	115.6	89.8	210.1
北海道	函館市	函館市新浜町	５弱	4.9	210.3	186.4	206.1	110.1	135.9
北海道	南幌町	南幌町栄町	５弱	4.5	97.7	80.2	97.3	27.7	238.6
北海道	苫小牧市	苫小牧市末広町	５弱	4.6	124.1	73.1	118.3	33.8	193.7
北海道	苫小牧市	苫小牧市旭町	５弱	4.7	113.3	96.7	91.6	28.9	193.5
北海道	白老町	白老町竹浦	５弱	4.5	120.8	120.4	110.9	32.2	189.8
北海道	厚真町	厚真町鹿沼	５弱	4.9	268.4	161.8	261.5	32.5	186.2
北海道	安平町	安平町早来北進	５弱	4.6	130.8	113.5	117.0	50.6	203.2
北海道	むかわ町	むかわ町松風	５弱	4.9	153.3	147.1	125.2	32.1	180.8
北海道	新冠町	新冠町北星町	５弱	4.9	138.4	130.5	126.9	54.7	154.7
北海道	新ひだか町	新ひだか町静内山手町	５弱	4.6	131.9	109.1	112.1	27.3	152.9
北海道	浦河町	浦河町潮見	５弱	4.6	206.7	105.3	185.9	43.4	138.6
北海道	様似町	様似町栄町	５弱	4.7	125.6	116.7	124.3	35.7	139.8
北海道	浦幌町	浦幌町桜町	５弱	4.8	142.5	115.2	133.7	49.1	233.8
北海道	十勝大樹町	十勝大樹町東本通	５弱	4.5	96.5	81.3	70.2	61.0	188.7

気象庁作成

表３－１　2025 年 12 月８日 23 時 15 分 青森県東方沖の地震の計測震度及び最大加速度
（震度５弱以上）　（続き）

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度(gal=cm/s/s)				
					合成	南北成分	東西成分	上下成分	震央距離(km)
青森県	五所川原市	五所川原市栄町	５弱	4.5	103.6	94.8	75.7	26.2	156.9
青森県	五所川原市	五所川原市敷島町	５弱	4.5	94.1	85.7	67.5	26.4	156.3
青森県	平内町	平内町小湊	５弱	4.9	195.0	189.7	189.7	102.5	112.7
青森県	鶴田町	鶴田町鶴田	５弱	4.5	88.4	88.2	66.1	25.3	158.7
青森県	つがる市	つがる市柏	５弱	4.5	112.1	94.1	78.1	28.7	159.7
青森県	つがる市	つがる市稲垣町	５弱	4.6	86.1	66.5	63.4	27.9	159.8
青森県	つがる市	つがる市木造	５弱	4.6	84.3	76.9	81.3	39.7	162
青森県	外ヶ浜町	外ヶ浜町蟹田	５弱	4.7	157.1	154.3	132.1	49.0	139.7
青森県	三沢市	三沢市桜町	５弱	4.8	249.1	221.9	200.5	117.6	84
青森県	七戸町	七戸町七戸	５弱	4.7	141.3	131.4	120.9	61.4	100.8
青森県	六戸町	六戸町犬落瀬	５弱	4.8	142.4	137.3	114.7	64.4	90.8
青森県	横浜町	横浜町林ノ脇	５弱	4.9	274.4	236.0	239.0	115.1	87.9
青森県	横浜町	横浜町寺下	５弱	4.8	179.5	179.4	162.3	72.9	88.6
青森県	六ヶ所村	六ヶ所村尾駮	５弱	4.6	177.9	167.0	130.3	74.7	77.1
青森県	三戸町	三戸町在府小路町	５弱	4.6	183.0	172.3	124.5	58.7	109.1
青森県	青森南部町	青森南部町平	５弱	4.8	191.3	161.6	176.1	117.9	101.5
青森県	むつ市	むつ市川内町	５弱	4.6	195.5	167.2	137.2	60.1	111.5
青森県	東通村	東通村砂子又蒲谷地	５弱	4.8	192.7	186.8	162.3	109.1	86.5
青森県	東通村	東通村尻屋	５弱	4.5	327.1	320.9	197.3	70.4	85.7
青森県	東通村	東通村白糠	５弱	4.6	307.0	255.4	264.1	98.8	79.3
岩手県	久慈市	久慈市枝成沢	５弱	4.5	228.1	227.7	129.1	42.4	98.1
岩手県	盛岡市	盛岡市薮川	５弱	4.9	201.4	111.2	201.3	51.5	154.9
岩手県	盛岡市	盛岡市渋民	５弱	4.6	133.4	120.5	120.3	43.1	157
岩手県	二戸市	二戸市浄法寺町	５弱	4.8	205.6	196.0	162.8	53.5	129.8
岩手県	八幡平市	八幡平市田頭	５弱	4.8	207.0	184.6	198.0	45.9	155.2
岩手県	八幡平市	八幡平市野駄	５弱	4.5	93.1	79.9	85.2	37.5	152.8
岩手県	滝沢市	滝沢市鵜飼	５弱	4.5	104.4	97.4	87.3	25.4	171.6
宮城県	登米市	登米市迫町	５弱	4.6	88.4	75.2	71.9	25.2	270.1

気象庁作成

イ．12月12日11時44分のM6.9の地震の震度

この地震の震度分布図を図３－３に示す。

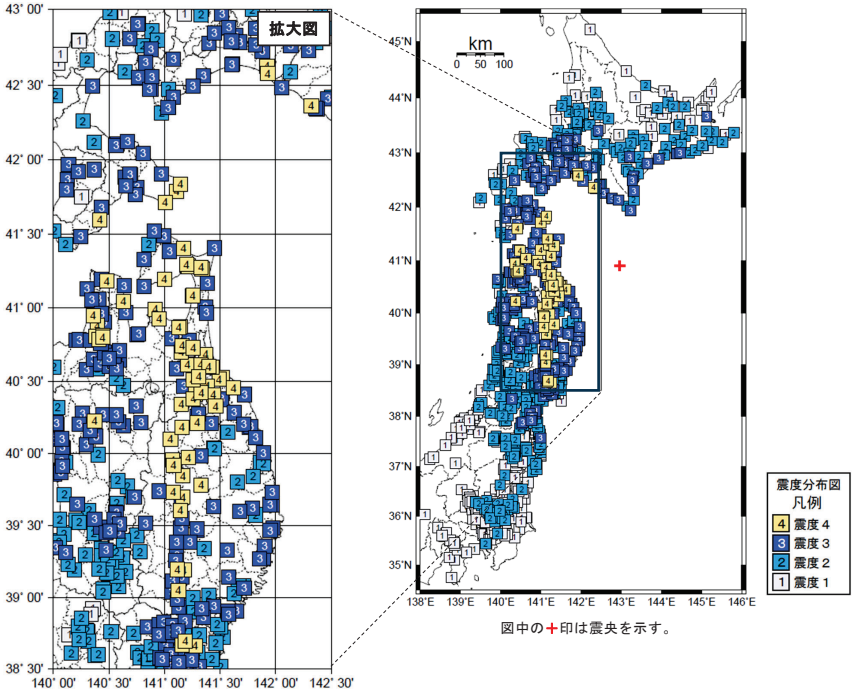


図３－３　2025 年 12 月 12 日 11 時 44 分　青森県東方沖の地震（M6.9、最大震度４）の震度分布図

気象庁作成

（４）長周期地震動

2025 年 12 月８日以降に青森県東方沖を震源とする一連の地震活動で、長周期地震動階級１以上を観測した地震は３回であった（表４－１、2026 年１月１日現在）。

表４－１　長周期地震動階級１以上を観測した地震

長周期地震動階級1以上を観測した地震				
発生日時	震央地名	マグニチュード	最大震度	最大長周期地震動階級
2025 年 12 月 08 日 23 時 15 分	青森県東方沖	7.5	６強	３
2025 年 12 月 09 日 06 時 52 分	青森県東方沖	6.6	４	１
2025 年 12 月 12 日 11 時 44 分	青森県東方沖	6.9	４	２

以下では、12 月８日 23 時 15 分青森県東方沖の地震（M7.5）について、観測された長周期地震動階級と地震波形等をまとめたものである。

ア．観測した長周期地震動階級

この地震により、北海道～関東地方にかけて長周期地震動階級３～１を観測した（図４－１、表４－３）。

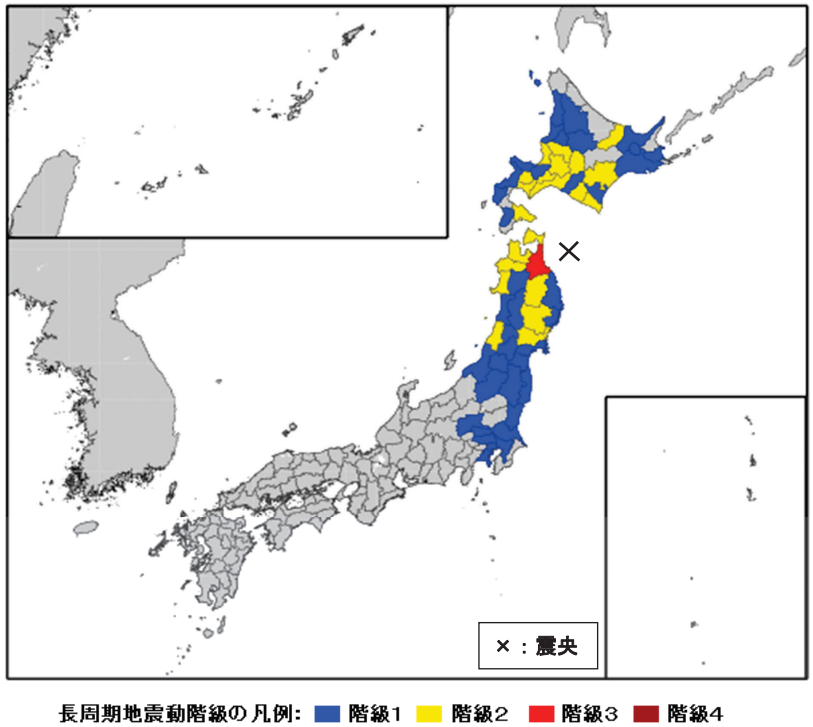


図４－１　長周期地震動階級１以上を観測した地域の分布図

気象庁作成

表４－２　長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級１	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	－
	長周期地震動階級２	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	－
	長周期地震動階級３	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級４	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和６年 12 月号の付録 10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。
https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202412/202412furoku_10.pdf

表４－３　長周期地震動階級１以上を観測した地域・観測点（続く）

2025 年 12 月8日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
青森県	3	青森県三八上北	六ヶ所村尾駮	５弱
	2		六ヶ所村出戸	4
			五戸町古舘	５強
	1		八戸市島守	4
			八戸市湊町	５強
	2	青森県津軽北部	青森市花園	4
			五所川原市栄町	５弱
			平内町小湊	５弱
	1		五所川原市太田	4
	2	青森県津軽南部	弘前市和田町	3
			弘前市弥生	3
			鰺ヶ沢町舞戸町鳴戸	4
	1		深浦町深浦岡町	3
	2	青森県下北	むつ市金曲	５強
			東通村砂子又蒲谷地	５弱
	1		むつ市大畑町奥薬研	4

気象庁作成

表４－３　長周期地震動階級１以上を観測した地域・観測点（続く）

2025 年 12 月8日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5				
都道府県	長周期 地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
北海道	2	石狩地方北部	石狩市花川	4
	1		石狩市聚富	3
	2	石狩地方南部	千歳市北栄	５弱
			新千歳空港	５弱
	1		恵庭市漁平	4
	2	渡島地方東部	渡島森町御幸町	3
	1		函館市美原	4
			七飯町桜町	4
	2	後志地方東部	倶知安町南１条	3
		空知地方中部	芦別市旭町	3
			滝川市大町	3
		空知地方南部	夕張市若菜	4
			岩見沢市５条	4
			美唄市西５条	4
		上川地方南部	富良野市若松町	4
		北見地方	北見市公園町	4
		胆振地方西部	胆振伊達市梅本	4
		胆振地方中東部	苫小牧市末広町	５弱
			白老町竹浦	５弱
			厚真町鹿沼	５弱
		日高地方中部	新ひだか町静内山手町	５弱
			新ひだか町静内御園	4
		日高地方東部	浦河町野深	4
			浦河町潮見	５弱
	1	日高地方東部	えりも町本町	3
	2	十勝地方中部	帯広市東４条	4
			十勝清水町南４条	4
	1	十勝地方中部	幕別町忠類明和	3
			本別町北２丁目	3
		石狩地方中部	札幌中央区北２条	3
			江別市高砂町	4
		檜山地方	檜山江差町姥神	3
		後志地方北部	余市町朝日町	3
		後志地方西部	岩内町高台	3
		空知地方北部	北竜町竜西	3

気象庁作成

表４－３　長周期地震動階級１以上を観測した地域・観測点（続く）

2025 年 12 月8日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5				
都道府県	長周期 地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
北海道	1	上川地方北部	士別市東６条	3
			名寄市大通	2
		上川地方中部	旭川市宮前１条	3
		上川地方南部	上富良野町大町	3
		留萌地方中北部	羽幌町南３条	2
			初山別村有明	2
		留萌地方南部	留萌市大町	2
		北海道利尻礼文	利尻富士町鬼脇	2
		網走地方	美幌町東３条	3
			斜里町本町	3
		日高地方西部	平取町仁世宇	3
		十勝地方南部	広尾町並木通	4
			広尾町白樺通	3
		釧路地方北部	弟子屈町美里	3
		釧路地方中南部	厚岸町尾幌	3
		根室地方中部	別海町常盤	3
岩手県	2	岩手県内陸北部	二戸市福岡	4
			八幡平市大更	4
	1		盛岡市山王町	4
			雫石町西根上駒木野	3
			葛巻町葛巻元木	4
	2	岩手県内陸南部	奥州市水沢大鐘町	4
	1		北上市柳原町	4
		岩手県沿岸北部	久慈市川崎町	4
			久慈市枝成沢	５弱
			岩手洋野町種市	4
		岩手県沿岸南部	大船渡市大船渡町	3
			大船渡市猪川町	3
			釜石市只越町	3
宮城県	2	宮城県北部	登米市中田町	4
			大崎市古川三日町	4
			涌谷町新町裏	4
	1	宮城県北部	大崎市古川大崎	3
		宮城県南部	仙台空港	3
			丸森町上滝	2

気象庁作成

表４－３　長周期地震動階級１以上を観測した地域・観測点（続く）

2025 年 12 月8日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5				
都道府県	長周期 地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
宮城県	1	宮城県中部	仙台宮城野区五輪	3
			松島町高城	4
秋田県	2	秋田県沿岸北部	能代市緑町	3
	1		五城目町西磯ノ目	3
		秋田県沿岸南部	秋田市山王	3
			秋田市雄和女米木	3
			由利本荘市石脇	3
		秋田県内陸北部	大館市比内町味噌内	3
			北秋田市花園町	3
		秋田県沿岸北部	男鹿市男鹿中	2
		秋田県内陸南部	横手市雄物川町今宿	3
			湯沢市沖鶴	3
			仙北市角館町中菅沢	3
			秋田美郷町六郷東根	3
山形県	2	山形県庄内	酒田市亀ケ崎	3
			遊佐町遊佐	3
	1		鶴岡市馬場町	3
			酒田市飛島	2
			遊佐町小原田	3
		山形県最上	新庄市東谷地田町	3
		山形県村山	河北町西里	3
		山形県置賜	米沢市駅前	2
			白鷹町黒鴨	2
福島県	1	福島県中通り	大玉村南小屋	2
		福島県浜通り	南相馬市原町区三島町	3
			浪江町幾世橋	3
		福島県会津	会津若松市材木町	2
			猪苗代町城南	2
茨城県	1	茨城県北部	水戸市金町	2
			常陸大宮市中富町	2
		茨城県南部	土浦市常名	3
			潮来市堀之内	2
			筑西市舟生	3
			坂東市岩井	2
			鉾田市鉾田	2

気象庁作成

表４－３　長周期地震動階級１以上を観測した地域・観測点（続き）

2025 年 12 月8日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5				
都道府県	長周期 地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
茨城県	1	茨城県南部	利根町布川	2
群馬県	1	群馬県南部	板倉町板倉	2
埼玉県	1	埼玉県北部	熊谷市桜町	2
			本庄市児玉町	2
			久喜市下早見	2
		埼玉県南部	川越市旭町	2
			春日部市粕壁＊	3
			川越市新宿町＊	2
千葉県	1	千葉県北西部	千葉中央区中央港	3
			千葉美浜区ひび野	2
			柏市旭町	2
			浦安市日の出	3
			市川市大町＊	2
			成田市中台＊	2
			市川市本行徳＊	3
			市原市姉崎＊	2
			千葉美浜区稲毛海岸＊	2
東京県	1	東京都 23 区	東京港区海岸	2
			東京新宿区西新宿	2
			東京杉並区阿佐谷	2
			東京江戸川区中央	3
神奈川県	1	神奈川県東部	横浜鶴見区大黒ふ頭	－
新潟県	1	新潟県下越	新潟空港	2
			新潟中央区美咲町	2
			新潟西蒲区役所	2

気象庁作成

イ．地震波形等

図４－２に、青森県六ヶ所村尾駮における地震波形、絶対速度応答スペクトル（Sva）及び絶対加速度応答スペクトルを示す。六ヶ所村尾駮では、周期区分の２秒台で長周期地震動階級３を観測し、周期 2.6 秒で Sva が最大値を示した（図４－２、表４－４）。

また、図４－２及び表４－４で掲載した観測点の位置および震央との位置関係を図４－３に示す。

図４－２の説明

① 観測点名，地域名，地震波形の観測開始時間，観測時間，観測点における震度，観測点における長周期地震動階級，観測点における長周期地震動の周期別階級（周期区分別の絶対速度応答スペクトルの最大値から長周期地震動階級を求めたもの）．周期区分は，周期 1.6 秒～周期 1.8 秒を１秒台，周期 2.0 秒～周期 2.8 秒を２秒台，周期 3.0 秒～周期 3.8 秒を３秒台，周期 4.0 秒～周期 4.8 秒を４秒台，周期 5.0 秒～周期 5.8 秒を５秒台，周期 6.0 秒～周期 6.8 秒を６秒台，周期 7.0 秒～周期 7.8 秒を７秒台と表示している．

② 絶対速度応答スペクトルグラフ．横軸は周期（秒），縦軸は速度応答値（単位は cm/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の３成分及び水平動合成（黒）について表示した．減衰定数 5%はビルの設計に一般的に用いられている値である．

③ 絶対加速度応答スペクトルグラフ．横軸は周期（秒），縦軸は加速度応答値（単位は cm/sec/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の３ 成分及び水平動合成（黒）について表示した．減衰定数 5%はビルの設計に一般的に用いられている値である．

④ 速度波形表示．成分は、上から南北成分（NS），東西成分（EW），上下成分（UD）である．３成分とも同じ縮尺で示す．

⑤ 加速度波形表示．表示は④と同じ．

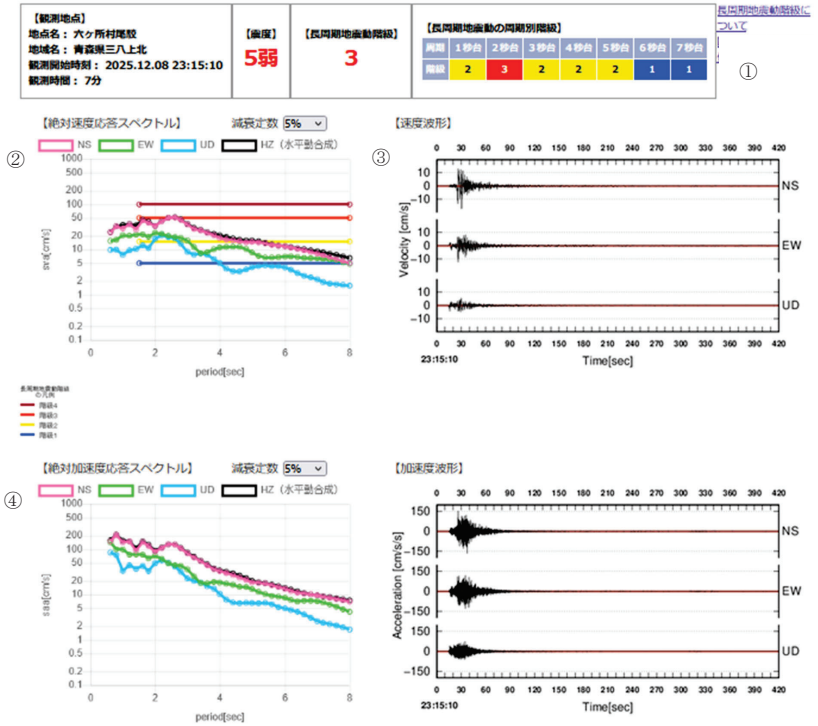


図４－２　六ヶ所村尾駮で観測した波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトル
（ただし、速度波形、加速度波形は 23 時 15 分 10 秒からの７分間を表示）

気象庁作成

表４－４　長周期地震動階級２以上を観測した観測点
（絶対速度応答スペクトル（Sva）の大きい順に表示）（続く）

2025 年 12 月８日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5

都道府県	長周期地震動階級	最大 Sva (cm/s)	最大 Sva 対応周期(秒)	地域名称	観測点名称	震度
青森県	3	51.73	2.6	青森県三八上北	六ヶ所村尾駮	５弱
北海道	2	47.72	1.6	石狩地方南部	千歳市北栄	５弱
北海道	2	47.09	3.0	胆振地方中東部	苫小牧市末広町	５弱
青森県	2	46.01	1.6	青森県三八上北	五戸町古舘	５強
青森県	2	44.82	2.4	青森県津軽北部	青森市花園	4
北海道	2	41.84	1.6	石狩地方南部	新千歳空港	５弱
青森県	2	36.47	2.8	青森県津軽北部	五所川原市栄町	５弱
青森県	2	33.69	2.6	青森県津軽南部	鰺ヶ沢町舞戸町鳴戸	4
北海道	2	32.05	3.0	石狩地方北部	石狩市花川	4
青森県	2	30.77	2.6	青森県津軽北部	平内町小湊	５弱
青森県	2	30.41	2.0	青森県下北	むつ市金曲	５強
宮城県	2	30.13	1.6	宮城県北部	涌谷町新町裏	4
岩手県	2	29.48	1.6	岩手県内陸北部	二戸市福岡	4
北海道	2	26.22	1.8	十勝地方中部	帯広市東４条	4
宮城県	2	25.92	1.6	宮城県北部	登米市中田町	4
青森県	2	25.63	5.6	青森県津軽南部	弘前市和田町	3
青森県	2	24.82	5.4	青森県津軽南部	弘前市弥生	3
北海道	2	24.76	1.6	胆振地方中東部	厚真町鹿沼	５弱
北海道	2	24.64	2.2	日高地方東部	浦河町野深	4
秋田県	2	23.68	7.0	秋田県沿岸北部	能代市緑町	3
青森県	2	23.53	1.6	青森県下北	東通村砂子又蒲谷地	５弱
山形県	2	21.82	3.0	山形県庄内	酒田市亀ケ崎	3
北海道	2	21.35	1.6	十勝地方中部	十勝清水町南４条	4
北海道	2	20.67	2.2	北見地方	北見市公園町	4
北海道	2	20.44	1.8	日高地方中部	新ひだか町静内御園	4
青森県	2	20.21	2.2	青森県三八上北	六ヶ所村出戸	4
岩手県	2	19.85	1.6	岩手県内陸北部	八幡平市大更	4
北海道	2	19.69	1.6	日高地方東部	浦河町潮見	５弱
北海道	2	19.44	3.4	空知地方中部	滝川市大町	3
北海道	2	19.19	1.8	後志地方東部	倶知安町南１条	3
北海道	2	18.78	3.0	渡島地方東部	渡島森町御幸町	3
北海道	2	18.47	2.6	空知地方南部	岩見沢市５条	4
北海道	2	17.69	4.0	胆振地方中東部	白老町竹浦	５弱

気象庁作成

表４－４　長周期地震動階級２以上を観測した観測点
（絶対速度応答スペクトル（Sva）の大きい順に表示）（続き）

2025 年 12 月8日 23 時 15 分 青森県東方沖 北緯 40 度 58.0 秒 東経 142 度 17.2 秒 54 km M7.5						
都道府県	長周期地震動階級	最大 Sva (cm/s)	最大 Sva 対応周期(秒)	地域名称	観測点名称	震度
宮城県	2	17.37	3.0	宮城県北部	大崎市古川三日町	4
岩手県	2	16.97	3.0	岩手県内陸南部	奥州市水沢大鐘町	4
山形県	2	16.91	2.2	山形県庄内	遊佐町遊佐	3
北海道	2	16.16	1.8	上川地方南部	富良野市若松町	3
北海道	2	16.15	2.8	空知地方南部	夕張市若菜	4
北海道	2	15.91	3.0	空知地方中部	芦別市旭町	3
北海道	2	15.79	1.6	空知地方南部	美唄市西５条	4
北海道	2	15.55	2.0	日高地方中部	新ひだか町静内山手町	５弱
北海道	2	15.11	2.4	胆振地方西部	胆振伊達市梅本	4

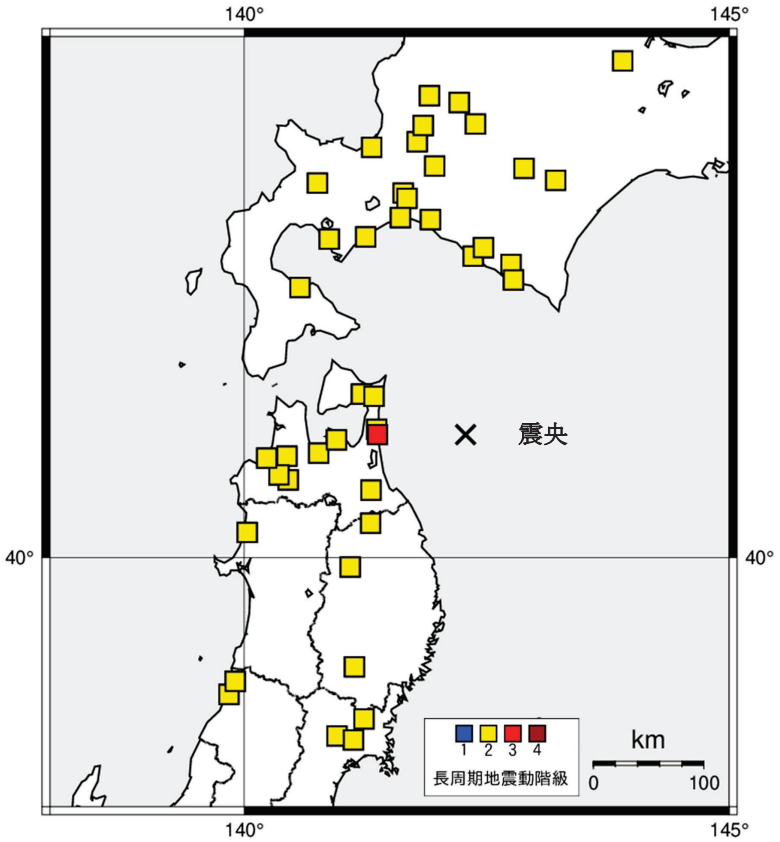


図４－３　長周期地震動階級２以上を観測した観測点の位置及び震央との位置関係

気象庁作成

（５）緊急地震速報の内容

・12 月８日 23 時 15 分　青森県東方沖の地震（M7.5）

12 月８日 23 時 15 分に発生した青森県東方沖の地震（M7.5）に対して発表した緊急地震速報について、その内容の詳細を以下の表及び図により示す。

表５－１　発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和 7 年 12 月 08 日 23 時 15 分 10.1 秒	青森県東方沖	40° 58.0′	142° 17.2′	54km	7.5	６強

表５－２　緊急地震速報の詳細（緊急地震速報（警報）は背景が灰色のときに発表）（続く）

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度および長周期地震動階級
地震波検知時刻	23 時 15 分 19.9 秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	23 時 15 分 23.4 秒	3.5	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	5.7	※1
第 2 報	**23 時 15 分 24.0 秒**	**4.1**	**青森県東方沖**	**40.9**	**142.3**	**50km**	**6.4**	**※2**
第 3 報	23 時 15 分 24.5 秒	4.6	青森県東方沖	40.9	142.3	50km	6.7	※3
第 4 報	23 時 15 分 24.6 秒	4.7	青森県東方沖	41.0	142.3	50km	6.7	※4
第 5 報	23 時 15 分 25.3 秒	5.4	青森県東方沖	41.0	142.3	50km	6.8	※5
第 6 報	23 時 15 分 25.5 秒	5.6	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	6.8	※6
第 7 報	23 時 15 分 26.4 秒	6.5	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	6.9	※7
第 8 報	23 時 15 分 27.5 秒	7.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.0	※8
第 9 報	23 時 15 分 28.3 秒	8.4	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.0	※9
第 10 報	23 時 15 分 29.4 秒	9.5	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.1	※10
第 11 報	23 時 15 分 30.0 秒	10.1	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.1	※10
第 12 報	23 時 15 分 30.3 秒	10.4	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.0	※9
第 13 報	23 時 15 分 31.4 秒	11.5	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.1	※10
第 14 報	23 時 15 分 32.4 秒	12.5	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.2	※11
第 15 報	23 時 15 分 33.6 秒	13.7	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※12
第 16 報	23 時 15 分 34.5 秒	14.6	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.2	※11
第 17 報	23 時 15 分 34.9 秒	15.0	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※12
第 18 報	23 時 15 分 35.3 秒	15.4	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.2	※11
第 19 報	23 時 15 分 35.5 秒	15.6	青森県東方沖	41.0	142.2	50km	7.1	※10
第 20 報	23 時 15 分 36.6 秒	16.7	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※12
第 21 報	23 時 15 分 37.4 秒	17.5	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※13
第 22 報	23 時 15 分 45.3 秒	25.4	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.1	※14
第 23 報	23 時 15 分 47.5 秒	27.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.1	※14
第 24 報	23 時 15 分 48.4 秒	28.5	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※13
第 25 報	23 時 15 分 50.1 秒	30.2	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※13

気象庁作成

表５－２　緊急地震速報の詳細（緊急地震速報（警報）は背景が灰色のときに発表）（続き）

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度および長周期地震動階級
地震波検知時刻	23 時 15 分 19.9 秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 26 報	**23 時 16 分 01.0 秒**	**41.1**	**青森県東方沖**	**41.0**	**142.2**	**60km**	**7.2**	**※15**
第 27 報	23 時 16 分 02.5 秒	42.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※16
第 28 報	23 時 16 分 05.5 秒	45.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※17
第 29 報	23 時 16 分 07.5 秒	47.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※18
第 30 報	23 時 16 分 08.5 秒	48.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※19
第 31 報	23 時 16 分 11.5 秒	51.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※20
第 32 報	23 時 16 分 12.5 秒	52.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※21
第 33 報	23 時 16 分 18.5 秒	58.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※22
第 34 報	23 時 16 分 19.8 秒	59.9	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※23
第 35 報	23 時 16 分 25.5 秒	65.6	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※24
第 36 報	23 時 16 分 29.4 秒	69.5	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※25
第 37 報	23 時 16 分 43.0 秒	83.1	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※26
第 38 報	23 時 16 分 51.1 秒	91.2	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※26
第 39 報	23 時 17 分 11.0 秒	111.1	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※26
第 40 報	23 時 17 分 31.2 秒	131.3	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※26
第 41 報	**23 時 17 分 51.6 秒**	**151.7**	**青森県東方沖**	**41.0**	**142.2**	**60km**	**7.2**	**※27**
第 42 報	23 時 18 分 11.6 秒	171.7	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※27
第 43 報	23 時 18 分 31.1 秒	191.2	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※27
第 44 報	23 時 18 分 51.2 秒	211.3	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※27
第 45 報	23 時 19 分 11.0 秒	231.1	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※27
第 46 報	23 時 19 分 26.0 秒	246.1	青森県東方沖	41.0	142.2	60km	7.2	※27

※1　震度４程度　青森県下北、青森県三八上北

震度３から４程度　渡島地方東部

※2　震度５弱程度　青森県三八上北

震度４程度　青森県下北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、青森県津軽北部、渡島地方東部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度３から４程度　日高地方東部、日高地方中部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部

※3　震度５弱程度　青森県三八上北、青森県下北

震度４程度　岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、青森県津軽北部、渡島地方東部、日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、胆振地方中東部、日高地方西部、秋田県沿岸北部、石狩地方中部、宮城県中部

震度３から４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、秋田県内陸南部、宮城県北部

気象庁作成

	長周期地震動階級２	青森県津軽北部
	長周期地震動階級１	青森県三八上北、青森県下北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、日高地方中部、胆振地方中東部、秋田県沿岸北部、石狩地方南部、宮城県北部、石狩地方北部、山形県庄内
※4	震度５弱程度	青森県下北、青森県三八上北
	震度４から５弱程度	渡島地方東部
	震度４程度	岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、青森県津軽北部、日高地方東部、日高地方中部、青森県津軽南部、胆振地方中東部、日高地方西部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、石狩地方中部
	震度３から４程度	秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県内陸南部、空知地方南部、宮城県中部
	長周期地震動階級２	青森県津軽北部
	長周期地震動階級１	青森県下北、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、十勝地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、山形県庄内
※5	震度５弱程度	青森県下北、青森県三八上北、渡島地方東部
	震度４程度	岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、青森県津軽北部、日高地方東部、日高地方中部、青森県津軽南部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、日高地方西部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、空知地方南部、石狩地方中部、宮城県中部
	震度３から４程度	秋田県内陸北部、十勝地方南部、岩手県沿岸南部、檜山地方、胆振地方西部、秋田県内陸南部、宮城県北部
	長周期地震動階級２	青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部
	長周期地震動階級１	岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方東部、日高地方中部、青森県津軽南部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、秋田県内陸北部、宮城県北部、十勝地方中部、後志地方東部、石狩地方北部、山形県庄内
※6	震度５弱から５強程度	青森県下北、青森県三八上北
	震度５弱程度	渡島地方東部
	震度４から５弱程度	青森県津軽北部
	震度４程度	岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、檜山地方、日高地方西部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、宮城県中部
	震度３から４程度	岩手県沿岸南部、十勝地方南部、胆振地方西部、宮城県北部
	長周期地震動階級２	青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部

気象庁作成

	長周期地震動階級１	岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部、十勝地方中部、後志地方東部、石狩地方北部、山形県庄内
※7	震度５弱から５強程度	青森県下北、青森県三八上北
	震度５弱程度	渡島地方東部
	震度４から５弱程度	岩手県内陸北部、青森県津軽北部、岩手県沿岸北部
	震度４程度	日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、秋田県内陸北部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、檜山地方、日高地方西部、石狩地方南部、胆振地方西部、秋田県沿岸北部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、宮城県中部
	震度３から４程度	秋田県沿岸南部
	長周期地震動階級２	青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部
	長周期地震動階級１	岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、秋田県内陸北部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、胆振地方西部、秋田県沿岸北部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、秋田県沿岸南部、十勝地方中部、後志地方東部、空知地方中部、山形県庄内
※8	震度５強程度	青森県下北、青森県三八上北
	震度５弱程度	岩手県沿岸北部、青森県津軽北部、渡島地方東部
	震度４から５弱程度	岩手県内陸北部
	震度４程度	日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部
	震度３から４程度	十勝地方中部
	長周期地震動階級２	青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部
	長周期地震動階級１	岩手県沿岸北部、渡島地方東部、岩手県内陸北部、日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、胆振地方西部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、十勝地方中部、後志地方東部、後志地方西部、上川地方南部、空知地方中部、山形県庄内
※9	震度５強程度	青森県下北、青森県三八上北

気象庁作成

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽北部、渡島地方東部

震度４から５弱程度　岩手県内陸北部

震度４程度　日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、秋田県内陸北部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県沿岸南部、十勝地方南部、岩手県内陸南部、檜山地方、日高地方西部、石狩地方南部、胆振地方西部、秋田県沿岸北部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、宮城県中部

震度３から４程度　渡島地方北部、秋田県沿岸南部、後志地方北部

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部

長周期地震動階級１　岩手県沿岸北部、渡島地方東部、岩手県内陸北部、日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、秋田県内陸北部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、胆振地方西部、秋田県沿岸北部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、秋田県沿岸南部、十勝地方中部、後志地方東部、後志地方西部、上川地方南部、空知地方中部、山形県庄内

※10 震度５強程度　青森県三八上北、青森県下北

震度５弱から５強程度 渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、青森県津軽北部

震度４程度　日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、秋田県内陸北部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県沿岸南部、十勝地方南部、檜山地方、日高地方西部、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部

震度３から４程度　十勝地方中部、後志地方東部、十勝地方北部

長周期地震動階級２　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、日高地方東部、青森県津軽南部、日高地方中部、秋田県内陸北部、胆振地方中東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方中部、石狩地方北部、宮城県北部、十勝地方中部、後志地方東部、後志地方西部、上川地方南部、空知地方中部、山形県庄内

※11 震度５強から６弱程度 青森県下北、青森県三八上北

震度５弱から５強程度 渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県内陸北部、青森県津軽北部、岩手県沿岸北部

震度４から５弱程度　胆振地方中東部、石狩地方中部

気象庁作成

震度４程度　日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、十勝地方南部、檜山地方、日高地方西部、十勝地方中部、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部

震度３から４程度　後志地方東部、十勝地方北部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内、宮城県南部、福島県中通り

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、岩手県内陸北部、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県沿岸北部、石狩地方中部、日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、十勝地方中部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※12 震度５強から６弱程度 青森県下北、青森県三八上北

震度５弱から５強程度 青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度４程度　日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※13 震度５強から６弱程度 青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度 青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、胆振地方中東部、石狩地方中部

気象庁作成

震度４程度　日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※14 震度６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　渡島地方東部

震度５弱程度　青森県津軽北部、岩手県沿岸北部

震度４から５弱程度　石狩地方中部

震度４程度　日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、渡島地方西部、胆振地方中東部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部

震度３から４程度　十勝地方中部、後志地方東部、十勝地方北部、宮城県南部、福島県中通り

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、石狩地方中部、日高地方東部、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、日高地方中部、胆振地方中東部、岩手県内陸南部、石狩地方南部、胆振地方西部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、宮城県北部、十勝地方中部、後志地方東部、後志地方西部、上川地方南部、空知地方中部、山形県庄内

※15 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部

気象庁作成

震度４から５弱程度　日高地方中部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度４程度　日高地方東部、秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※16 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部

震度４から５弱程度　日高地方中部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、石狩地方南部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※17 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、石狩地方南部

気象庁作成

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※18 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、石狩地方南部、十勝地方南部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※19 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、十勝地方南部

気象庁作成

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、空知地方南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※20 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、十勝地方南部、空知地方南部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、胆振地方西部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、空知地方南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、胆振地方西部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※21 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

気象庁作成

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、十勝地方南部、空知地方南部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、宮城県北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、空知地方南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※22 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、十勝地方南部、空知地方南部、宮城県北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、空知地方南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※23 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

気象庁作成

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、空知地方南部、宮城県北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、空知地方南部、秋田県内陸北部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※24 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、空知地方南部、宮城県北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り、上川地方南部

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、空知地方南部、秋田県内陸北部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※25 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

気象庁作成

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、空知地方南部、宮城県北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り、上川地方南部、空知地方北部、空知地方中部

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、空知地方南部、秋田県内陸北部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※26 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、空知地方南部、宮城県北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り、上川地方南部、空知地方北部、空知地方中部、網走地方、北見地方

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、空知地方南部、秋田県内陸北部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

※27 震度５強から６弱程度　青森県下北、青森県三八上北

震度５強程度　胆振地方中東部、石狩地方南部、岩手県内陸北部

気象庁作成

震度５弱から５強程度　青森県津軽北部、渡島地方東部

震度５弱程度　岩手県沿岸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、十勝地方南部、群馬県南部、群馬県北部、空知地方南部、宮城県北部、埼玉県北部

震度４から５弱程度　日高地方中部、石狩地方中部

震度４程度　秋田県内陸北部、渡島地方西部、岩手県沿岸南部、日高地方西部、檜山地方、十勝地方中部、渡島地方北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、十勝地方北部、石狩地方北部、後志地方北部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り、上川地方南部、空知地方北部、空知地方中部、網走地方、北見地方

震度３から４程度　後志地方東部、後志地方西部、釧路地方中南部、山形県庄内

長周期地震動階級２　青森県下北、青森県三八上北、青森県津軽北部、胆振地方中東部、石狩地方南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　渡島地方東部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部、日高地方中部、石狩地方中部、青森県津軽南部、日高地方東部、胆振地方西部、岩手県内陸南部、空知地方南部、秋田県内陸北部、十勝地方中部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方西部、山形県庄内、上川地方南部、空知地方中部、北見地方、新潟県下越

気象庁作成

図５－１　警報第１報発表から主要動到達までの時間(秒)及び警報発表対象地域の分布

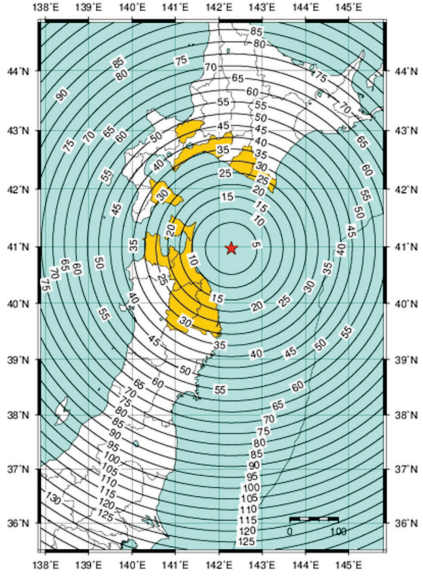


図５－２　警報第２報発表から主要動到達までの時間(秒)及び警報発表対象地域の分布

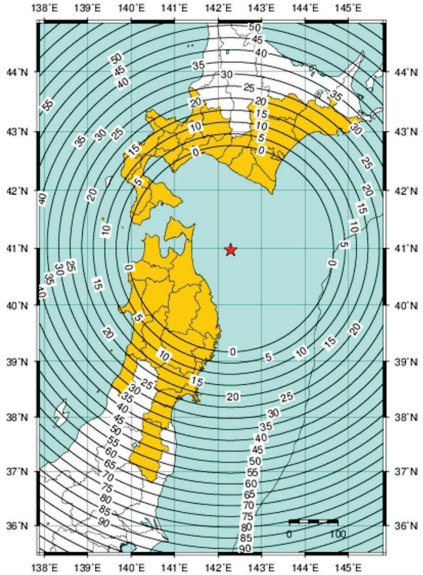
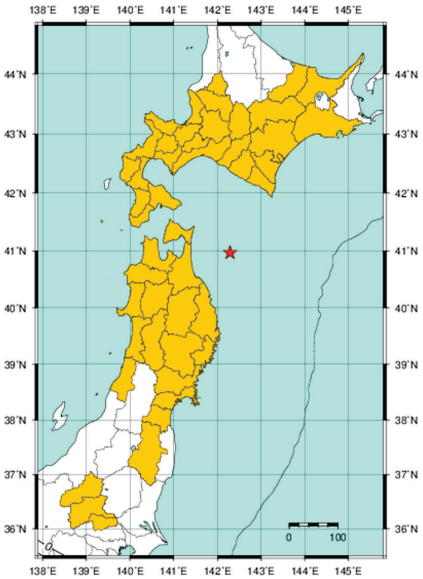


図５－３　警報第３報発表から主要動到達までの時間(秒)及び警報発表対象地域の分布



緊急地震速報（警報）を発表した地域

★：震央

気象庁作成

・12 月 12 日 11 時 44 分　青森県東方沖の地震（M6.9）

12 月 12 日 11 時 44 分に発生した青森県東方沖の地震（M6.9）に対して発表した緊急地震速報について、その内容の詳細を以下の表及び図により示す。

表５－３　発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和 7 年 12 月 12 日 11 時 44 分 13.4 秒	青森県東方沖	40° 54.0′	142° 57.9′	17km	6.9	4

表５－４　緊急地震速報の詳細（緊急地震速報（警報）は背景が灰色のときに発表）（続く）

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度および長周期地震動階級
地震波検知時刻	11 時 44 分 19.9 秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	11 時 44 分 25.6 秒	5.7	青森県東方沖	40.9	143.0	20km	6.2	※1
第 2 報	11 時 44 分 26.3 秒	6.4	青森県東方沖	40.9	143.0	20km	6.2	※1
第 3 報	11 時 44 分 27.5 秒	7.6	青森県東方沖	40.9	143.0	20km	6.5	※2
第 4 報	11 時 44 分 29.5 秒	9.6	青森県東方沖	40.9	143.0	20km	6.6	※3
第 5 報	11 時 44 分 29.9 秒	10.0	青森県東方沖	40.9	143.0	20km	6.6	※3
第 6 報	11 時 44 分 30.3 秒	10.4	青森県東方沖	40.9	143.0	20km	6.6	※3
第 7 報	**11 時 44 分 31.4 秒**	**11.5**	**青森県東方沖**	**40.9**	**143.0**	**30km**	**6.8**	**※4**
第 8 報	11 時 44 分 32.4 秒	12.5	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.5	※5
第 9 報	11 時 44 分 34.5 秒	14.6	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.8	※4
第 10 報	11 時 44 分 35.3 秒	15.4	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.7	※6
第 11 報	11 時 44 分 37.6 秒	17.7	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.3	※7
第 12 報	11 時 44 分 42.2 秒	22.3	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.4	※8
第 13 報	11 時 44 分 44.5 秒	24.6	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.5	※5
第 14 報	11 時 44 分 46.4 秒	26.5	青森県東方沖	40.9	143.0	30km	6.6	※9
第 15 報	11 時 44 分 49.6 秒	29.7	青森県東方沖	40.9	143.0	40km	6.7	※10
第 16 報	11 時 44 分 50.0 秒	30.1	青森県東方沖	40.9	143.0	40km	6.7	※10
第 17 報	11 時 45 分 02.2 秒	42.3	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.5	※11
第 18 報	11 時 45 分 11.5 秒	51.6	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※12
第 19 報	11 時 45 分 15.5 秒	55.6	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※13
第 20 報	11 時 45 分 21.0 秒	61.1	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※14
第 21 報	11 時 45 分 22.5 秒	62.6	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※15
第 22 報	11 時 45 分 26.5 秒	66.6	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※16
第 23 報	11 時 45 分 37.1 秒	77.2	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※16
第 24 報	11 時 45 分 57.1 秒	97.2	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※16
第 25 報	11 時 46 分 17.1 秒	117.2	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※16

気象庁作成

表５－４　緊急地震速報の詳細（緊急地震速報（警報）は背景が灰色のときに発表）（続き）

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度および長周期地震動階級
地震波検知時刻	11 時 44 分 19.9 秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 26 報	11 時 46 分 37.0 秒	137.1	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※16
第 27 報	11 時 46 分 41.5 秒	141.6	青森県東方沖	40.9	142.9	50km	6.6	※16

※1　震度４程度　青森県三八上北、青森県下北

※2　震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、青森県下北、渡島地方東部

震度３から４程度　日高地方東部、岩手県内陸北部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部

※3　震度４程度　岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、渡島地方東部、岩手県内陸北部

震度３から４程度　日高地方中部、石狩地方中部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部

※4　震度４から５弱程度　青森県三八上北

震度４程度　岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県下北、日高地方中部、青森県津軽北部、渡島地方東部、胆振地方中東部、岩手県内陸北部、石狩地方中部

震度３から４程度　日高地方西部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、岩手県沿岸北部、青森県下北、日高地方中部、青森県津軽北部、胆振地方中東部、岩手県内陸北部、十勝地方中部、石狩地方南部、秋田県沿岸北部、石狩地方北部、宮城県北部、山形県庄内

※5　震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、青森県下北、渡島地方東部、岩手県内陸北部

震度３から４程度　日高地方東部、青森県津軽北部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部

※6　震度４程度　岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県三八上北、青森県下北、日高地方中部、青森県津軽北部、渡島地方東部、胆振地方中東部、岩手県内陸北部、石狩地方中部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、日高地方中部、青森県津軽北部、胆振地方中東部、十勝地方中部、石狩地方南部、宮城県北部

※7　震度４程度　青森県三八上北、青森県下北、渡島地方東部

震度３から４程度　岩手県沿岸北部

長周期地震動階級１　青森県津軽北部

※8　震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、青森県下北、渡島地方東部

震度３から４程度　岩手県内陸北部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県津軽北部

気象庁作成

※9　震度４程度　岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、渡島地方東部、岩手県内陸北部

震度３から４程度　日高地方中部、胆振地方中東部、石狩地方中部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部

※10　震度４程度　岩手県沿岸北部、日高地方東部、青森県三八上北、青森県下北、日高地方中部、青森県津軽北部、渡島地方東部、岩手県内陸北部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度３から４程度　日高地方西部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、日高地方中部、青森県津軽北部、胆振地方中東部、十勝地方中部、石狩地方南部、宮城県北部

※11　震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、日高地方東部、青森県下北、青森県津軽北部、渡島地方東部、胆振地方中東部、岩手県内陸北部、石狩地方中部

震度３から４程度　日高地方中部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部

※12　震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、日高地方東部、青森県下北、青森県津軽北部、日高地方中部、渡島地方東部、岩手県内陸北部、胆振地方中東部、石狩地方中部、青森県津軽南部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部

※13　震度５弱程度　岩手県内陸北部

震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、日高地方東部、青森県下北、青森県津軽北部、日高地方中部、渡島地方東部、胆振地方中東部、石狩地方中部、青森県津軽南部、石狩地方南部、岩手県内陸南部、秋田県内陸南部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部

※14　震度５弱程度　岩手県内陸北部

震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、日高地方東部、青森県下北、青森県津軽北部、日高地方中部、渡島地方東部、胆振地方中東部、石狩地方中部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、石狩地方南部、岩手県内陸南部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部

長周期地震動階級１　青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部

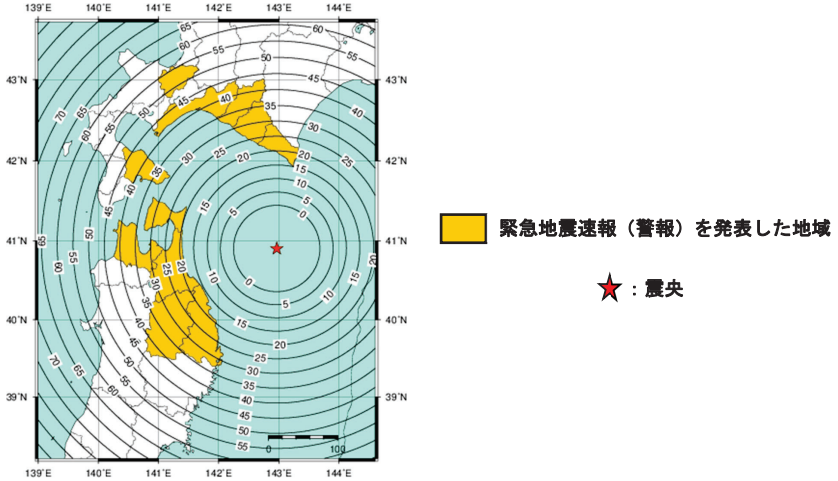
※15　震度５弱程度　岩手県内陸北部

震度４程度　岩手県沿岸北部、青森県三八上北、日高地方東部、青森県下北、青森県津軽北部、日高地方中部、渡島地方東部、胆振地方中東部、石狩地方中部、

気象庁作成

	秋田県内陸北部、青森県津軽南部、石狩地方南部、岩手県内陸南部、空知地方南部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部
長周期地震動階級１	青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部
※16 震度５弱程度	岩手県内陸北部
震度４程度	岩手県沿岸北部、青森県三八上北、日高地方東部、青森県下北、青森県津軽北部、日高地方中部、渡島地方東部、胆振地方中東部、石狩地方中部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、石狩地方南部、岩手県内陸南部、空知地方南部、宮城県北部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部
長周期地震動階級１	青森県三八上北、青森県下北、青森県津軽北部、石狩地方南部、宮城県北部

図５－４　警報第３報発表から主要動到達までの時間（秒）及び警報発表対象地域の分



気象庁作成

（６）津波

ア．2025年12月８日23時15分　青森県東方沖の地震（M7.5）

この地震により、岩手県の久慈港で64cm、北海道の浦河で50cmの津波を観測するなど北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測したほか、沖合でも津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、同日23時17分に北海道から岩手県にかけて津波注意報を発表し、23時23分に津波警報に切り上げて発表した。その後、９日02時45分に津波警報を津波注意報に切り替え、同日06時20分に津波注意報を解除した。精査後の津波観測値は以下のとおり。

表６－１　日本国内の津波観測値（2025 年 12 月８～９日）

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ（cm）
北海道	浜中町霧多布港	国土交通省港湾局	９日 00:--	９日 03:57	18
	釧路	気象庁	８日 23:--	９日 03:46	23
	浦河	国土交通省港湾局	８日 23:43	９日 00:39	50
	十勝港	国土交通省港湾局	８日 23:59	９日 01:31	30
	えりも町庶野*1	気象庁	８日 23:50	９日 00:16	0.3m
	苫小牧西港	国土交通省港湾局	９日 00:--	９日 01:29	27
	苫小牧東港	国土交通省港湾局	９日 00:05	９日 01:28	21
	白老港	国土交通省港湾局	８日 23:55	９日 01:22	26
	函館	気象庁	９日 00:15	９日 05:12	18
青森県	むつ小川原港	国土交通省港湾局	８日 23:--	８日 23:43	37
	八戸港	国土交通省港湾局	８日 23:47	９日 00:54	40
	久慈港	国土交通省港湾局	８日 23:39	９日 01:09	64
岩手県	宮古	気象庁	８日 23:44	８日 23:55	18
	釜石	海上保安庁	８日 23:50	９日 01:55	20
	大船渡	気象庁	９日 00:02	９日 00:08	13
	宮城牡鹿沖*2	防災科学技術研究所	９日 00:12	９日 00:19	0.1m
宮城県	石巻市鮎川	気象庁	９日 00:19	９日 00:42	17
	仙台港	国土交通省港湾局	９日 00:59	９日 01:05	20
福島県	相馬	国土地理院	９日 00:57	９日 03:55	20

－ は値が決定できないことを示す。
※観測値は、後日の精査により変更される場合がある。
※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検測した値。

*1 は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は 0.1m）。
*2 は沿岸付近に設置された海底津波計により観測された水圧を海面昇降に換算し、検潮所の観測値と同様の方法で読み取った値を示す（観測単位は 0.1m）。沿岸では津波は更に高くなる。

※津波観測に関する情報として発表した「渡島森町」、沖合の津波観測に関する情報として発表した「青森東方沖３０ｋｍＡ」、「岩手沖７０ｋｍＡ」、「宮城沖５０ｋｍＡ」「岩手釜石沖」、「宮城金華山沖」及び「気仙沼広田湾沖」については、精査を行った結果、津波の高さが微弱あるいは津波として判別できなかったため、本表には掲載していない。

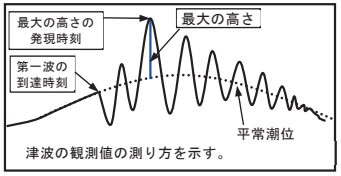


図６－１　津波の測り方の模式

気象庁作成

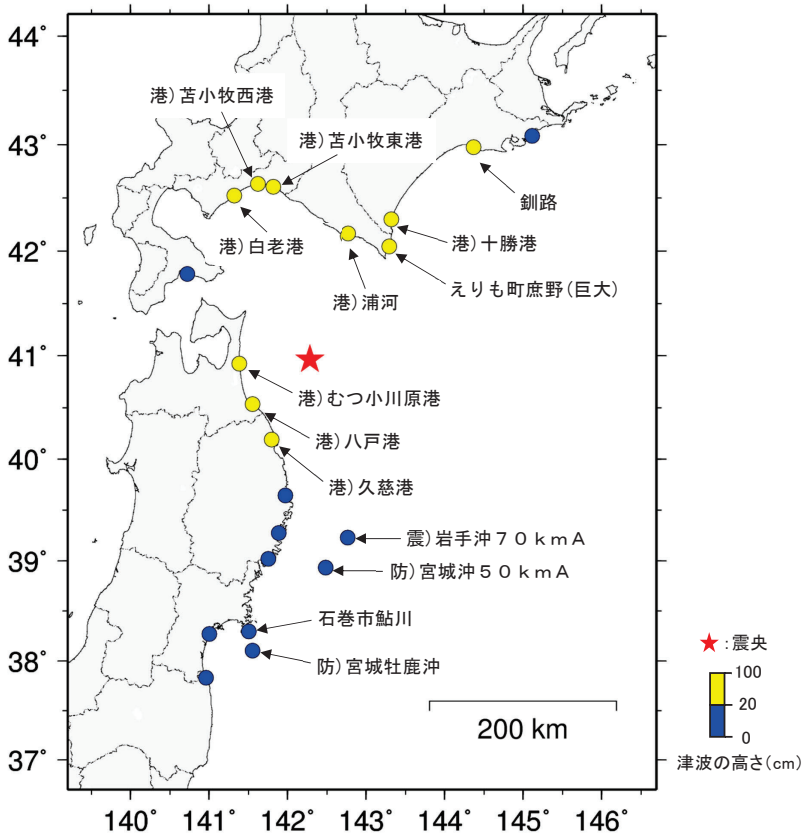


図６－２　津波を観測した地点
港）は国土交通省港湾局、防）は防災科学技術研究所、震）は東京大学地震研究所の所属であることを示す。

気象庁作成

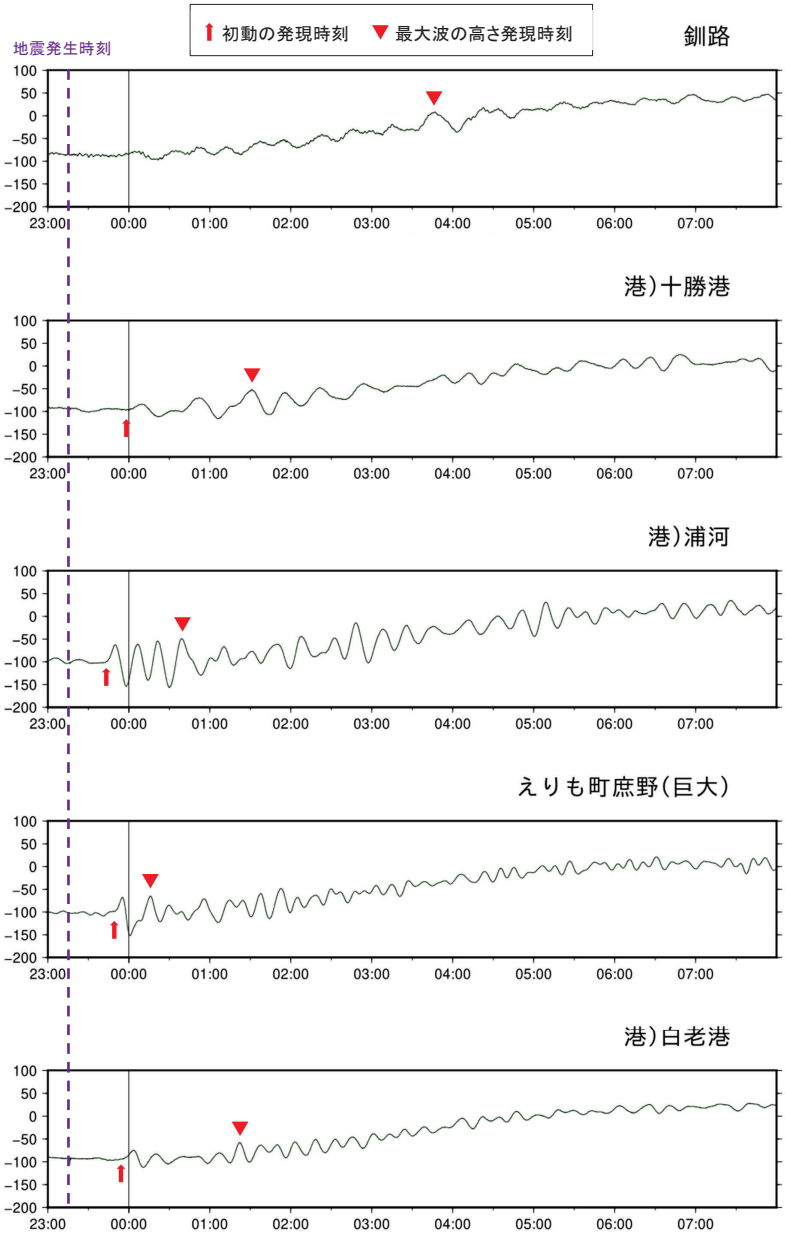


図６－３　沿岸観測点の津波波形（2025 年 12 月８日 23 時から９日 08 時まで）（続く）
縦軸の単位は cm。港）は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

気象庁作成

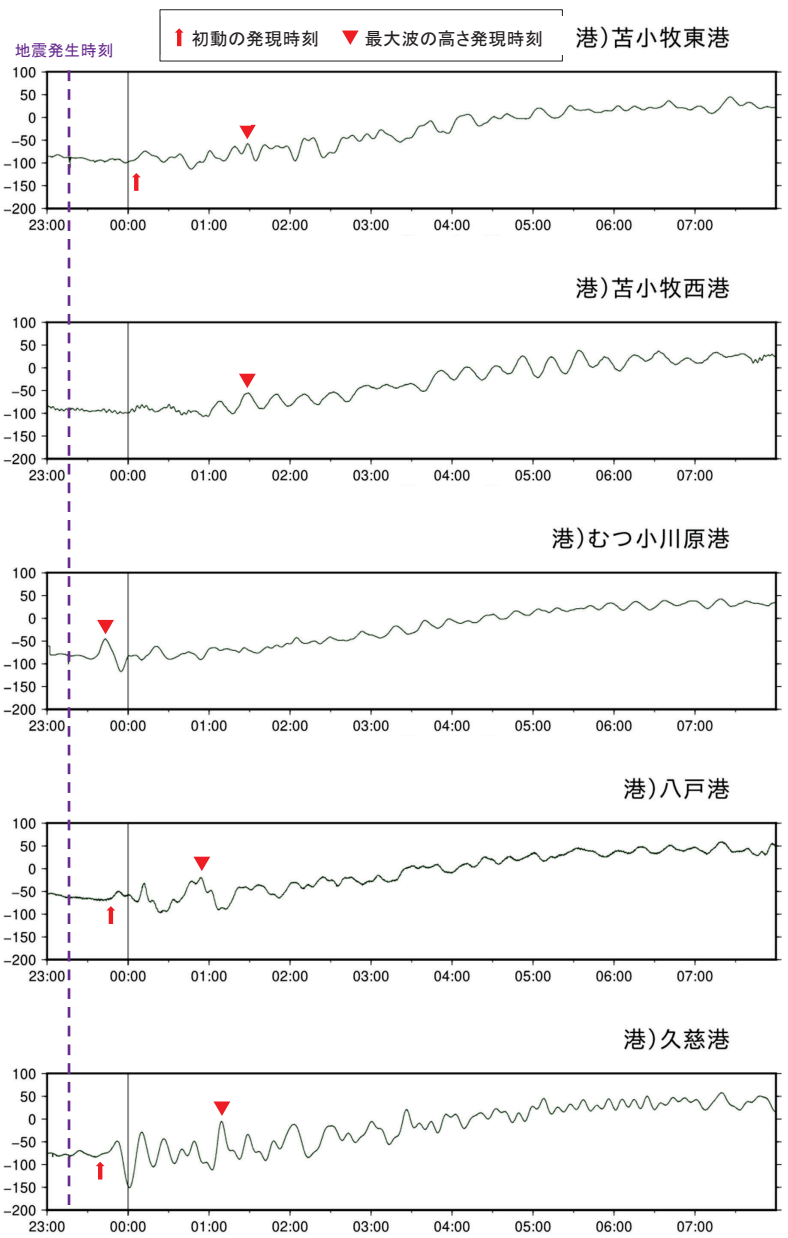


図６－３　沿岸観測点の津波波形（2025 年 12 月８日 23 時から９日 08 時まで）（続く）
縦軸の単位は cm。港）は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

気象庁作成

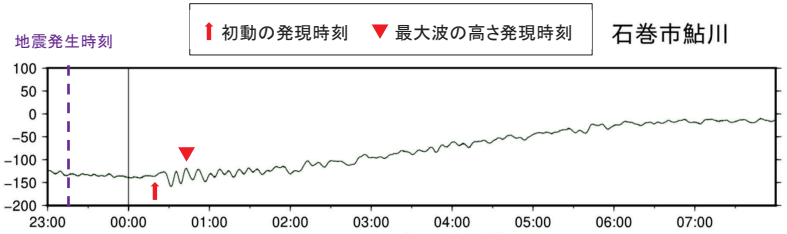


図６－３　沿岸観測点の津波波形（2025 年 12 月８日 23 時から９日 08 時まで）（続き）
縦軸の単位は cm。

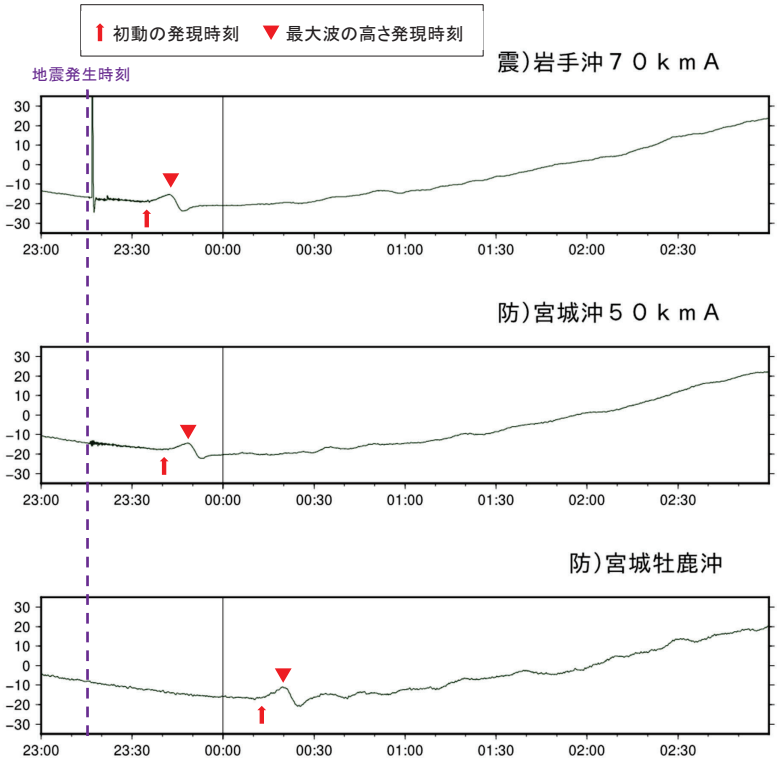


図６－４　沖合観測点の津波波形（2025 年 12 月８日 23 時から９日 03 時まで）
震)は東京大学地震研究所、防)は防災科学技術研究所の所属であることを表す。縦軸の高さは cm で、観測された水圧を海面昇降に換算した値。初動と最大波の発現時刻は、検潮所の観測値と同様の方法で読み取った時刻を示す。
なお、岩手沖７０ｋｍＡには、地震発生時に記録されたスパイク状の大きな水圧変化が見られるが、自然現象が原因ではない。

気象庁作成

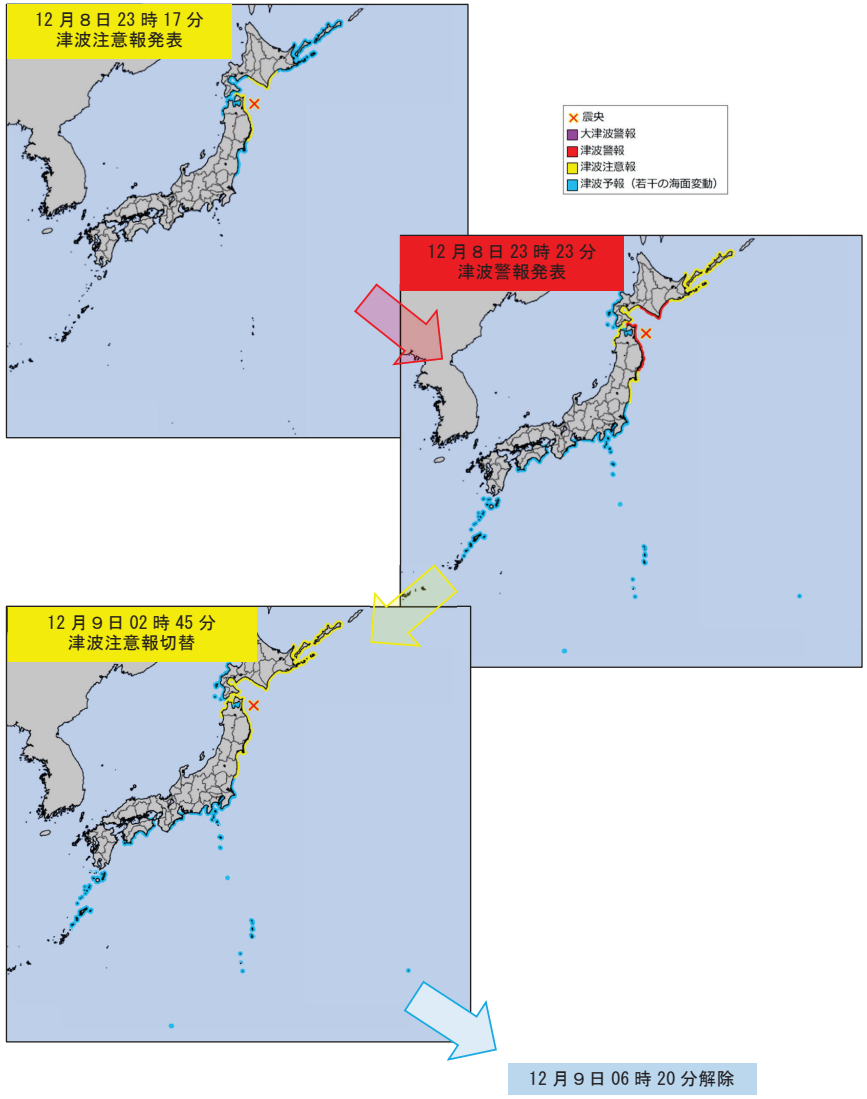


図６－５　2025 年 12 月８日の青森県東方沖の地震に対して発表した津波警報・注意報

気象庁作成

イ．2025年12月12日11時44分　青森県東方沖の地震（M6.9）

この地震により、北海道のえりも町庶野（*1）で0.2m、青森県の八戸港で14cmの津波を観測するなど、北海道と青森県の太平洋沿岸で津波を観測したほか、沖合でも津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、同日11時52分に北海道から宮城県にかけて津波注意報を発表し、同日14時05分に解除した。精査後の津波観測値は以下のとおり。

（*1）巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m

表６－２　日本国内の津波観測値（2025 年 12 月 12 日）

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ（cm）
北海道	えりも町庶野*1	気象庁	12 日 12:--	12 日 12:35	0.2m
青森県	むつ小川原港	国土交通省港湾局	12 日 --:--	12 日 12:18	6
	八戸港	国土交通省港湾局	12 日 12:35	12 日 12:38	14

－ は値が決定できないことを示す。
※観測値は、後日の精査により変更される場合がある。
※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検測した値。

*1 は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は 0.1m）。

※沖合の津波観測に関する情報として発表した「青森東方沖９０ｋｍＡ」については、精査後の津波の高さが微弱であったため、本表には掲載していない。

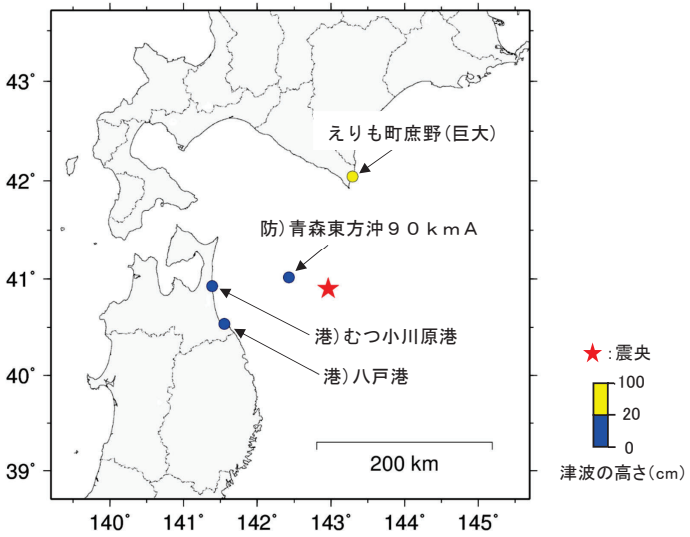


図６－６　津波を観測した地点
港)は国土交通省港湾局、防)は防災科学技術研究所の所属であることを示す。

気象庁作成

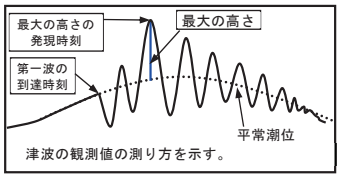


図６－７　津波の測り方の模式

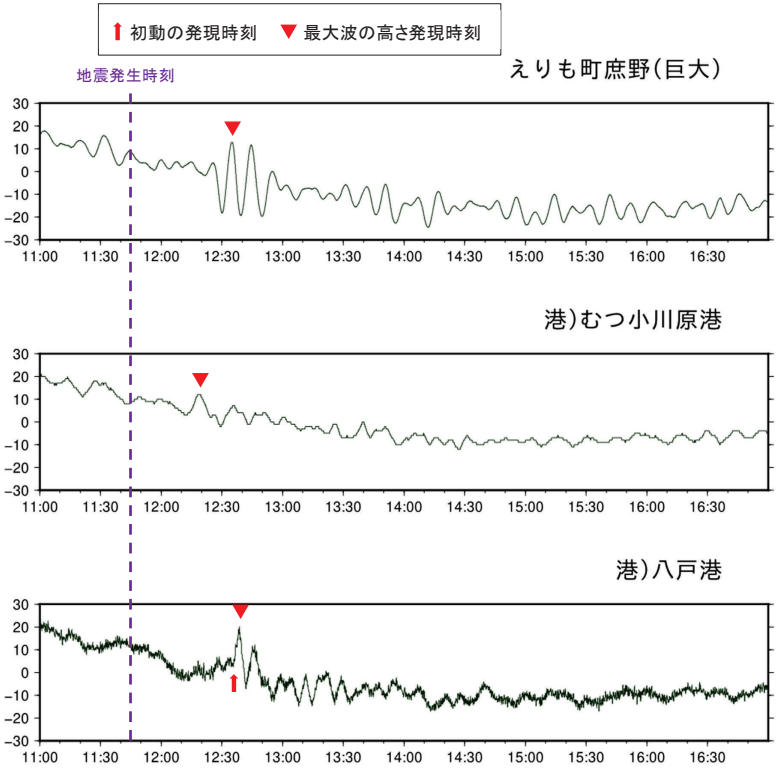


図６－８　沿岸観測点の津波波形（2025 年 12 月 12 日 11 時から 17 時まで）
縦軸の単位は cm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

気象庁作成

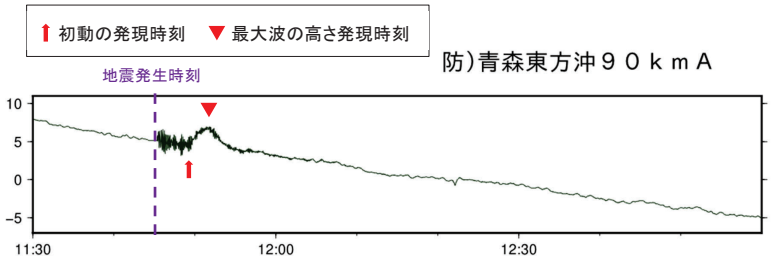


図６－９　沖合観測点の津波波形（2025 年 12 月 12 日 11 時 30 分から 13 時まで）
防)は防災科学技術研究所の所属であることを表す。縦軸の高さは cm で、観測された水圧を海面昇降に換算した値。初動と最大波の発現時刻は、検潮所の観測値と同様の方法で読み取った時刻を示す。
なお、この観測点では地震発生時に自然現象が原因でない階段状の水圧変化が見られたため、シフト処理を行い作図している。

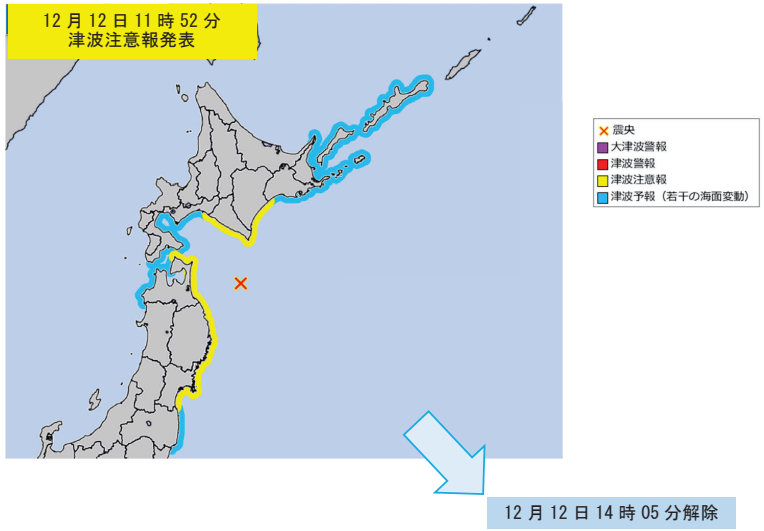


図６－10　2025 年 12 月 12 日の青森県東方沖の地震に対して発表した津波注意報

気象庁作成

12月8日　青森県東方沖の地震（非定常ETAS解析）

非定常ETASモデル（Kumazawa and Ogata, 2013）による背景地震活動度μ(t)、余震誘発強度$K_0(t)$を推定した。

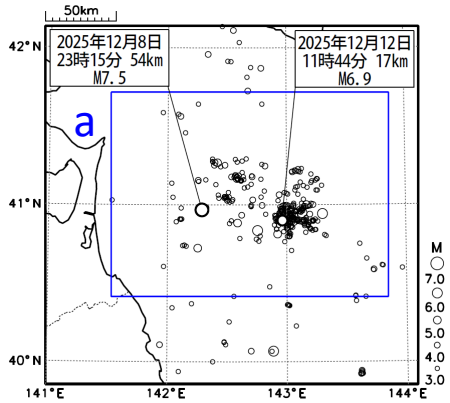
$$\lambda_\theta(t|H_t) = \mu(t) + \sum_{\{i:t_i<t\}} \frac{K_0(t_i)e^{\alpha(M_i-M_c)}}{(t-t_i+c)^p}$$

$\lambda_\theta(t|H_t)$：強度関数、μ(t)：背景地震活動度、$K_0(t)$：余震誘発強度

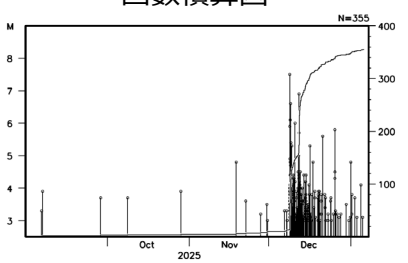
Kumazawa, T., Ogata, Y., 2013. Quantitative description of induced seismic activity before and after the 2011 Tohoku-Oki earthquake by nonstationary ETAS model. J. Geophys. Res.118, 6165–6182.

○非定常ETAS解析には震央分布図の青色矩形内の震源データを使用した。μ、K_0の初期値及び固定値α、c、pは、今回の地震活動域周辺で発生した、2024年1月から2025年10月までのM3.0以上の地震から定常ETAS解析により求めた値を使用した。

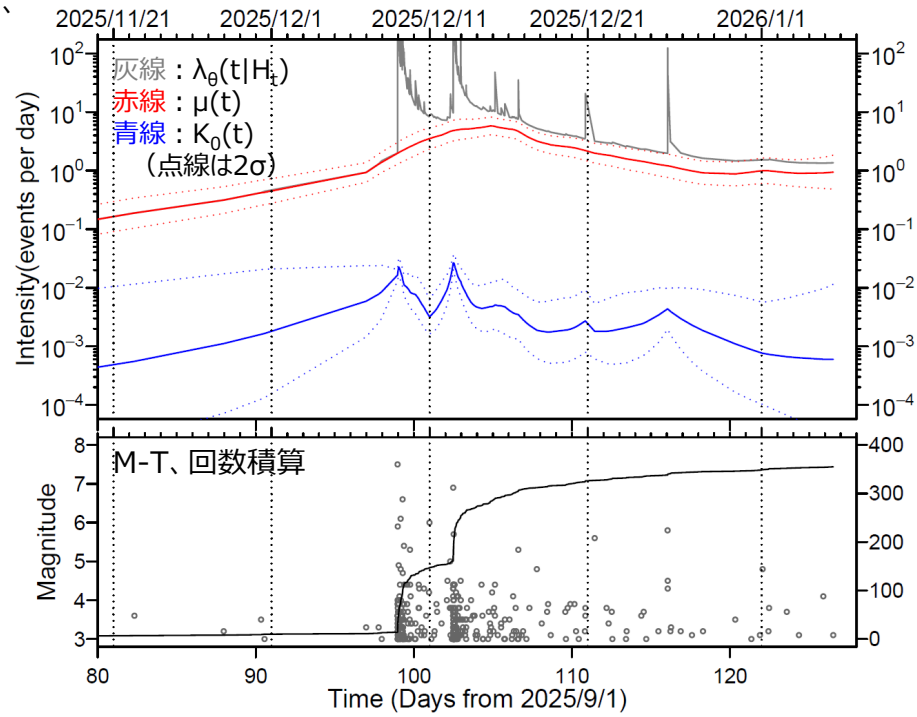
震央分布図
（2025年9月1日～2026年1月5日、
深さ0～30km 、M≧3.0）



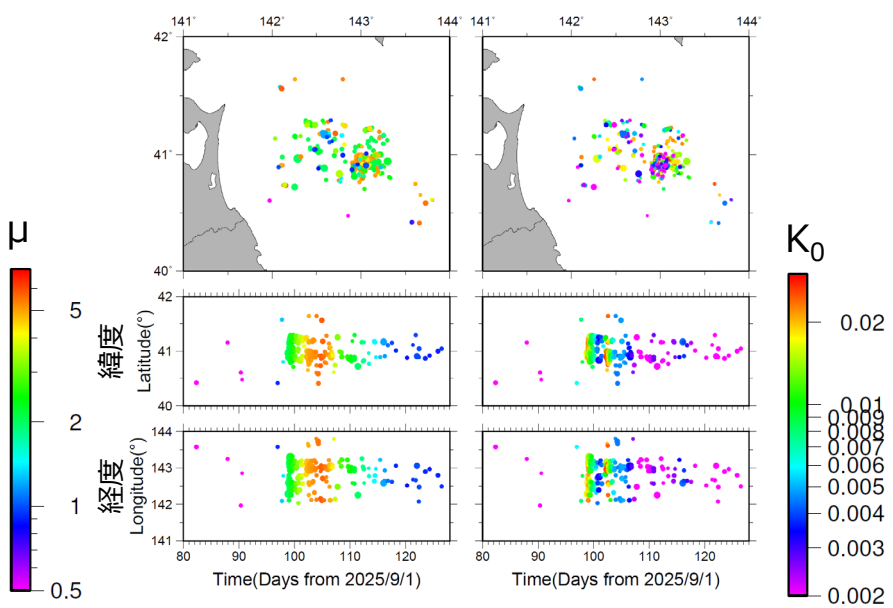
領域a内のM-T図及び
回数積算図



領域a内の非定常ETAS解析結果
（表示期間：2025年11月21日～2026年1月5日）



μの分布　　K_0の分布

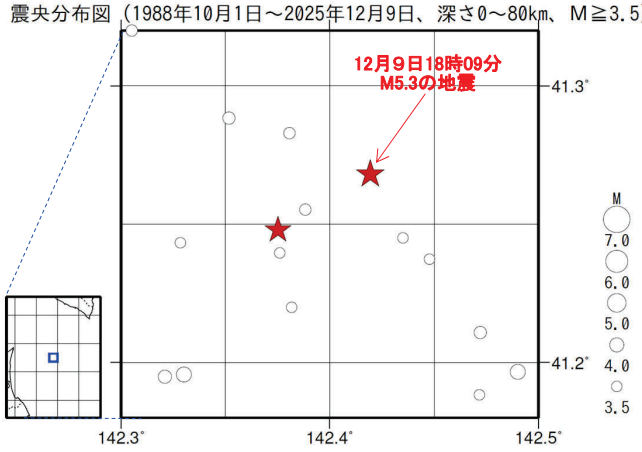


気象庁作成

12月９日の青森県東方沖の地震（相似地震）

青森県東方沖で発生した2025年12月９日18時09分（M5.3、最大震度3）の地震について、
強震波形による相関解析を行った結果、最新の相似地震グループとして検出された（グループA）※1。

震央分布図（1988年10月1日～2025年12月9日、深さ0～80km、M≧3.5）

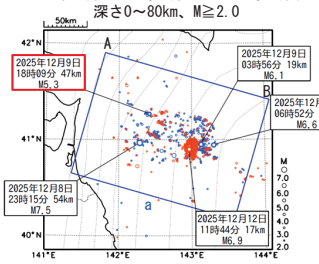


発生間隔と推定年平均すべり量※2

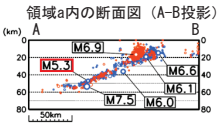
グループ	回数	平均M	震度 最大	震度 最小	発生間隔 平均	発生間隔 最短	発生間隔 最大	平均すべり量（cm/年）
A	2	5.15	3	3	7.24	7.24	7.24	7.39

12月９日18時09分
M5.3の地震

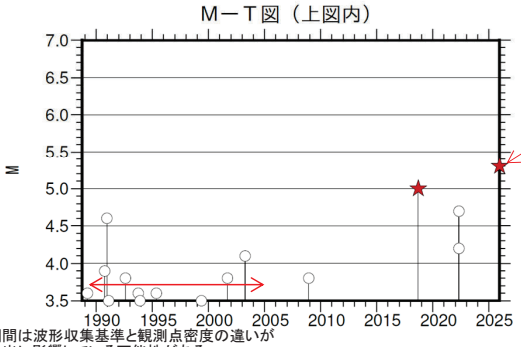
震央分布図
2025年12月8日20時00分～22日24時00分、
深さ0～80km、M≧2.0



領域a内の断面図（A-B投影）



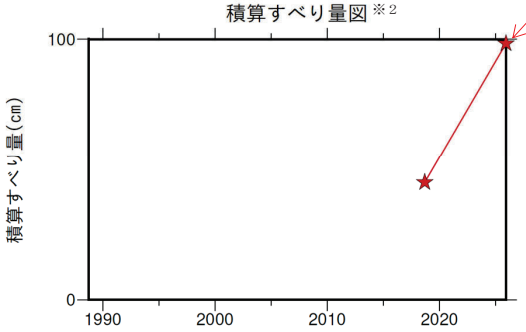
M－T図（上図内）



12月９日18時09分
M5.3の地震

赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが
相似地震検出に影響している可能性がある。

積算すべり量図※2



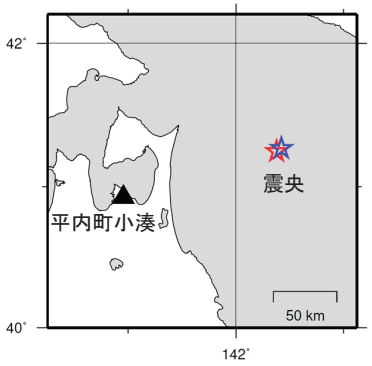
12月９日18時09分
M5.3の地震

※1　各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的に行っている［溜渕ほか、2014］。
※2　すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式［Hanks and Kanamori(1979)］及び 地震モーメントとすべり量の関係式［Nadeau and Johnson(1998)］を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

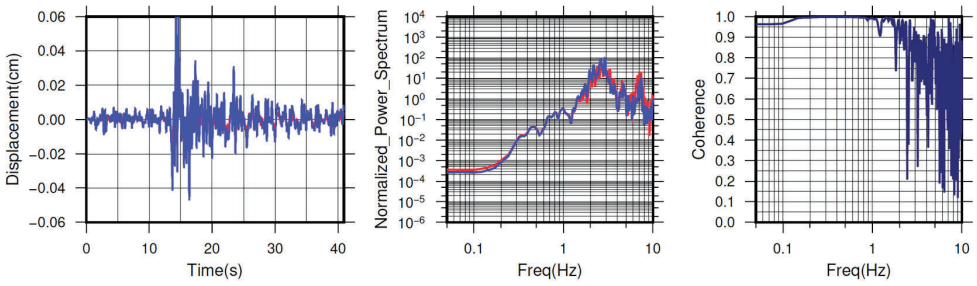
気象庁作成

●波形例

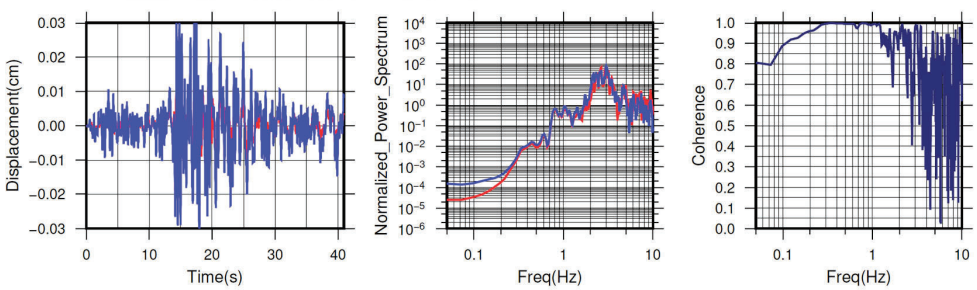
観測点名:平内町小湊
2018/09/11 22:25:58 M5.0
2025/12/09 18:09:45 M5.3



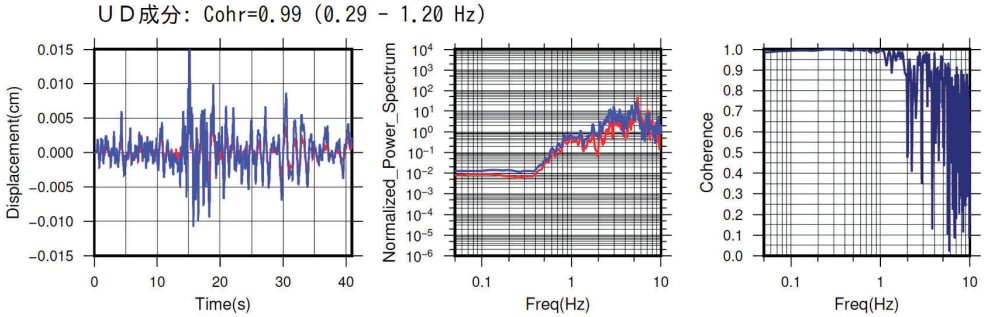
ＮＳ成分：Cohr=0.99（0.29 - 1.20 Hz）



ＥＷ成分：Cohr=0.99（0.29 - 1.20 Hz）



ＵＤ成分：Cohr=0.99（0.29 - 1.20 Hz）



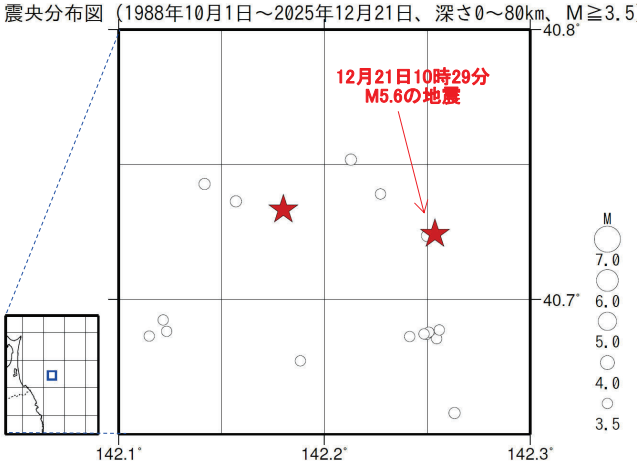
※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したもの

気象庁作成

12月21日の青森県東方沖の地震（相似地震）

青森県東方沖で発生した2025年12月21日10時29分（M5.6、最大震度4）の地震について、
強震波形による相関解析を行った結果、最新の相似地震グループとして検出された（グループA）※1。

震央分布図（1988年10月1日～2025年12月21日、深さ0～80km、M≧3.5）

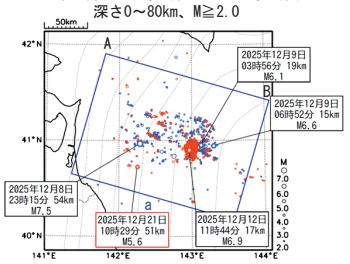


発生間隔と推定年平均すべり量※2

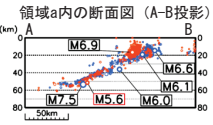
グループ	回数	平均M	震度 最大	震度 最小	発生間隔 平均	発生間隔 最短	発生間隔 最大	平均すべり量（cm/年）
★A	2	5.60	4	4	30.98	30.98	30.98	2.06

12月21日10時29分
M5.6の地震

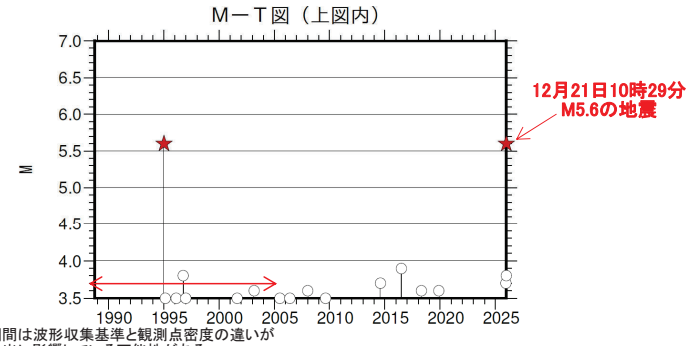
震央分布図
2025年12月8日20時00分～22日24時00分、
深さ0～80km、M≧2.0



領域a内の断面図（A-B投影）

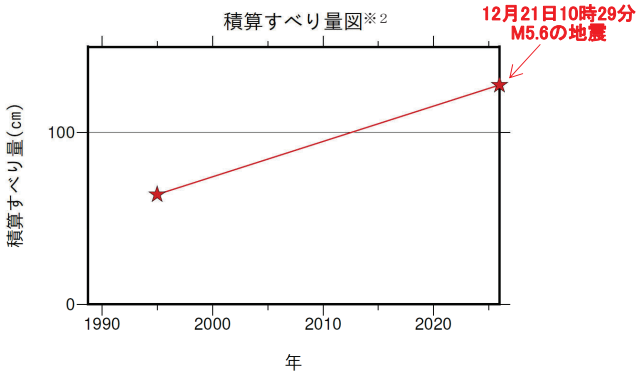


M－T図（上図内）



赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが相似地震検出に影響している可能性がある。

積算すべり量図※2

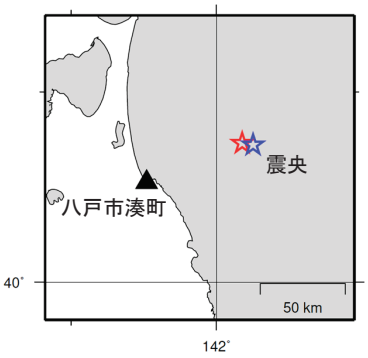


※1 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的に行っている［溜渕ほか、2014］。
※2 すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式［Hanks and Kanamori(1979)］及び 地震モーメントとすべり量の関係式［Nadeau and Johnson(1998)］を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

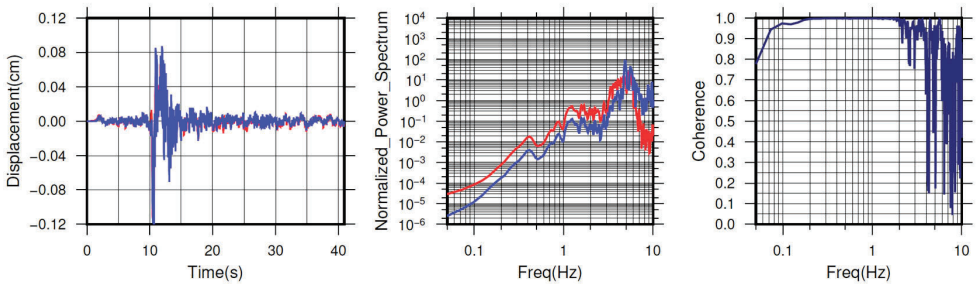
気象庁作成

●波形例

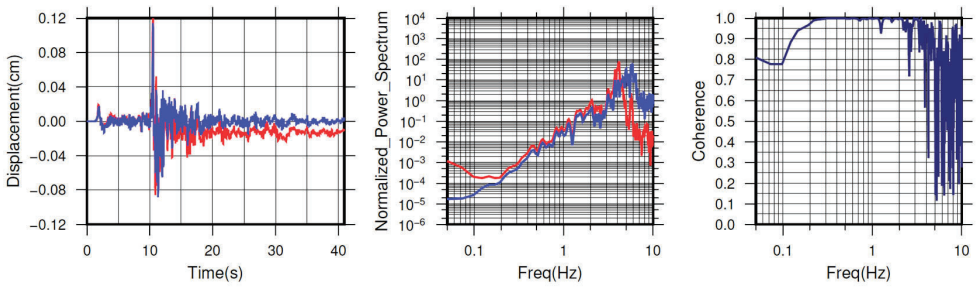
観測点名：八戸市湊町
1994/12/30 00:29:29 M5.6
2025/12/21 10:29:01 M5.6



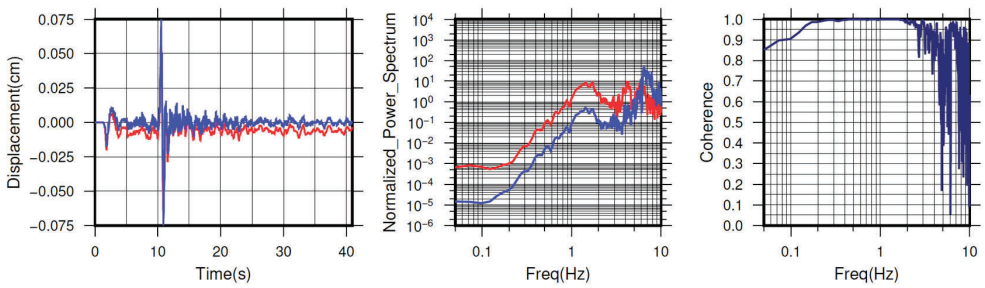
NS成分：Cohr=1.00（0.17 - 0.71 Hz）



EW成分：Cohr=0.99（0.17 - 0.71 Hz）



UD成分：Cohr=1.00（0.17 - 0.71 Hz）

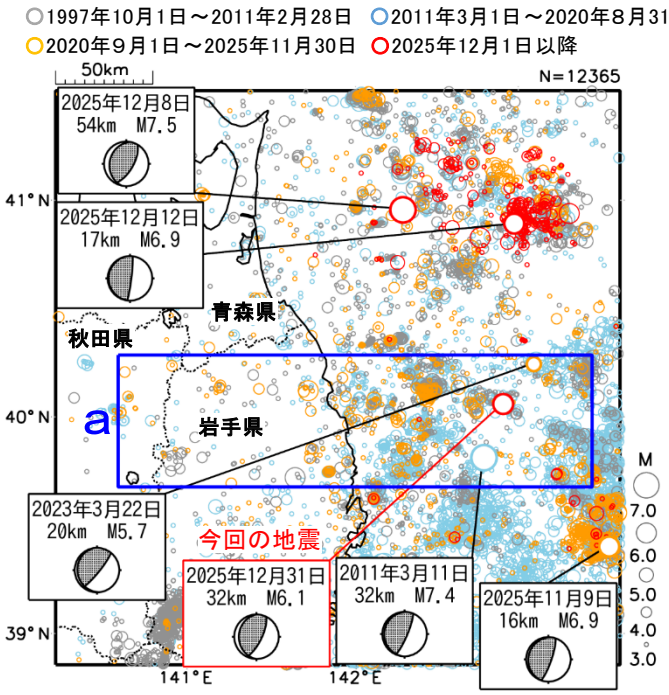


※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したもの

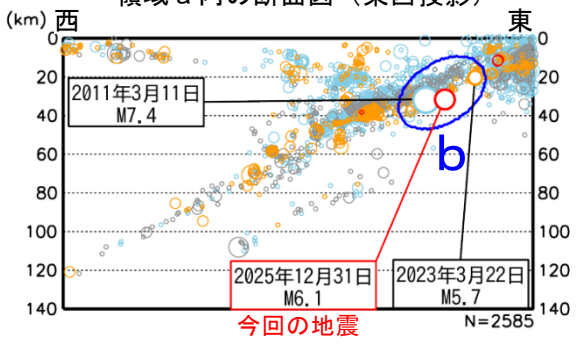
気象庁作成

12 月 31 日　岩手県沖の地震

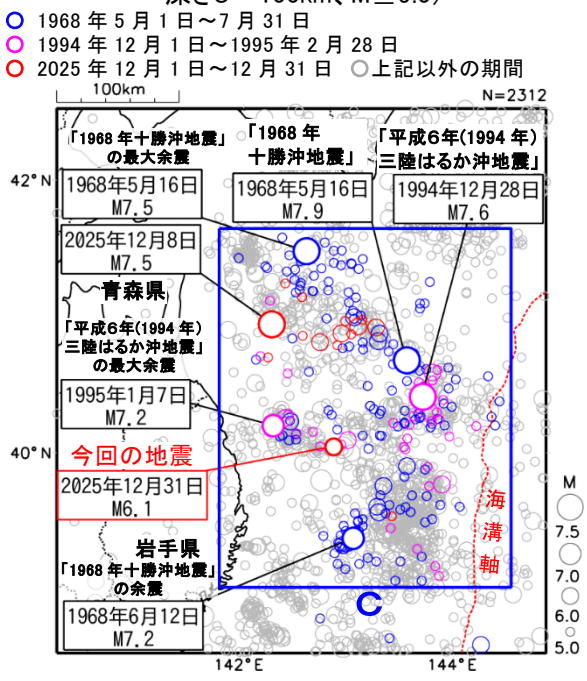
震央分布図
（1997年10月1日～2025年12月31日、
深さ0～140km、M≧3.0）



領域ａ内の断面図（東西投影）



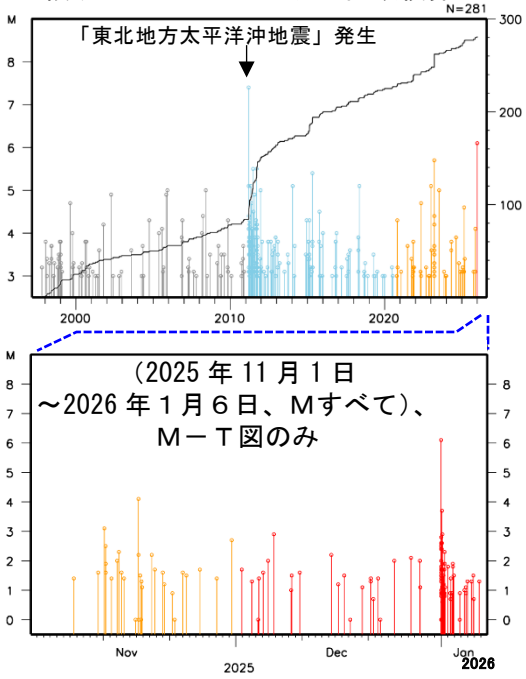
震央分布図
（1919年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～100km、M≧5.0）



2025年12月31日23時26分に岩手県沖の深さ32kmでM6.1の地震（最大震度４）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

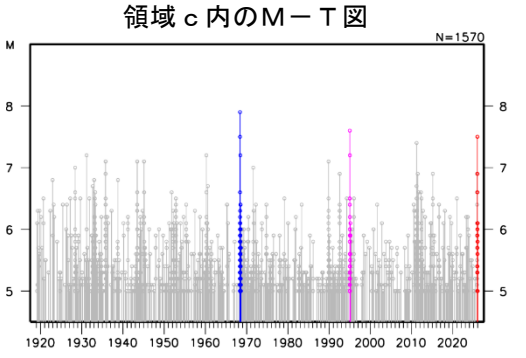
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）以降、地震活動が活発となっていた。また、今回の地震の震央周辺では、2025年11月９日に三陸沖でM6.9の地震（最大震度４）が、2025年12月８日に青森県東方沖でM7.5の地震（最大震度６強）が発生している。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



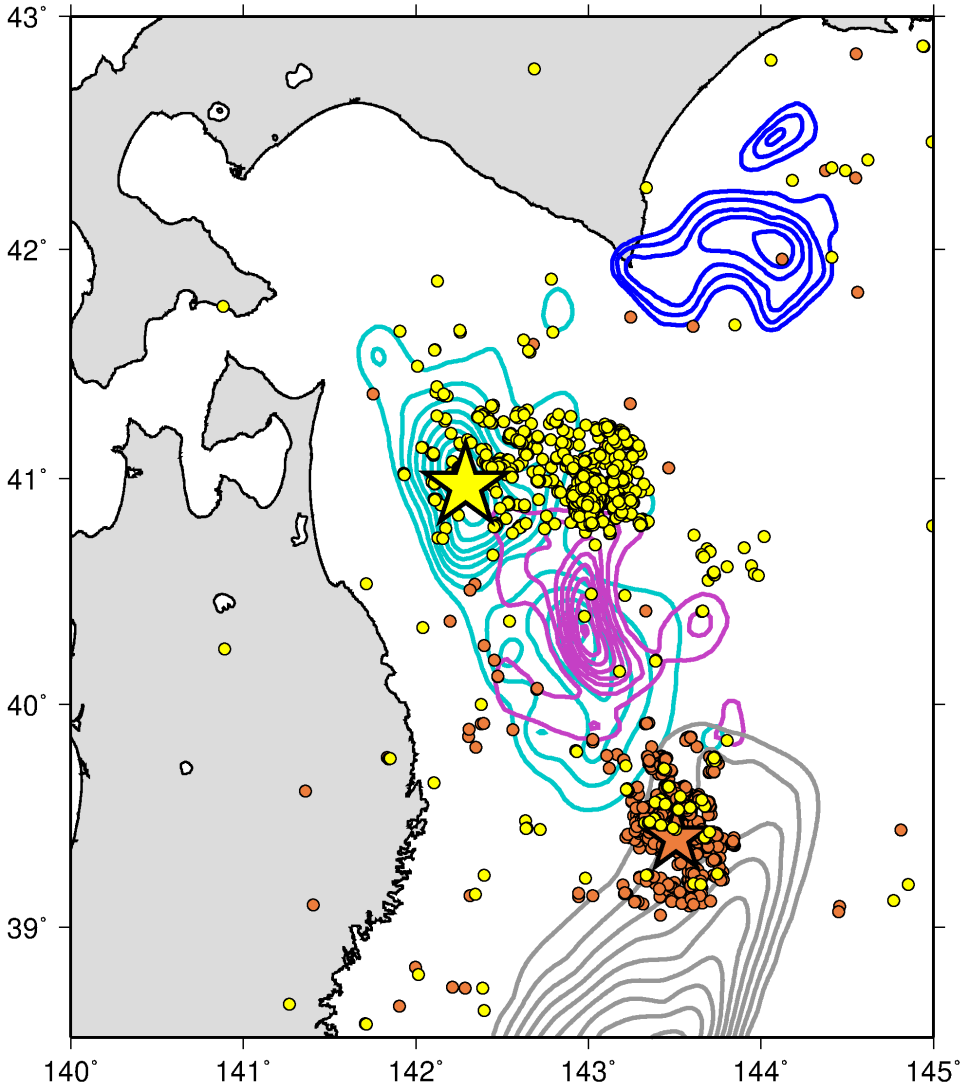
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、Ｍ７を超える地震が時々発生しており、1968年５月16日に「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度５、死者52人）で、青森県八戸［火力発電所］で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、1994年12月28日には「平成６年(1994年)三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度６、死者３人）が発生し、青森県八戸と岩手県宮古で50cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「験震時報第64巻」による）。被害は、いずれも「日本被害地震総覧」による。

領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

過去の地震の震源域と今回の地震の位置関係



1968年十勝沖地震（永井・他, 2001）

1994年三陸はるか沖地震（永井・他, 2001）

2003年十勝沖地震（Yamanaka and Kikuchi, 2003）

2011年東北地方太平洋沖地震（Yoshida et al. 2011）

2025年11月９日三陸沖の地震（M6.9）

2025年11月９日17時～１週間の地震活動（M≥2）

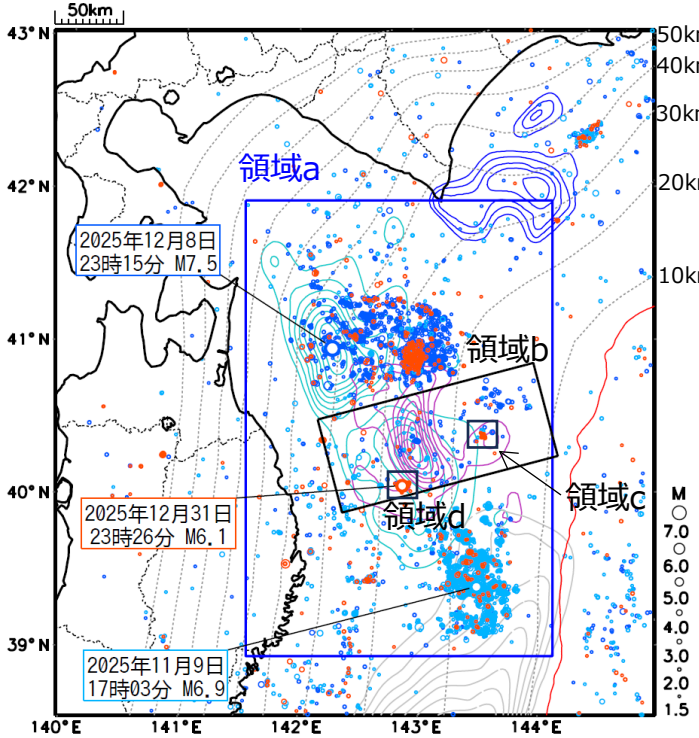
2025年12月８日青森県東方沖の地震（M7.5）

2025年12月８日23時～1週間の地震活動（M≥2）

気象庁作成

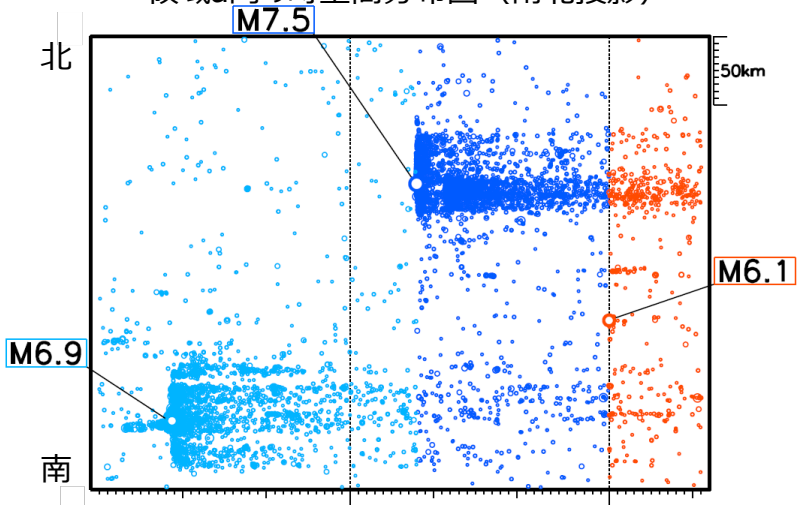
11月9日三陸沖の地震・12月8日青森県東方沖・12月31日岩手県沖　周辺の地震活動

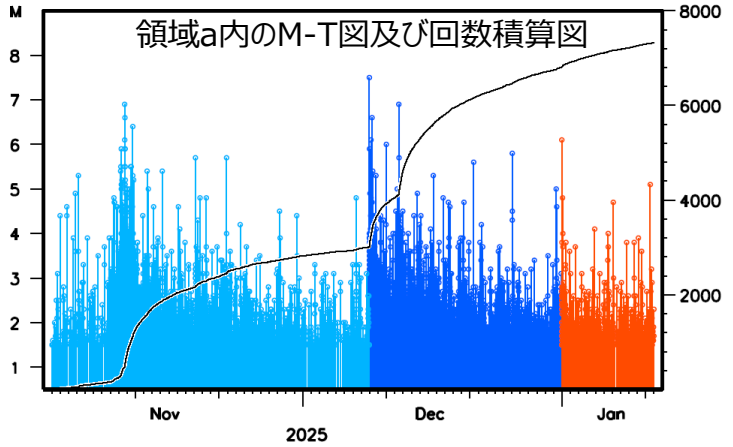
震央分布図
2025年11月1日～2026年1月11日、深さ0～100km、M≧1.5



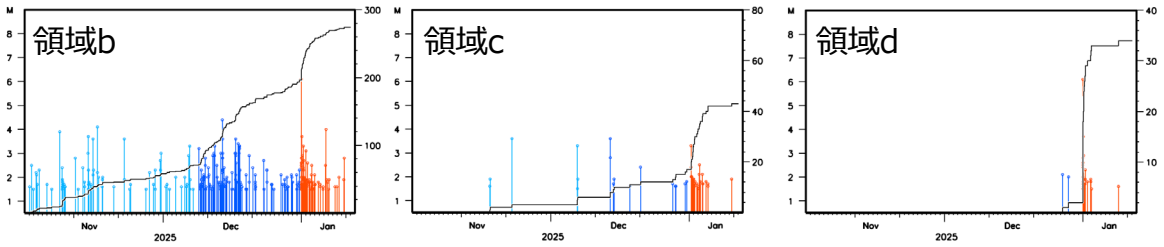
色付きのコンターは主な地震のすべり分布
　青色：2003年十勝沖地震（Yamanaka and Kikuchi, 2003）
　水色：1968年十勝沖地震（永井・他, 2001）
　紫色：1994年三陸はるか沖地震（永井・他, 2001）
　灰色：2011年東北地方太平洋沖地震（Yoshida et al., 2011）
黒色破線は太平洋プレート上面のおよその深さ
　Kita et al. (2010)及びNakajima and Hasegawa (2006)

領域a内の時空間分布図（南北投影）

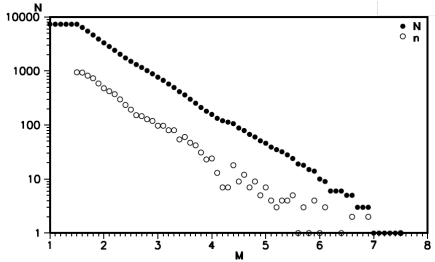




領域b-d内のM-T図及び回数積算図



領域a内のM別頻度分布図



●2025年11月1日～12月8日23時14分
●2025年12月8日23時15分～31日23時25分
●2025年12月31日23時26分～

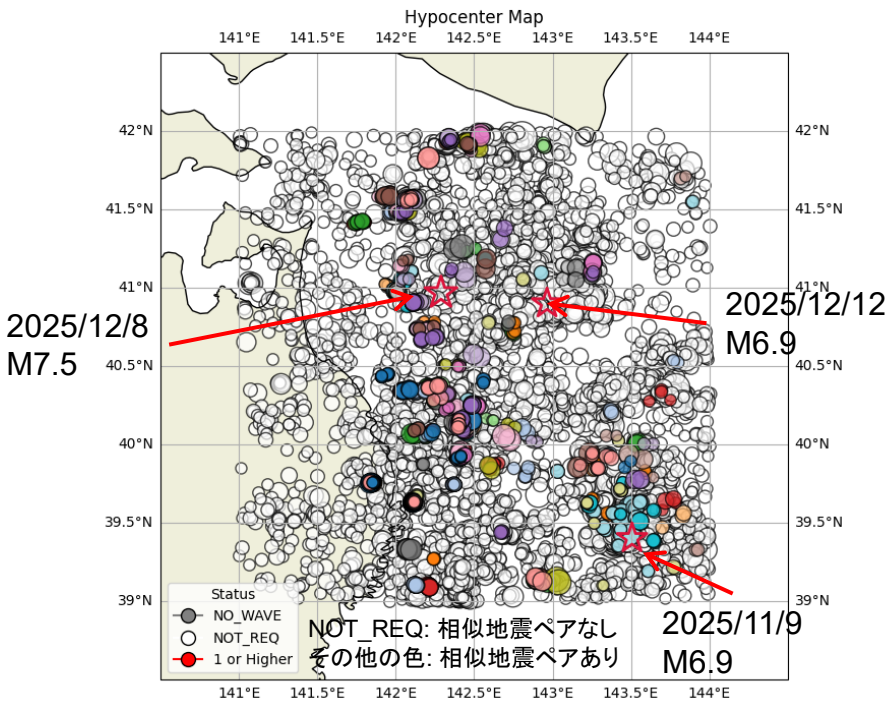
気象庁作成

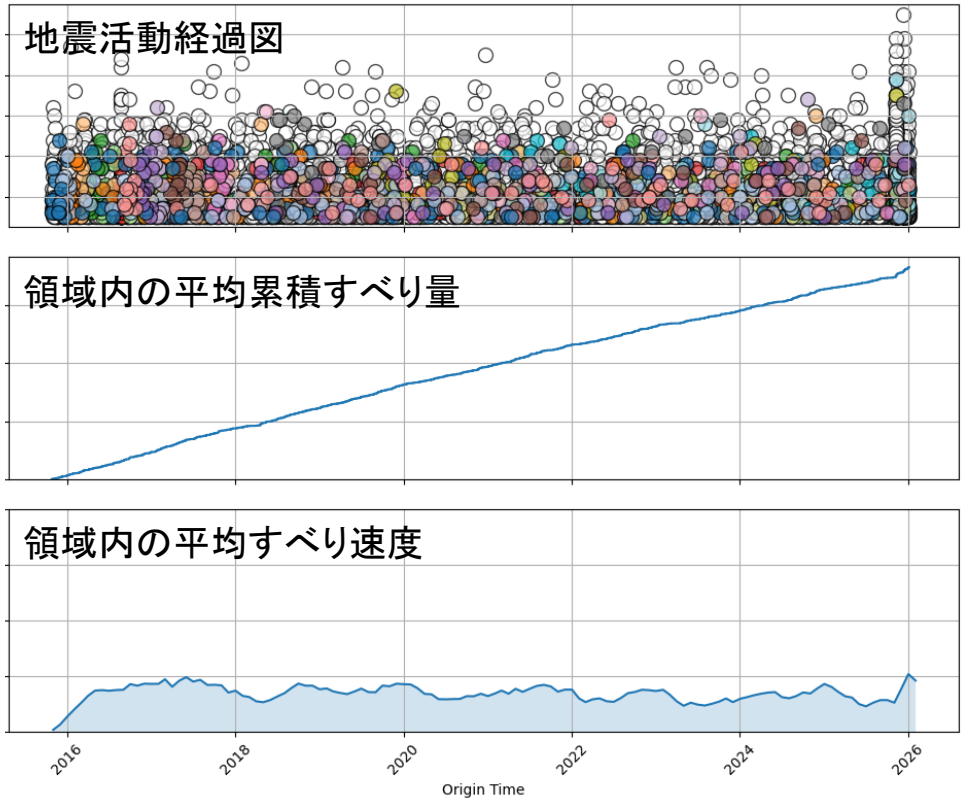
開発中

三陸沖周辺の相似地震解析
（陸の地震観測点のみ使用）

2015年10月26日から2026年1月4日までのM2.5以上の地震を対象に、Uchida (in progress) によるreq-finderを用いて相似地震解析を行った。

解析対象領域





解析条件： 高感度速度波形の上下動成分を用いた。コヒーレンス値0.95以上が2地点以上の場合、相似地震として検出した。
すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式[Hanks and Kanamori, 1979]及び地震モーメントとすべり量の関係式[Nadeau and Johnson, 1998]を使用。
平均すべり速度は領域内の平均累積すべり量を6か月窓、1か月シフトで傾きを求めた。
平均累積すべり量は、領域内の相似地震（活動期間が1年以上）の累積すべり量を、領域内の相似地震系列数で割ったもの。

気象庁作成

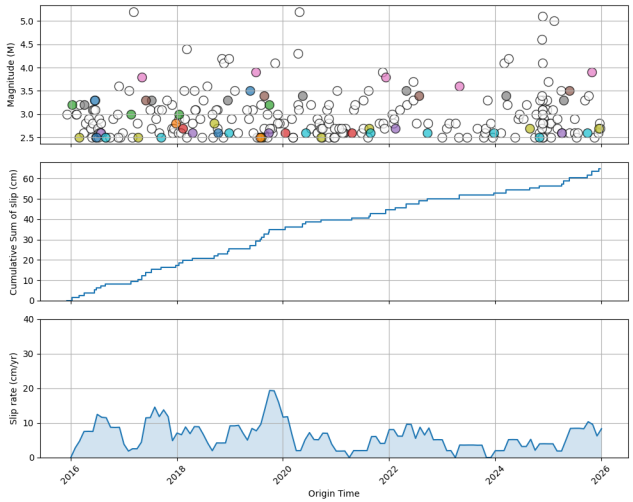
開発中

三陸沖周辺の相似地震解析
（陸の地震観測点のみ使用）

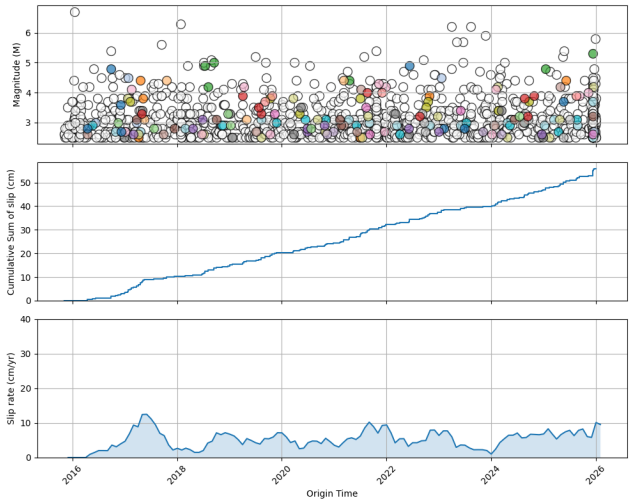
1度グリッドパターン

前ページを1度ごとに描画したもの。上から順に地震活動経過図、領域内の平均累積すべり量、領域内の平均すべり速度を示す。

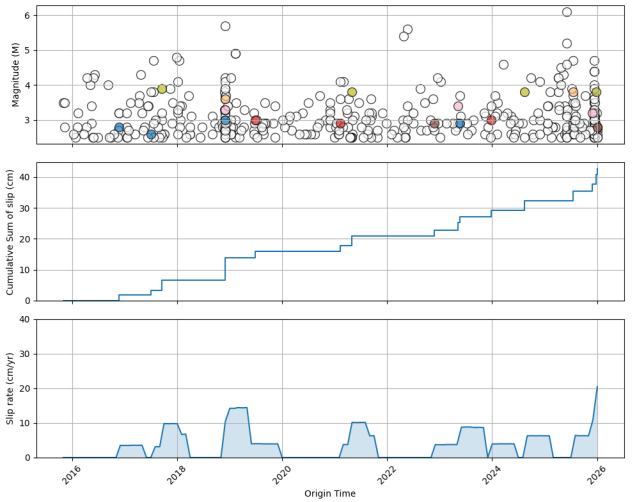
（N41、E141）※南西側の頂点



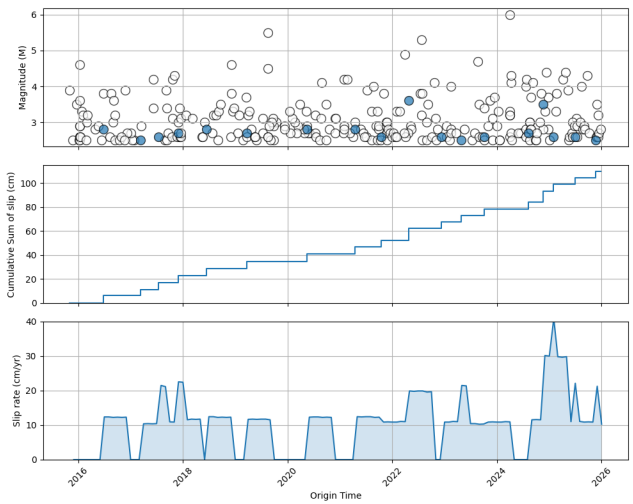
（N41、E142）



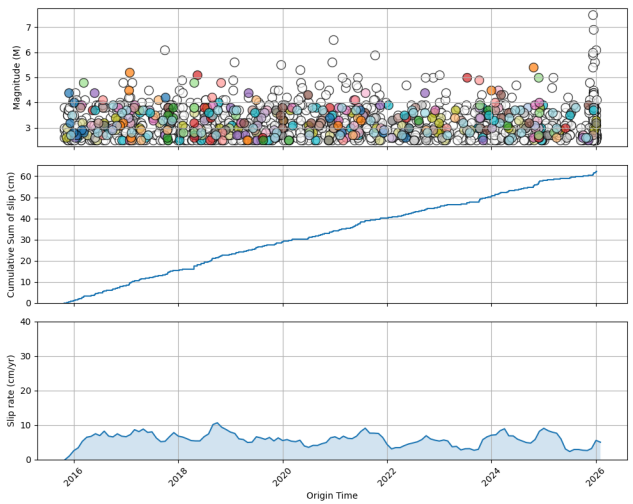
（N41、E143）



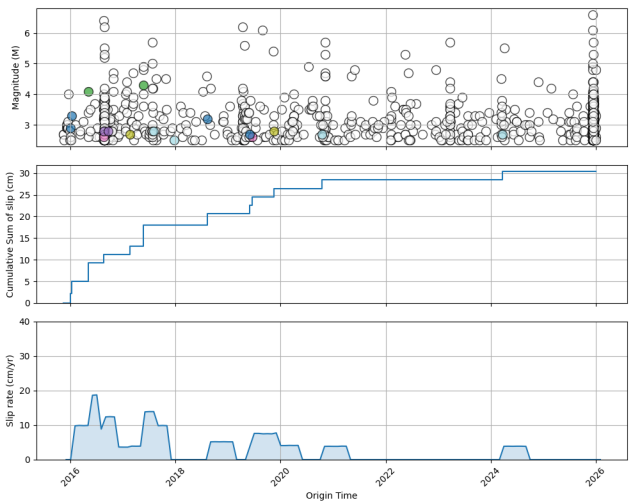
（N40、E141）



（N40、E142）



（N40、E143）



気象庁作成

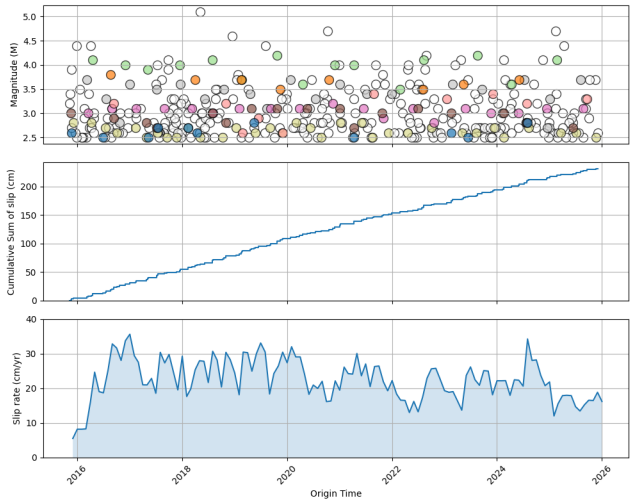
開発中

三陸沖周辺の相似地震解析（陸の地震観測点のみ使用）

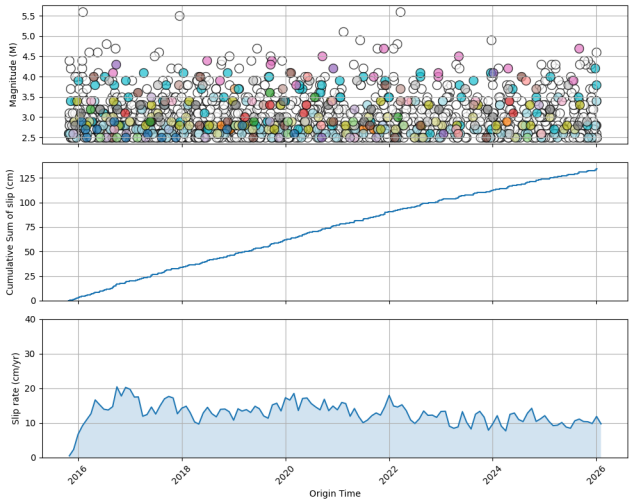
1度グリッドパターン

前ページの続き。

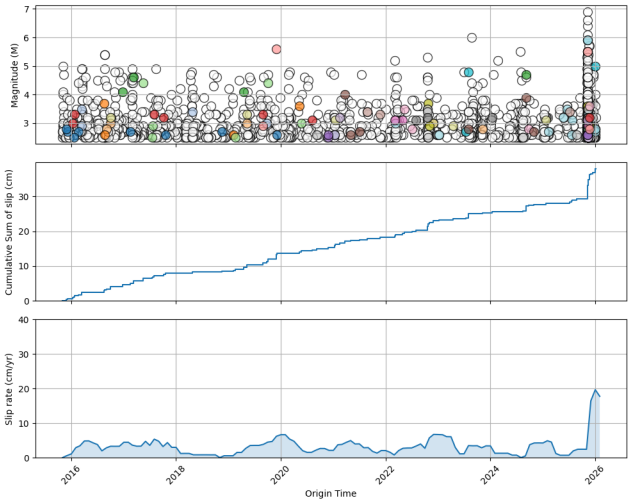
（N39、E141）※南西側の頂点



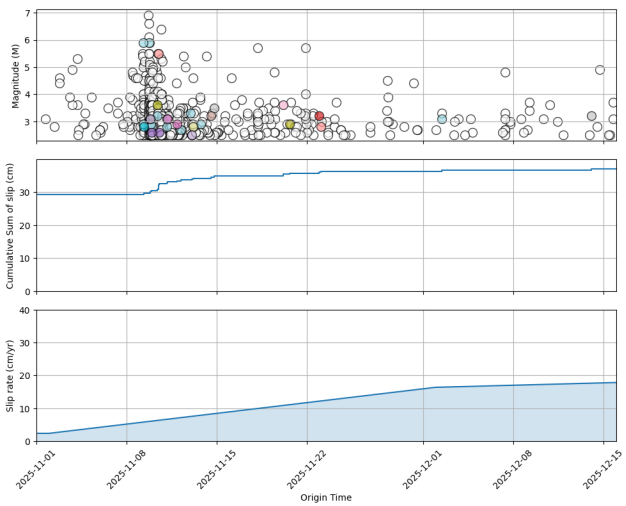
（N39、E142）



（N39、E143）



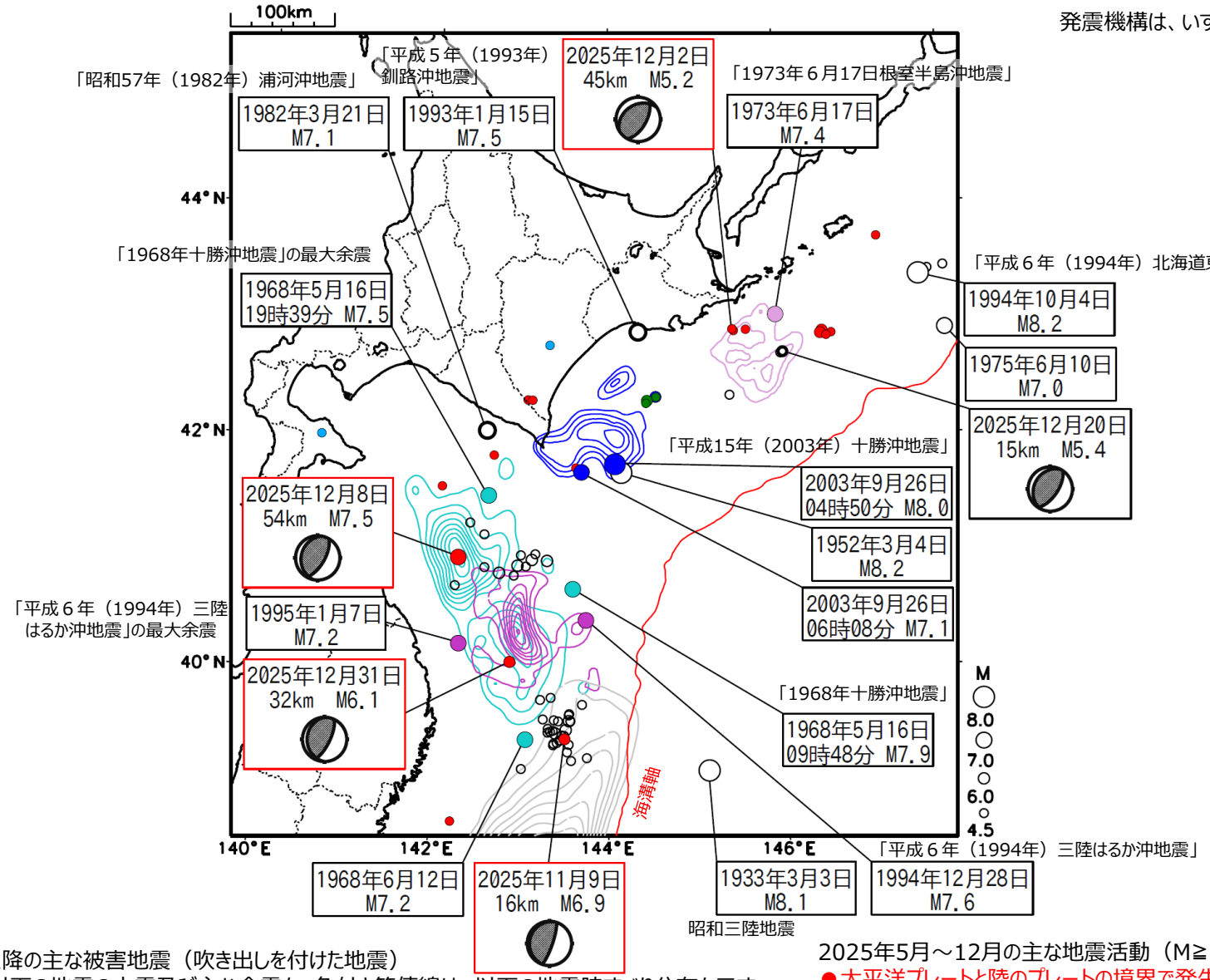
（N39、E143）※2025年11月以降のみ



気象庁作成

2025年5月～12月の主な地震活動と1919年以降の主な被害地震（三陸沖～北海道東方沖）

発震機構は、いずれもCMT解を示す



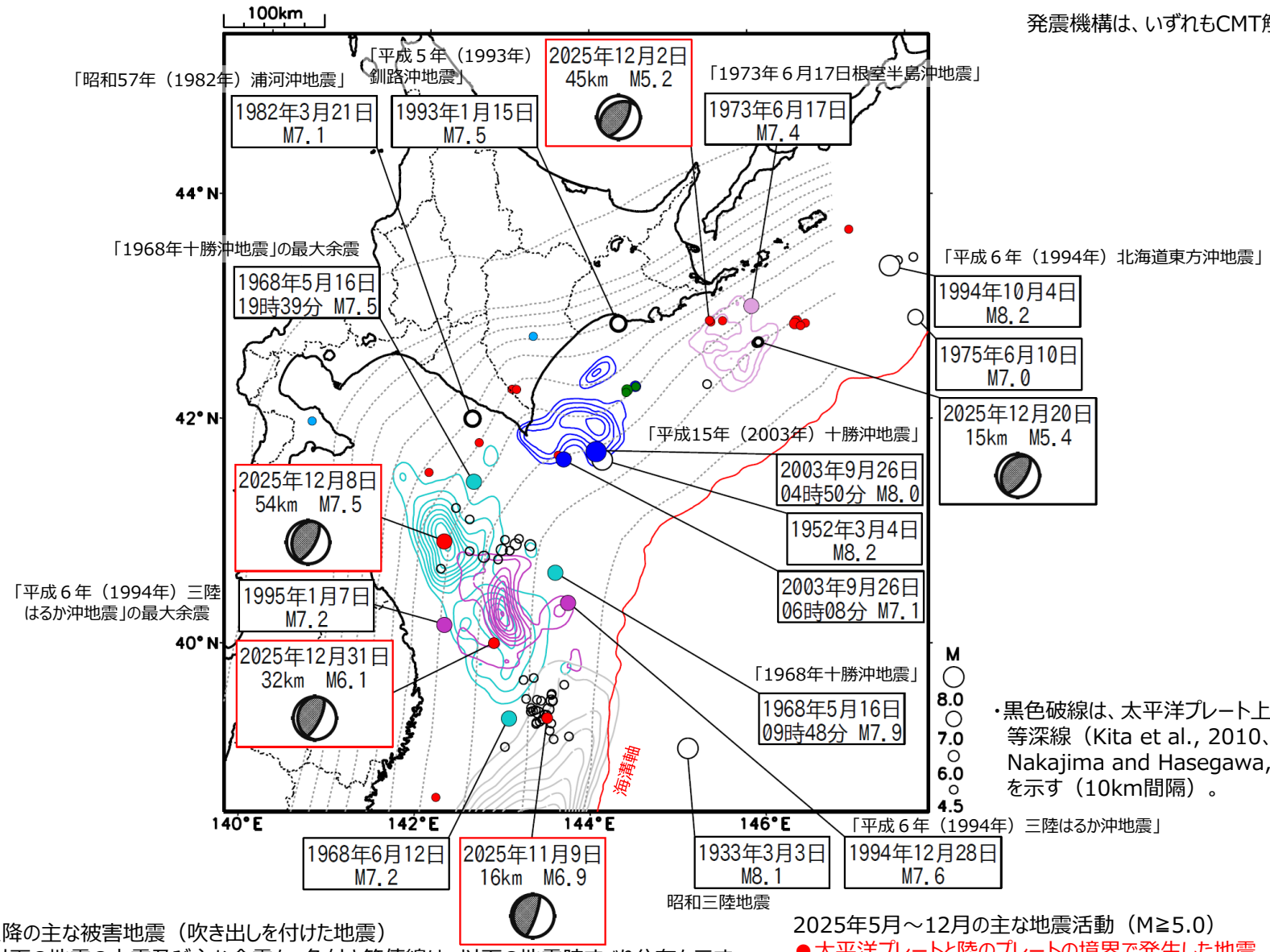
○1919年1月1日以降の主な被害地震（吹き出しを付けた地震）
・震央の塗りつぶしは以下の地震の本震及び主な余震を、色付き等値線は、以下の地震時すべり分布を示す。
水色：1968年十勝沖地震〔永井・他(2001)〕
薄紫色：1973年根室半島沖地震〔山中(2005)〕
紫色：1994年三陸はるか沖地震〔永井・他(2001)〕
青色：2003年十勝沖地震〔Yamanaka and Kikuchi (2003)〕
灰色：2011年東北地方太平洋沖地震〔Yoshida et al. (2012)〕

2025年5月～12月の主な地震活動（M≧5.0）
●太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
●太平洋プレート内部で発生した地震
●陸のプレート内で発生した地震
※11月及び12月の主な地震に吹き出しを付けた
※11月9日三陸沖の地震（M6.9）及び12月8日青森県東方沖の地震（M7.5）以降の地震活動は○で表示

気象庁作成

2025年5月～12月の主な地震活動と1919年以降の主な被害地震（三陸沖～北海道東方沖）

発震機構は、いずれもCMT解を示す



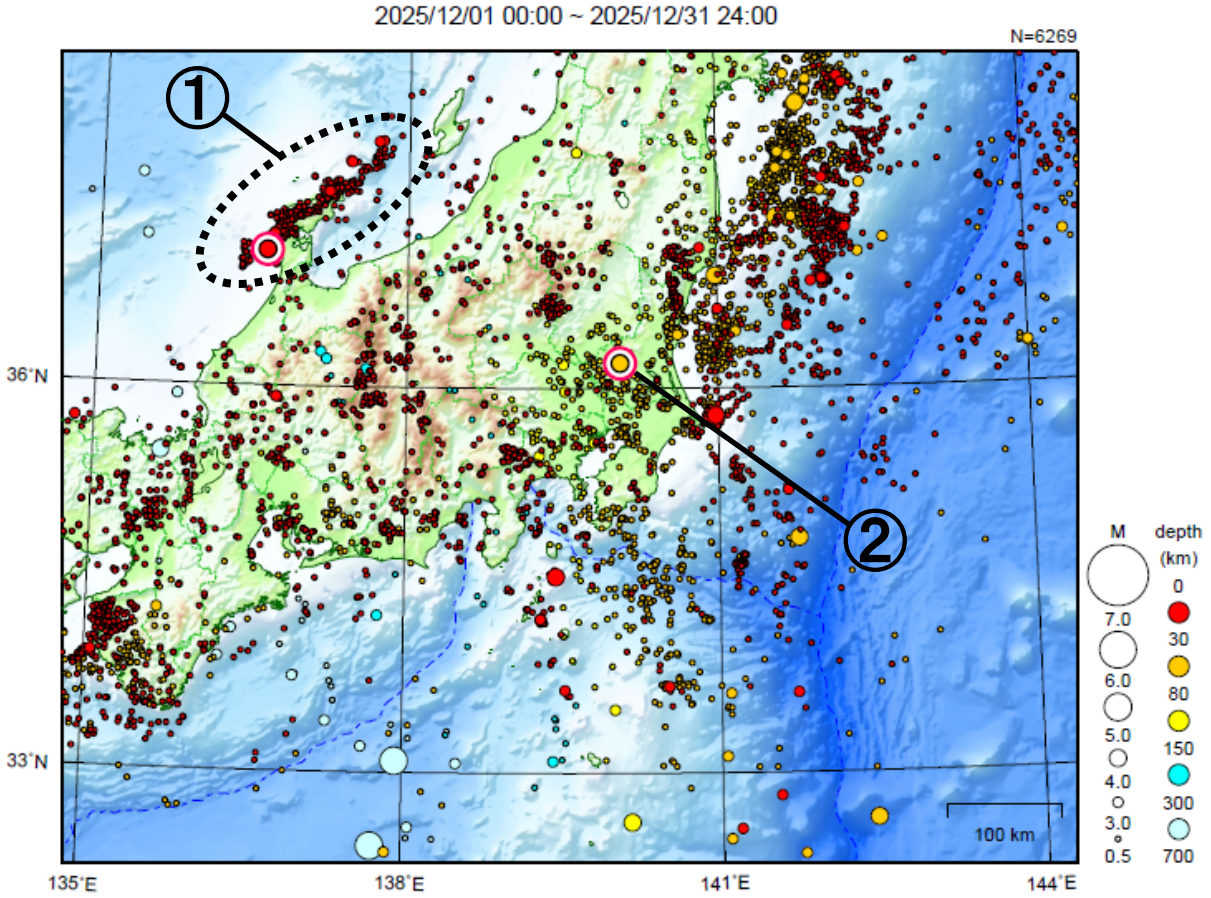
・黒色破線は、太平洋プレート上面モデルの等深線（Kita et al., 2010、Nakajima and Hasegawa, 2006）を示す（10km間隔）。

○1919年1月1日以降の主な被害地震（吹き出しを付けた地震）
・震央の塗りつぶしは以下の地震の本震及び主な余震を、色付き等値線は、以下の地震時すべり分布を示す。
水色：1968年十勝沖地震〔永井・他(2001)〕
薄紫色：1973年根室半島沖地震〔山中(2005)〕
紫色：1994年三陸はるか沖地震〔永井・他(2001)〕
青色：2003年十勝沖地震〔Yamanaka and Kikuchi (2003)〕
灰色：2011年東北地方太平洋沖地震〔Yoshida et al. (2012)〕

2025年5月～12月の主な地震活動（M≧5.0）
●太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
●太平洋プレート内部で発生した地震
●陸のプレート内で発生した地震
※11月及び12月の主な地震に吹き出しを付けた
※11月9日三陸沖の地震（M6.9）及び12月8日青森県東方沖の地震（M7.5）以降の地震活動は○で表示

気象庁作成

関東・中部地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 12 月 14 日に石川県西方沖で M4.9 の地震（最大震度４）が発生した。「令和６年能登半島地震」の地震活動域では、12 月中に震度１以上を観測した地震が 13 回（震度４：１回、震度３：１回、震度２：３回、震度１：８回）発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔能登半島沖〕である。

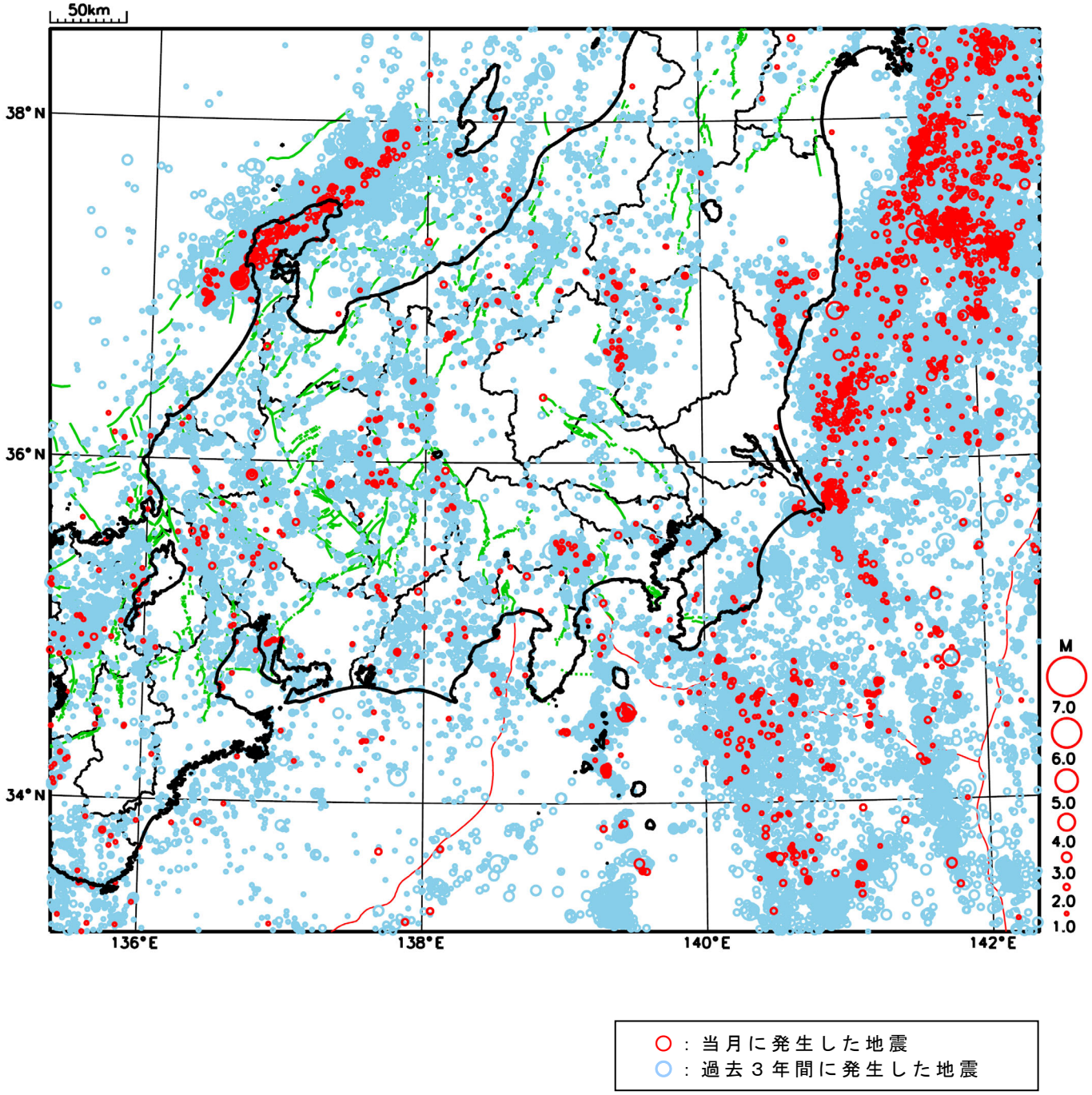
② 12 月 12 日に茨城県南部で M4.9 の地震（最大震度４）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

関東・中部地方における 2025 年 12 月の地震活動

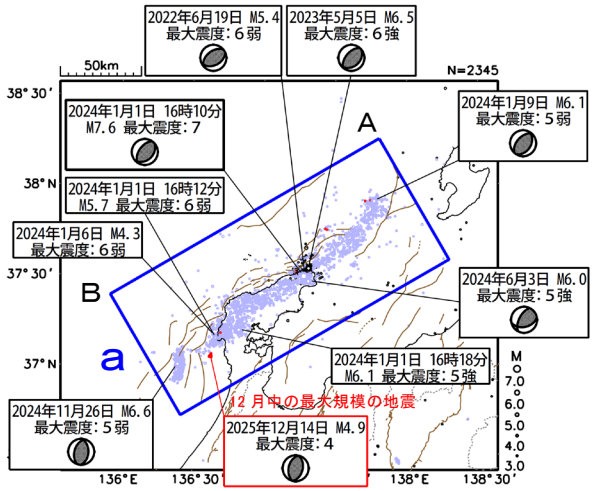
（M≧1.0、陸域 深さ 30km 以浅、海域 深さ 60km 以浅）



気象庁作成

「令和６年能登半島地震」の地震活動

震央分布図
（2020 年 12 月１日～2025 年 12 月 31 日、
深さ０～30km、M≧3.0）
震源のプロット
黒色　2020 年 12 月１日～2023 年 12 月 31 日
水色　2024 年１月１日～2025 年 11 月 30 日
赤色　2025 年 12 月１日～31 日
吹き出しは最大震度６弱以上の地震、M6.0 以上の地震及び 12 月中の最大規模の地震
図中の発震機構は CMT 解



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

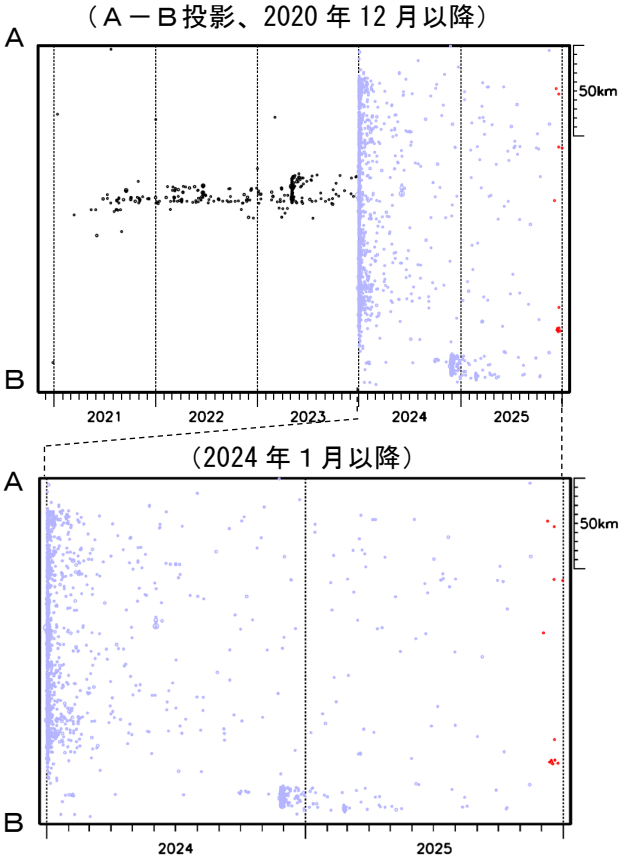
能登半島では 2020 年 12 月から地震活動が活発になり、2023 年５月５日には M6.5 の地震（最大震度６強）が発生していた。2023 年 12 月までの活動域は、能登半島北東部の概ね 30km 四方の範囲であった。

2024 年１月１日 16 時 10 分に石川県能登地方の深さ 16km で M7.6 の地震（最大震度７）が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東－南西に延びる 150km 程度の範囲に広がっている。M7.6 の地震後の地震活動域の西端の石川県西方沖で、2024 年 11 月 26 日に M6.6 の地震（最大震度５弱）が発生した。

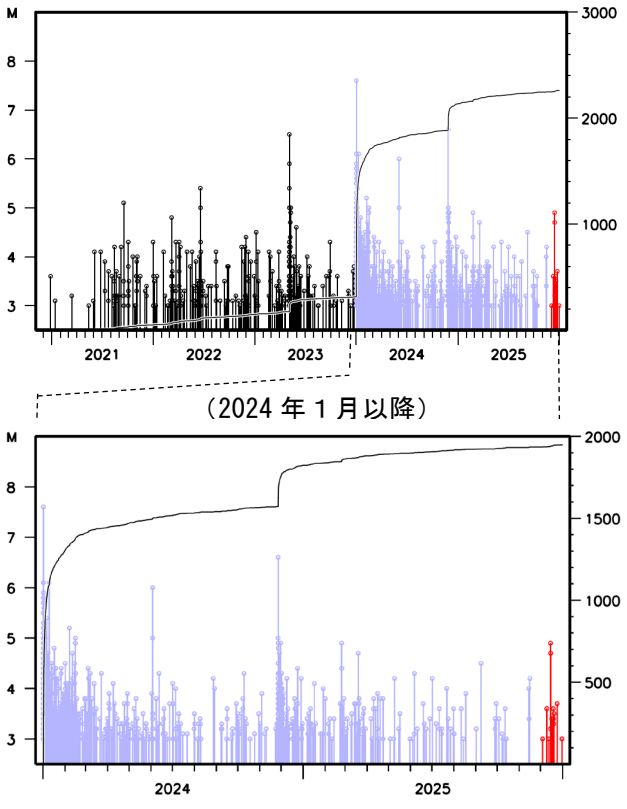
地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的に緩やかに減少してきているが、12 月中に震度１以上を観測した地震は 13 回発生するなど、活動は継続している。なお、12 月中の最大規模の地震は、14 日 23 時 26 分に石川県西方沖（注）の深さ８km で発生した M4.9 の地震（最大震度４）である。この地震の発震機構（CMT 解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

（注）情報発表の震央地名は「能登半島沖」である。

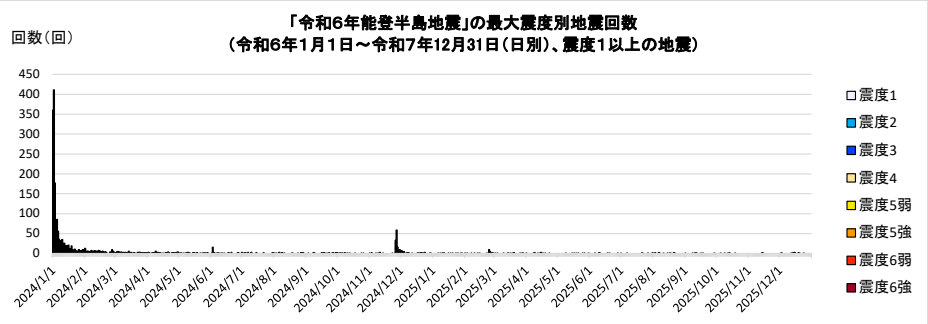
領域ａ内の時空間分布図
（Ａ－Ｂ投影、2020 年 12 月以降）

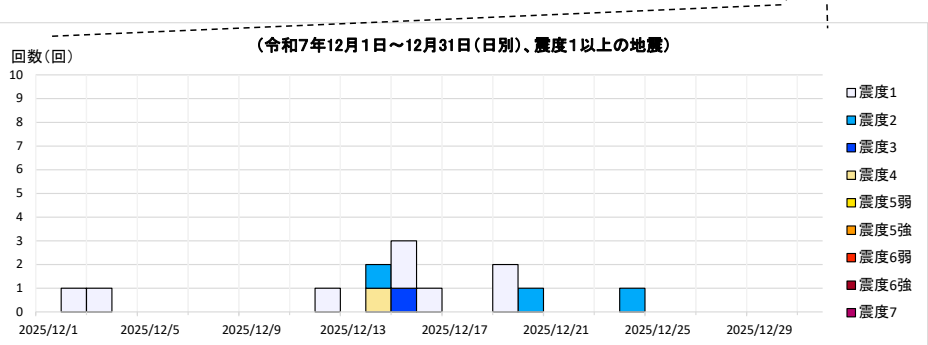


領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図
（2020 年 12 月以降）

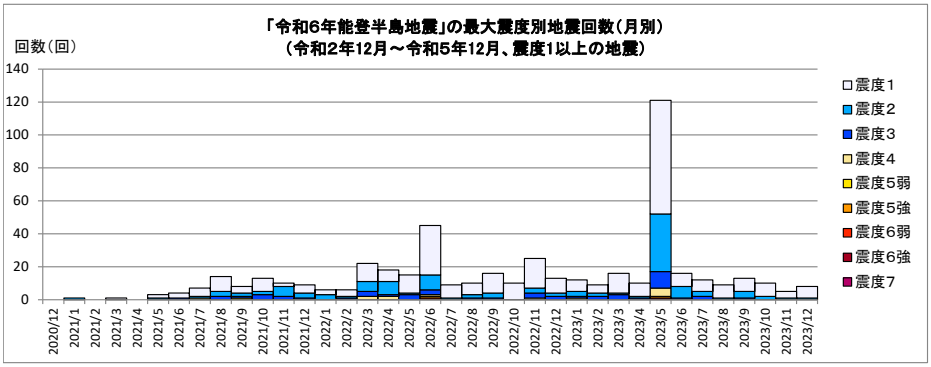


気象庁作成





【令和2（2020）年12月～令和5（2023）年12月の発生回数（月別）】



【令和2（2020）年12月以降の発生回数（年別）】

年別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
2020/12/1 － 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 － 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 － 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265	
2023/1/1 － 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1～12/31の震度1以上を観測した回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0		506	

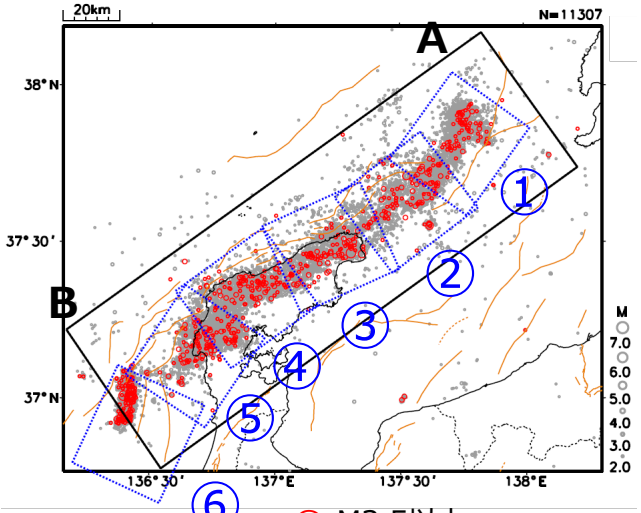
2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 － 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 － 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 － 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 －30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 －31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1 －30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1－31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1－31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1－30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1－31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1－30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592	
2024/12/1－31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629	
2025/1/1－31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641	
2025/2/1－28	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	2666	
2025/3/1－31	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12	2678	
2025/4/1－30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2690	
2025/5/1－31	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2698	
2025/6/1－30	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2705	
2025/7/1－31	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2711	
2025/8/1－31	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13	2724	
2025/9/1－30	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2732	
2025/10/1－31	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	2738	
2025/11/1－30	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2741	
2025/12/1－31	8	3	1	1	0	0	0	0	0	13	2754	
総計(2020/12/1～2025/12/31)	1741	676	247	65	9	11	3	1	1		2754	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

気象庁作成

令和６年能登半島地震の地震活動（M7.6発生後の地震活動の状況）

震央分布図
（2024年1月1日19時10分～2025年12月31日、
深さ０～30km、M≧2.0）



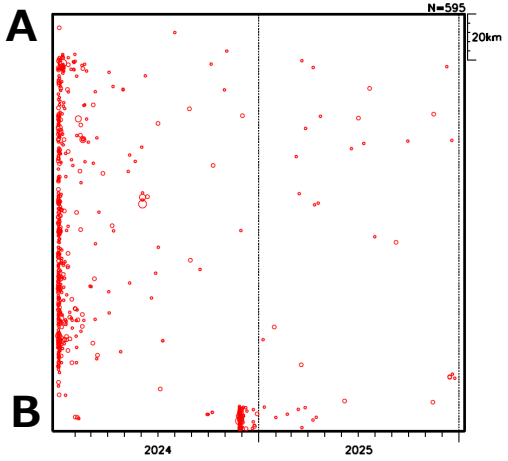
○:M3.5以上

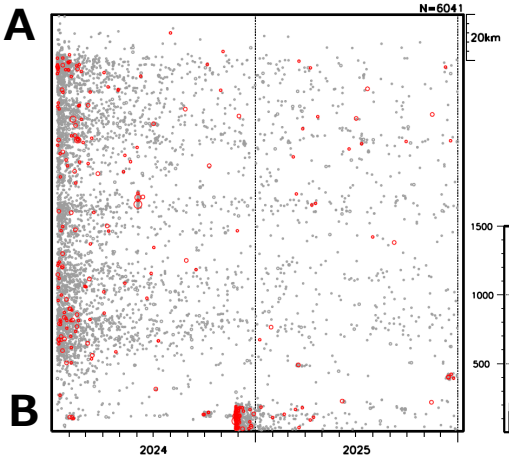
茶色実線及び破線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

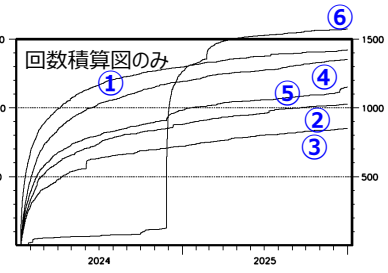
**2024年1月1日19時10分～
2025年12月31日、M≧3.5**

**2024年1月10日～
2025年12月31日、M≧2.0**

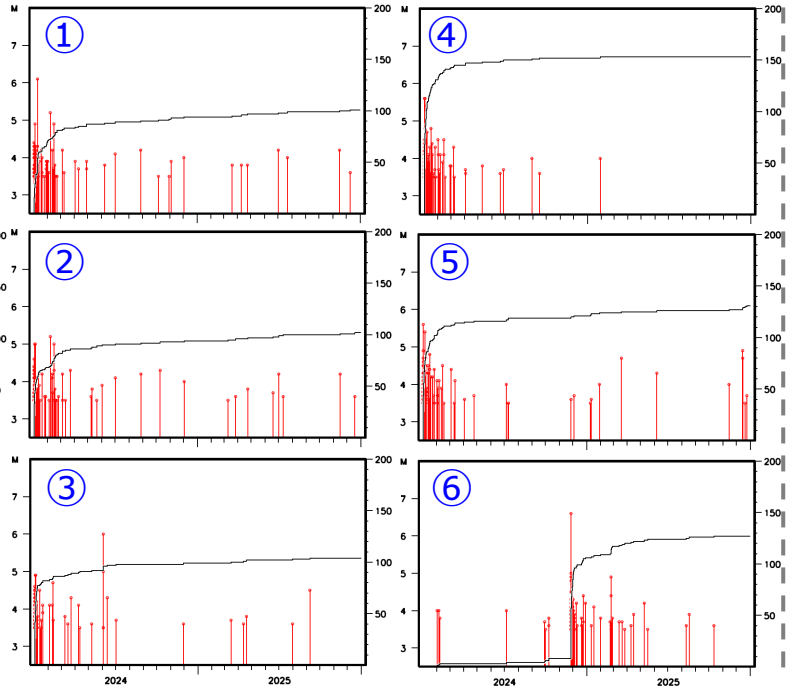
地震活動域全体（黒矩形）の時空間分布図

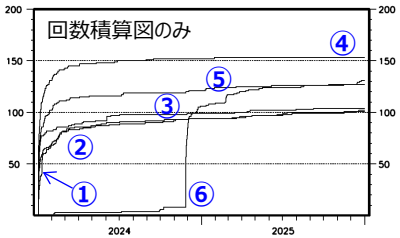




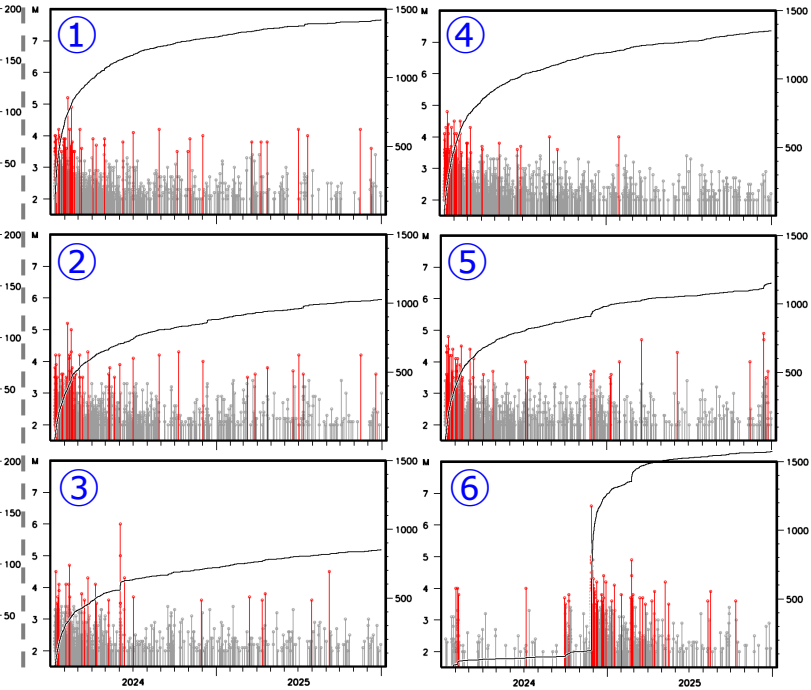


領域①～⑥（青矩形）のMT･回数積算図





領域①～⑥（青矩形）のMT･回数積算図



・M7.6発生直後は地震検知漏れがあるため、M7.6発生から３時間以降（2024年1月1日19時10分以降）はM3.5以上（左図）、2024年1月10日以降はM2.0以上（右図）で表示。

・MT･回数積算図の両縦軸は領域①～⑥で同じ

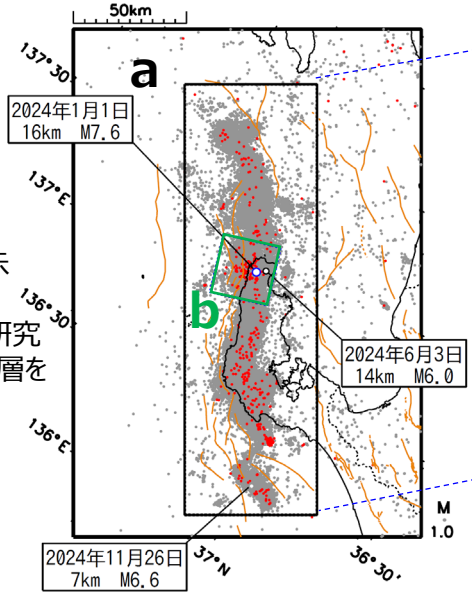
気象庁作成

「令和６年能登半島地震」（2020年12月から活発化した活動域におけるM1.0以上の地震活動）

震央分布図
（2024年1月1日～
2025年12月31日、
深さ≦30km、M≧1.0）

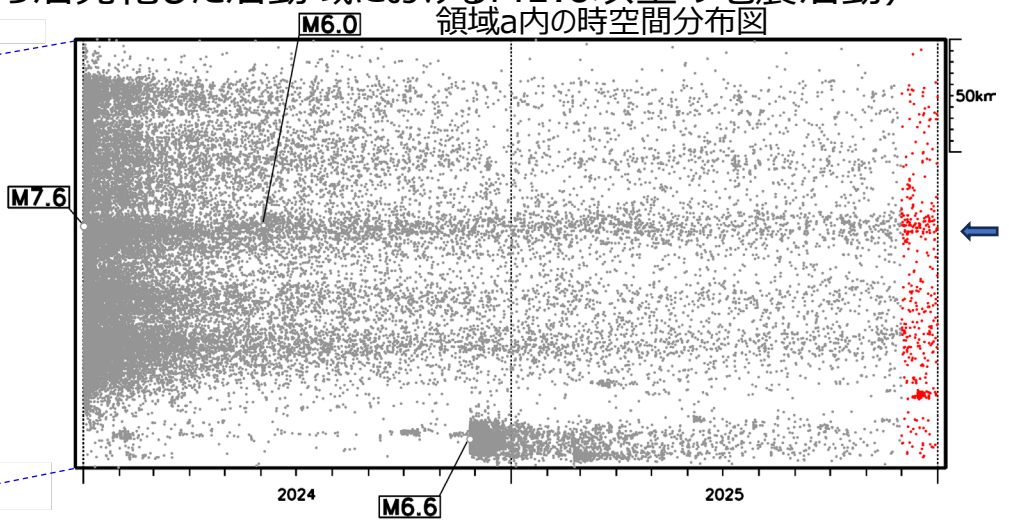
2025年12月1日以降を赤く表示

茶色実線及び破線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

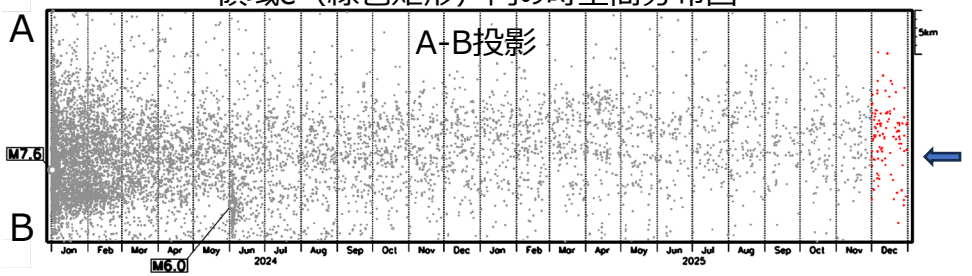


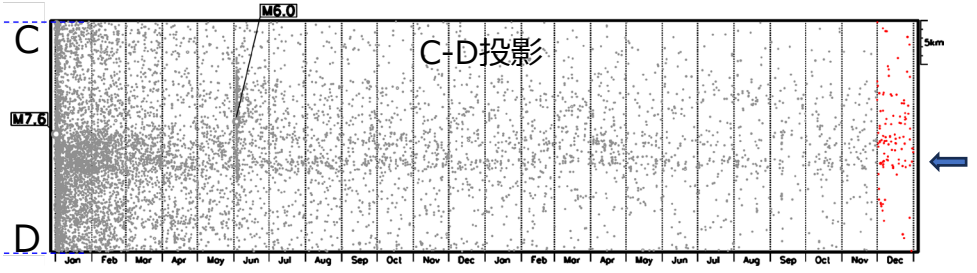
特に海域では、M≧1.0の地震を検測できていない可能性がある

領域a内の時空間分布図

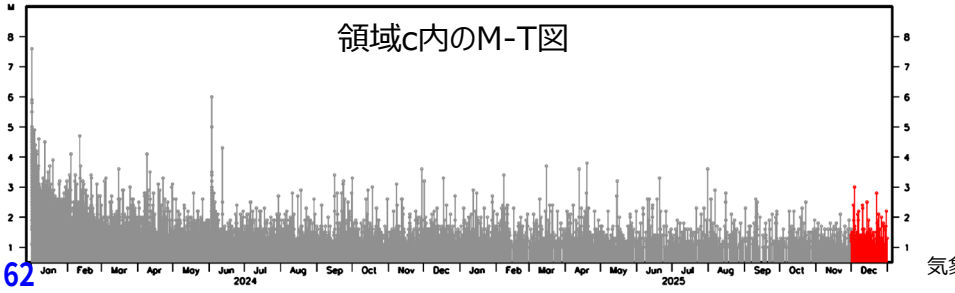


領域c（緑色矩形）内の時空間分布図





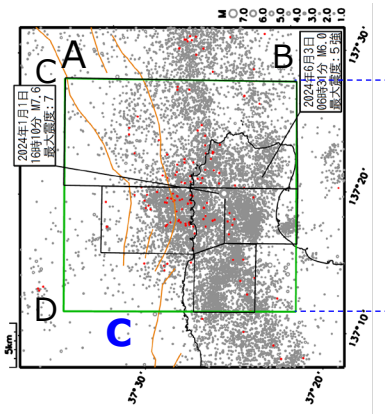
領域c内のM-T図



領域b内の拡大図
（2024年1月1日～
2025年12月31日、
深さ≦25km、M≧1.0

2025年12月1日以降を赤く表示

茶色実線及び破線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す



2024年1月1日以降の震源データは、未精査、未検知の期間を含む

気象庁作成

能登半島地震の地震活動（非定常ETAS解析）

非定常ETASモデル（Kumazawa and Ogata, 2013）による背景地震活動度μ(t)、余震誘発強度$K_0(t)$を推定した。

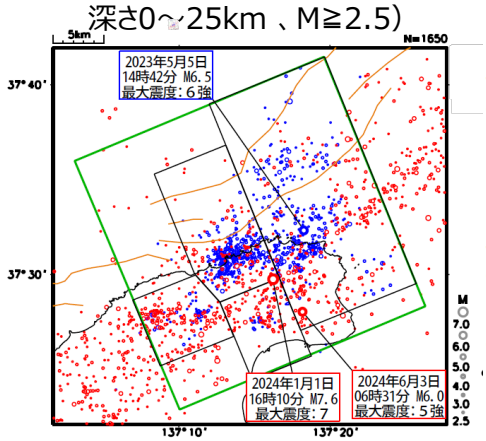
$$\lambda_\theta(t|H_t) = \mu(t) + \sum_{\{i:t_i<t\}} \frac{K_0(t_i)e^{\alpha(M_i-M_c)}}{(t-t_i+c)^p}$$

$\lambda_\theta(t|H_t)$：強度関数、μ(t)：背景地震活動度、$K_0(t)$：余震誘発強度

Kumazawa, T., Ogata, Y., 2013. Quantitative description of induced seismic activity before and after the 2011 Tohoku-Oki earthquake by nonstationary ETAS model. J. Geophys. Res.118, 6165–6182.

○非定常ETAS解析には震央分布図の緑色矩形内の震源データを使用した。μ、K_0の初期値及び固定値α、c、pは、2020年12月までの震央分布図内の主に陸域M1.0以上で定常ETAS解析により求めた値を基本としたが、M下限が大きくなると地震数が少なくなり非定常ETAS解析が安定しないため、先行研究（Ogata, 2011）によるこの地域の値を用いて、非定常ETAS解析のABICが小さいものを採用した。

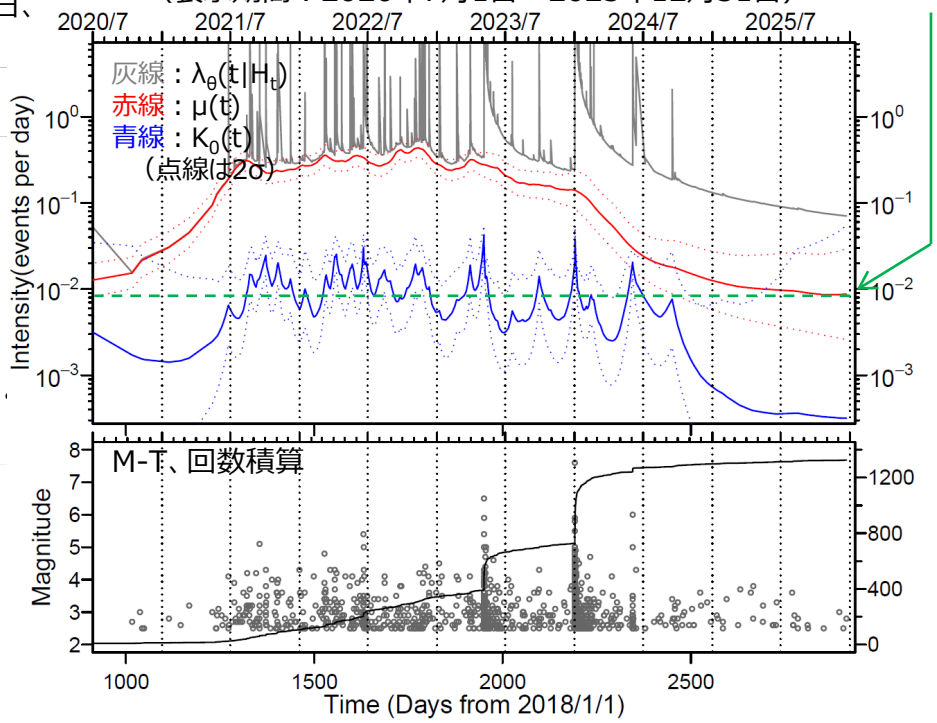
震央分布図
（2018年1月1日～2025年12月31日、深さ0～25km 、M≧2.5）

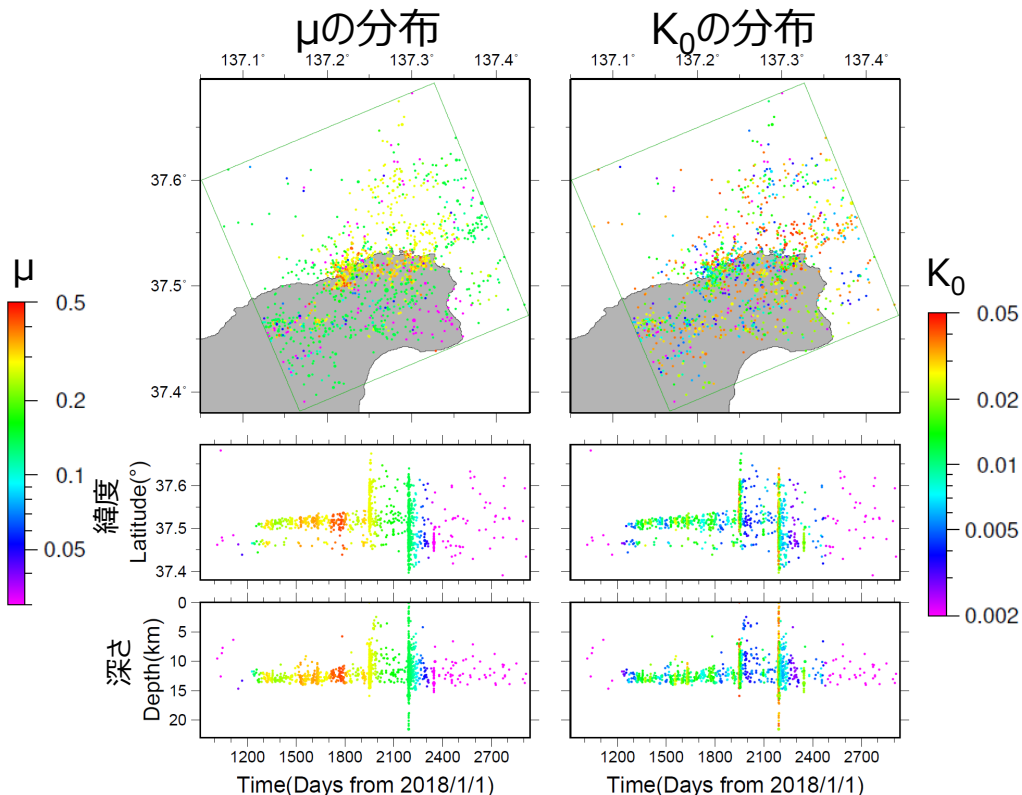


○：～2023年12月31日
○：2024年1月1日～
黒矩形は2023年12月までの主な活動域

震央分布図中の茶色実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

左図の緑色矩形内の非定常ETAS解析結果
（表示期間：2020年7月1日～2025年12月31日）





気象庁作成

能登半島地震の地震活動（非定常ETAS解析）

非定常ETASモデル（Kumazawa and Ogata, 2013）による背景地震活動度μ(t)、余震誘発強度$K_0(t)$を推定した。

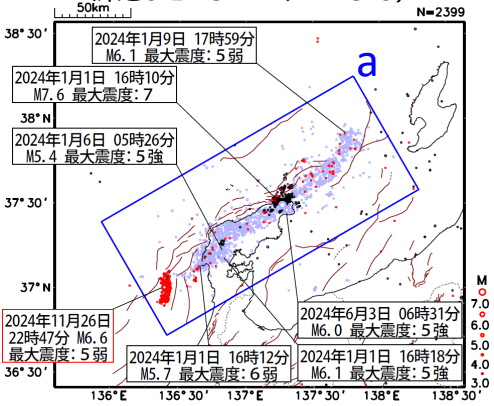
$$\lambda_\theta(t|H_t) = \mu(t) + \sum_{\{i:t_i<t\}} \frac{K_0(t_i)e^{\alpha(M_i-M_c)}}{(t-t_i+c)^p}$$

$\lambda_\theta(t|H_t)$：強度関数、μ(t)：背景地震活動度、$K_0(t)$：余震誘発強度

Kumazawa, T., Ogata, Y., 2013. Quantitative description of induced seismic activity before and after the 2011 Tohoku-Oki earthquake by nonstationary ETAS model. J. Geophys. Res.118, 6165–6182.

○非定常ETAS解析には震央分布図の緑色矩形内の震源データを使用した。μ、K_0の初期値及び固定値α、c、pは、2020年12月までの震央分布図内の主に陸域M1.0以上で定常ETAS解析により求めた値を基本としたが、M下限が大きくなると地震数が少なくなり非定常ETAS解析が安定しないため、先行研究（Ogata, 2011）によるこの地域の値を用いて、非定常ETAS解析のABICが小さいものを採用した。

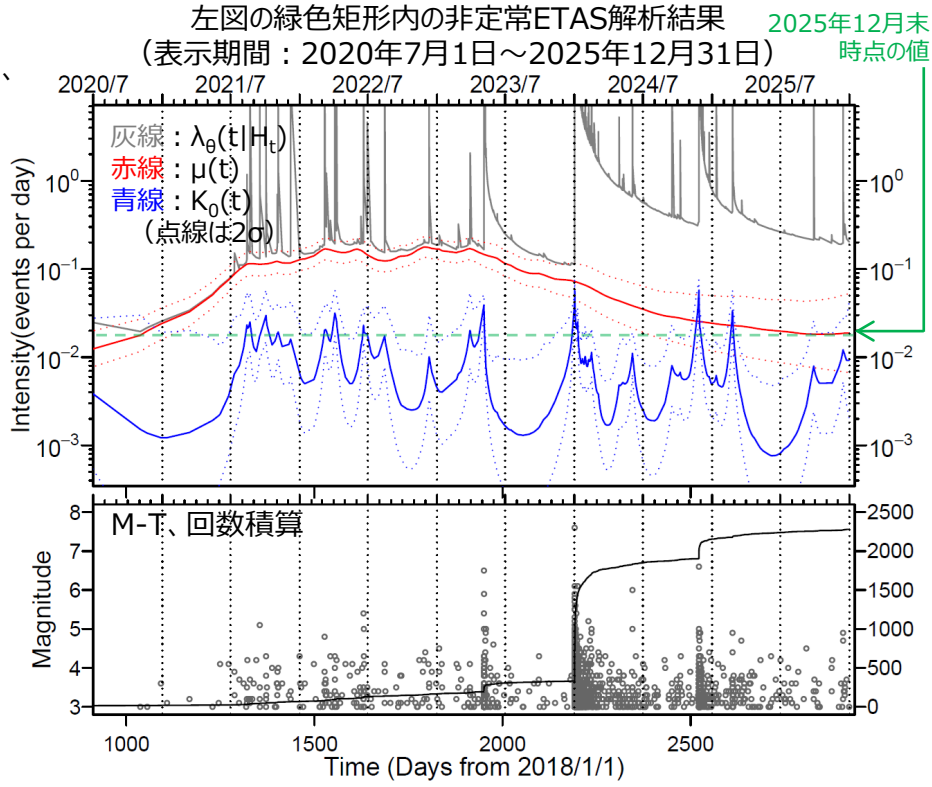
震央分布図
（2018年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～25km 、M≧3.0）

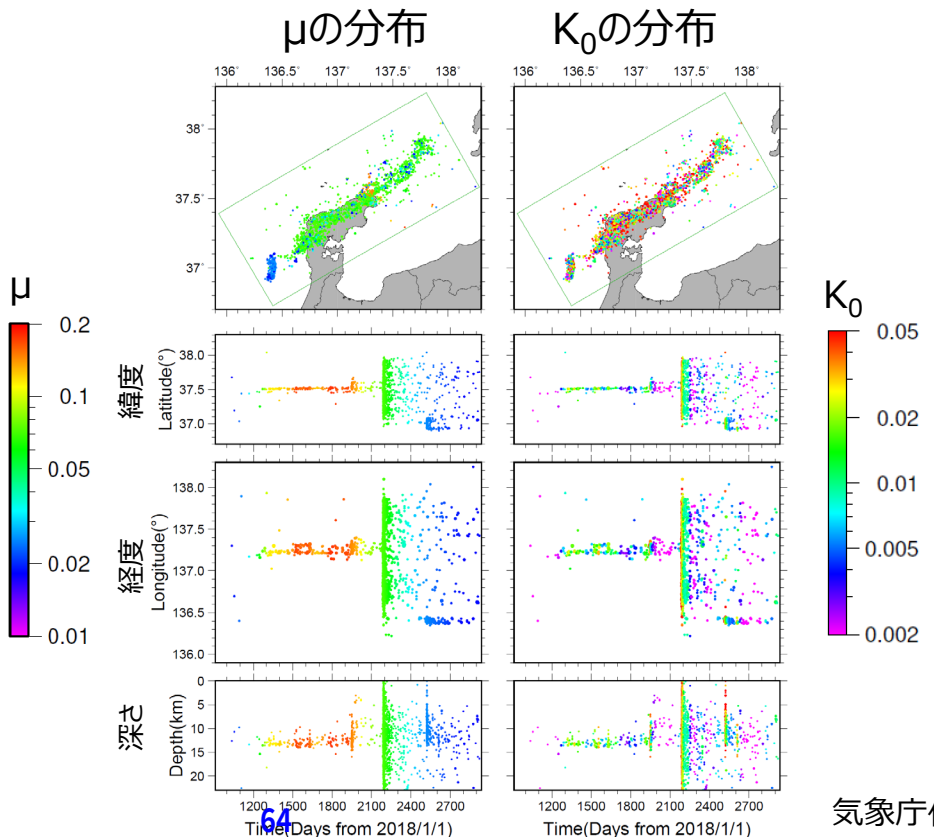


○：2018年1月1日～2023年12月30日
○：2024年1月1日～2024年11月25日
○：2024年11月26日～

震央分布図中の茶色実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

左図の緑色矩形内の非定常ETAS解析結果
（表示期間：2020年7月1日～2025年12月31日）



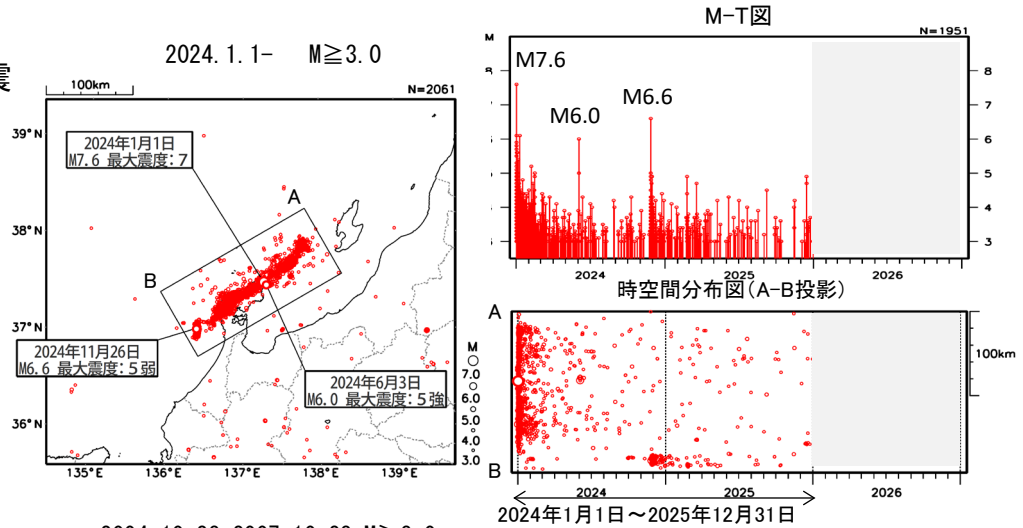


気象庁作成

陸のプレート内で発生した過去の大地震との活動比較（36か月間）

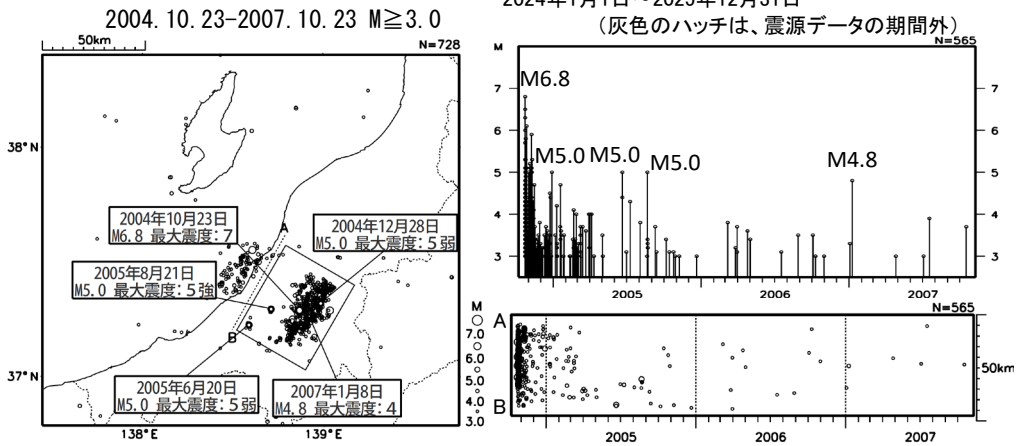
令和６年能登半島地震

（M7.6，最大震度７）



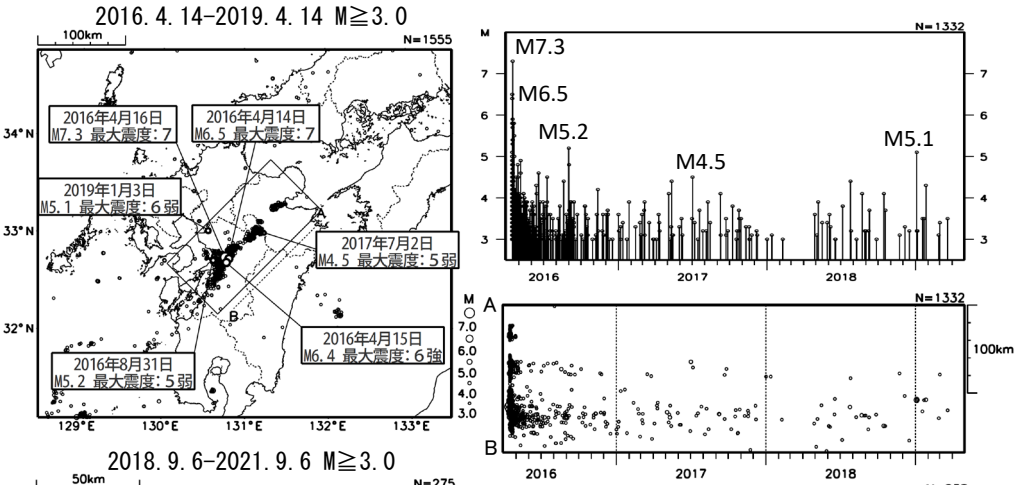
平成16年（2004年）新潟県中越地震

（M6.8，最大震度７）



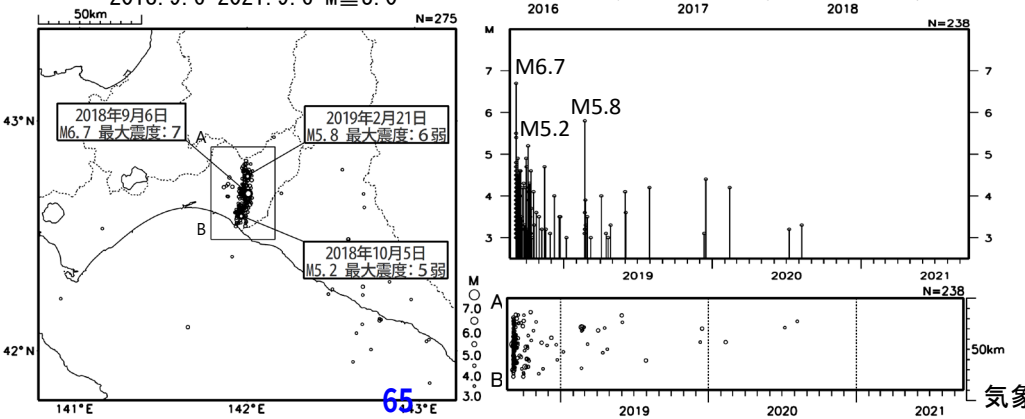
平成28年（2016年）熊本地震

（M6.5，最大震度７，
M7.3，最大震度７）



平成30年北海道胆振東部地震

（M6.7，最大震度７）



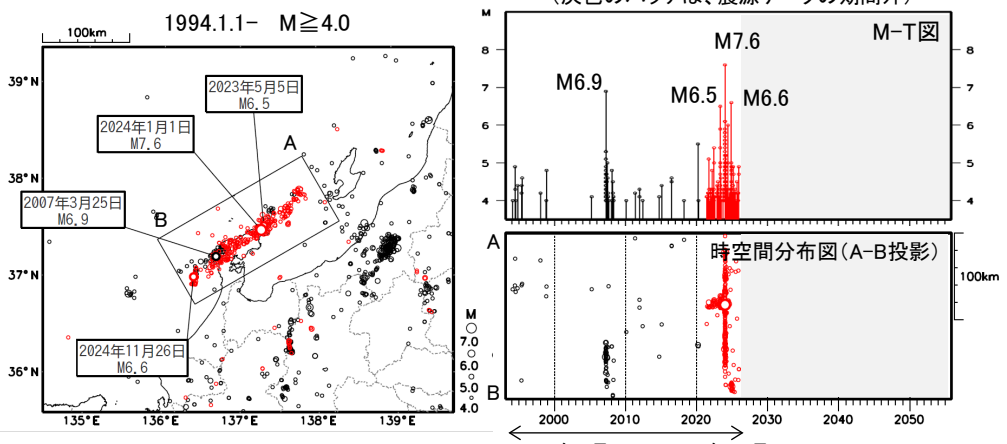
気象庁作成

日本海沿岸で発生した過去の大地震（地震活動比較、前後30年間）

（灰色のハッチは、震源データの期間外）

「令和6年能登半島地震」

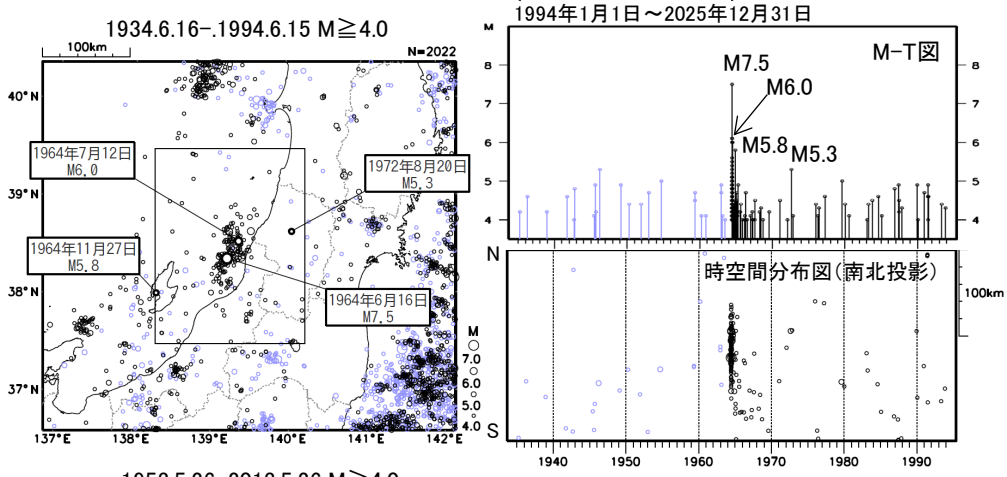
（M7.6, 最大震度7）



2020年12月1日以降の地震を赤色で表示

1964年「新潟地震」

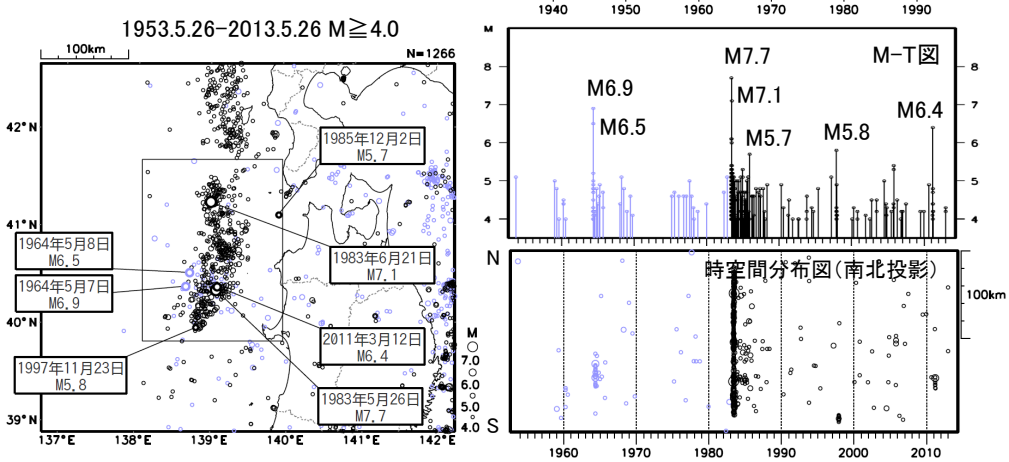
（M7.5, 最大震度5）



1964年6月16日より前の地震を水色で表示

「昭和58年(1983年)日本海中部地震」

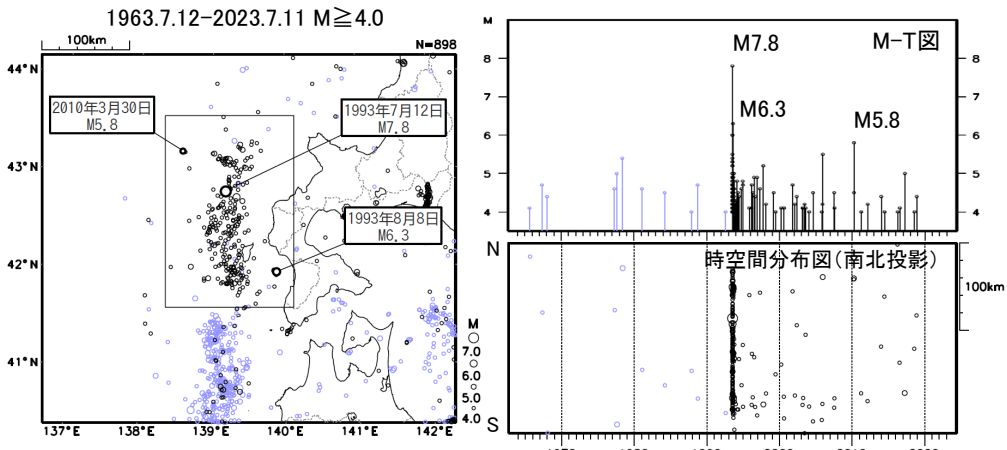
（M7.7, 最大震度5）



1983年5月26日より前の地震を水色で表示

「平成5年(1993年)北海道南西沖地震」

（M7.8, 最大震度5）

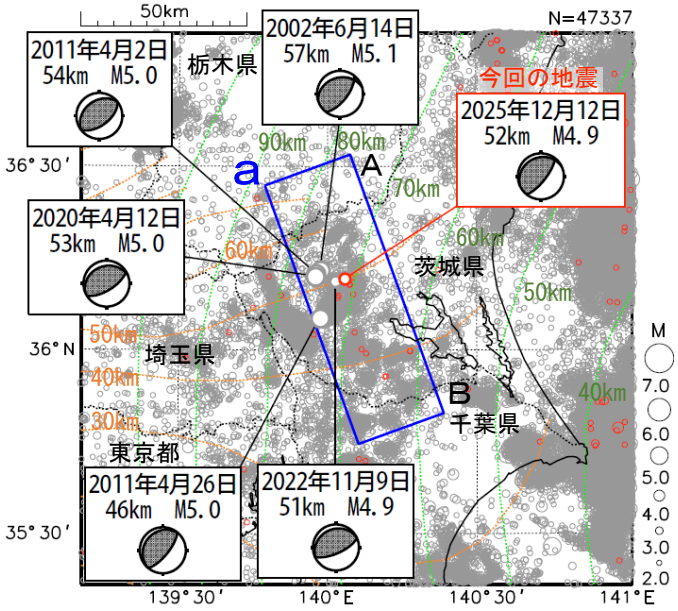


1993年7月12日より前の地震を水色で表示

気象庁作成

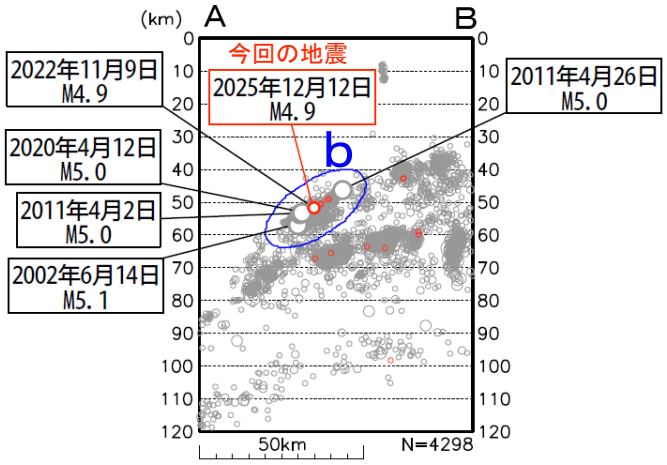
12 月 12 日　茨城県南部の地震

震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～120km、M≧2.0）
2025 年 12 月の地震を赤色で表示

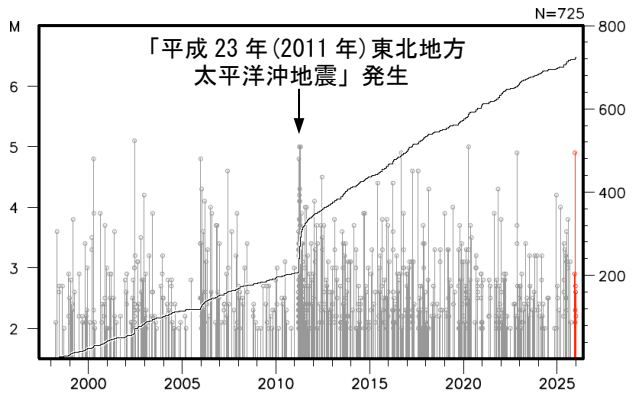


震央分布図中の緑色及び橙色の破線は、それぞれ、弘瀬・他（2008）による太平洋プレート上面及びフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内のM－T 図及び回数積算図

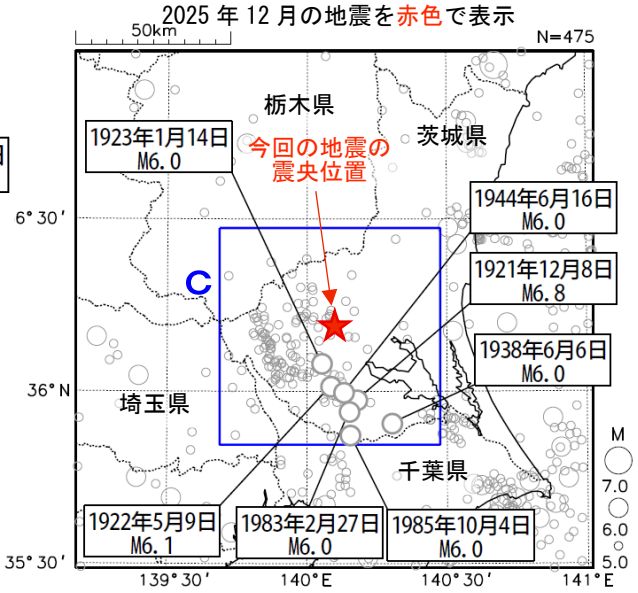


2025 年 12 月 12 日 19 時 05 分に茨城県南部の深さ 52km で M4.9 の地震（最大震度４）が発生した。この地震の発震機構は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

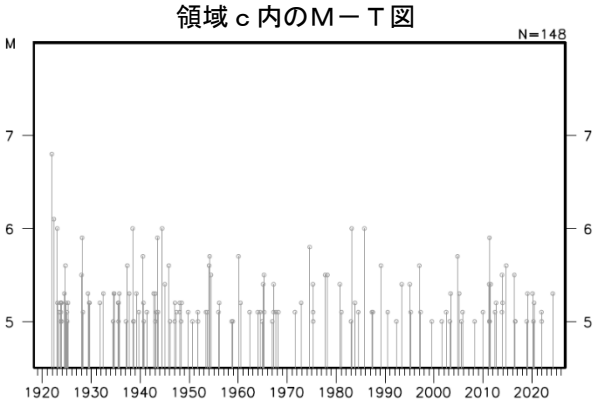
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）は、地震活動が活発な領域であり、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動がより活発になっている。この領域では、2022 年 11 月 9 日には M4.9 の地震（最大震度５強）が発生し、負傷者１人の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0 以上の地震がまれに発生している。1921 年 12 月 8 日には M6.8 の地震が発生し、土蔵破損や道路の亀裂などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～120km、M≧5.0）
2025 年 12 月の地震を赤色で表示



領域 c 内のM－T 図

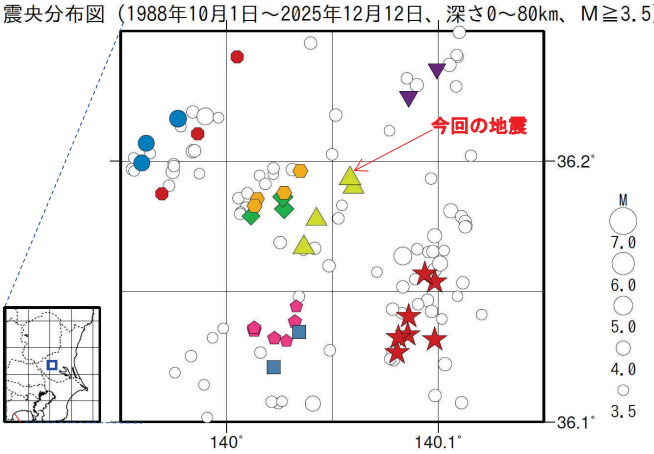


気象庁作成

12月12日の茨城県南部の地震（相似地震）

茨城県南部で発生した2025年12月12日（M4.9、最大震度4）の地震について、
強震波形による相関解析を行った結果、既往の相似地震グループの最新の相似地震として検出された（グループH）※1。

震央分布図（1988年10月1日～2025年12月12日、深さ0～80km、M≧3.5）

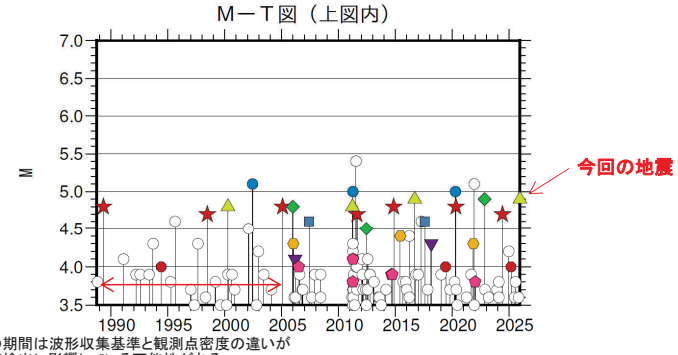


発生間隔と推定年平均すべり量※2

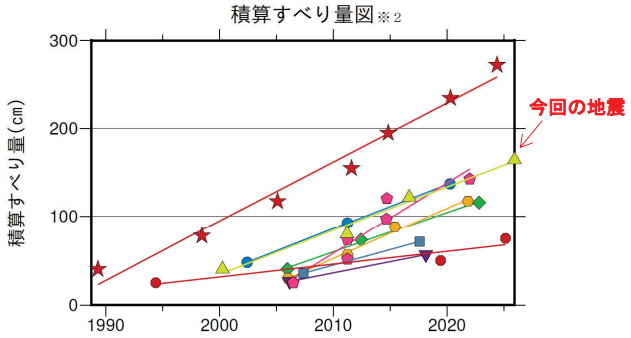
グループ	回数	平均M	震度 最大	震度 最小	発生間隔 平均	発生間隔 最短	発生間隔 最大	平均すべり量（cm/年）
A	7	4.76	4	3	5.84	3.24	9.13	6.72
B	3	5.03	A	4	8.91	8.80	9.03	5.03
C	3	4.73	B	3	8.43	6.47	10.40	4.45
D	4	4.28	4	3	5.27	4.17	6.42	5.67
E	2	4.20	3	3	11.96	11.96	11.96	2.49
F	6	3.92	3	3	3.10	0.00	7.27	7.98
G	2	4.60	4	4	10.17	10.17	10.17	3.49
H	4	4.85	A	4	8.56	5.46	10.95	4.96
I	3	4.00	3	2	15.38	5.74	25.02	1.43

今回の地震

M－T図（上図内）



積算すべり量図※2



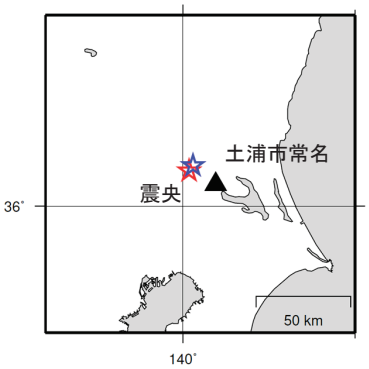
赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが
相似地震検出に影響している可能性がある。

※1 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的に行っている［溜渕ほか、2014］。
※2 すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式［Hanks and Kanamori(1979)］及び 地震モーメントとすべり量の関係式［Nadeau and Johnson(1998)］を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

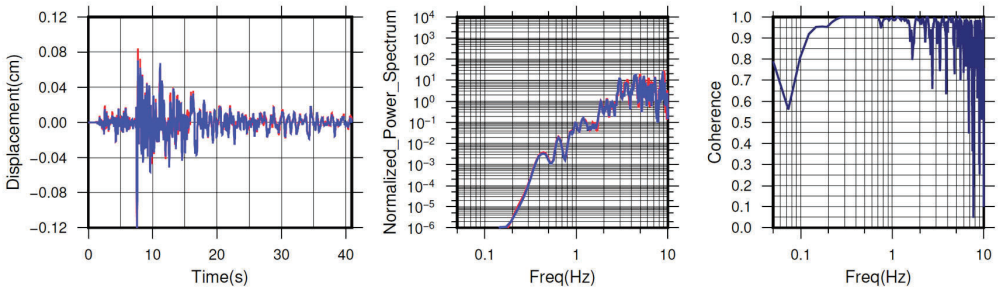
気象庁作成

●波形例

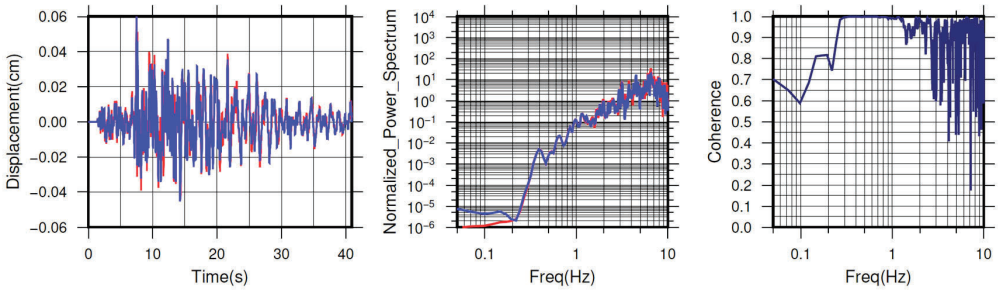
観測点名:土浦市常名
2016/09/07 13:28:50 M4.9
2025/12/12 19:05:19 M4.9



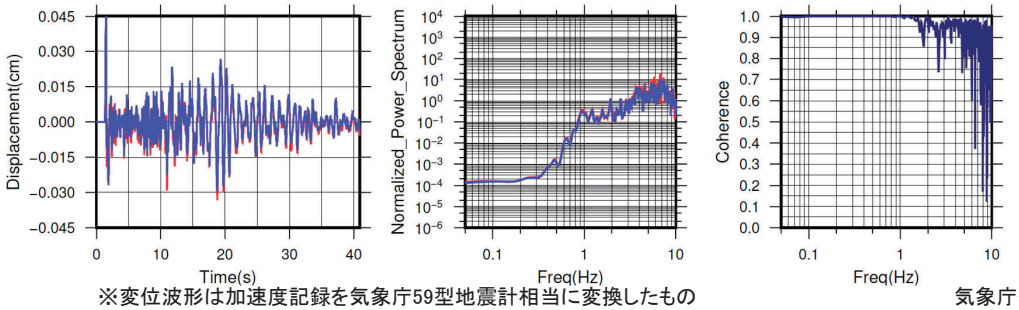
NS成分: Cohr=0.99 (0.32 - 1.29 Hz)



EW成分: Cohr=0.99 (0.32 - 1.29 Hz)



UD成分: Cohr=1.00 (0.32 - 1.29 Hz)



※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したもの

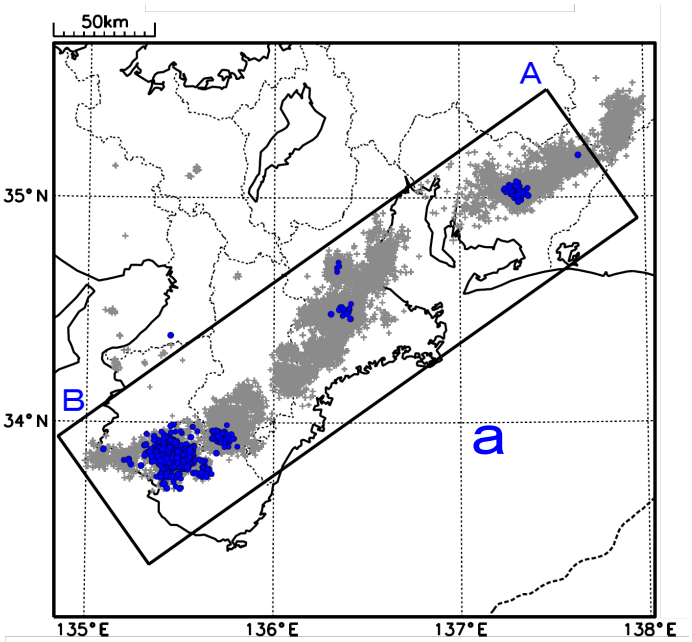
気象庁作成

東海の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

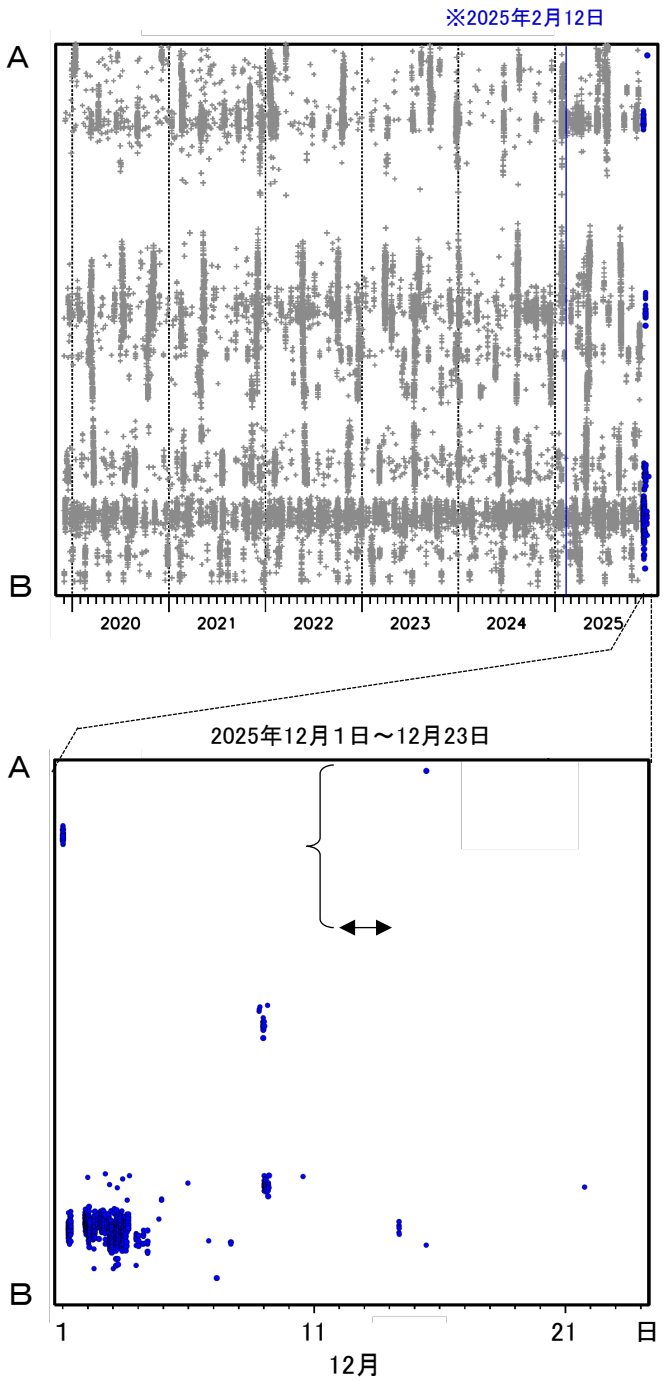
12月12日から13日にかけて、周辺に設置されている複数のひずみ計・傾斜計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。なお、対応する深部低周波地震（微動）活動は観測されていない。

深部低周波地震（微動）活動

震央分布図（2019年12月１日～2025年12月23日、深さ0～60km、Mすべて）
灰：2019年12月１日～2025年12月23日、
青：2025年12月１日以降



領域a内の時空間分布図（A－B投影）

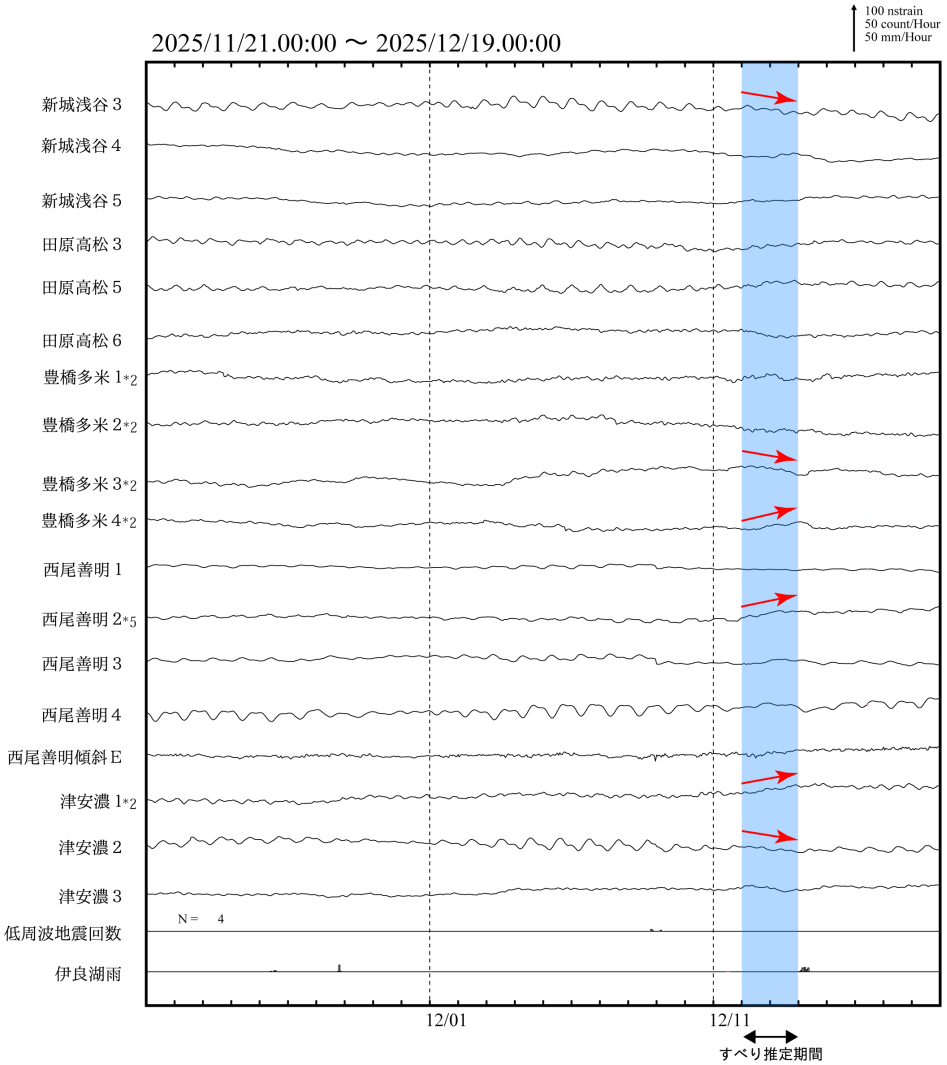


※2025年2月12日から、深部低周波地震（微動）の検知手法の改善により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

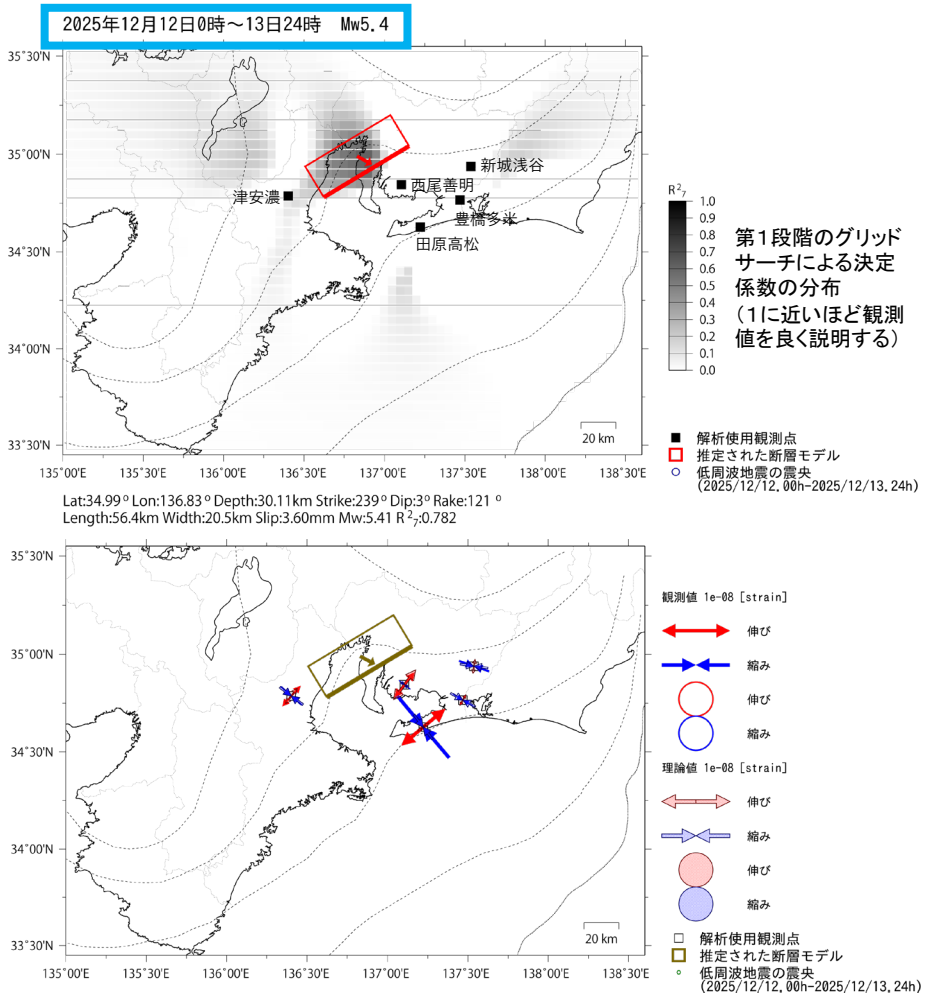
気象庁作成

東海で観測した短期的ゆっくりすべり（12月12日～13日）

愛知県から三重県で観測されたひずみ・傾斜変化



豊橋多米、西尾善明及び津安濃は産業技術総合研究所のひずみ・傾斜計である。
解析に使用したチャネルについては背景色を塗り、そのうち有意な変化が見られたチャネルに赤矢印を描画している。



第１段階のグリッドサーチによる決定係数の分布（１に近いほど観測値を良く説明する）

左図に示す観測点での変化量をもとにすべり推定を行ったところ、図の場所にゆっくりすべりを示す断層モデルが求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか，2012）を参考に以下の２段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

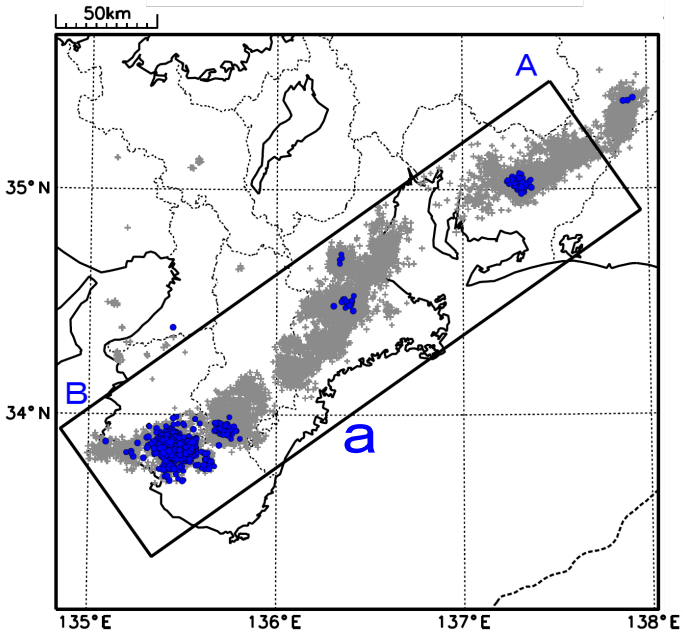
気象庁作成

紀伊半島西部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

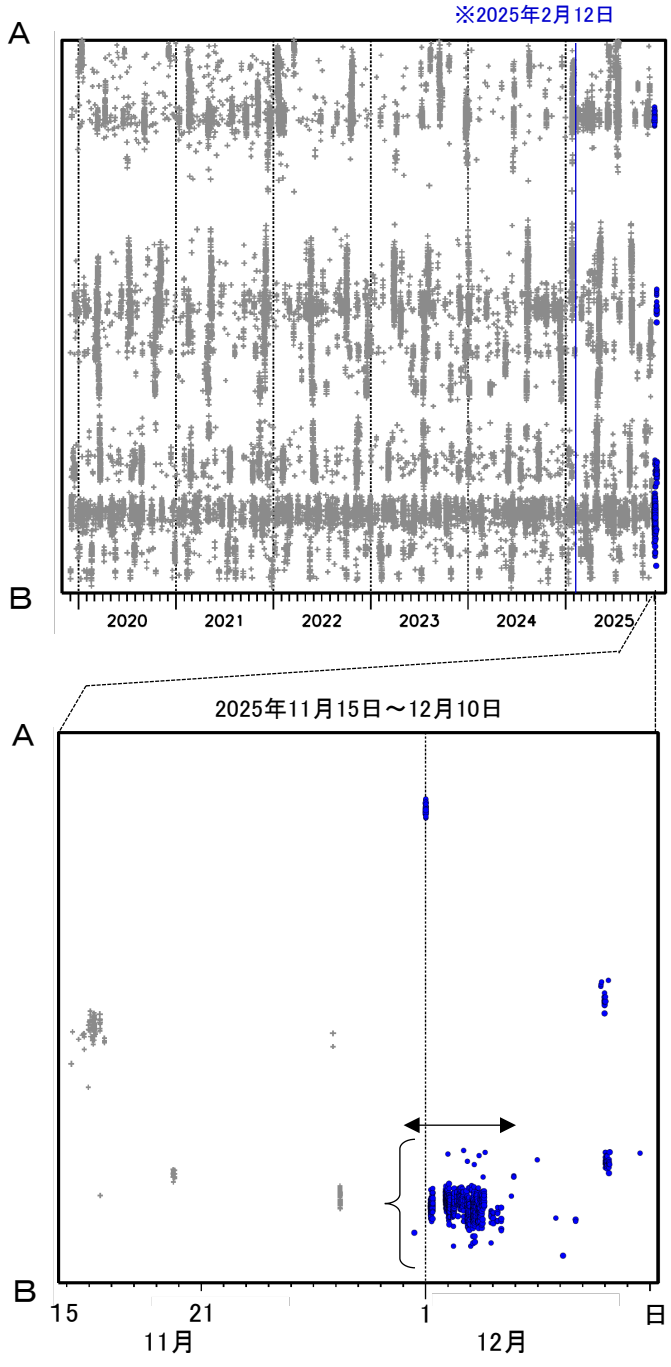
11月30日から12月4日にかけて、紀伊半島西部で深部低周波地震（微動）を観測した。
深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動

震央分布図（2019年12月１日～2025年12月10日、
深さ0～60km、Mすべて）
灰：2019年12月１日～2025年12月10日、
青：2025年11月30日以降



領域a内の時空間分布図（A－B投影）

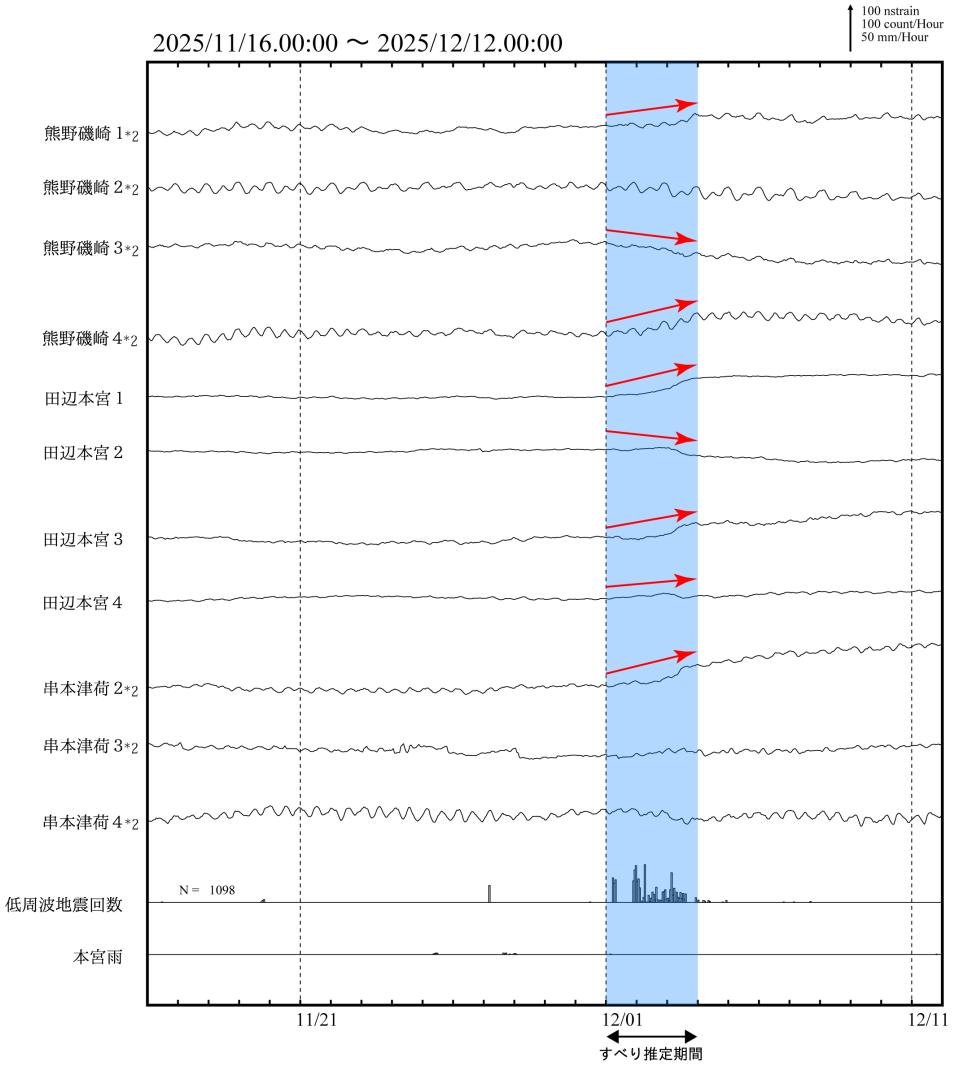


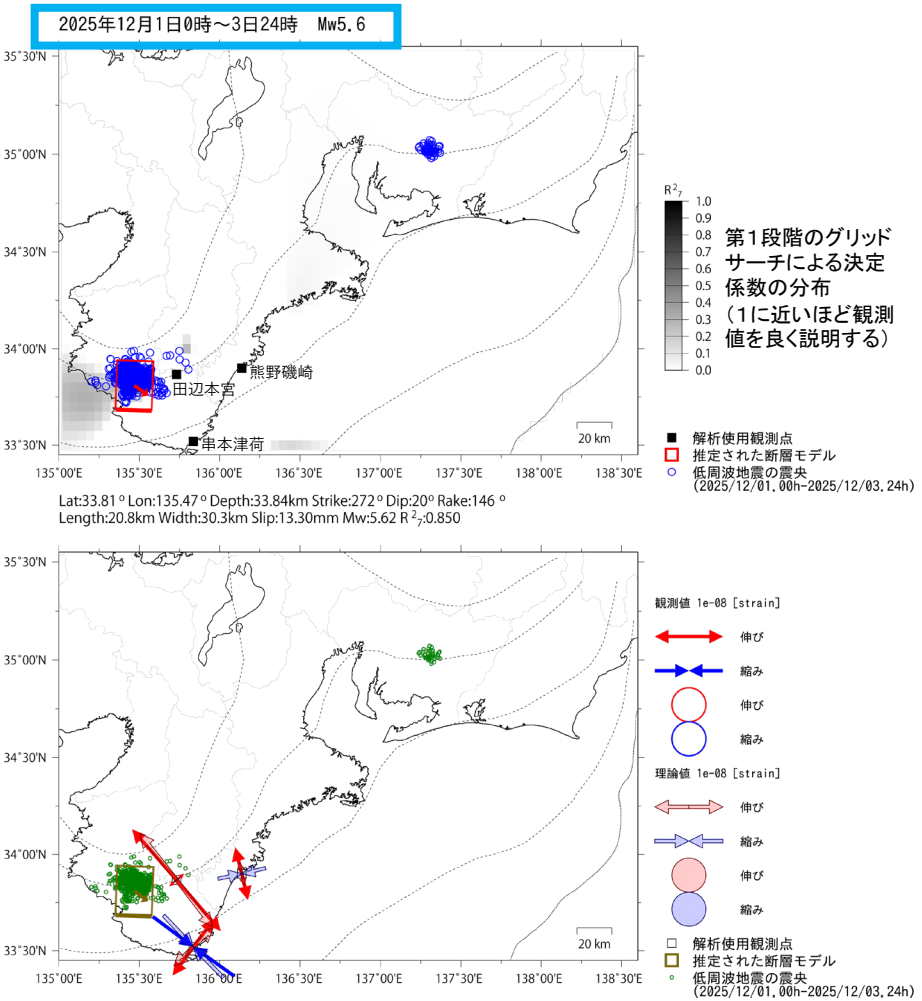
※2025年2月12日から、深部低周波地震（微動）の検知手法の改善により、
それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

紀伊半島西部で観測した短期的ゆっくりすべり（12月1日～3日）

三重県から和歌山県で観測されたひずみ変化





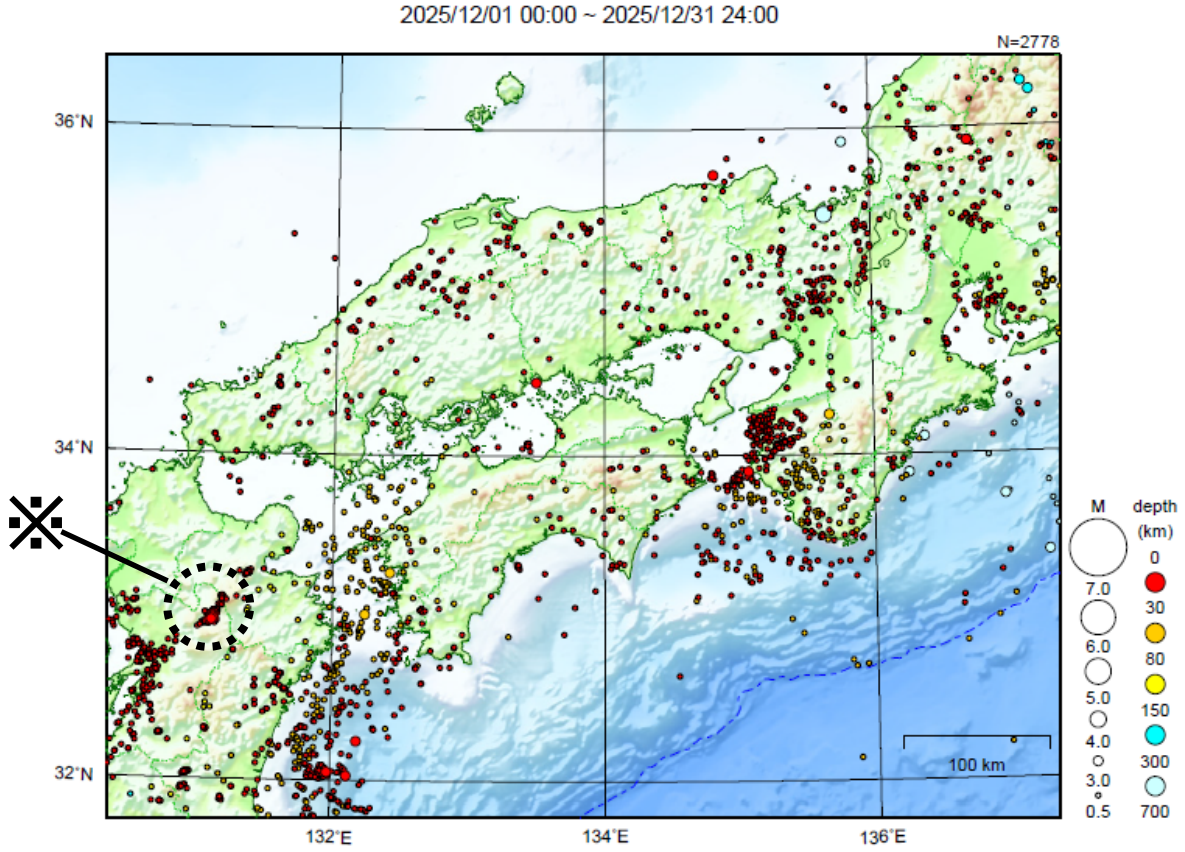
熊野磯崎、田辺本宮及び串本津荷は産業技術総合研究所のひずみ計である。
解析に使用したチャネルについては背景色を塗り、そのうち有意な変化が見られたチャネルに赤矢印を描画している。

左図に示す観測点での変化量をもとにすべり推定を行ったところ、図の場所にゆっくりすべりを示す断層モデルが求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか，2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

気象庁作成

近畿・中国・四国地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

※で示した地震については九州地方の資料を参照。

（上記期間外）

2026 年 1 月 6 日 10 時 18 分に島根県東部で M6.4 の地震（最大震度５強）が発生した。

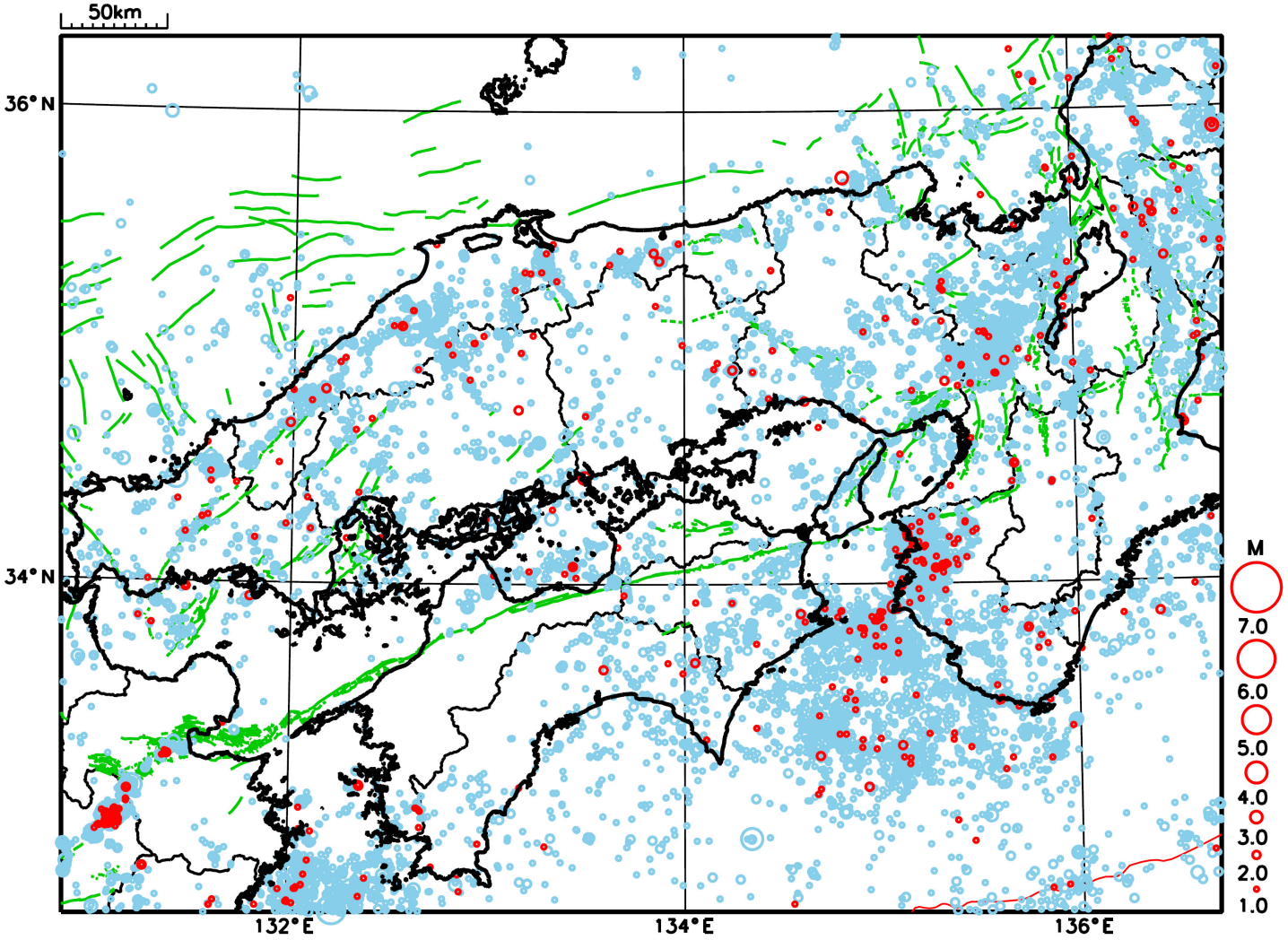
2026 年 1 月 6 日 10 時 28 分に島根県東部で M5.1 の地震（最大震度５弱）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

近畿・中国・四国地方における 2025 年 12 月の地震活動

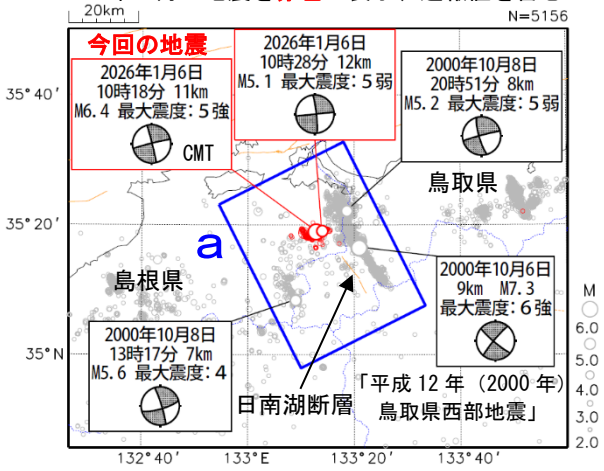
（M≧1.0、陸域 深さ 30km 以浅、海域 深さ 60km 以浅）



気象庁作成

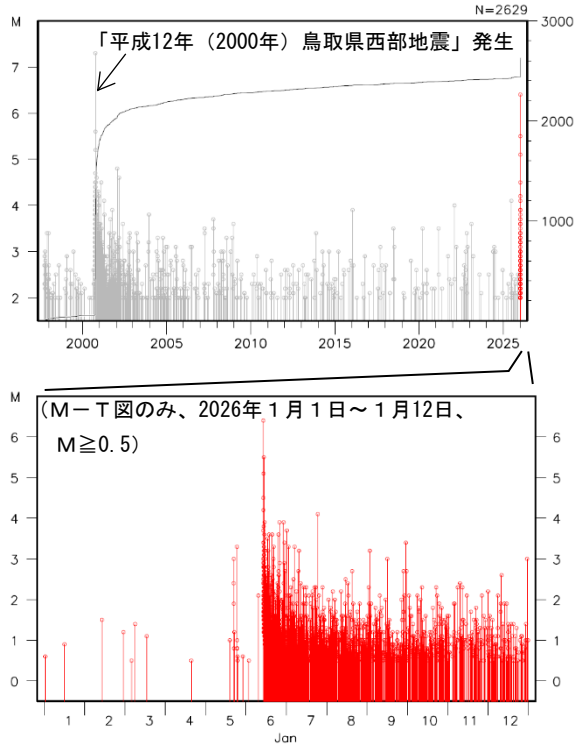
１月６日　島根県東部の地震

震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2026 年 1 月 12 日、
深さ 0 ～30km、M≧2.0）
2026 年 1 月の地震を赤色で表示、速報値を含む

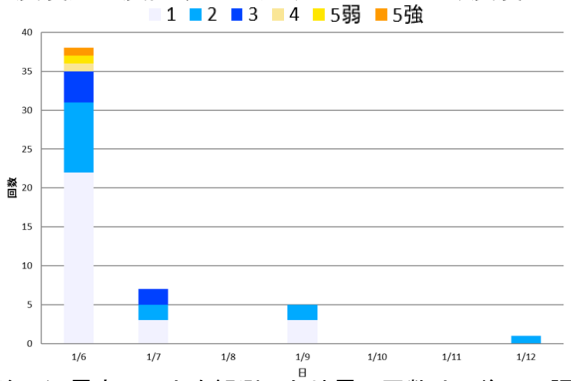


震央分布図中の橙色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



最大震度別地震回数[注1]（１月６日～12日、震度１以上）



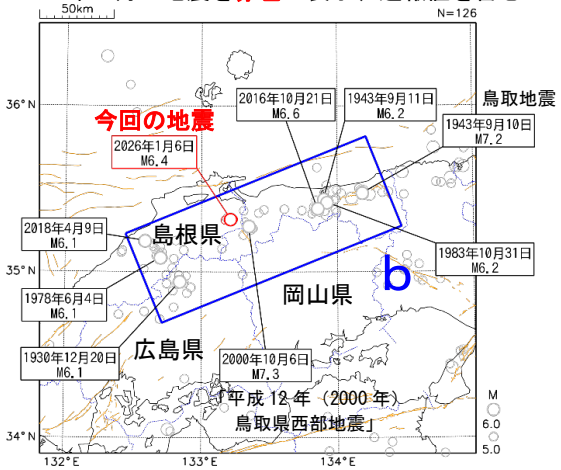
（注１）震度１以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

2026年１月６日10時18分に島根県東部の深さ11kmでM6.4の地震（最大震度５強）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、１月５日16時43分にM3.0の地震（最大震度１）および同日18時42分にM3.3の地震（最大震度２）が発生した。また、１月６日10時28分にM5.1の地震（最大震度５弱）が発生した。６日から12日までに震度１以上を観測した地震が51回（震度５強：１回、震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：６回、震度２：14回、震度１：28回）[注1]発生した。この地震により、負傷者12人、住家一部破損62棟の被害が生じた（被害は2026年１月９日14時00分現在、総務省消防庁による）。

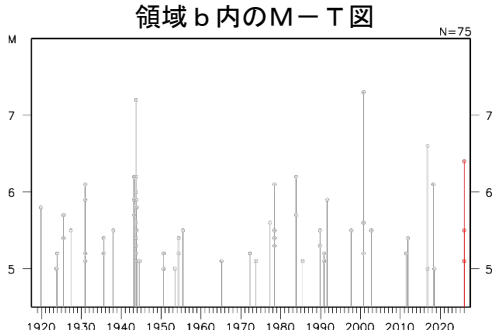
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では、「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1943年９月10日に発生したM7.2の地震（鳥取地震、最大震度６）では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2026 年 1 月 12 日、
深さ 0 ～30km、M≧5.0）
2026 年 1 月の地震を赤色で表示、速報値を含む



領域ｂ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

令和8年1月13日16時現在

島根県東部の地震の最大震度別地震回数表

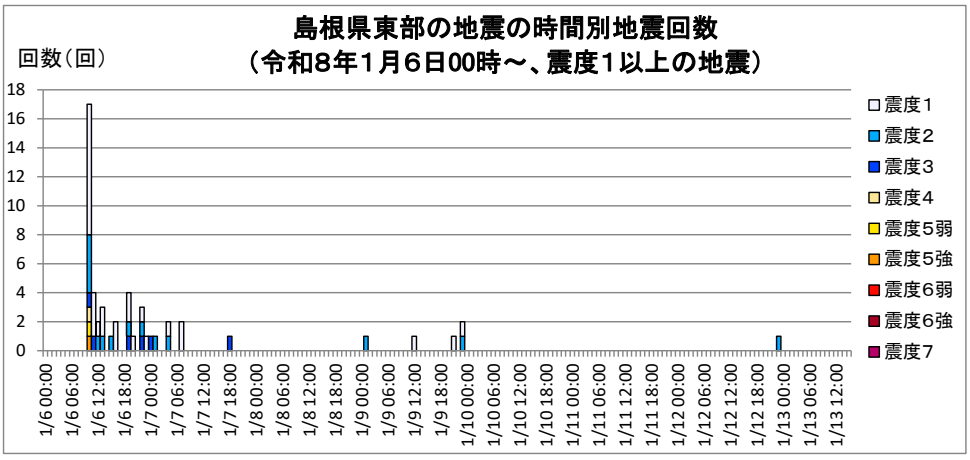
令和8年1月6日00時～、震度1以上

（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

日別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
1/6	22	9	4	1	1	1	0	0	0	38	38	
1/7	3	2	2	0	0	0	0	0	0	7	45	
1/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	
1/9	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	50	
1/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
1/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
1/12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	51	
1/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	16時現在
総計	28	14	6	1	1	1	0	0	0		51	

（注）1月6日10時18分に発生した最大震度5強の地震のほか、その直前の10時17分に発生した地震1回（最大震度2）を含んでいます。

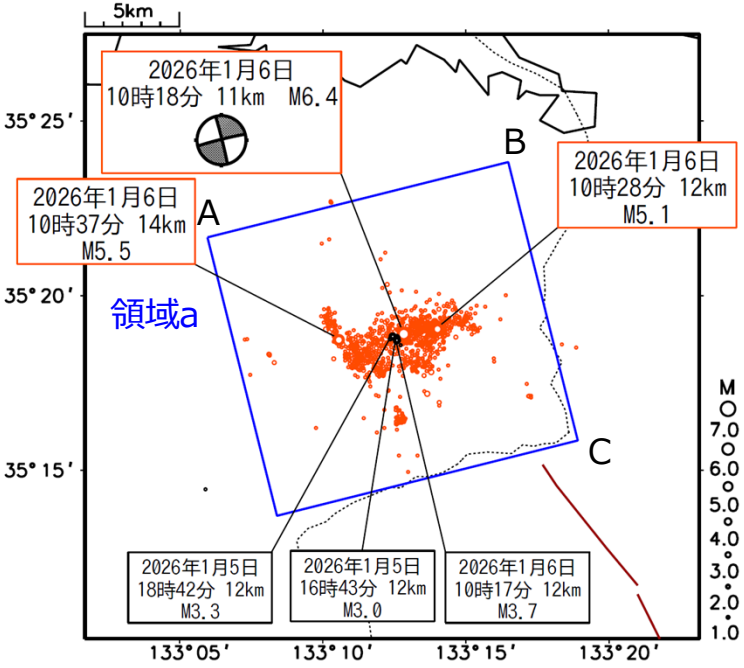
時間別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数	備考
（直近2日分）	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	
1/12 00時-01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
01時-02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
04時-05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
06時-07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
08時-09時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
09時-10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10時-11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12時-13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13時-14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14時-15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15時-16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16時-17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17時-18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18時-19時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19時-20時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20時-21時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21時-22時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22時-23時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23時-24時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
1/13 00時-01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
01時-02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
04時-05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
06時-07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
08時-09時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
09時-10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10時-11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12時-13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13時-14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14時-15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15時-16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	



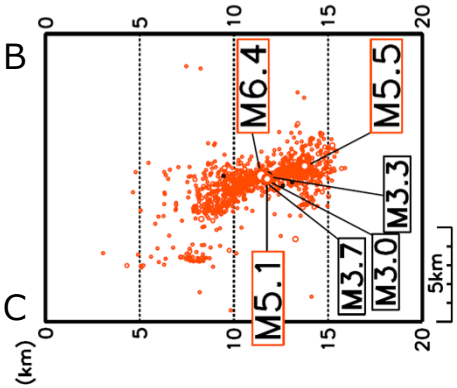
気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（今回の地震活動）

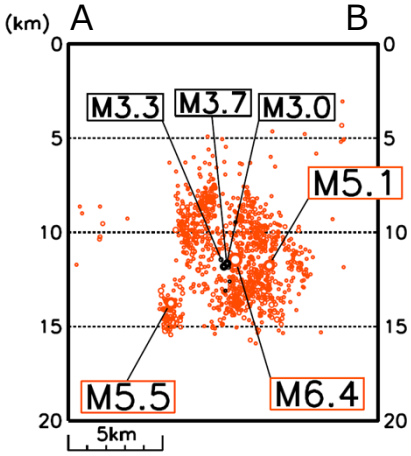
震央分布図
2026年1月5日～12日、深さ0～20km、M≧1.0
1月5日10時18分（M6.4）以降の地震を赤色で表示



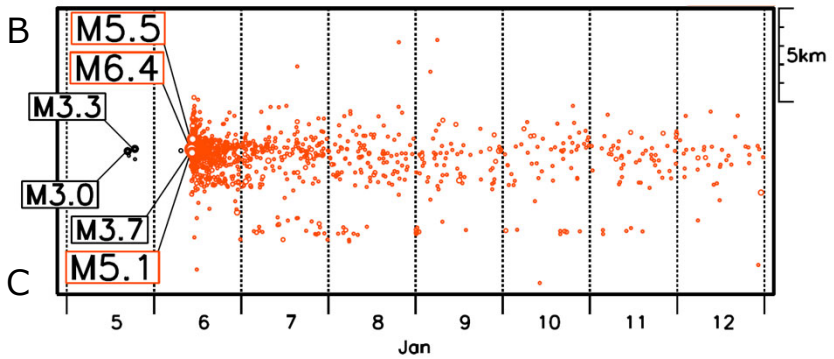
領域a内の断面図（B-C投影）



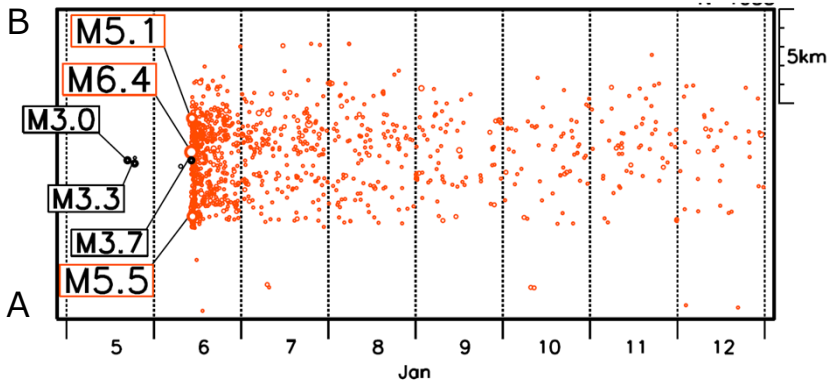
領域a内の断面図（A-B投影）



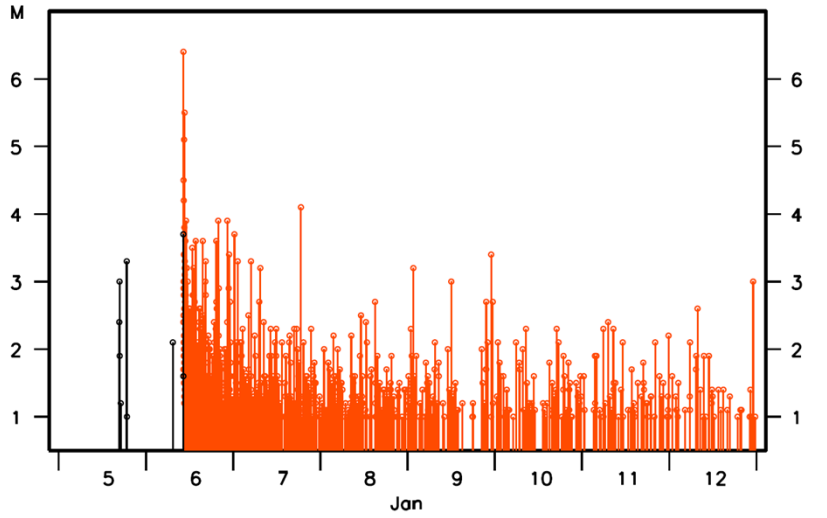
領域a内の時空間分布図（B-C投影）



領域a内の時空間分布図（A-B投影）



領域a内のM-T図



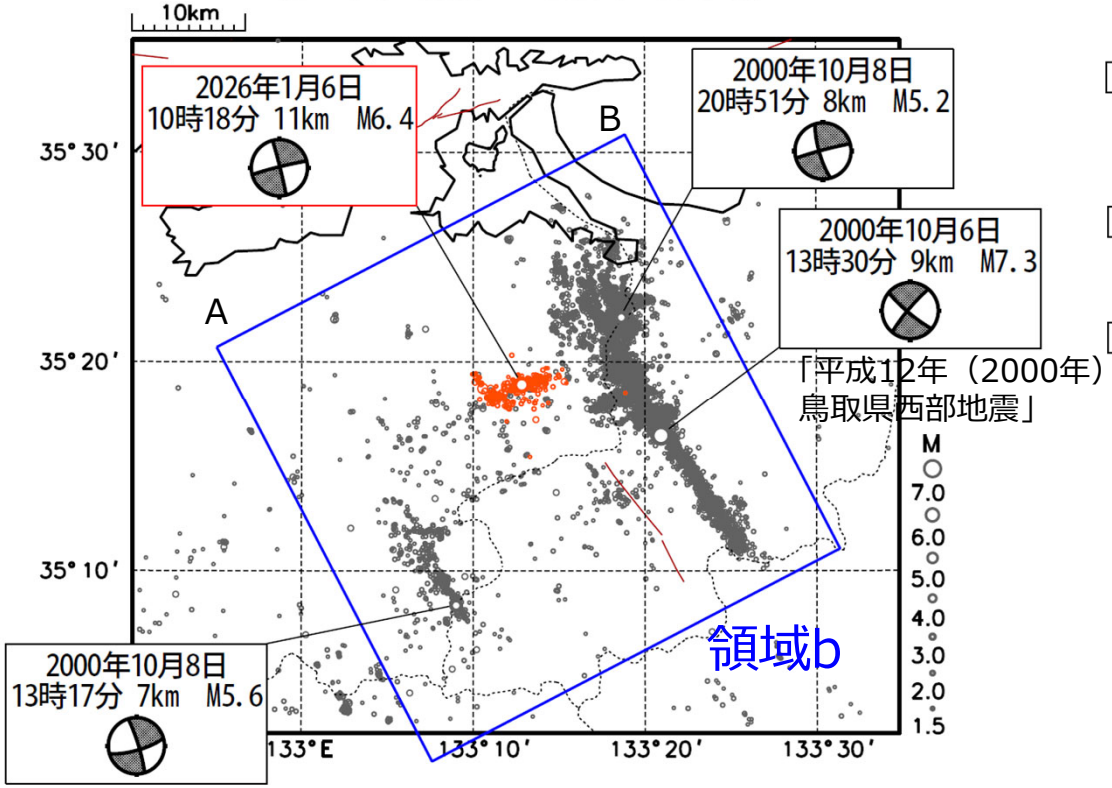
震央分布図中の茶色実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（1997年10月以降の地震活動）

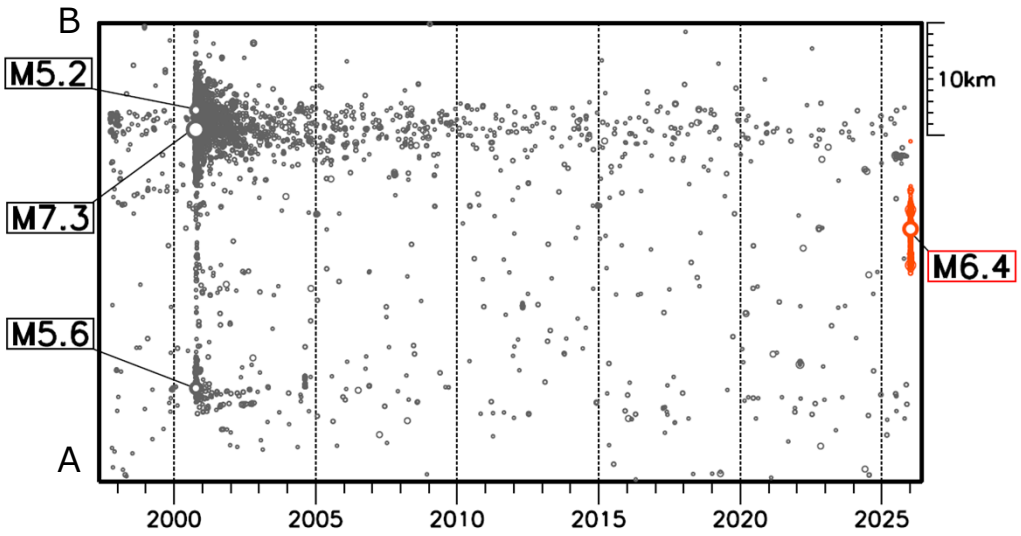
震央分布図
1997年10月1日～2026年1月6日、深さ0～30km、M≧1.5

20256年1月5日10時18分（M6.4）以降の地震を赤色で表示

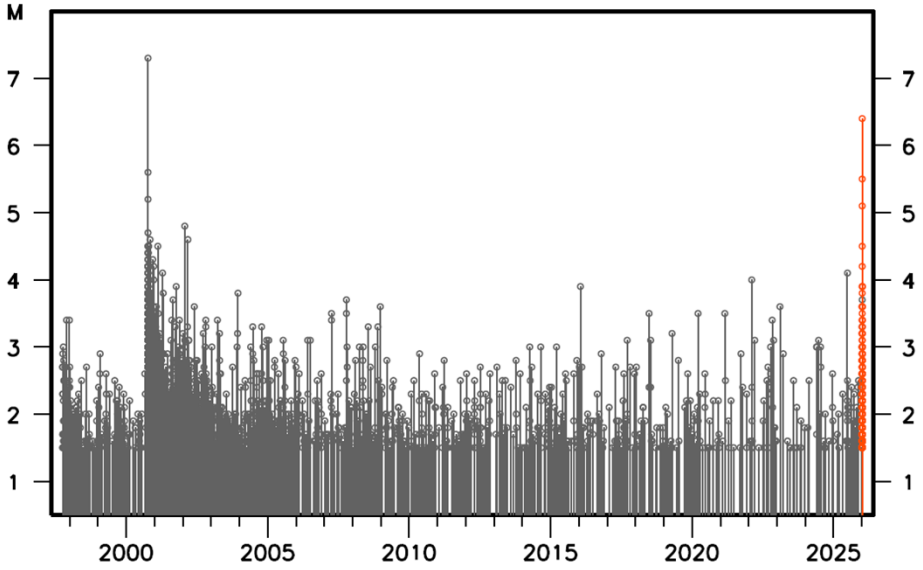


「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」

領域b内の時空間分布図（A-B投影）



領域b内のM-T図

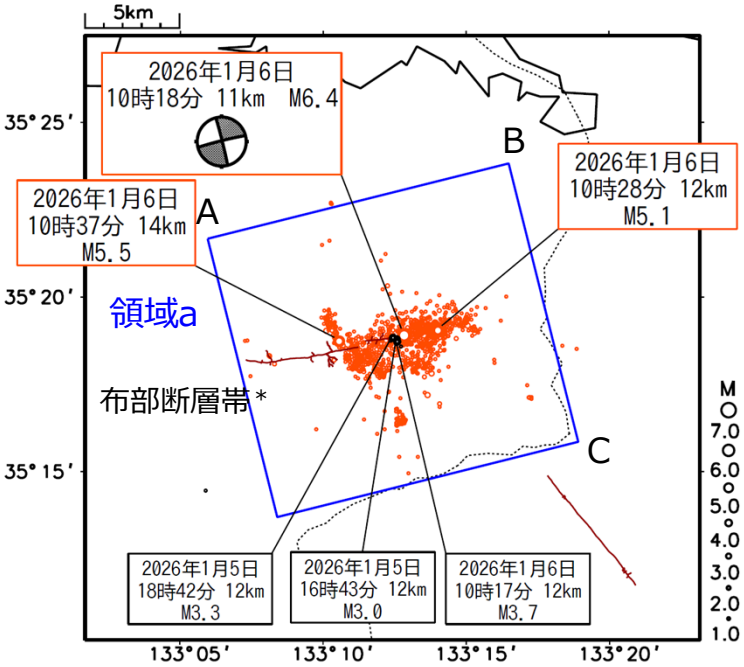


震央分布図中の茶色実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

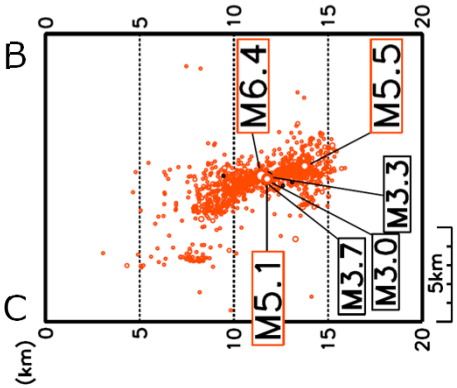
気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（今回の地震活動）

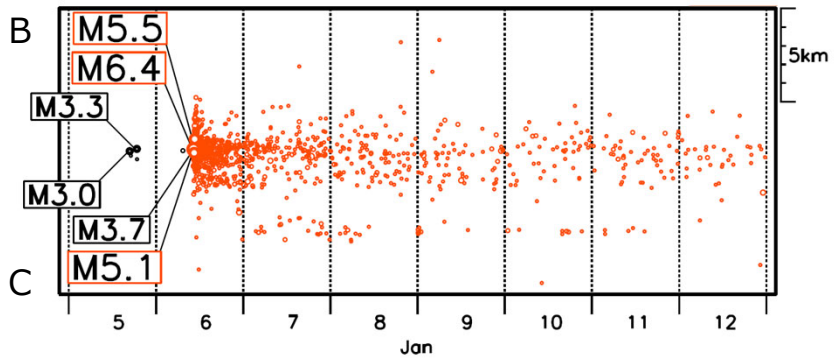
震央分布図
2026年1月5日～12日、深さ0～20km、M≧1.0
1月5日10時18分（M6.4）以降の地震を赤色で表示



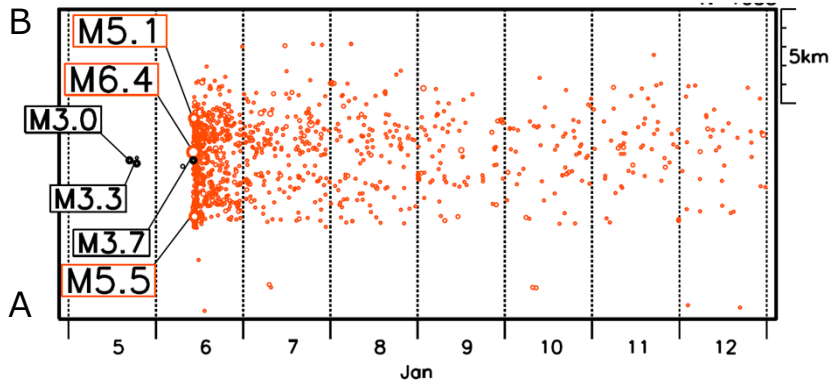
領域a内の断面図（B-C投影）



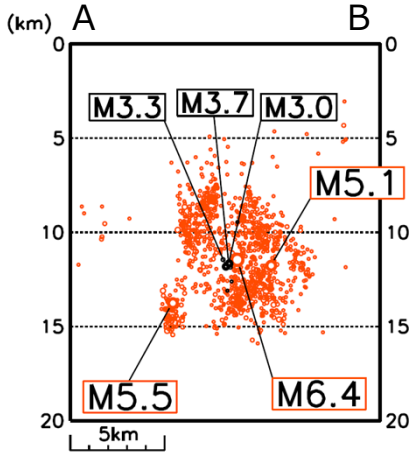
領域a内の時空間分布図（B-C投影）



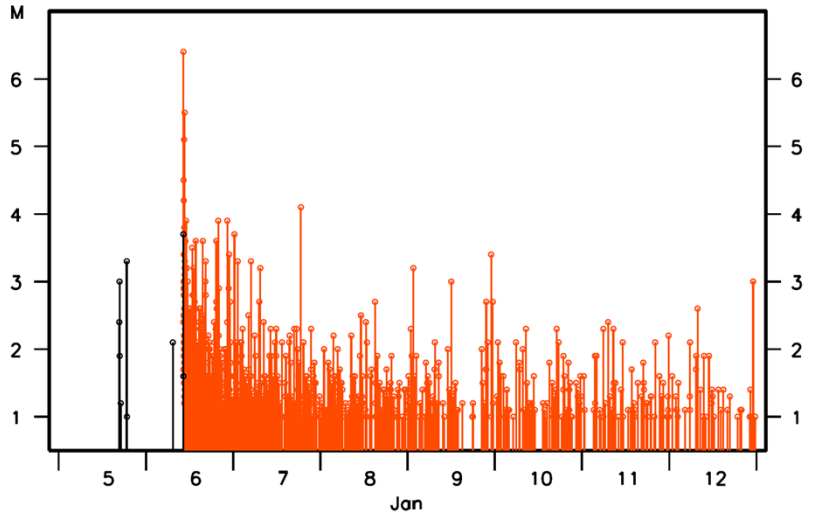
領域a内の時空間分布図（A-B投影）



領域a内の断面図（A-B投影）



領域a内のM-T図



布部（ふべ）断層帯＊
長さ：10km
方向：EW
変位の向き：右横ずれ
活動度：－

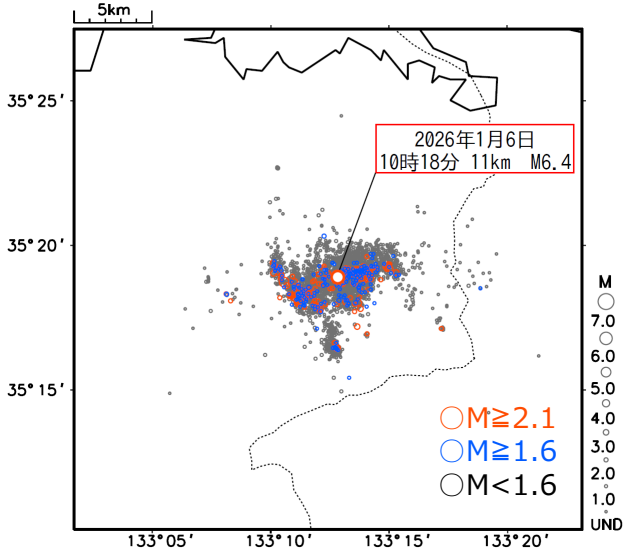
＊「活断層詳細デジタルマップ 新編（東京大学出版会）［2018］」

震央分布図中の茶色実線は、
「活断層詳細デジタルマップ（東京大学出版会）［2012］」による活断層を示す

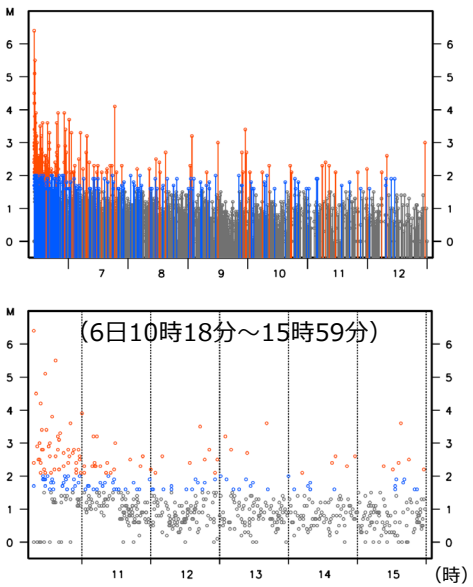
気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（地震発生確率）

震央分布図
2026年1月6日10時18分～12日、
深さ0～50km、M≧すべて



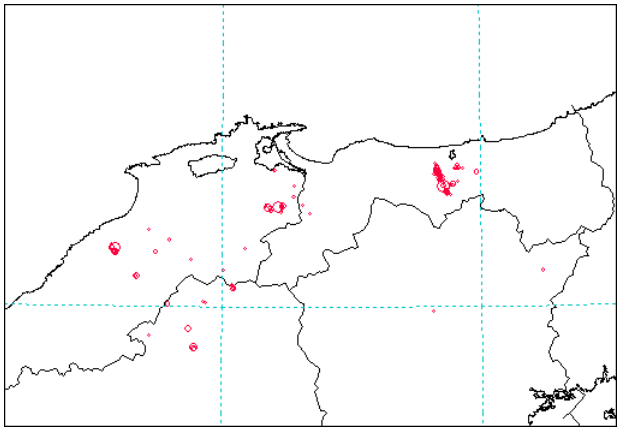
M-T図　1月12日の地震は速報値



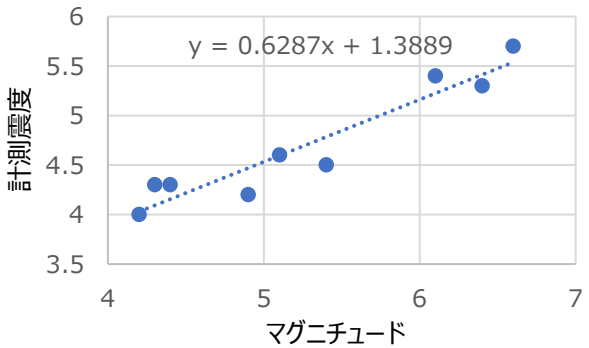
M-震度の換算

2005年1月1日～2026年1月8日に島根県及び鳥取県周辺で発生した地震について、
Mと計測震度（最大震度に対応する値）の関係を算出

最大3以上を観測した地震の震央分布
2005年1月1日～2026年1月8日



Mと計測震度（最大震度に対応する値）の関係



最大計測震度4.0以上のすべてのデータで回帰

Mと計測震度の回帰直線から計算した
Mと震度の関係

階級震度	計測震度	計算M
5弱	4.5	4.9
5強	5.0	5.7
6弱	5.5	6.5

1月6日　島根県東部の地震（M6.4）の緊急地震速報

						M	
4	10時18分56.3秒	6.4	35.3	133.2	10km	5.4	※3
※3　震度５弱程度	鳥取県西部						
10	10時19分02.4秒	12.5	35.3	133.2	10km	5.7	※4
※4　震度５強程度	鳥取県西部						

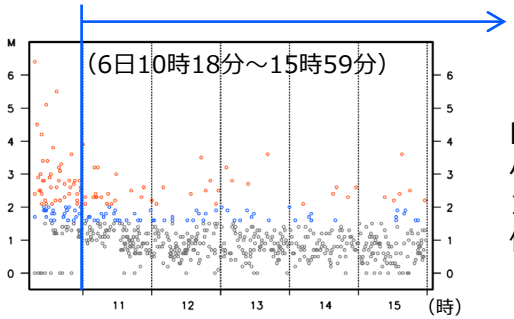
緊急地震速報では、
予測震度5弱程度→M5.4
予測震度5強程度→M5.7

気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（地震発生確率）

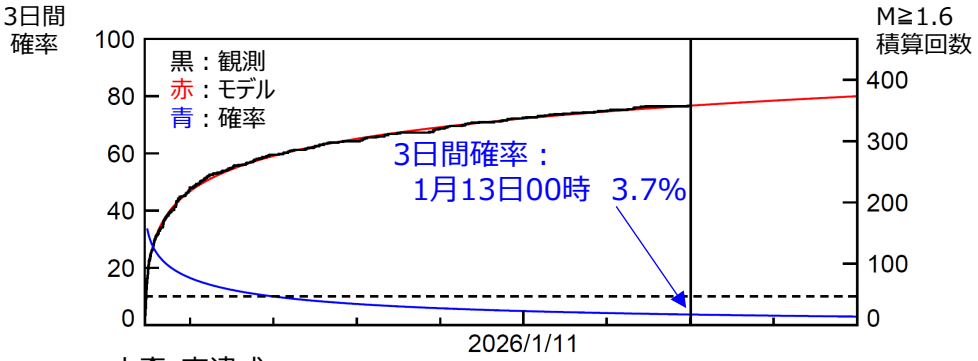
地震発生確率の計算

M≧4.9≒震度5弱程度以上（周辺の地震の計測震度とMより算出）の地震発生確率

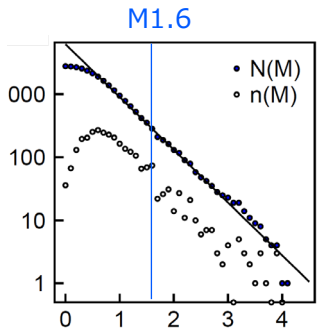


M6.4の地震発生直後は、規模の小さい地震が検知されていないため、11時以降のM≧1.6の地震で、b値の推定及び大森・宇津式へ適用

モデリング期間：2026年1月6日11時00分～12日24時00分（M≧1.6）
上図M-T図の青色矢印以降の期間で青色の地震を適用



大森・宇津式
K=55.827 c=0.039 p=0.983
(sigma: 4.455, 0.019, 0.077)
N (mainshock + aftershock)=284

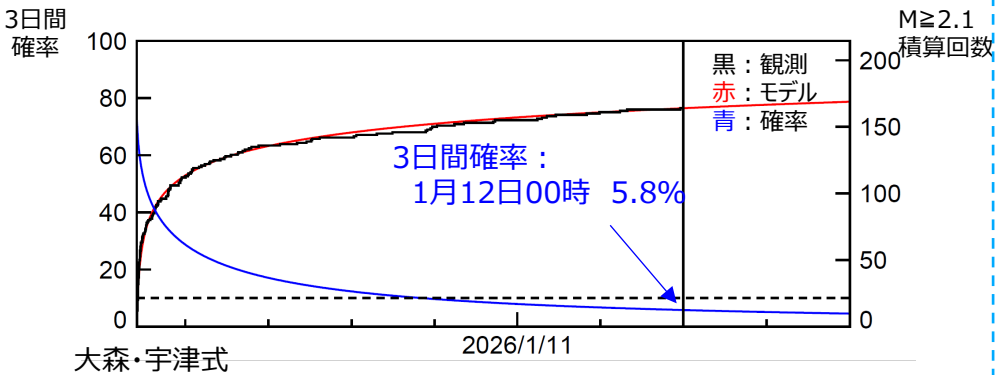


b=0.84 M>=1.6
(sigma_b=0.05)

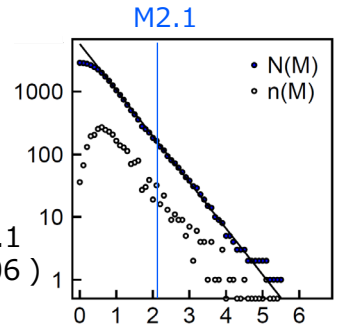
参考

M6.4の地震以降のM≧2.1の地震で、
b値の推定及び大森・宇津式へ適用

モデリング期間：2026年1月6日10時18分～12日24時00分（M≧2.1）
M6.4以降、**全期間**で（前頁）赤色の地震を適用



大森・宇津式
K=22.353 c=0.011 p=1.096
(sigma: 2.341, 0.005, 0.074)
N (mainshock + aftershock)=165



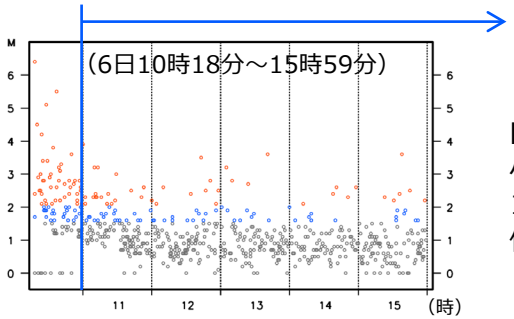
b=0.74 M>=2.1
(sigma_b=0.06)
M6.4を除く

気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（地震発生確率）

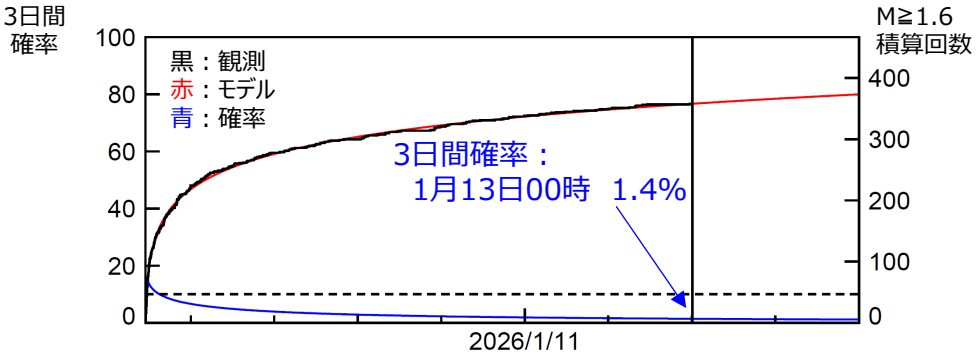
地震発生確率の計算

M≧5.4≒震度5弱程度以上（緊急地震速報の予測震度より）の地震発生確率

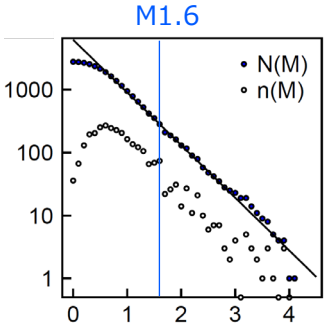


M6.4の地震発生直後は、規模の小さい地震が検知されていないため、11時以降のM≧1.6の地震で、b値の推定及び大森・宇津式へ適用

モデリング期間：2026年1月6日11時00分～12日24時00分（M≧1.6）
上図M-T図の青色矢印以降の期間で青色の地震を適用



大森・宇津式
K=55.827 c=0.039 p=0.983
(sigma: 4.455, 0.019, 0.077)
N (mainshock + aftershock)=284

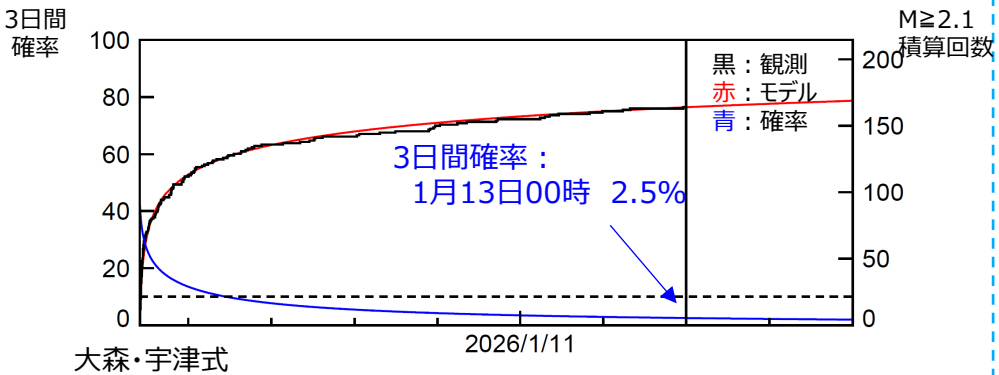


b=0.84 M>=1.6
(sigma_b=0.05)

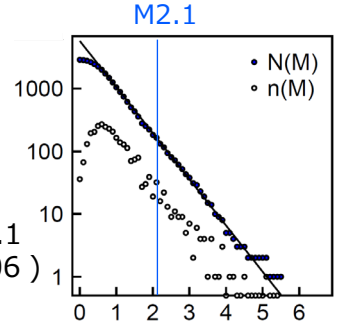
参考

M6.4の地震以降のM≧2.1の地震で、
b値の推定及び大森・宇津式へ適用

モデリング期間：2026年1月6日10時18分～12日24時00分（M≧2.1）
M6.4以降、**全期間**で（前頁）赤色の地震を適用



大森・宇津式
K=22.353 c=0.011 p=1.096
(sigma: 2.341, 0.005, 0.074)
N (mainshock + aftershock)=165



b=0.74 M>=2.1
(sigma_b=0.06)

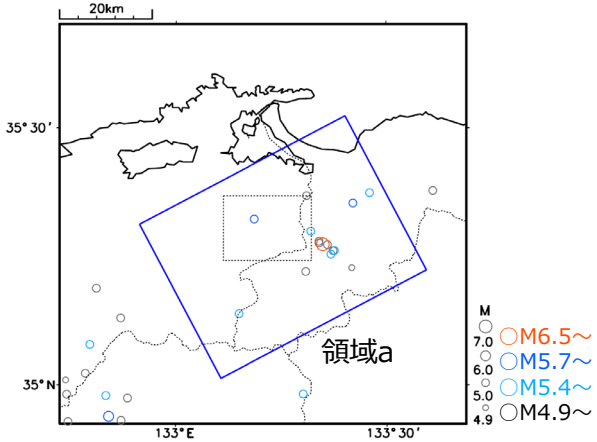
気象庁作成

1月6日　島根県東部の地震（地震発生確率）

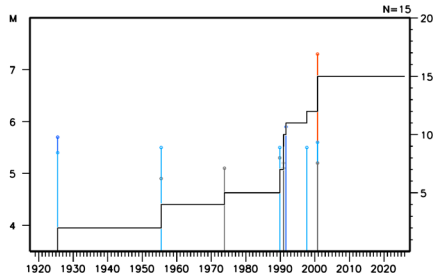
平常時の確率

1919年1月1日～2025年12月31日に今回の地震の震央周辺（領域a）で発生したM≧4.9、M≧5.4（いずれも震度5弱程度以上）、M≧6.8（震度5強程度以上）、M≧6.5（震度6弱程度以上）の地震発生数から、ポアソン過程を用いて、平常時の地震発生確率を求めた。

震央分布図
1919年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～50km、M≧4.9



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域aは、今回の地震活動域（黒色破線）の長径の約2倍の領域に設定した

平常時確率の計算及び今回の3日間確率との比較

モデリング期間：2026年1月6日11時00分～12日24時00分（M≧1.6）

階級震度	M			期間（日）	地震回数	（ポアソン過程） 平常時の3日間確率（%）	（大森・宇津式＋G-R則） 今回の3日間確率（%）	平常時の何倍か
6弱程度以上	M6.5	1919/1/1	2025/12/31	39081	1	0.01	0.2	26
5強程度以上	M5.7	1919/1/1	2025/12/31	39081	3	0.02	0.8	35
5弱程度以上	M5.4	1919/1/1	2025/12/31	39081	8	0.06	1.4	23
5弱程度以上	M4.9	1919/1/1	2025/12/31	39081	15	0.12	3.7	32

まとめ

最大震度	発生確率	平常時との比較
6強程度以上	確率は6弱程度より低いが、発生の可能性はある	
6弱程度以上	0.2%	約30倍
5強程度以上	0.8%	約40倍
5弱程度以上	1.4% （3.7%*）	約30倍 （約20倍*）
4程度以上	確率は5弱程度以上より高い	

（参考：M6.4以降M≧2.1の計算結果）

発生確率	平常時との比較
確率は6弱程度より低いが、発生の可能性はある	
0.4%	約50倍
1.5%	約70超
5.8% （2.5%*）	約50倍超 （約40倍*）
確率は5弱程度以上より高い	

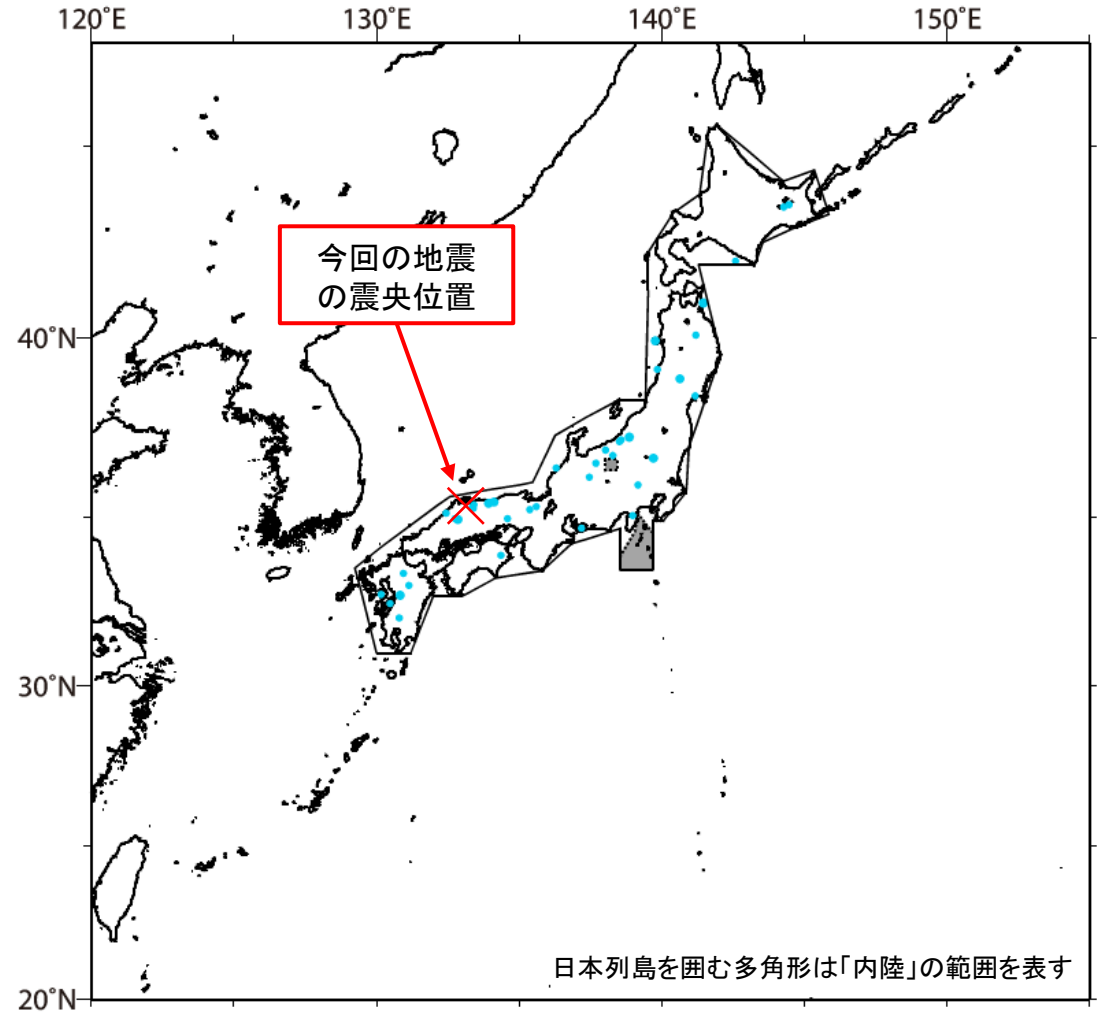
*緊急地震速報による予測震度5弱程度のマグニチュードから計算した結果

気象庁作成

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例（内陸地殻内）

1923年～2016年６月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります（左図の●及び灰色の領域）。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります（563事例中、35事例で全体の6%）。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1990年に鳥取県西部で発生したM5.1の地震の１分後にM4.8の地震が、2.3日後にM5.2の地震が、10.4日後にM5.1の地震が発生した事例があります。また、1989年に鳥取県西部で発生したM5.3の地震の5.9日後にM5.5の地震が発生した事例もあります。

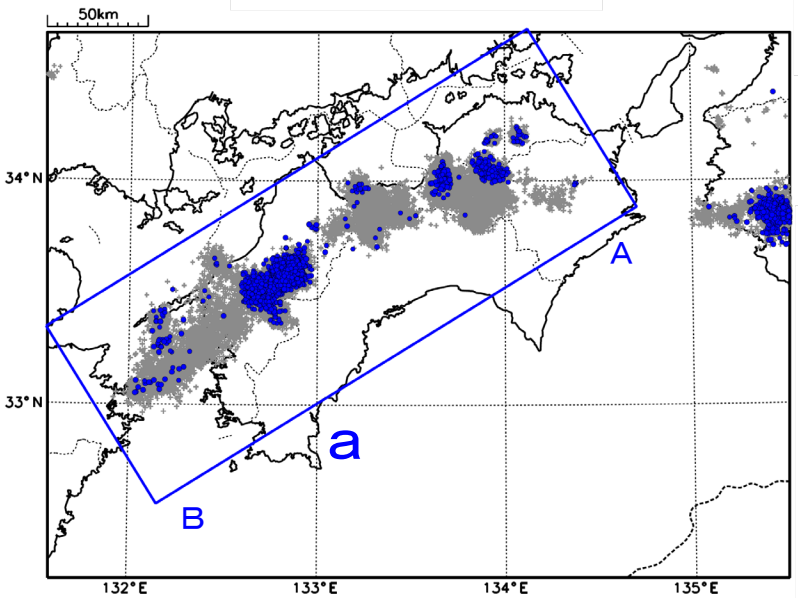
気象庁作成

四国西部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

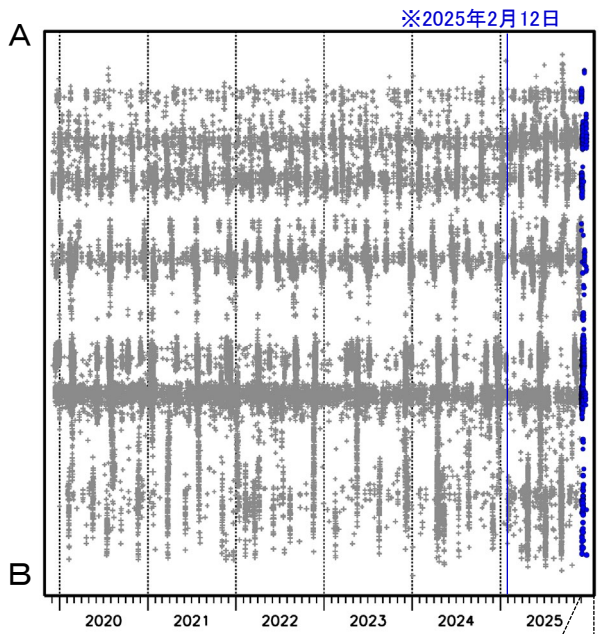
12月2日から13日にかけて、四国西部で深部低周波地震（微動）を観測した。
深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ・傾斜計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動

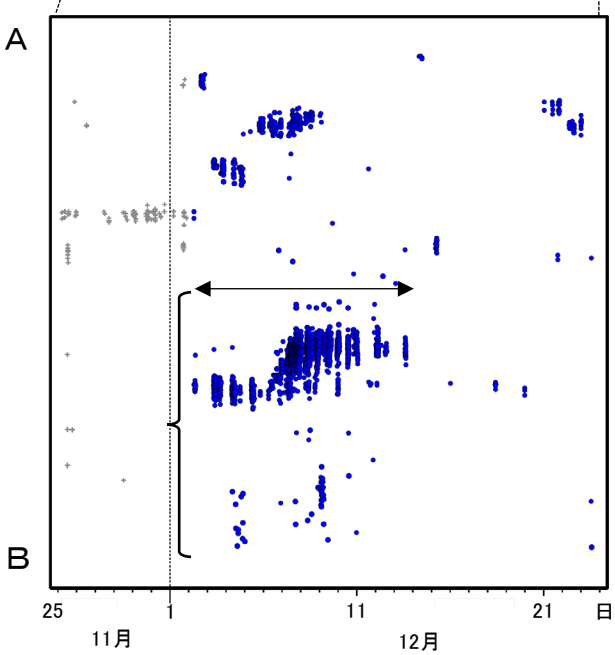
震央分布図（2019年12月1日～2025年12月23日、
深さ0～60km、Mすべて）
灰：2019年12月1日～2025年12月1日、
青：2025年12月2日以降



領域a内の時空間分布図（A－B投影）



2025年11月25日～12月23日

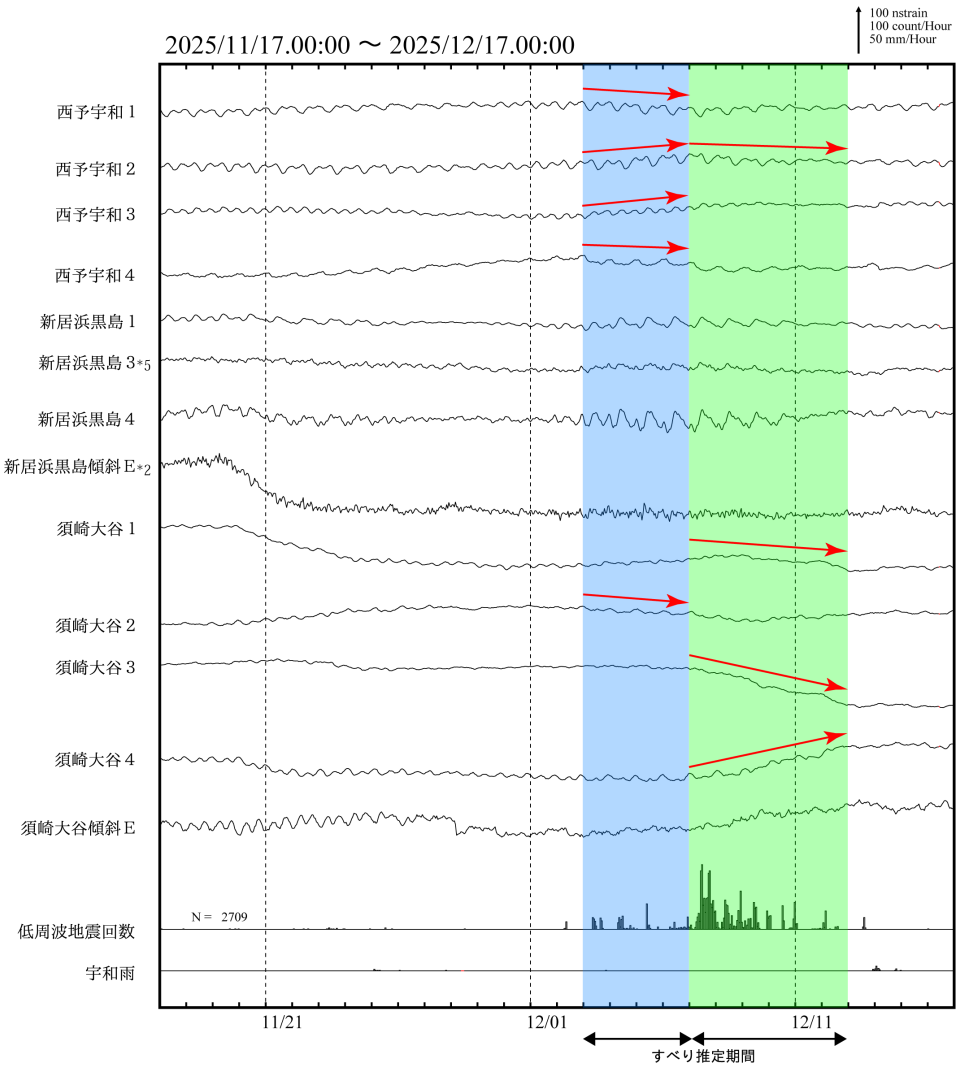


※2025年2月12日から、深部低周波地震（微動）の検知手法の改善により、
それ以前と比較して検知能力が変わっている。

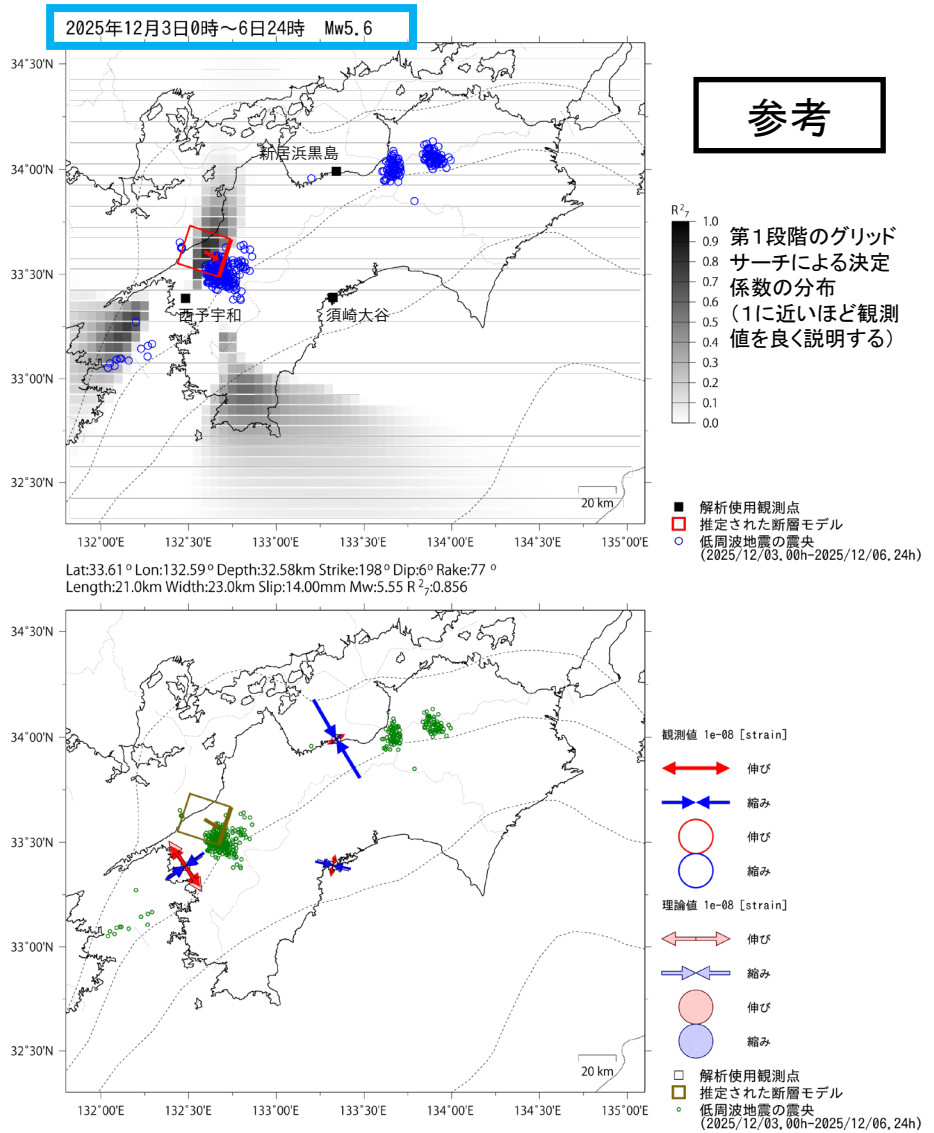
気象庁作成

四国西部で観測した短期的ゆっくりすべり（12月3日～12日）

愛媛県から高知県で観測されたひずみ・傾斜変化



西予宇和、新居浜黒島及び須崎大谷は産業技術総合研究所のひずみ・傾斜計である。
解析に使用したチャネルについては背景色を塗り、そのうち有意な変化が見られたチャネルに赤矢印を描画している。



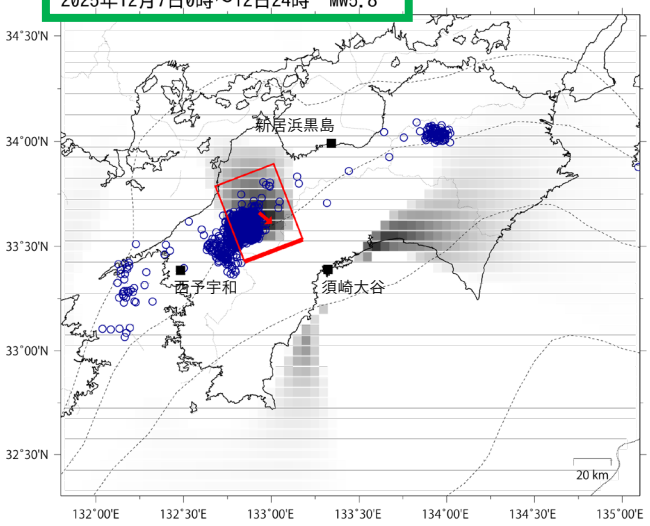
左図に示す観測点での変化量をもとにすべり推定を行ったところ、図の場所にゆっくりすべりを示す断層モデルが求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか，2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

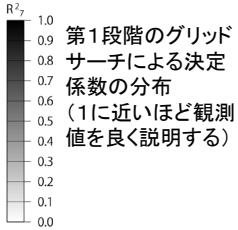
気象庁作成

四国西部で観測した短期的ゆっくりすべり（12月3日～12日）

2025年12月7日0時～12日24時　Mw5.8



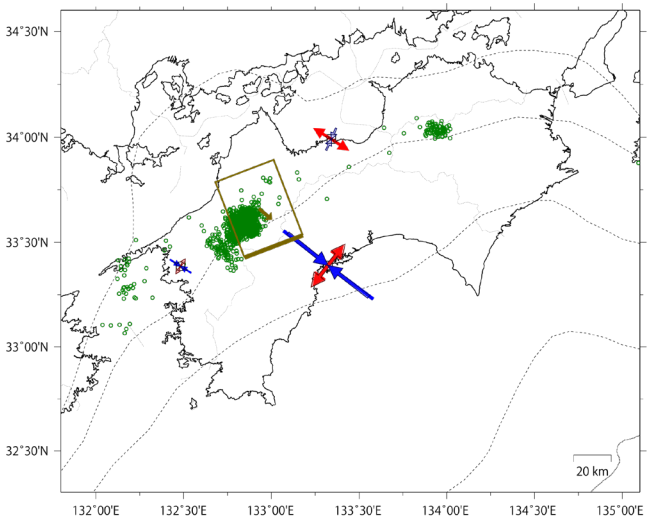
参考

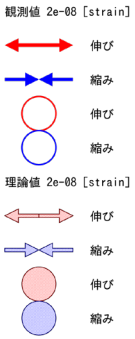


第１段階のグリッドサーチによる決定係数の分布（1に近いほど観測値を良く説明する）

■ 解析使用観測点
□ 推定された断層モデル
○ 低周波地震の震央
(2025/12/07,00h-2025/12/12,24h)

Lat:33.66° Lon:132.93° Depth:25.13km Strike:249° Dip:8° Rake:119 °
Length:32.9km Width:43.2km Slip:9.30mm Mw:5.75 R^2_7:0.918





□ 解析使用観測点
□ 推定された断層モデル
○ 低周波地震の震央
(2025/12/07,00h-2025/12/12,24h)

前頁に示す観測点での変化量をもとにすべり推定を行ったところ、図の場所にゆっくりすべりを示す断層モデルが求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか，2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

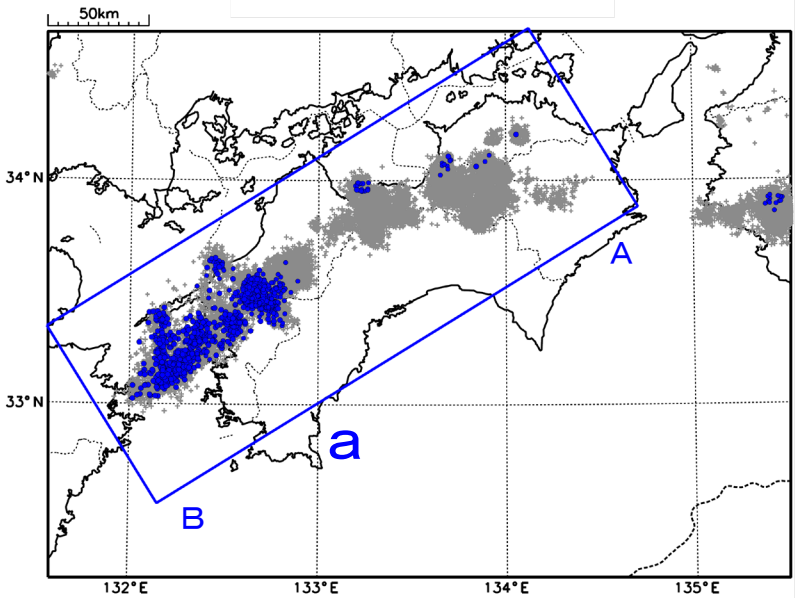
気象庁作成

四国西部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

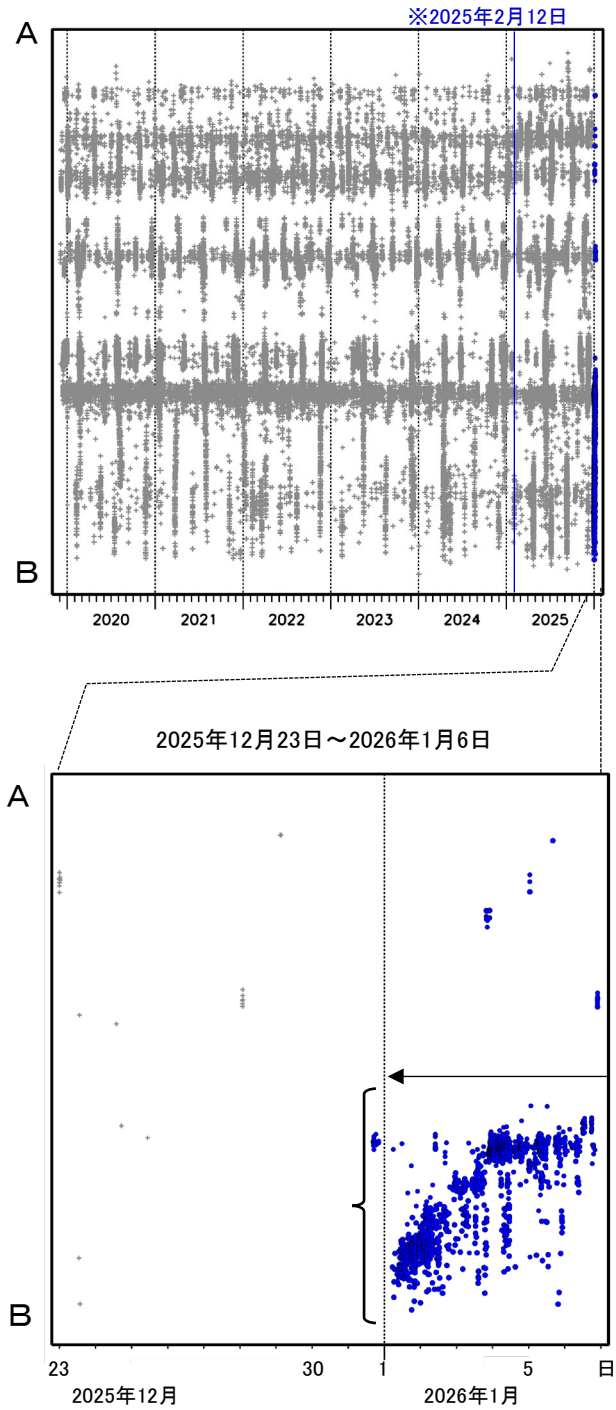
12月31日から、四国西部で深部低周波地震（微動）を観測している。
深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ・傾斜計で地殻変動を観測している。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動

震央分布図（2019年12月1日～2026年1月6日、
深さ0～60km、Mすべて）
灰：2019年12月1日～2025年12月30日、
青：2025年12月31日以降



震央分布図の領域a内の時空間分布図（A－B投影）

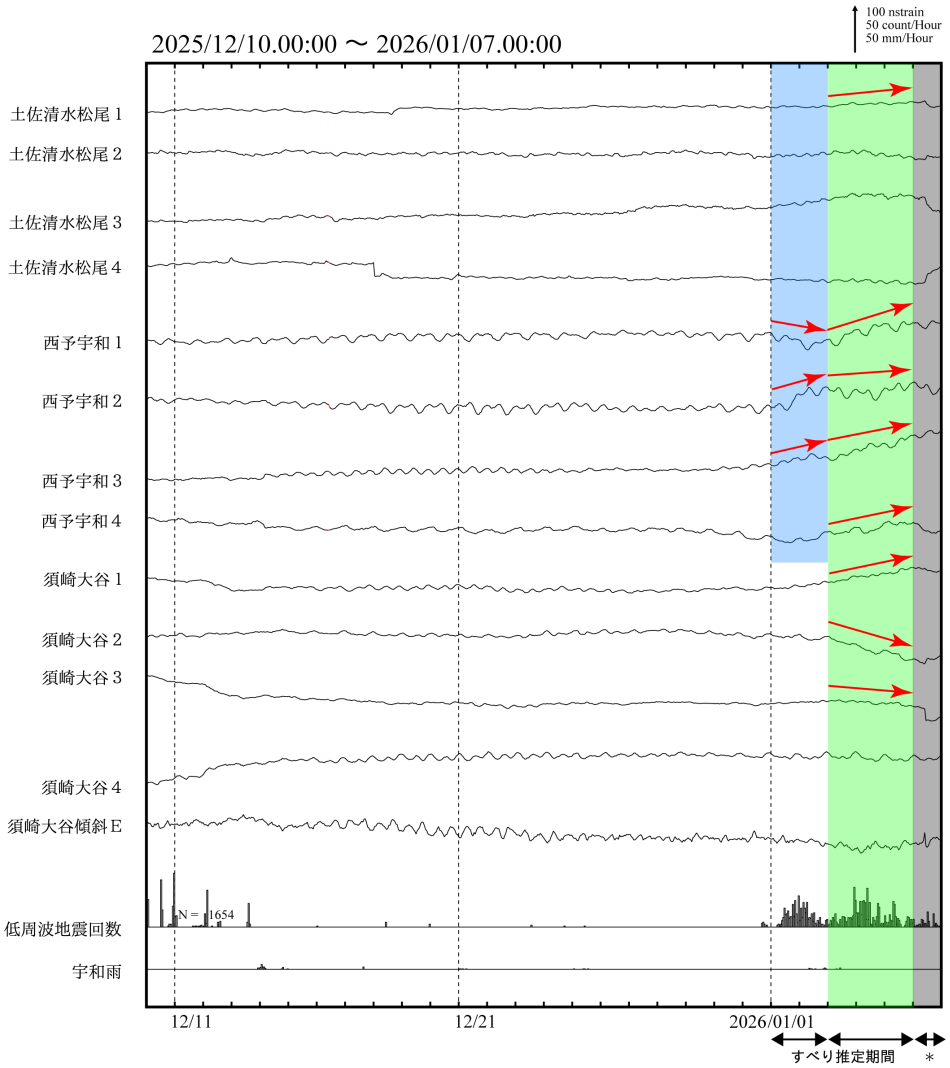


※2025年2月12日から、深部低周波地震（微動）の検知手法の改善により、
それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

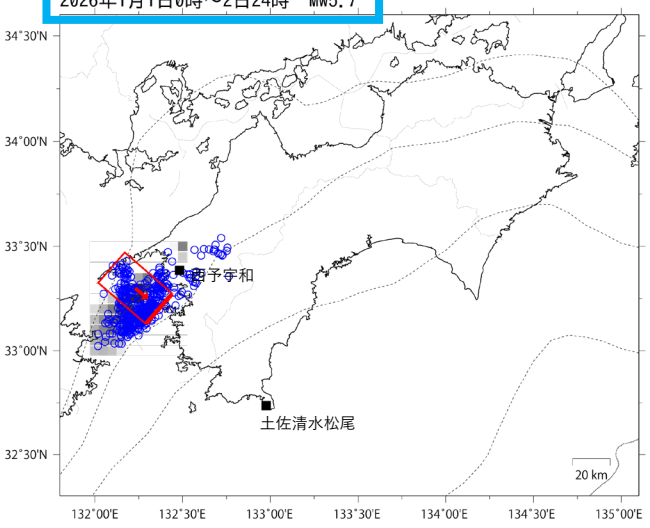
四国西部で観測した短期的ゆっくりすべり（1月1日～5日）

愛媛県から高知県で観測されたひずみ・傾斜変化

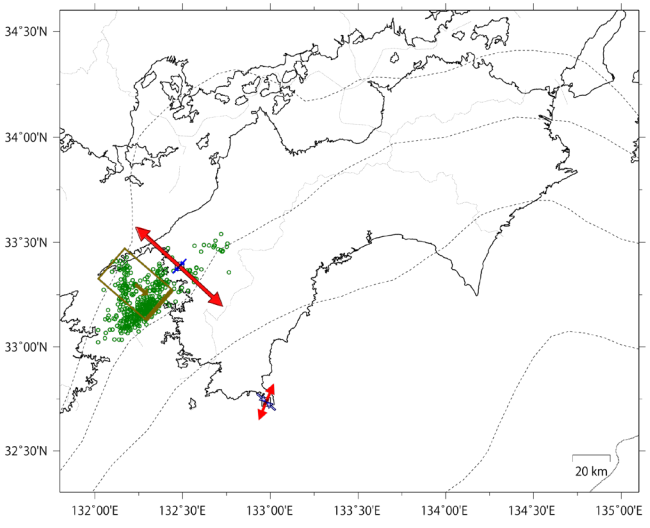


土佐清水松尾、西予宇和及び須崎大谷は産業技術総合研究所のひずみ・傾斜計である。
解析に使用したチャネルについては背景色を塗り、そのうち有意な変化が見られたチャネルに赤矢印を描画している。
*の期間に地震（2026/1/6 島根県東部）の影響による波形の変化が見られる。

2026年1月1日0時～2日24時　Mw5.7



Lat:33.30° Lon:132.23° Depth:35.98km Strike:221° Dip:14° Rake:91°
Length:21.3km Width:34.4km Slip:17.70mm Mw:5.74 R^2_7:0.905



参考

第１段階のグリッドサーチによる決定係数の分布（1に近いほど観測値を良く説明する）

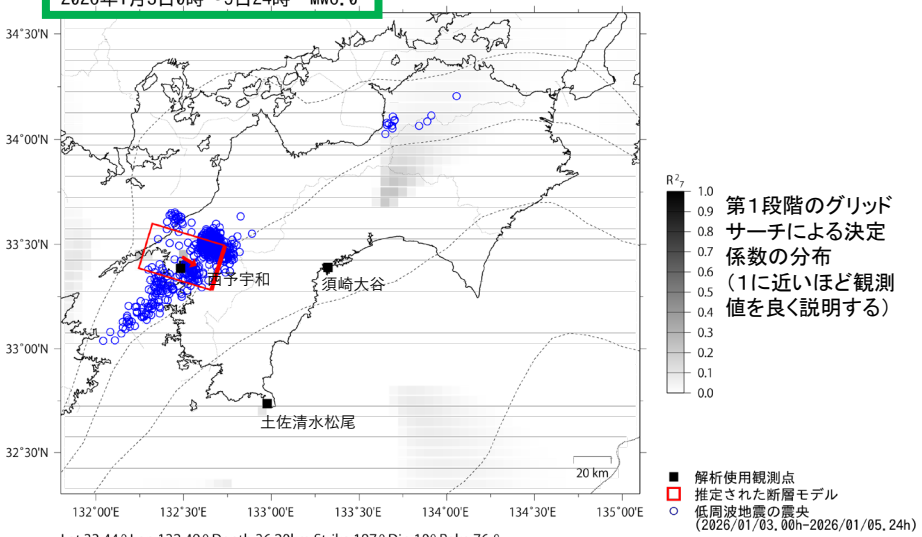
左図に示す観測点での変化量をもとにすべり推定を行ったところ、図の場所にゆっくりすべりを示す断層モデルが求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか，2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

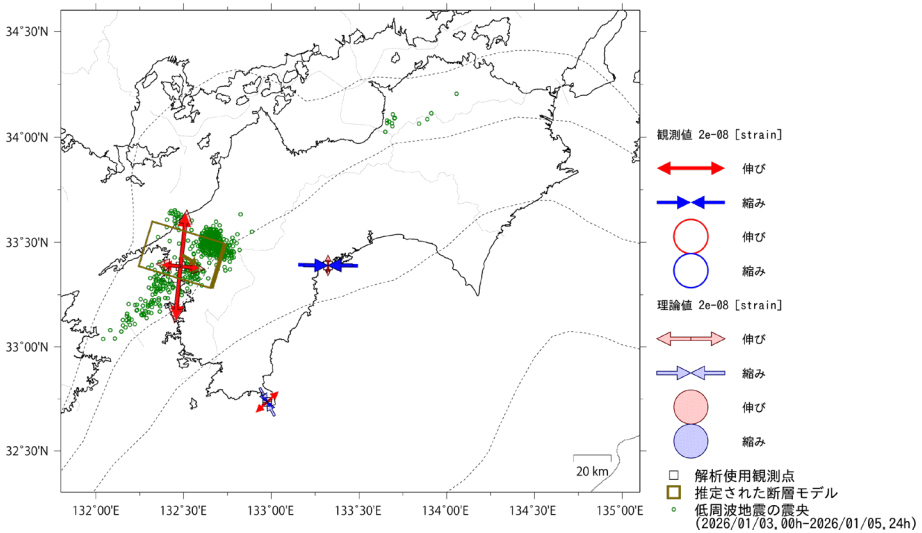
気象庁作成

四国西部で観測した短期的ゆっくりすべり（1月1日～5日）

2026年1月3日0時～5日24時　Mw6.0



Lat:33.44° Lon:132.49° Depth:36.20km Strike:197° Dip:10° Rake:76 °
Length:24.8km Width:40.8km Slip:27.50mm Mw:5.96 R^2_7:0.944



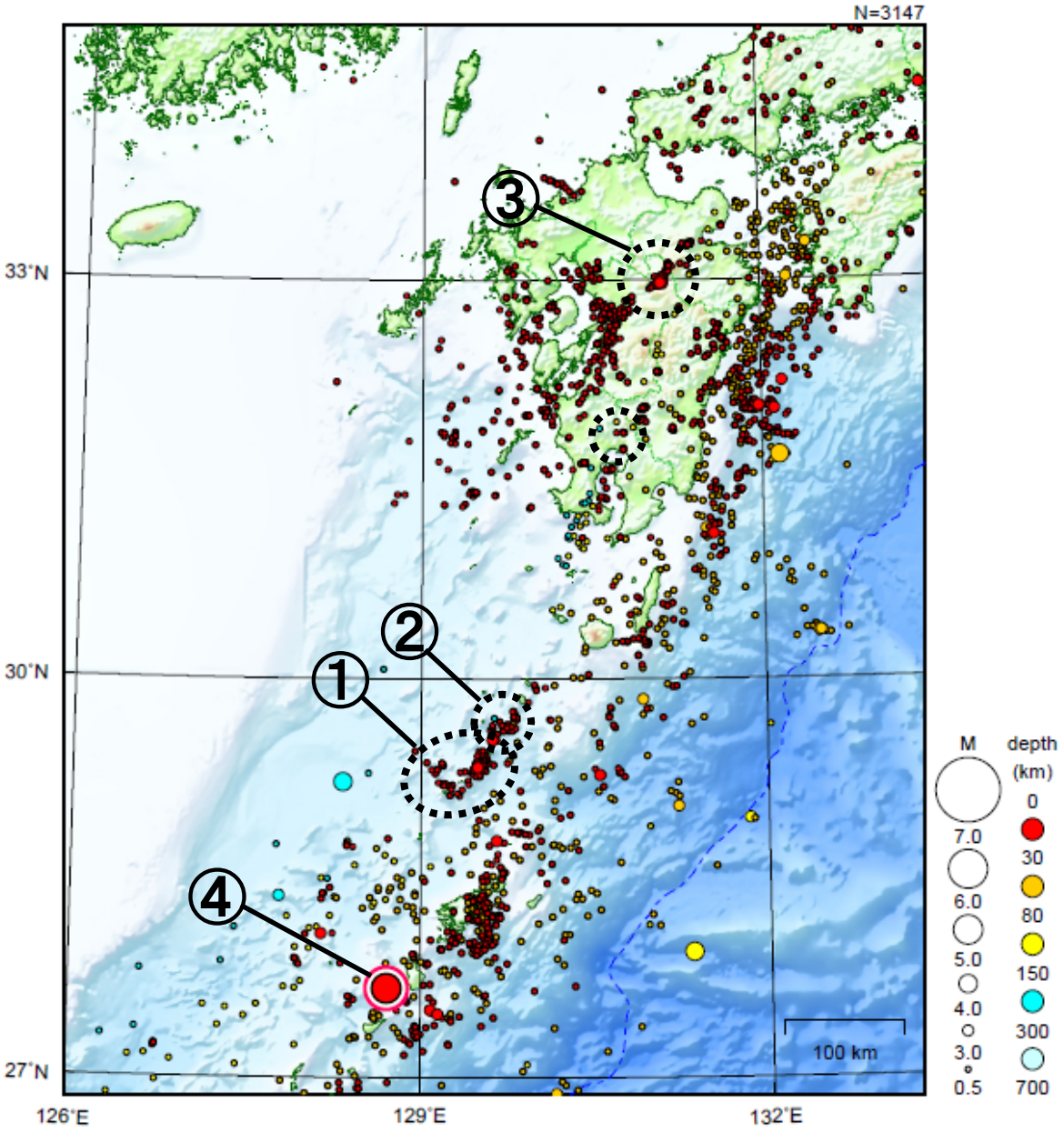
前頁に示す観測点での変化量をもとにすべり推定を行ったところ、図の場所にゆっくりすべりを示す断層モデルが求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか，2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

気象庁作成

九州地方

2025/12/01 00:00 ~ 2025/12/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① トカラ列島近海（小宝島付近）では、12 月中に震度１以上を観測した地震が 10 回（震度３：１回、震度１：９回）(注) 発生した。このうち最大規模の地震は、29 日に発生した M3.4 の地震（最大震度３）である。

② トカラ列島近海（諏訪之瀬島）では、12 月中に震度１以上を観測した地震が 10 回（震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回）発生した。このうち最大規模の地震は、21 日に発生した M3.5 の地震（最大震度３）である。

③ 熊本県阿蘇地方では、12 月中に震度１以上を観測した地震が 14 回（震度３：２回、震度２：５回、震度１：７回）発生した。このうち最大規模の地震は、29 日に発生した M3.9 の地震（最大震度３）である。

④ 12 月 30 日に奄美大島近海で M5.7 の地震（最大震度４）が発生した。

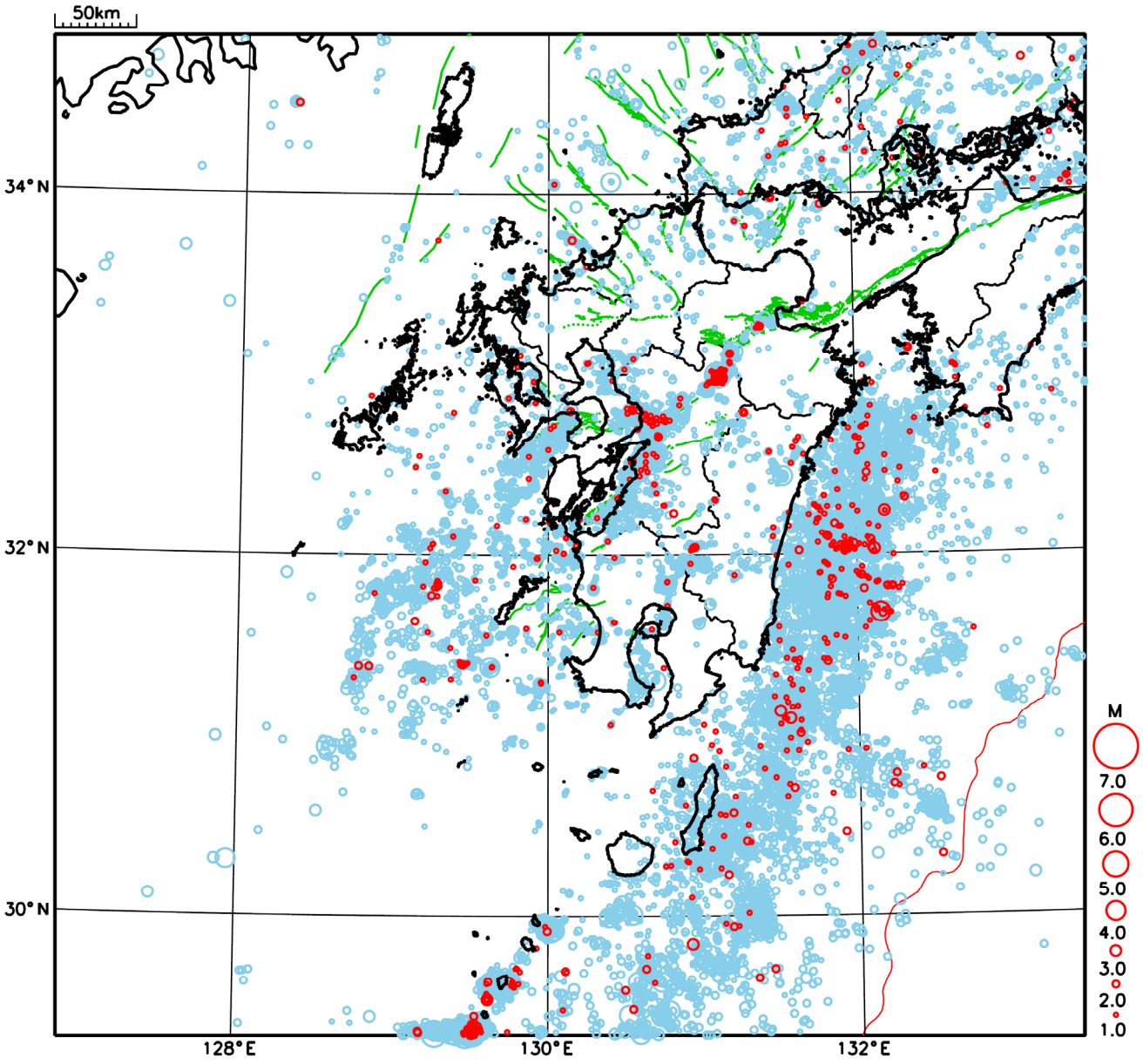
（注）震度１以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

九州地方における 2025 年 12 月の地震活動

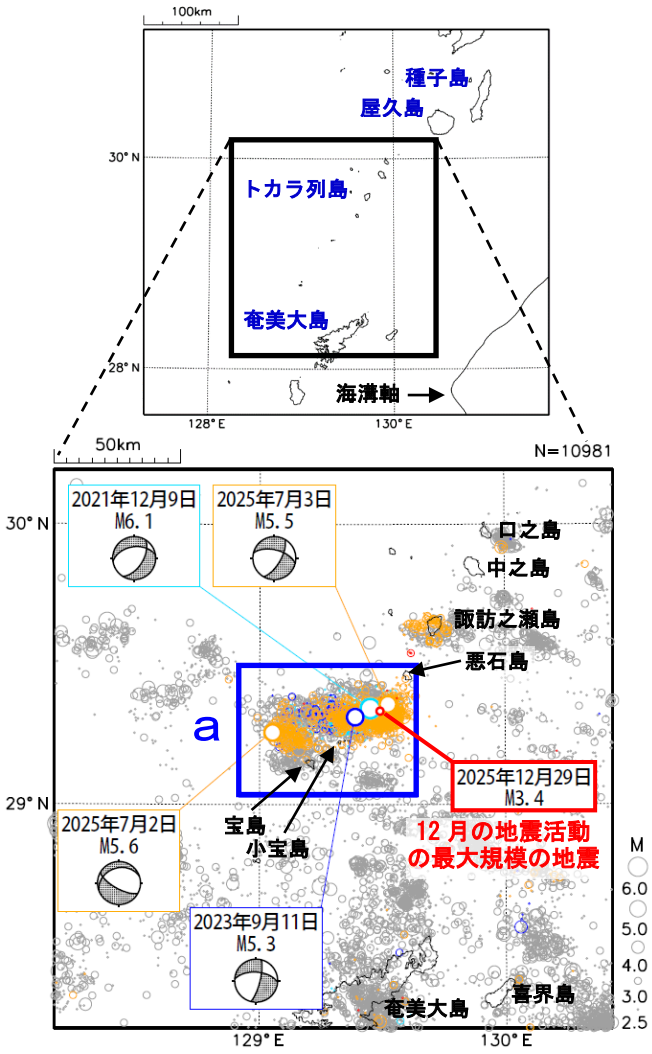
（M≧1.0、陸域 深さ 30km 以浅、海域 深さ 60km 以浅）



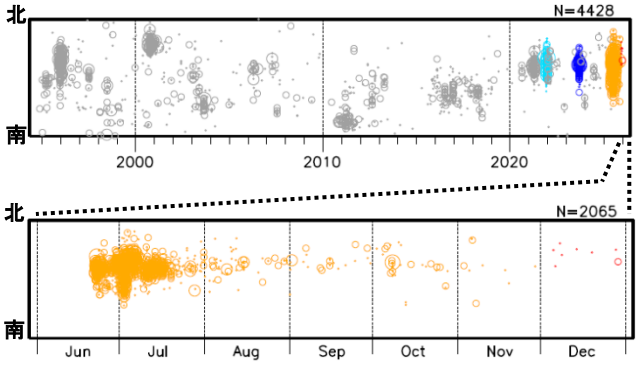
気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）

震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～50km、M≧2.5）
2021 年 12 月の地震を水色○で表示
2023 年 9 月の地震を青色○で表示
2025 年 6 月～11 月の地震を橙色○で表示
2025 年 12 月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の時空間分布図（南北投影）



（2025 年 6 月 1 日～12 月 31 日）

※2025 年 7 月 8 日 15 時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

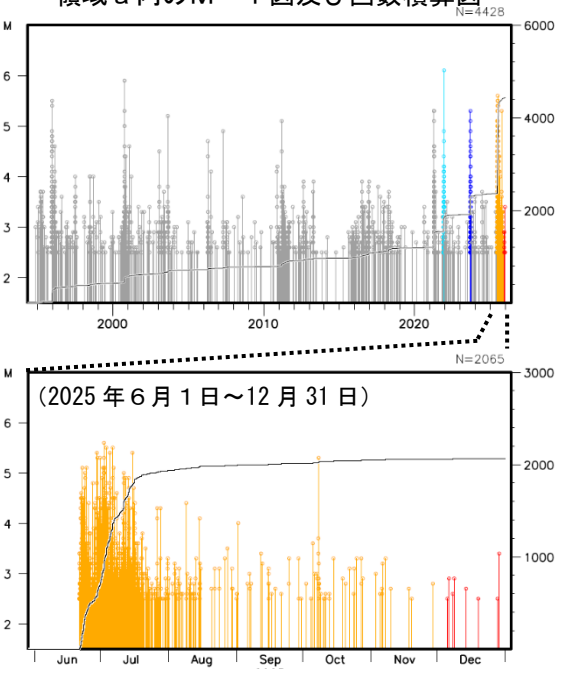
トカラ列島近海（小宝島付近）では、2025年12月に震度１以上を観測した地震が10回（震度３：１回、震度１：９回）(注1) 発生した。このうち最大規模の地震は29日07時51分に発生したM3.4の地震（最大震度３）である。今回の地震活動は2025年６月21日から活発になっており、７月３日16時13分にはM5.5の地震（最大震度６弱）が発生した。地震活動は７月20日頃から低下してきており、規模が大きな地震の回数も減少しているが、活動は継続している。６月21日から12月31日までに震度１以上を観測した地震が2405回（震度６弱：１回、震度５強：３回、震度５弱：４回、震度４：52回、震度３：165回、震度２：586回、震度１：1594回）(注1) 発生した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。これらの地震により、住家一部破損１棟の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域ａ）では、時々まとまった活動がある。2023年９月８日から活発になった地震活動では、９月30日までに震度１以上を観測した地震が346回発生した（最大震度４の地震２回を含む）。また、2021年12月４日から活発になった地震活動では、12月31日までに震度１以上を観測した地震が308回発生した。このうち、12月９日に発生したM6.1の地震（最大震度５強）により、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れ等の被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

今回の地震活動と過去の主な地震活動について、活動期間ごとに１年間の期間で比較すると多様な活動の形態が見られる（５ページ後を参照）。この地域の地震活動は、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら継続することが多く、個々の地震活動の終わりの時期を特定することが難しい。

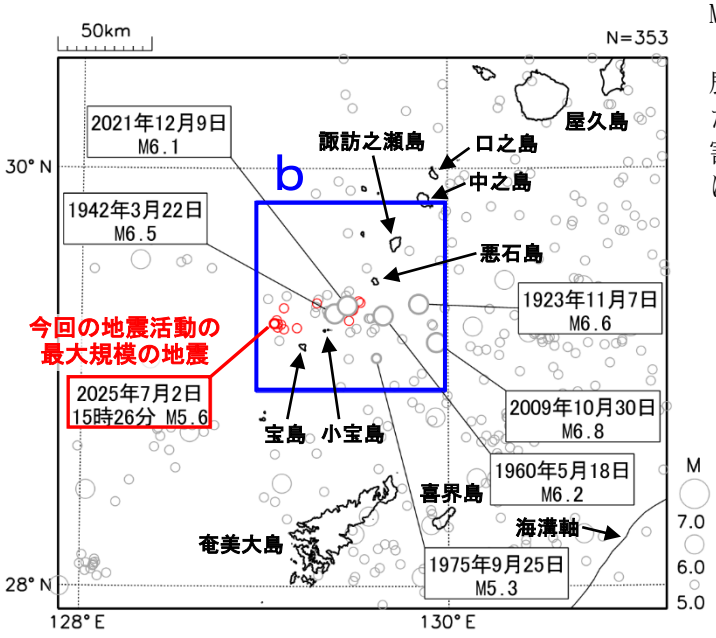
（注１）震度１以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

領域 a 内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



気象庁作成

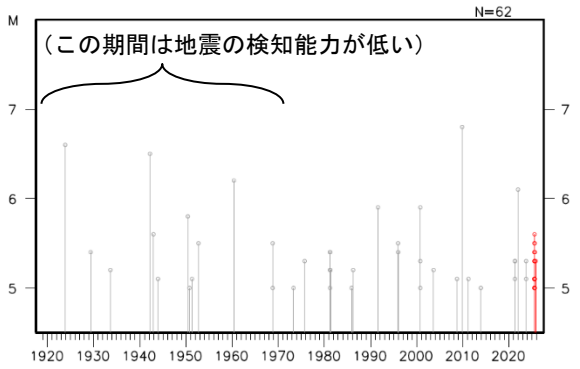
震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0 ～100km、M≧5.0）
2025 年 6 月以降の地震を赤色○で表示



※2025 年 7 月 8 日 15 時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域ｂ）では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2021年12月 9 日に発生したM6.1の地震（最大震度５強）では、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。また、1975年 9 月25日に発生したM5.3の地震では、鹿児島県十島村（小宝島）で地割れの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

令和8年1月1日00時現在

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）の最大震度別地震回数表

震度1以上の最大震度別地震回数表（2025年6月21日～12月31日）

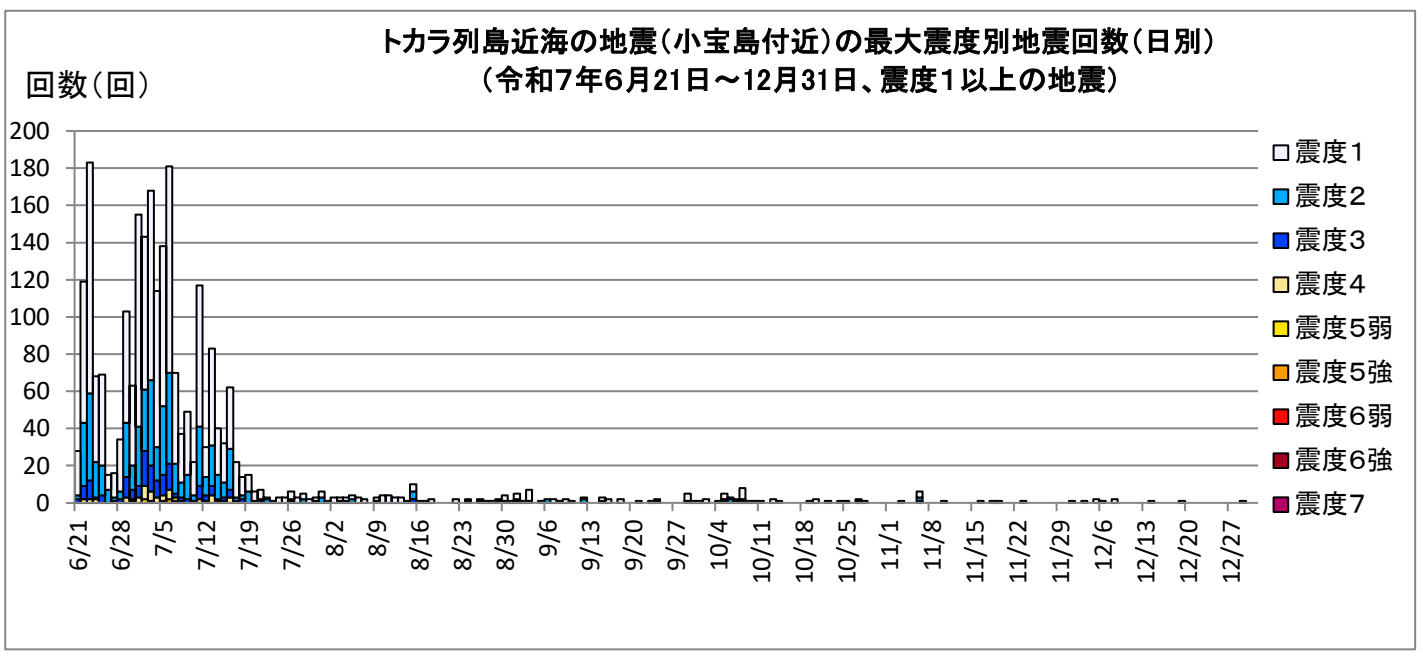
（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

【令和7年6月21日以降の月別発生回数】

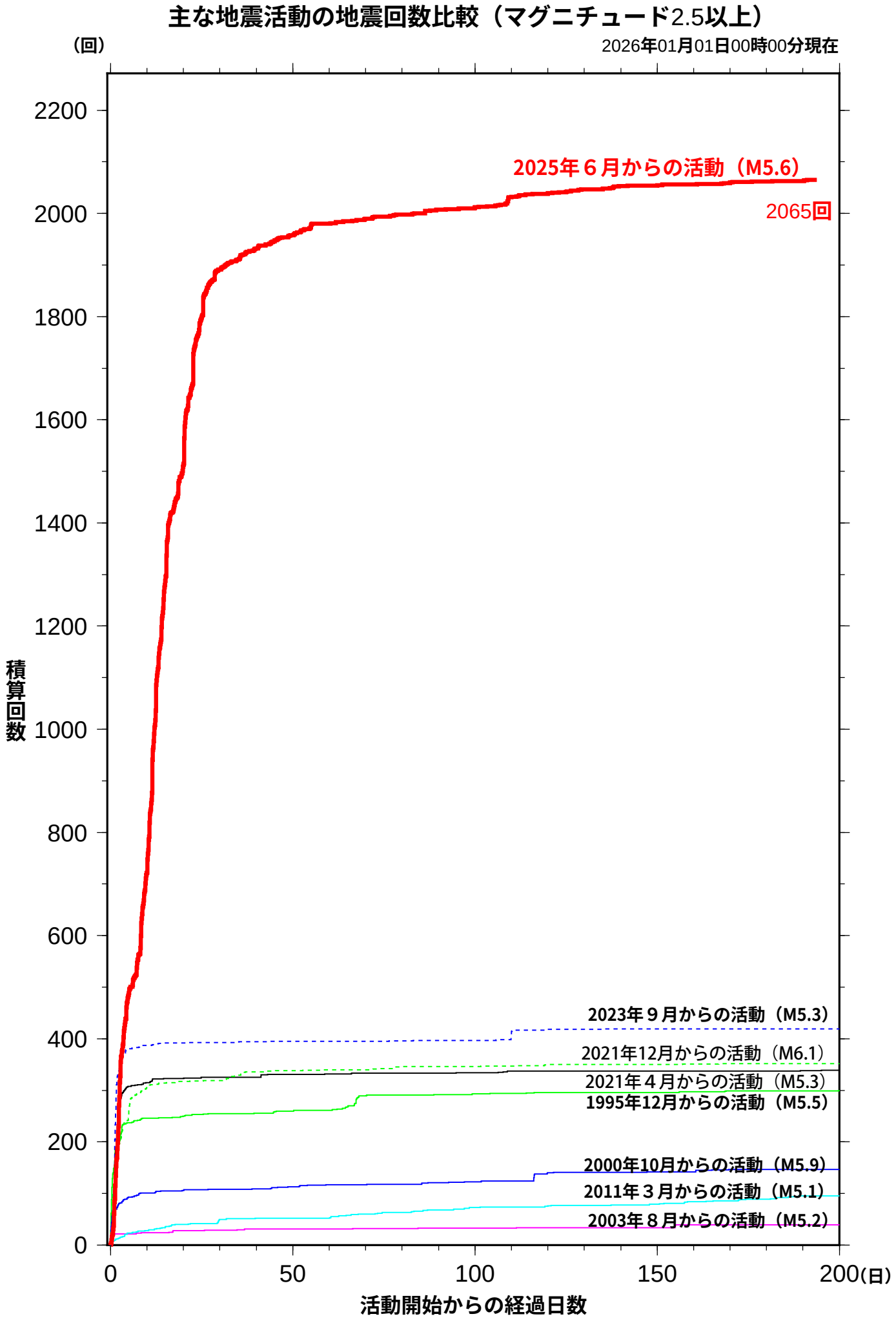
月別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
6/21 - 30	471	173	43	10	1	0	0	0	0	698	698	
7/1 - 31	1002	382	108	41	3	3	1	0	0	1540	2238	
8/1 - 31	49	12	5	0	0	0	0	0	0	66	2304	
9/1 - 30	30	8	3	1	0	0	0	0	0	42	2346	
10/1 - 31	25	8	4	0	0	0	0	0	0	37	2383	
11/1 - 30	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12	2395	
12/1 - 31	9	0	1	0	0	0	0	0	0	10	2405	
総計（6月21日～）	1594	586	165	52	4	3	1	0	0		2405	

【令和7年12月1日以降の日別発生回数】

日別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
12/1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
12/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
12/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
12/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
12/5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
12/6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
12/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
12/8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	
12/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	
12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	
12/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/29	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	10	
12/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
総計（12月1日～）	9	0	1	0	0	0	0	0	0		10	



気象庁作成



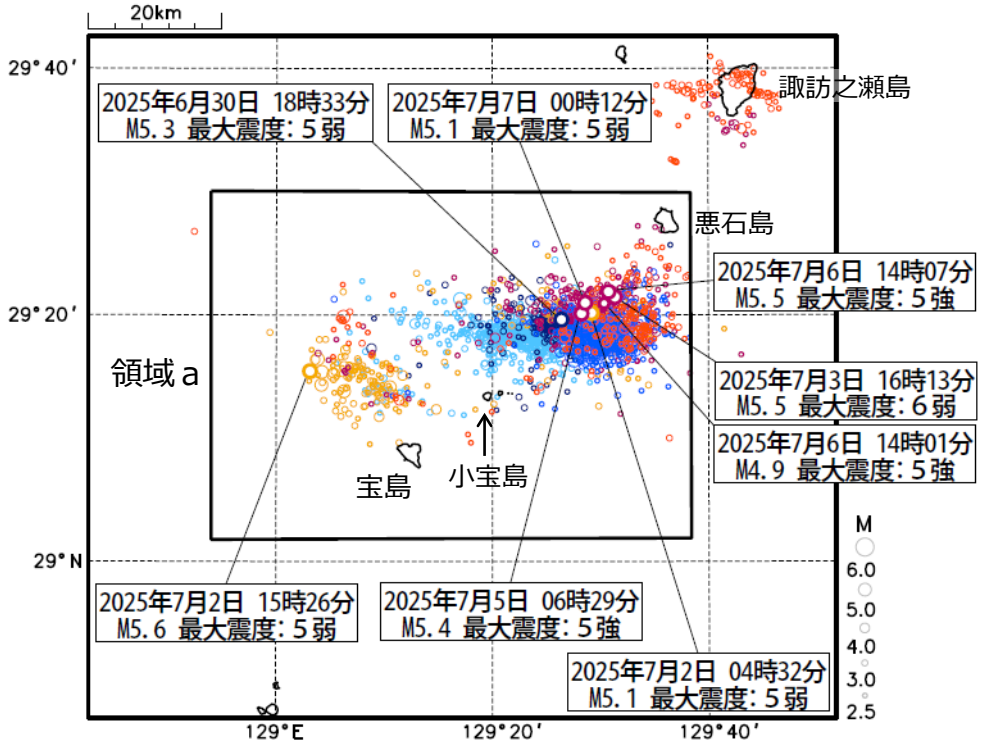
※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
※今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）2025年6月21日以降の地震活動

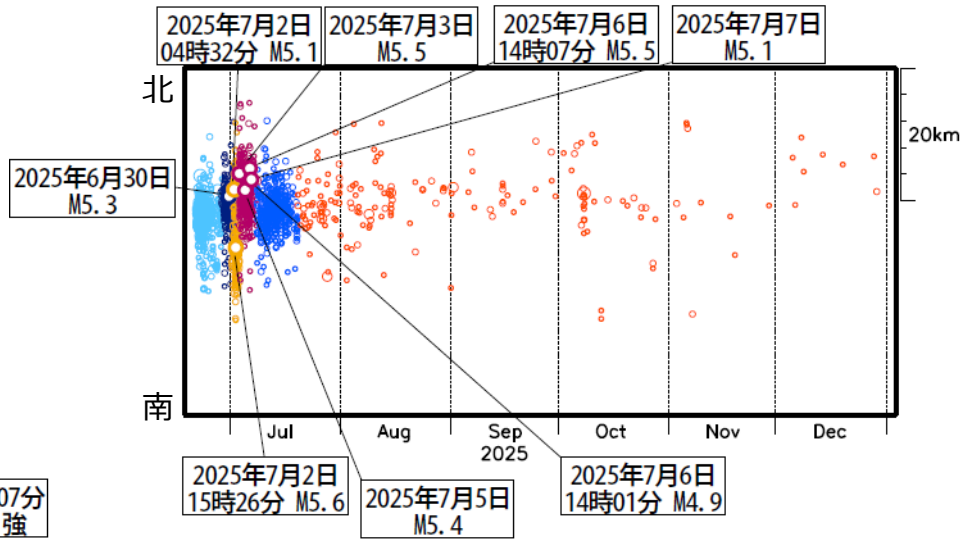
震央分布図
（2025年6月21日～12月31日、深さ0～50km、M≧2.5）

○2025年6月21日～
○2025年6月29日～
○2025年7月2日～
○2025年7月3日16時13分～
○2025年7月8日15時～
○2025年7月20日～

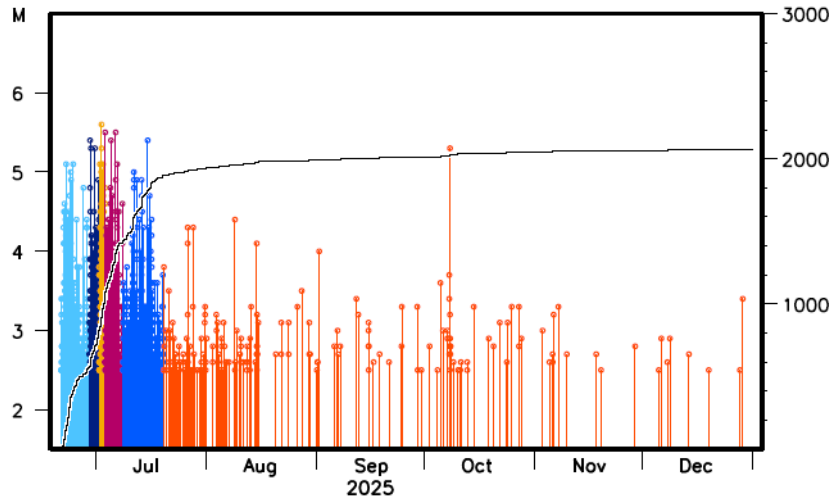


2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、
鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

領域a内の時空間分布図（南北投影）



領域a内のM－T図及び回数積算図



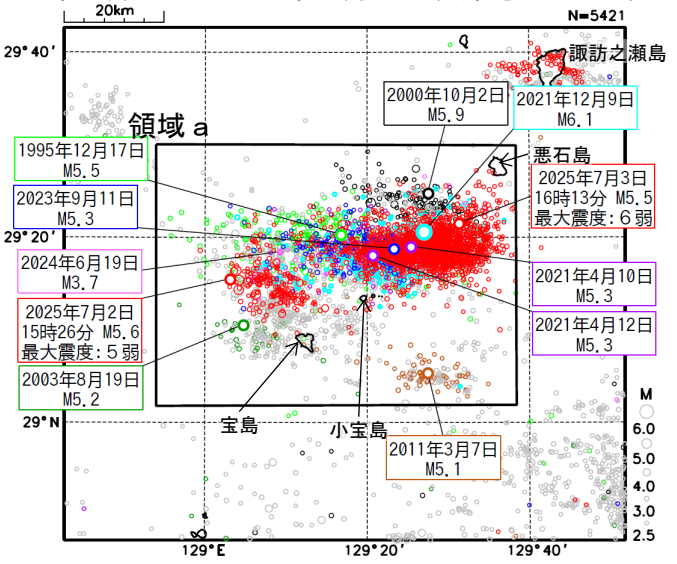
気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）

（過去の活動状況との比較　M2.5以上、１年間）

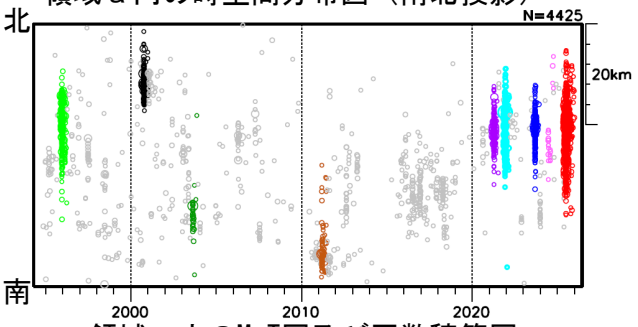
震央分布図

（1994年10月１日～2025年12月31日、深さ0～50km、M≧2.5）

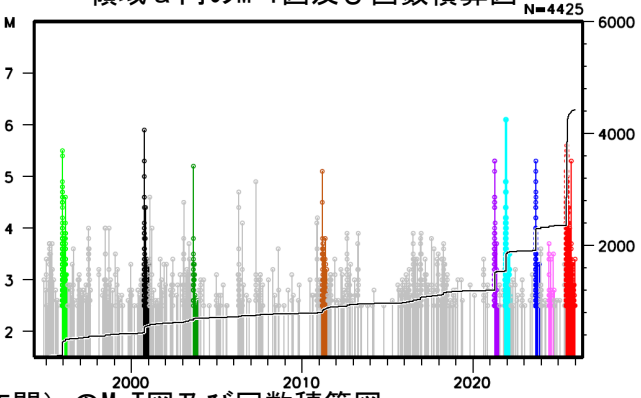


※2025年７月８日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点　悪石島を使用している。

領域ａ内の時空間分布図（南北投影）



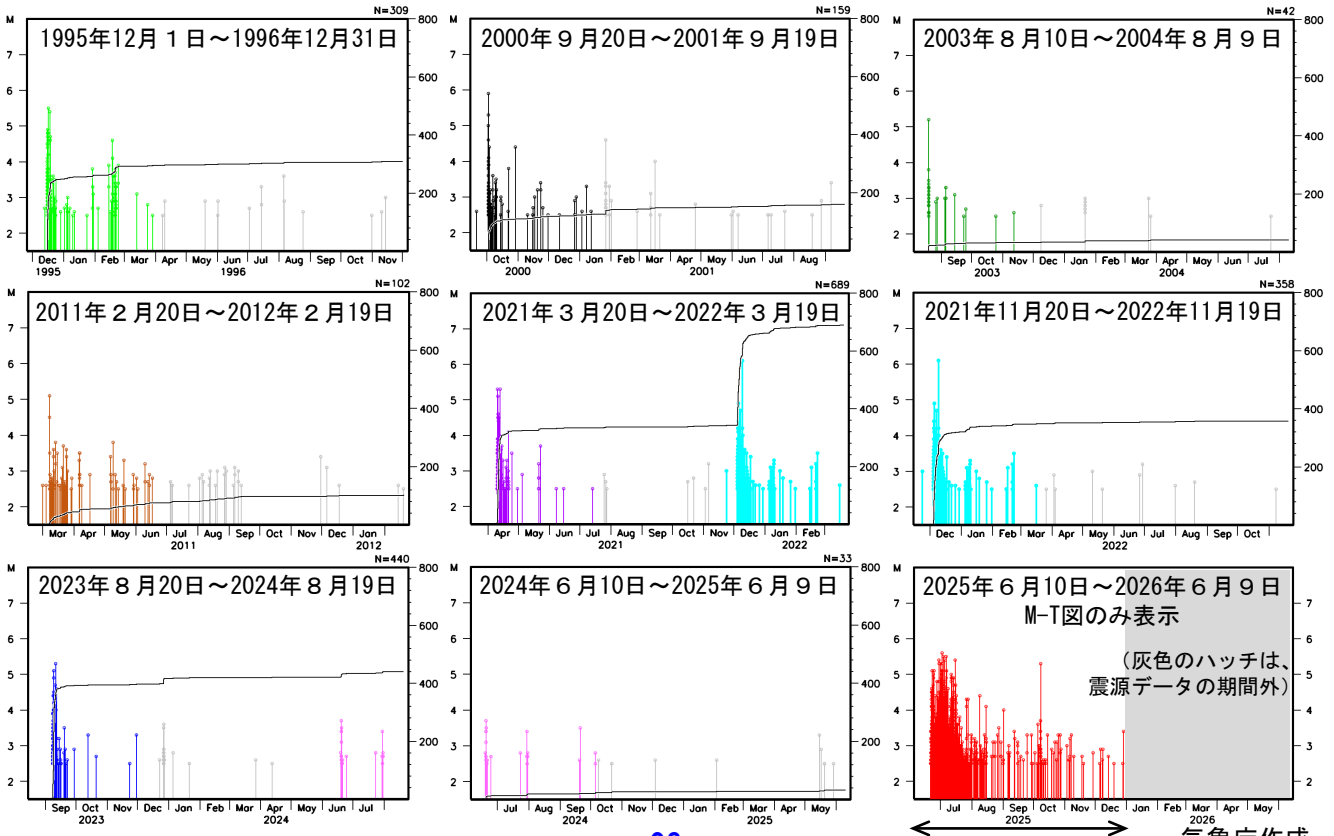
領域ａ内のM-T図及び回数積算図



主な地震活動の期間別（今回の活動以外は各120日間）の色分け

- ○1995年12月１日～1996年３月29日：**黄緑色**
- ○2000年９月20日～2001年１月17日：**黒色**
- ○2003年８月10日～12月７日：**緑色**
- ○2011年２月20日～６月19日：**茶色**
- ○2021年３月20日～７月17日：**紫色**
- ○2021年11月20日～ 2022年３月19日：**水色**
- ○2023年８月20日～ 12月17日：**青色**
- ○2024年６月10日～ 10月７日：**桃色**
- ○2025年６月10日～ ：**赤色**
- ○上記期間以外：**灰丸**

領域ａ内の期間別（各１年間）のM-T図及び回数積算図



気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（非定常ETAS解析）

非定常ETASモデル（Kumazawa and Ogata, 2013）による背景地震活動度μ(t)、余震誘発強度$K_0(t)$を推定した。

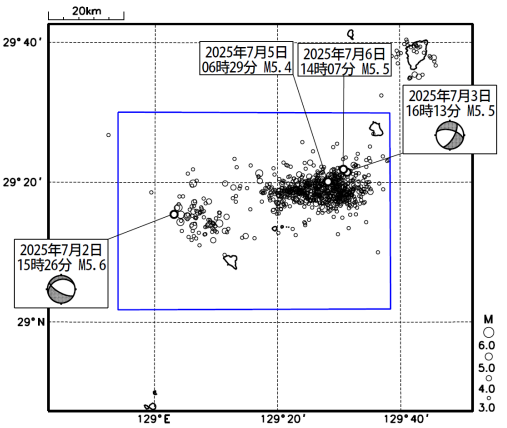
$$\lambda_\theta(t|H_t) = \mu(t) + \sum_{\{i:t_i<t\}} \frac{K_0(t_i)e^{\alpha(M_i-M_c)}}{(t-t_i+c)^p}$$

$\lambda_\theta(t|H_t)$：強度関数、μ(t)：背景地震活動度、$K_0(t)$：余震誘発強度

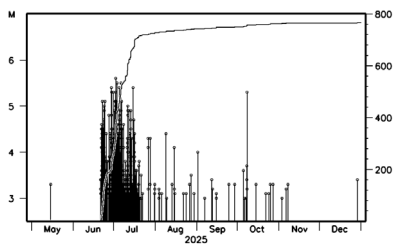
Kumazawa, T., Ogata, Y., 2013. Quantitative description of induced seismic activity before and after the 2011 Tohoku-Oki earthquake by nonstationary ETAS model. J. Geophys. Res.118, 6165–6182.

○非定常ETAS解析には震央分布図の青色矩形内の震源データ（2025年5月1日～12月31日）を使用した。
○μ、K_0の初期値及び固定値α、c、pは、トカラ列島近海の過去の地震活動の深さ0～50kmで発生したM≧3.0の地震のうち、活発なまとまった地震活動が見られていない2011年5月1日から2021年3月31日までの地震で定常ETAS解析により求めた値を用いた。

震央分布図
（2025年5月1日～12月31日、
深さ0～50km 、M≧3.0）

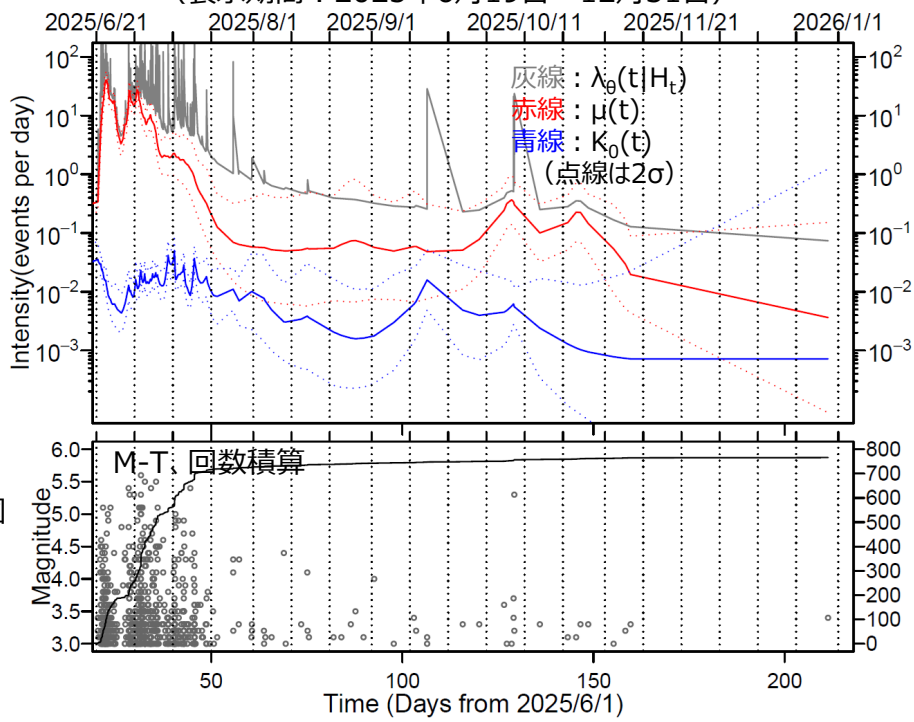


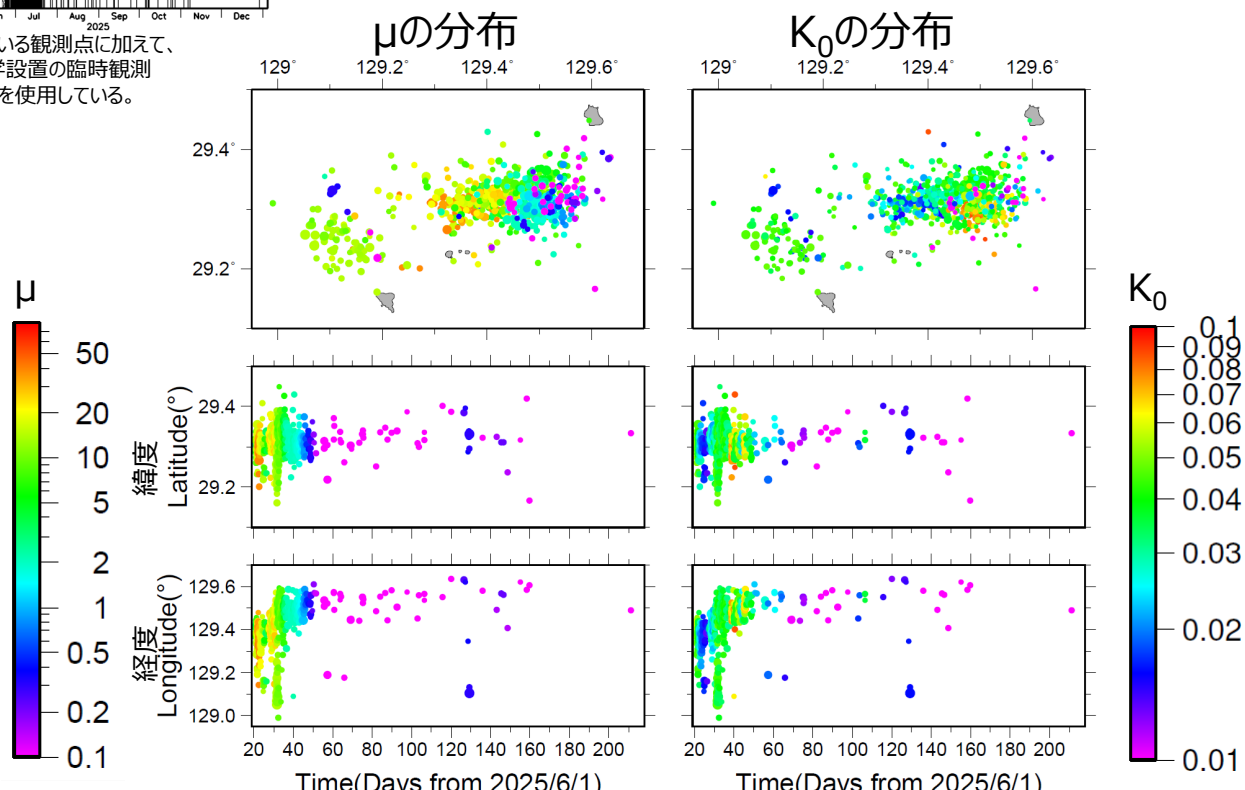
青色矩形内のM-T図及び回数積算図



通常用いている観測点に加えて、
鹿児島大学設置の臨時観測
点　悪石島を使用している。

左図の青色矩形内の非定常ETAS解析結果
（表示期間：2025年6月19日～12月31日）





気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（非定常ETAS解析）

非定常ETASモデル（Kumazawa and Ogata, 2013）による背景地震活動度μ(t)、余震誘発強度$K_0(t)$を推定した。

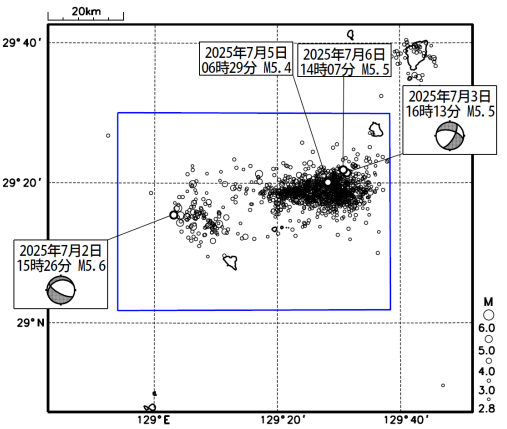
$$\lambda_\theta(t|H_t) = \mu(t) + \sum_{\{i:t_i<t\}} \frac{K_0(t_i)e^{\alpha(M_i-M_c)}}{(t-t_i+c)^p}$$

$\lambda_\theta(t|H_t)$：強度関数、μ(t)：背景地震活動度、$K_0(t)$：余震誘発強度

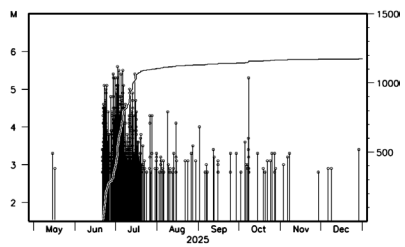
Kumazawa, T., Ogata, Y., 2013. Quantitative description of induced seismic activity before and after the 2011 Tohoku-Oki earthquake by nonstationary ETAS model. J. Geophys. Res.118, 6165–6182.

○非定常ETAS解析には震央分布図の青色矩形内の震源データ（2025年5月1日～12月31日）を使用した。
○μ、K_0の初期値及び固定値α、c、pは、トカラ列島近海の過去の地震活動の深さ0～50kmで発生したM≧**2.8**の地震のうち、活発なまとまった地震活動が見られていない2011年5月1日から2021年3月31日までの地震で定常ETAS解析により求めた値を用いた。

震央分布図
（2025年5月1日～12月31日、
深さ0～50km 、M≧**2.8**）

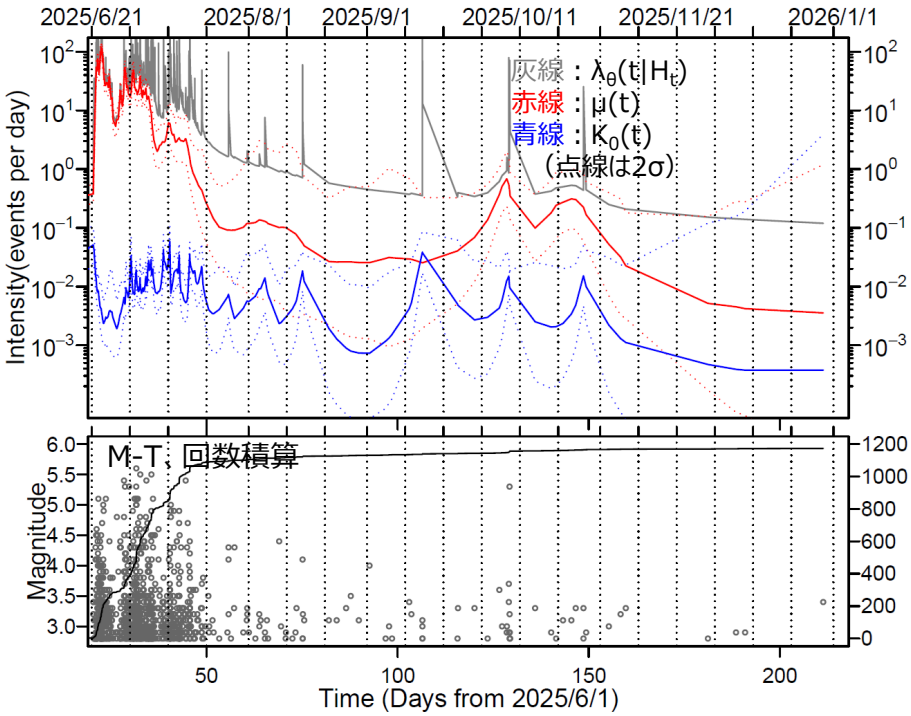


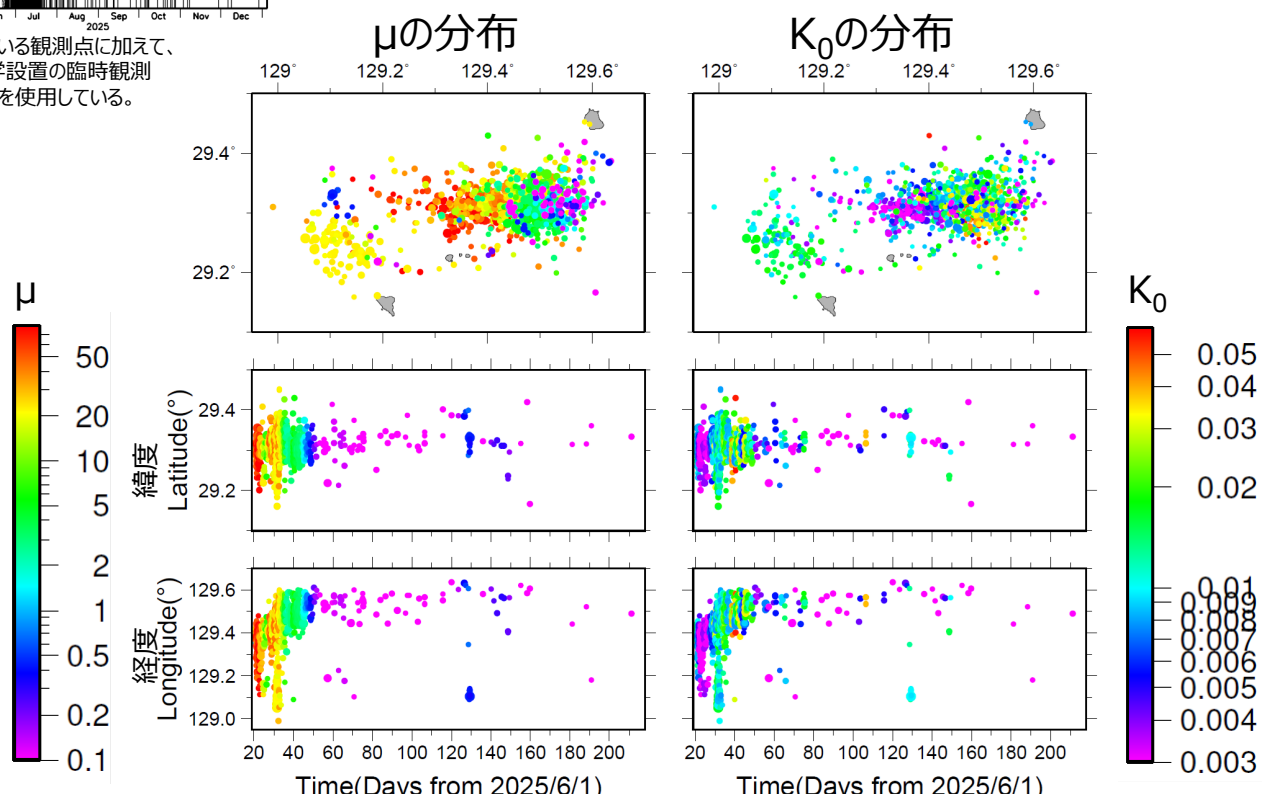
青色矩形内のM-T図及び回数積算図



通常用いている観測点に加えて、
鹿児島大学設置の臨時観測
点　悪石島を使用している。

左図の青色矩形内の非定常ETAS解析結果
（表示期間：2025年6月19日～12月31日）

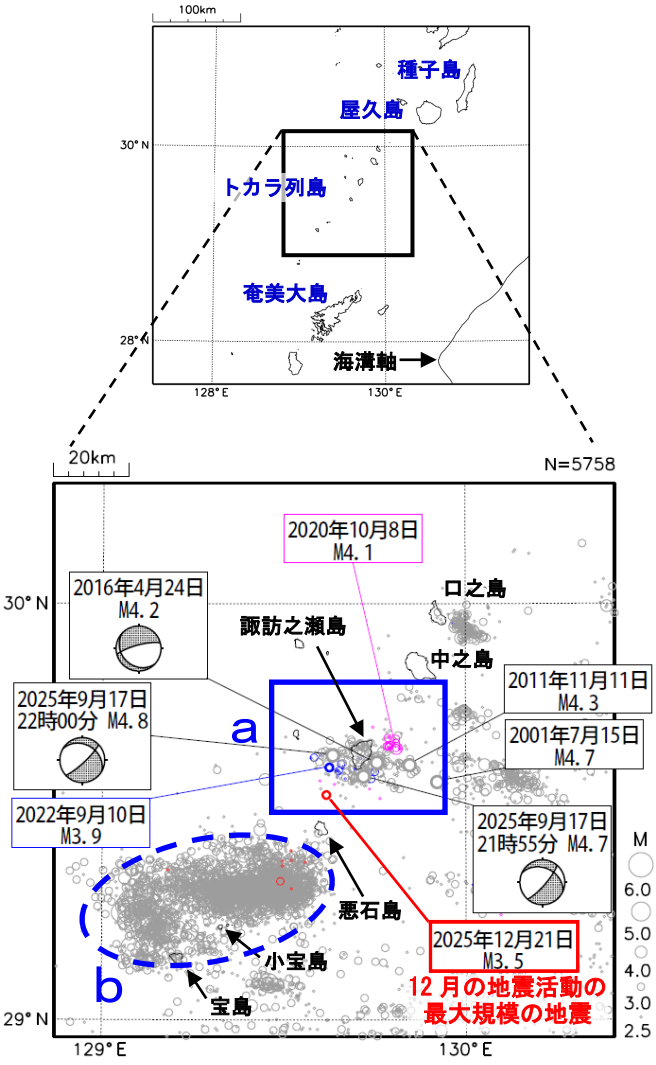




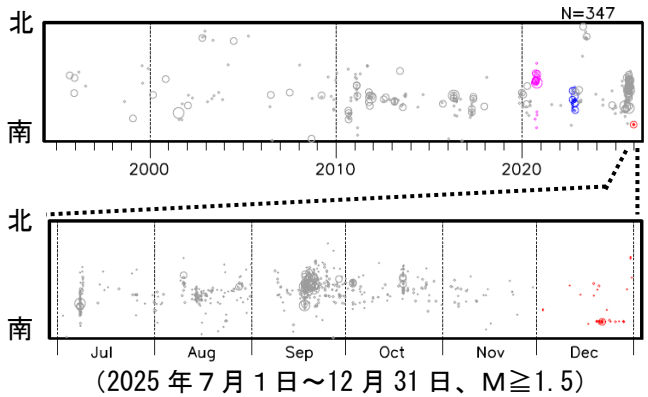
気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）

震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ０～50km、M≧2.5）
2020 年９月～10 月の地震を桃色○で表示
2022 年９月～10 月の地震を青色○で表示
2025 年 12 月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の時空間分布図（南北投影）



（2025 年７月１日～12 月 31 日、M≧1.5）

※2025 年７月８日 15 時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

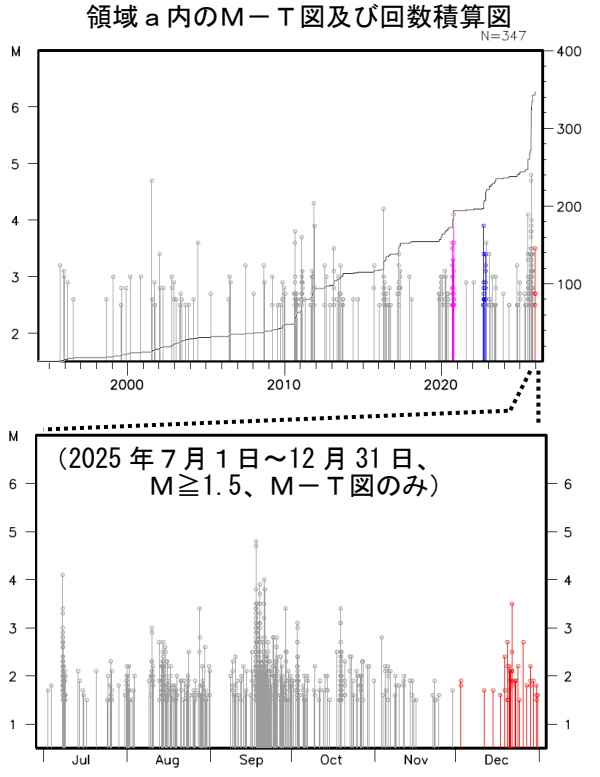
トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、2025年12月に震度１以上を観測した地震が10回（震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回）発生した。このうち最大規模の地震は、21日22時03分に発生したM3.5の地震（最大震度３）である。この地震活動は陸のプレート内で発生した。なお、今回の地震活動域付近（領域ａ）では、2025年７月から時々まとまった地震活動が見られ、９月17日にM4.7の地震（最大震度５弱）が発生し、地震活動が活発となった。その後、地震活動は消長を繰り返しながら継続している。７月１日から12月31日までに震度１以上を観測した地震が212回（震度５弱：１回、震度４：３回、震度３：27回、震度２：47回、震度１：134回）（注１）発生している。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域ａ）では、時々まとまった活動が見られる。最近では、2022年９月から10月の活動で、震度１以上を観測した地震が27回（震度３：５回、震度２：４回、震度１：18回）発生した。このうち、最大規模の地震は2022年９月10日に発生したM3.9の地震（最大震度３）である。また、2020年９月から10月の活動で、震度１以上を観測した地震が14回（震度３：２回、震度２：５回、震度１：７回）発生した。このうち、最大規模の地震は2020年10月８日に発生したM4.1の地震（最大震度３）である。

なお、今回の地震活動域の南西にある小宝島付近（領域ｂ）では、2025年６月21日から地震活動が活発となった。

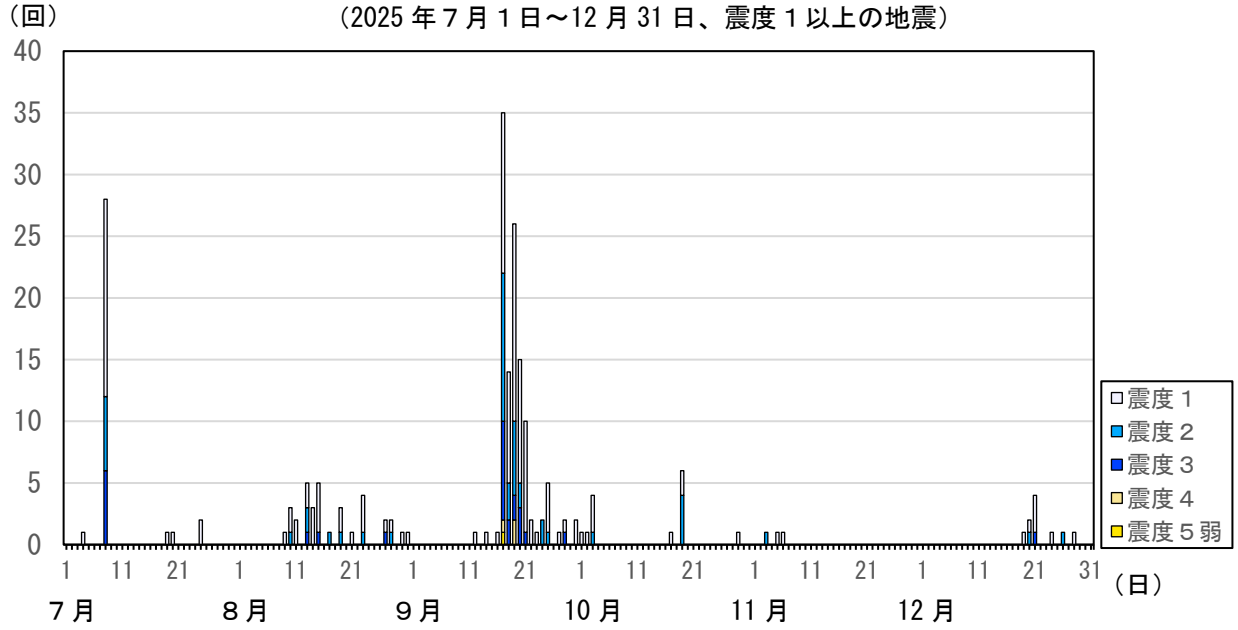
（注１）震度１以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

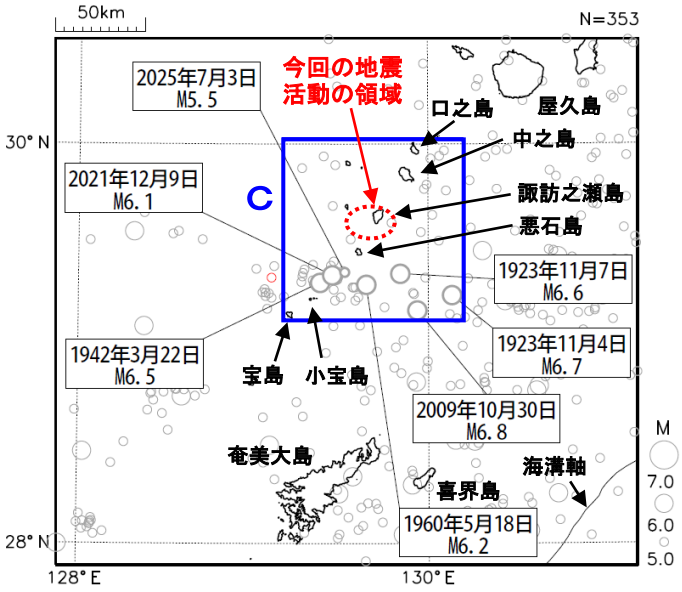


気象庁作成

最大震度別地震回数（日別）
（2025 年７月１日～12 月 31 日、震度１以上の地震）



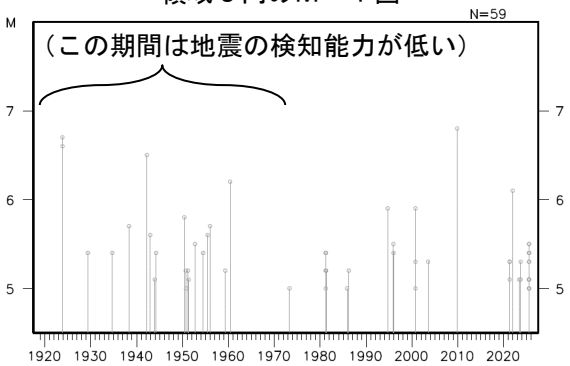
震央分布図
（1919 年１月１日～2025 年 12 月 31 日、
深さ０～100km、M≧5.0）



※2025 年７月８日 15 時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域ｃ）では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2021年12月９日に発生したM6.1の地震（最大震度５強）では、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

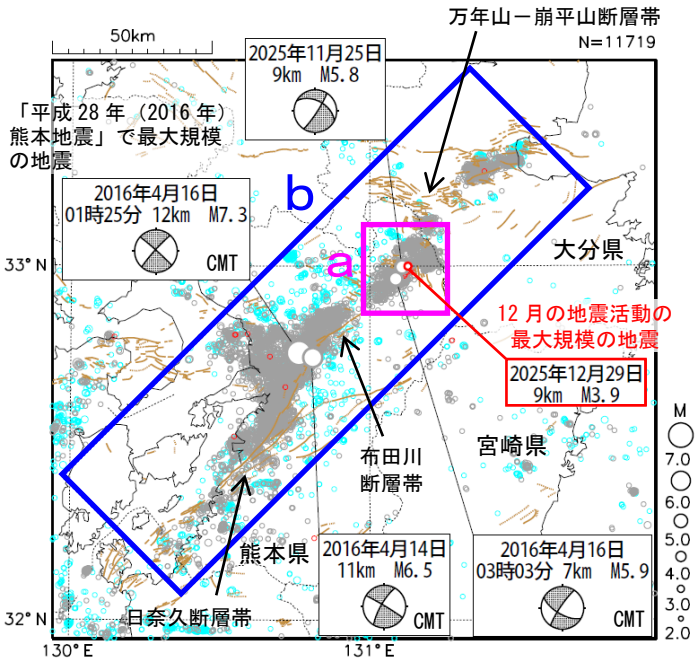
領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

11 月 25 日からの熊本県阿蘇地方の地震活動

震央分布図
（2000 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0 ～20km、M≧2.0）
2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を薄青色○、
2016 年 4 月 14 日 21 時以降に発生した地震を灰色○、
2025 年 12 月 1 日以降に発生した地震を赤色○で表示



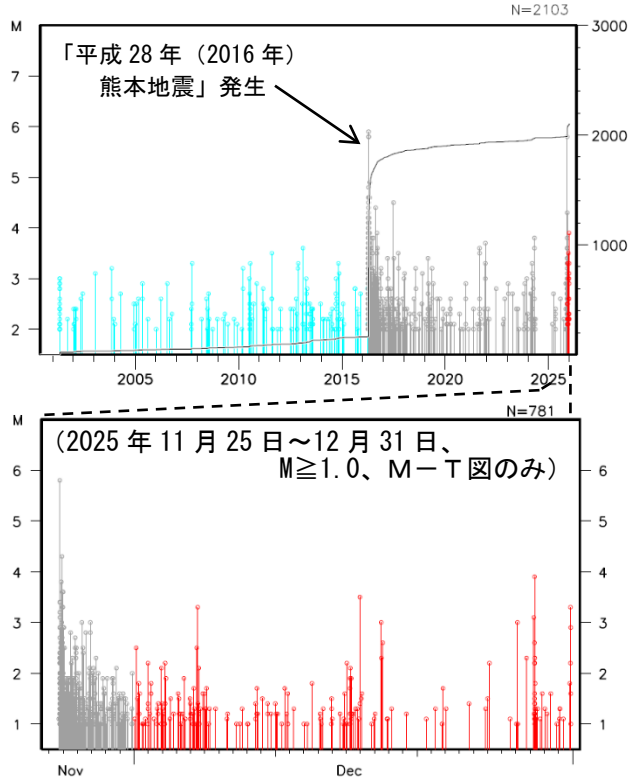
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

熊本県阿蘇地方では、2025年12月に震度１以上を観測した地震が14回（震度３：２回、震度２：５回、震度１：７回）発生した。このうち最大規模の地震は、29日07時35分に発生したM3.9の地震（深さ９km、最大震度３）である。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震活動域付近（領域ａ）では、2025年11月25日18時01分にM5.8の地震（深さ９km、最大震度５強）が発生し、熊本県で負傷者１人の被害が生じた（被害は2025年12月３日14時00分現在、総務省消防庁による）。この領域ではM5.8の地震の発生後、12月31日までに震度１以上を観測した地震が61回（震度５強：１回、震度４：１回、震度３：４回、震度２：19回、震度１：36回）発生した。

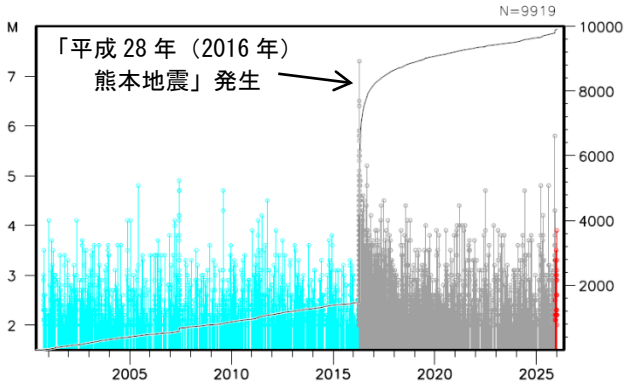
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では、2016年４月16日03時03分にM5.9の地震（深さ７km、最大震度５強）が発生している。

なお、領域ｂでは「平成28年（2016年）熊本地震」が発生し、熊本県で死者275人、大分県で死者３人などの被害が生じた（熊本県の被害は2025年４月11日現在、熊本県による、その他は2019年４月12日現在、総務省消防庁による）。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

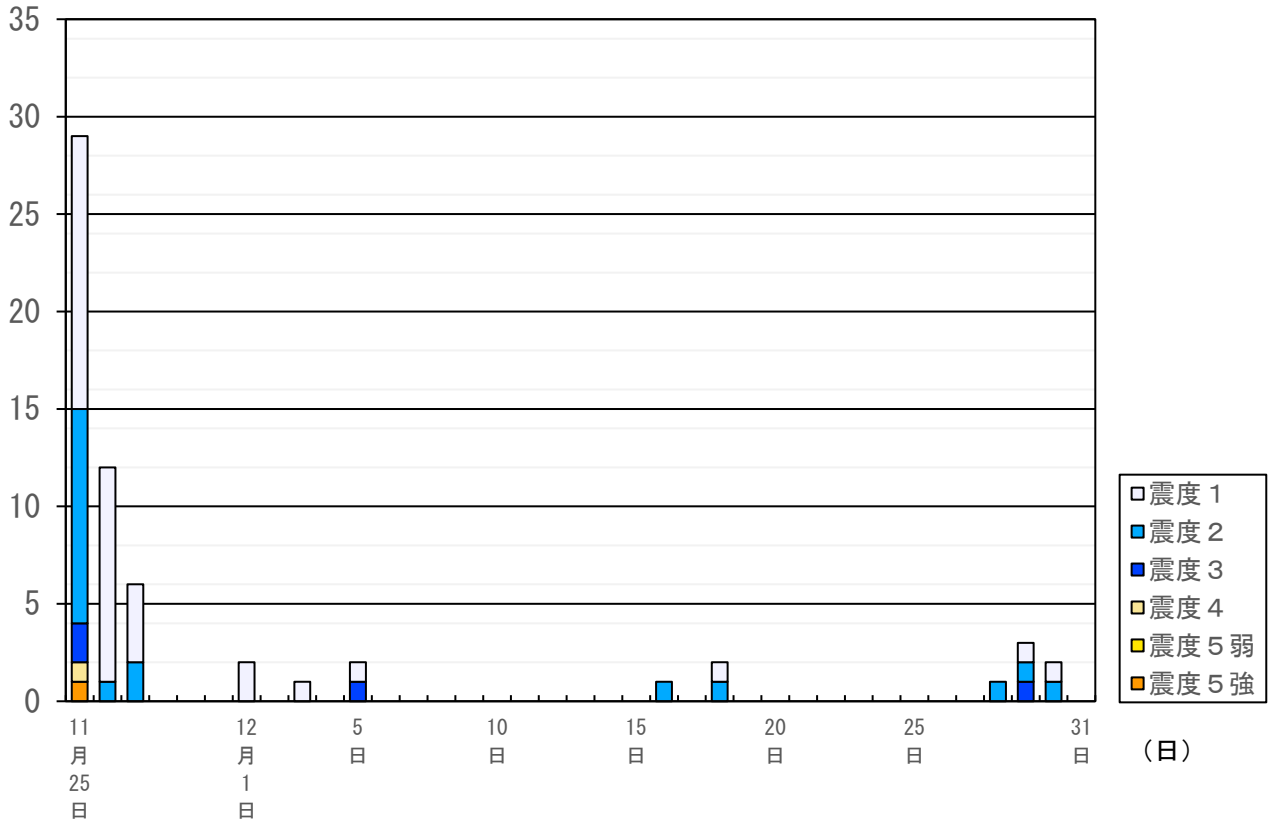


領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

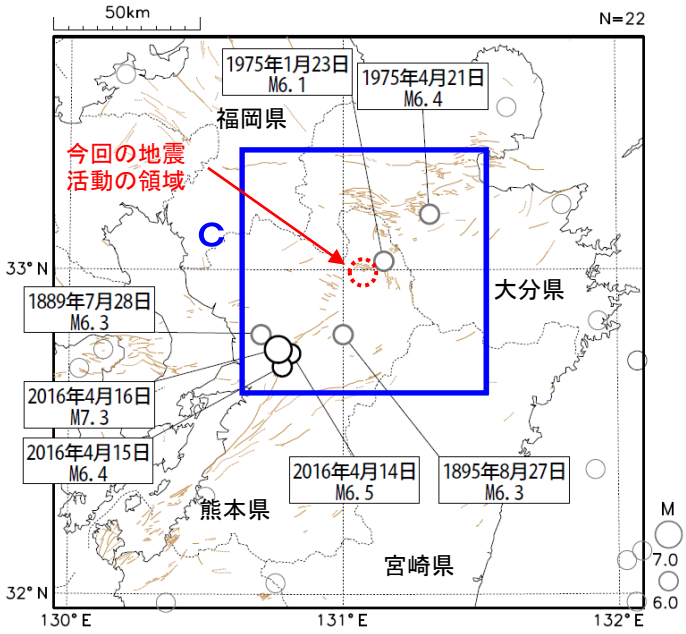


気象庁作成

最大震度別地震回数（日別）
（2025 年 11 月 25 日 18 時～12 月 31 日 24 時、震度 1 以上の地震）



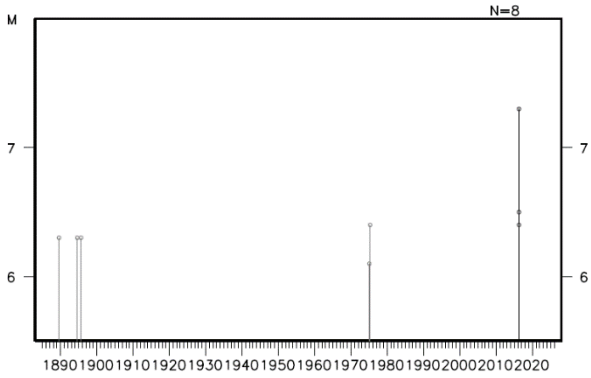
震央分布図
（1885 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0～50km、M≧6.0）
2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○、
2016 年 4 月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
（震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津
（2001）、宇津（1982, 1985）による※）

1885年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0以上の地震が８回発生している。このうち、1889年7月28日にはM6.3の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた。また、1975年４月21日にはM6.4の地震が発生し、大分県で負傷者22人、家屋全壊58棟などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

領域ｃ内のＭ－Ｔ図

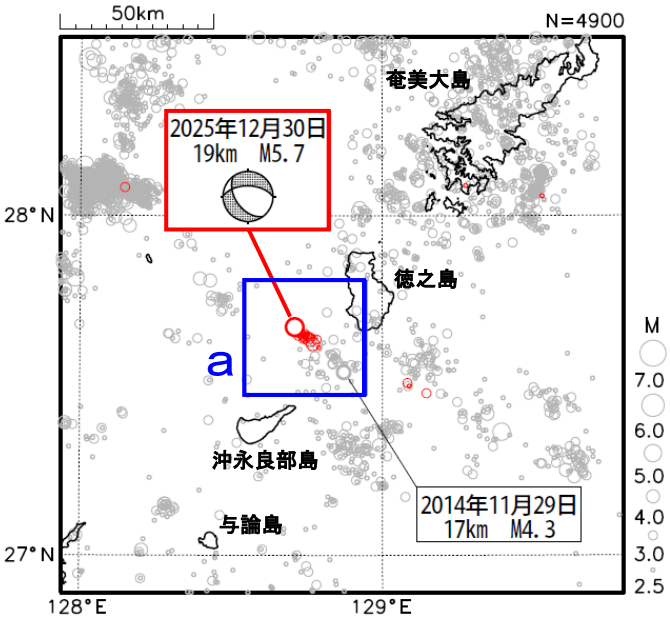


※宇津徳治（1982）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年, 震研彙報, 56, 401-463.
宇津徳治（1985）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年（訂正と追加）, 震研彙報, 60, 639-642.

気象庁作成

12 月 30 日　奄美大島近海の地震

震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0 ～30km、M≧2.5）
2025 年 12 月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構は CMT 解

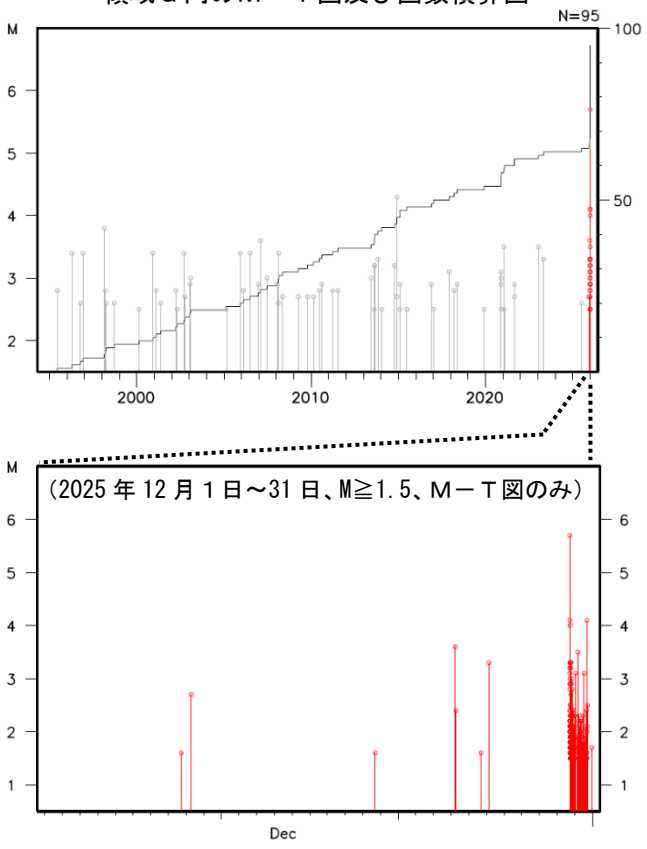


2025年12月30日17時12分に奄美大島近海の深さ19kmでM5.7の地震（最大震度４）が発生した。この地震は陸のプレート内で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北東－南南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

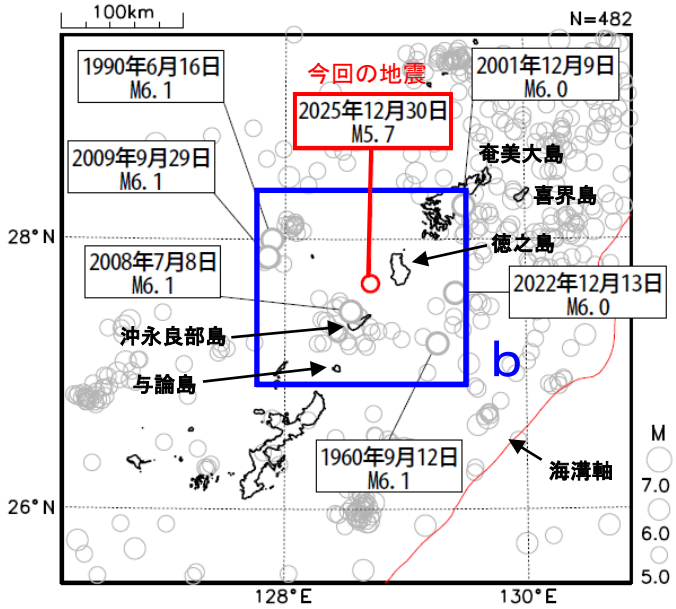
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ａ）では、2014年11月29日にM4.3の地震（最大震度２）が発生するなどＭ４程度の地震は時々発生しているが、M5.0以上の地震は発生していなかった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、M6.0以上の地震が６回発生している。2008年７月８日にはM6.1の地震が発生し、与論町のホテルで壁の落下、石膏ボードの破損などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

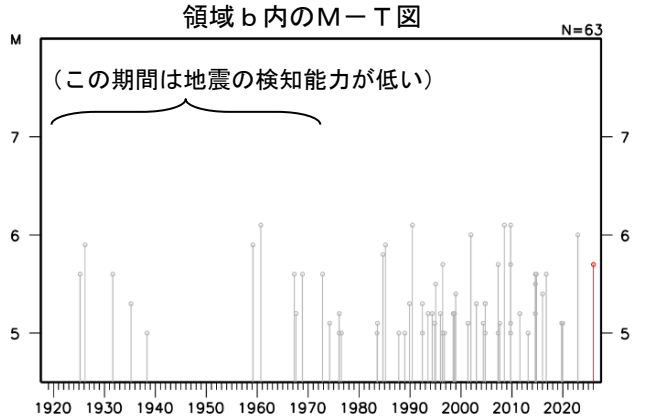
領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 0 ～100km、M≧5.0）
2025 年 12 月の地震を赤色○で表示

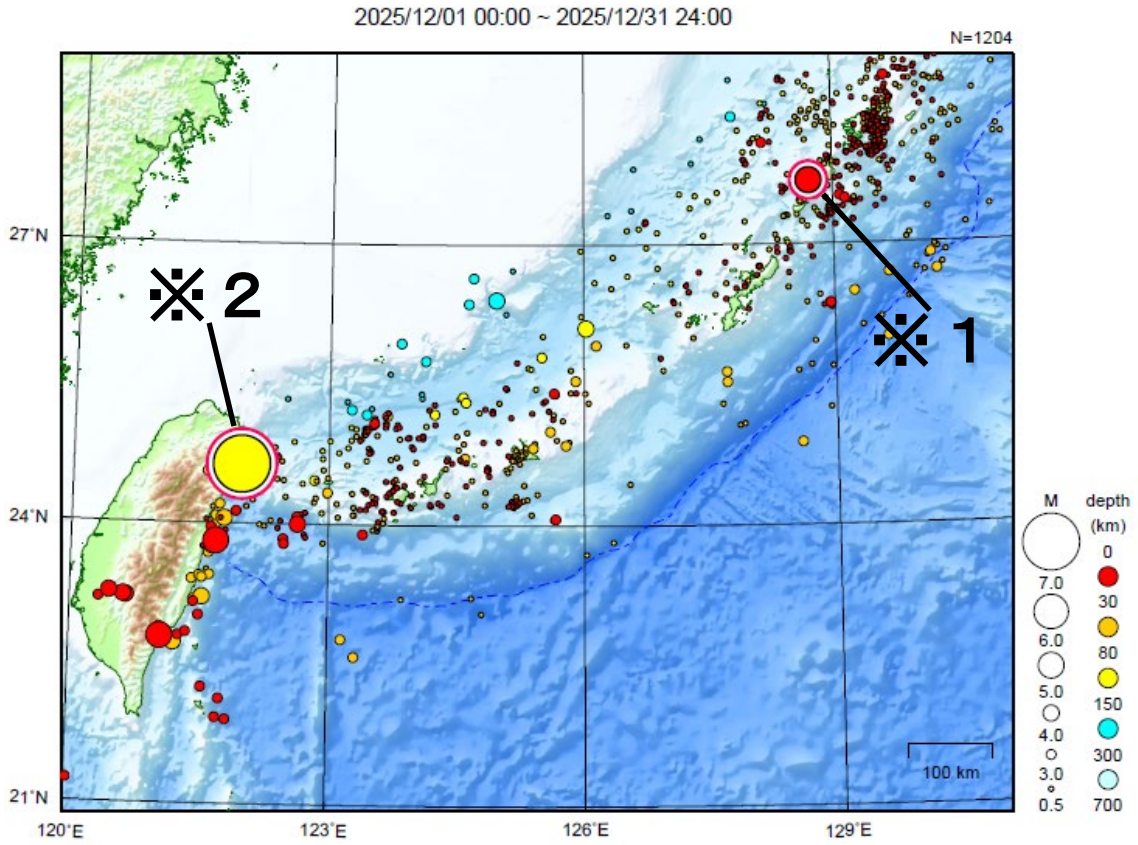


領域ｂ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

沖縄地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

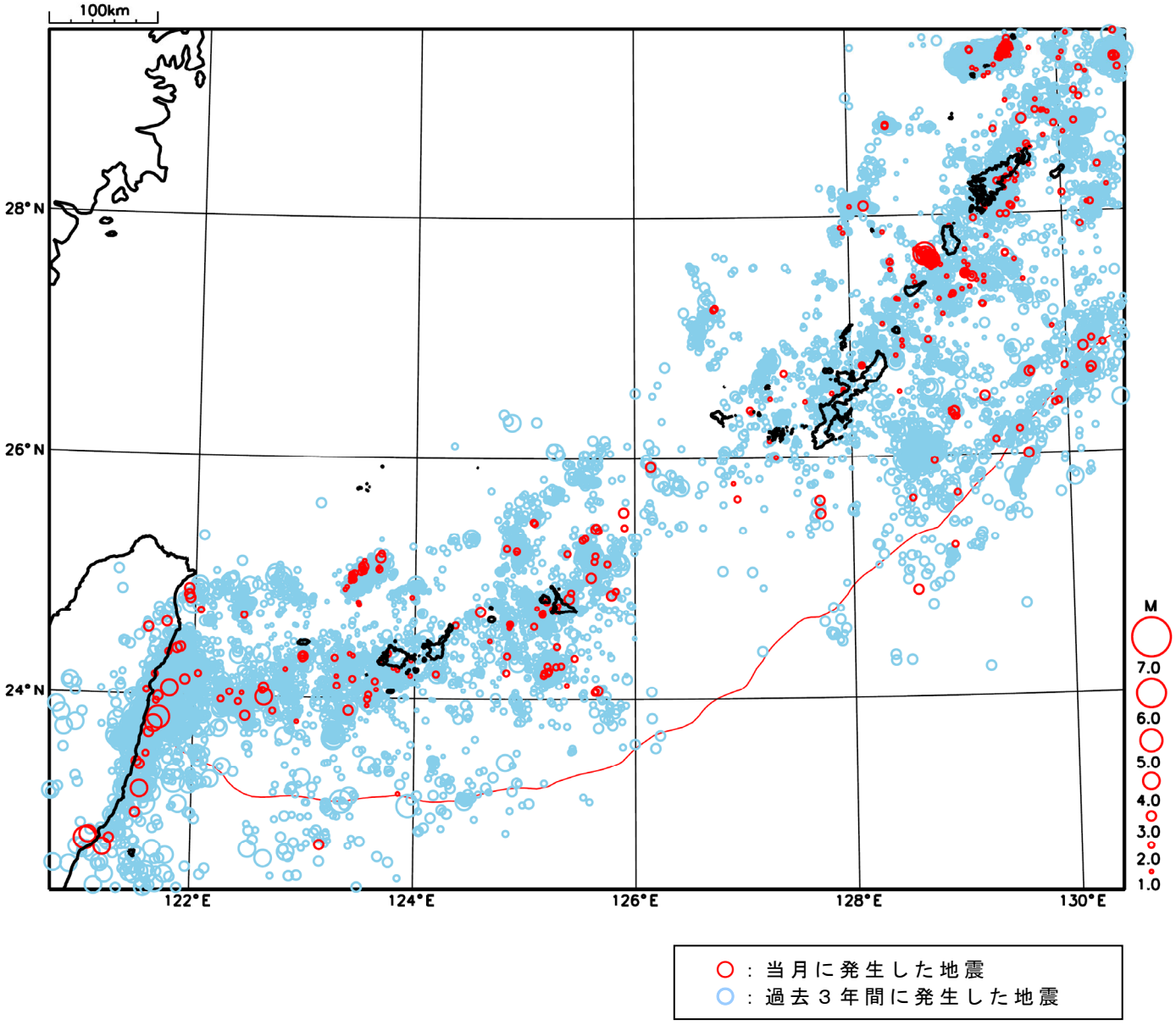
※１で示した地震については九州地方の資料を参照。
※２で示した地震についてはその他の地域の資料を参照。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

沖縄地方における 2025 年 12 月の地震活動

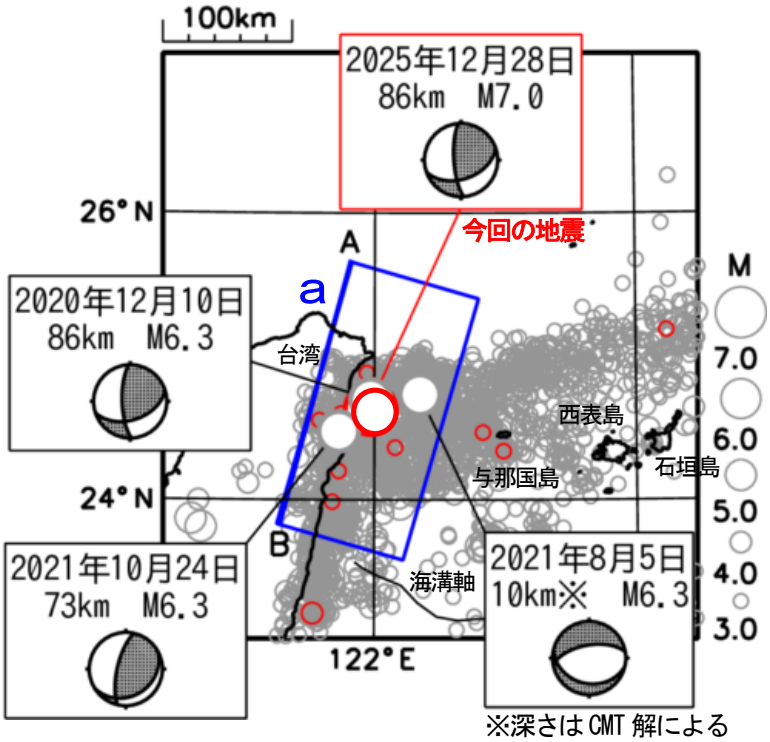
（M≧1.0、深さ 60km 以浅）



気象庁作成

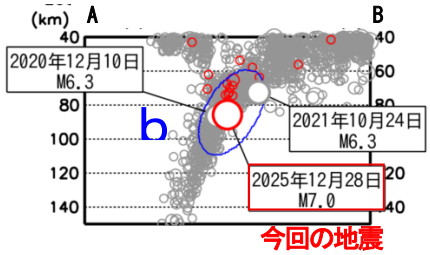
12 月 28 日　台湾付近の地震

震央分布図
(2009 年９月１日～2025 年 12 月 31 日、
深さ 40～150km、M≧3.0)
2025 年 12 月の地震を赤く表示
図中の発震機構は CMT 解

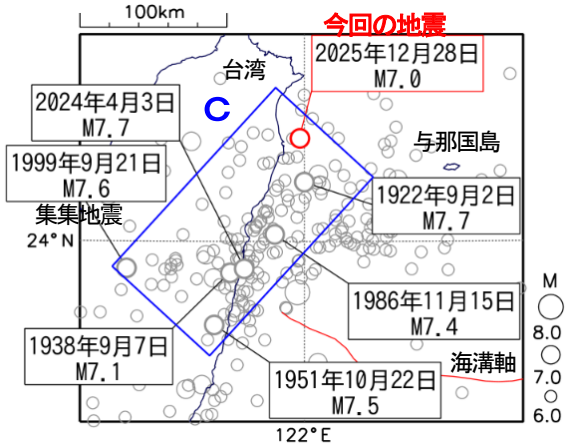


※深さは CMT 解による

領域ａ内の断面図（A－B 投影）



震央分布図
(1904 年１月１日～2025 年 12 月 31 日、
深さ０～100km、M≧6.0)
2025 年 12 月以降の地震を赤く表示

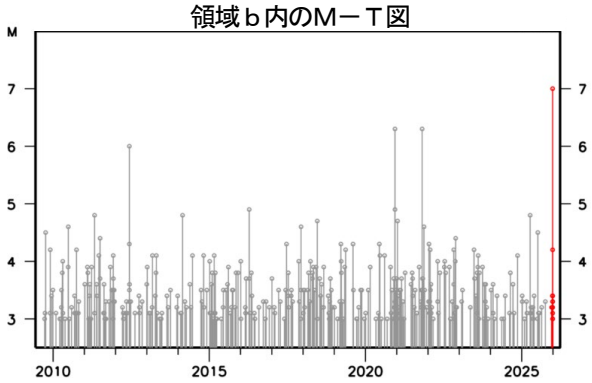


2020 年までの震源要素は ISC－GEM、2021 年以降の地震の震源要素は気象庁による。

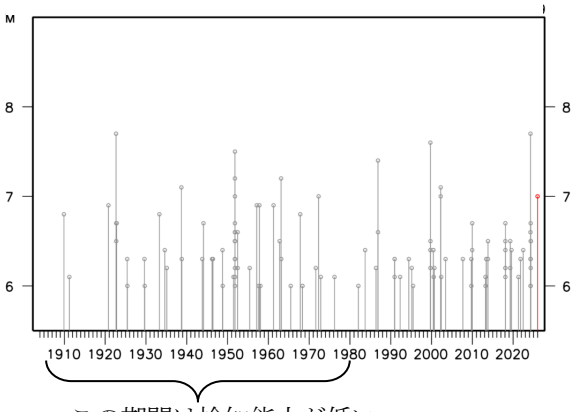
2025年12月28日00時05分に台湾付近の深さ86kmでM7.0の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度３）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型であった。

2009 年９月以降の活動をみると、この地震の震源付近(領域ｂ)では、2020 年 12 月 10 日に M6.3 の地震（日本国内で最大震度２）が発生するなど、M5.0 以上の地震が時々発生している。

領域ｂ内のM－T図



領域ｃ内のM－T図



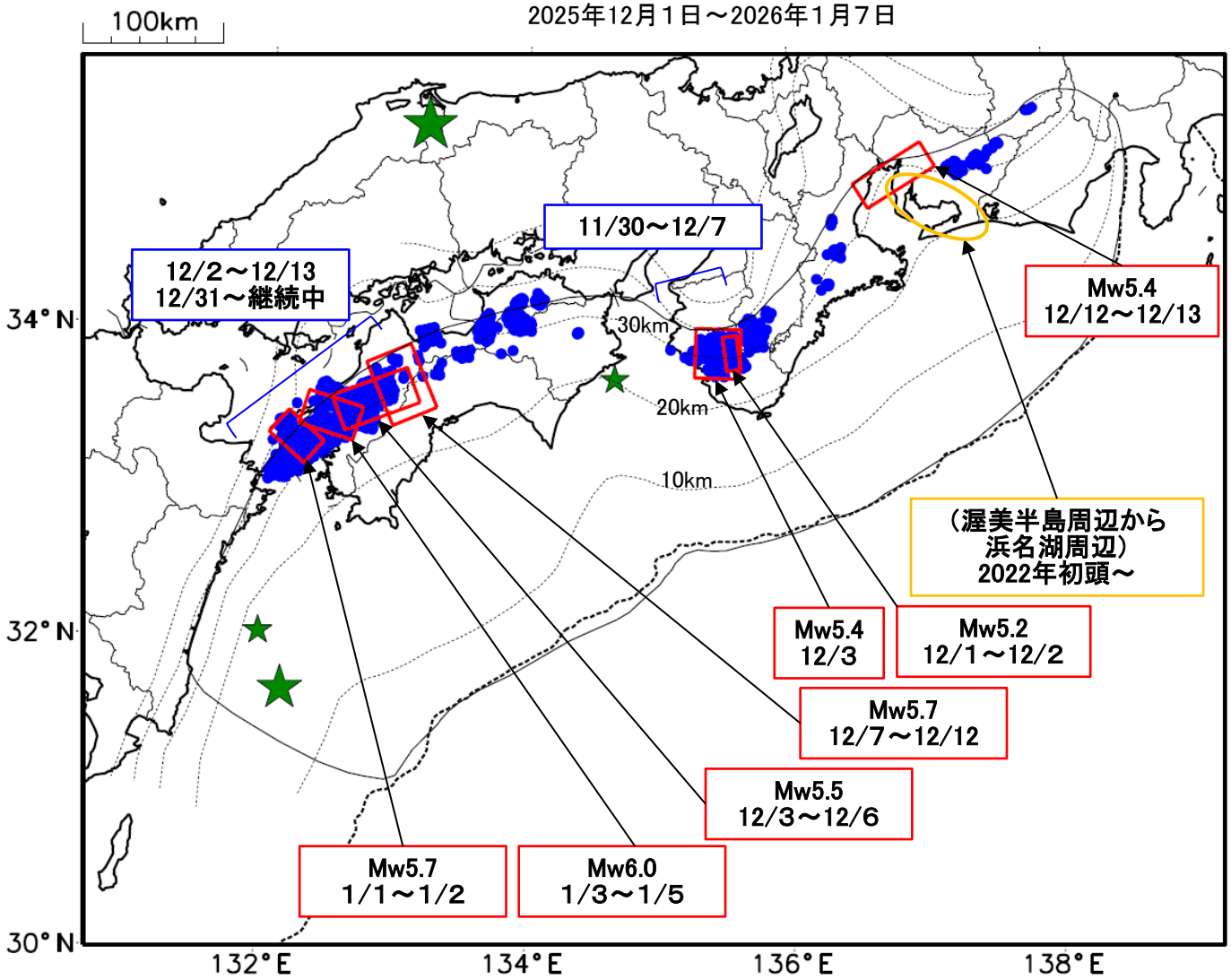
この期間は検知能力が低い

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1986年11月15日にM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度３）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

気象庁作成

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2025年12月１日～2026年１月７日



緑（★）
通常の地震（最大震度3以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す）

青（●）
深部低周波地震（微動）

赤（□）
短期的ゆっくりすべり

黄（○）
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※深部低周波地震（微動）及び短期的ゆっくりすべりは、11月30日以降のものを示す。

通常の地震（最大震度3以上もしくはM3.5以上）・・・・・・・・・気象庁の解析結果による。
深部低周波地震（微動）・・・・・・・・・（震源データ）気象庁の解析結果による。　（活動期間）気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり・・・・・・・・・・・【東海（4）、四国西部（3）】気象庁の解析結果を示す。【紀伊半島西部（1）、四国西部（2）】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり・・・・・・・・・・・国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

令和７年 12 月１日～令和８年１月７日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度３以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
12/４	21:11	日向灘	24	3.6	１	
12/７	09:31	日向灘	43	4.2	１	フィリピン海プレート内部
１/２	07:49	紀伊水道	39	3.9	２	フィリピン海プレート内部
１/６	10:18	島根県東部	11	6.4	５強	地殻内

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 12 月１日～９日 12 月 14 日 12 月 21 日～23 日 12 月 29 日 １月３日 １月５日 ■四国中部 11 月 27 日～12 月２日 12 月６日～13 日 12 月 15 日 12 月 21 日 12 月 23 日～24 日 12 月 28 日 １月６日～７日 ■四国西部 12 月２日～13 日[注2)]　・・・（２） 12 月 18 日～19 日 12 月 23 日～25 日 12 月 31 日～（継続中）　・・・（３）	■紀伊半島北部 12 月８日～９日 12 月 30 日 ■紀伊半島中部 12 月１日～５日 12 月９日～10 日 12 月 29 日～30 日 ■紀伊半島西部 11 月 30 日～12 月４日[注1)]・・・（１） 12 月６日～７日[注1)] 12 月 14 日～15 日 12 月 24 日 12 月 31 日～１月１日	11 月 30 日～12 月１日 12 月 25 日 １月６日

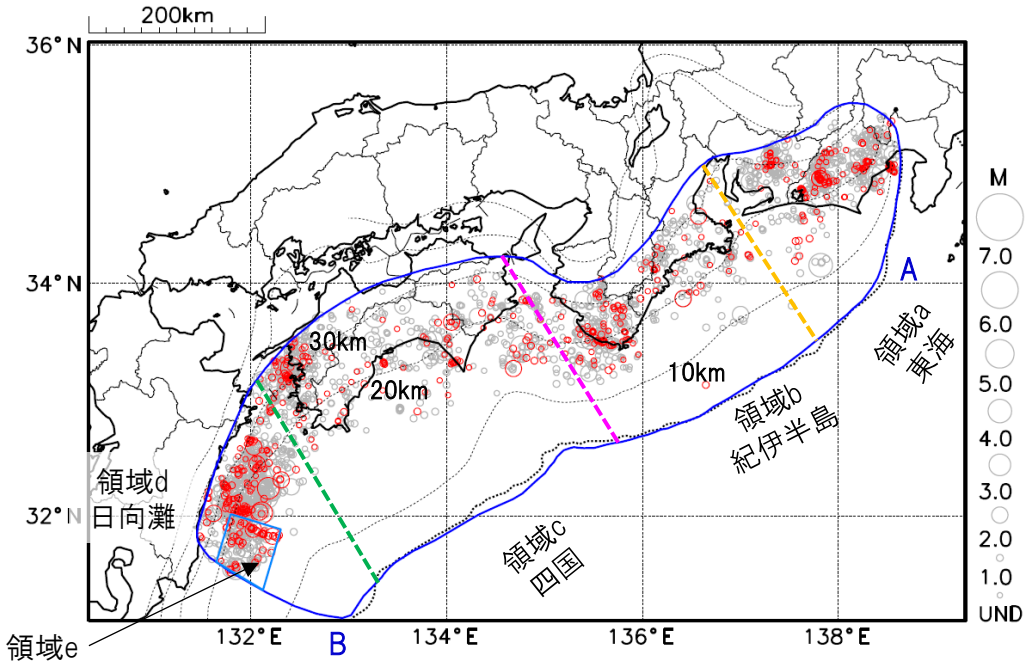
※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数２日以上または活動日数１日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。
※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。
※上の表中（１）～（３）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注１）防災科学技術研究所による解析では、12 月１日から７日頃にかけて微動活動が見られた。
注２）防災科学技術研究所による解析では、12 月４日から 12 日頃にかけて微動活動が見られた。

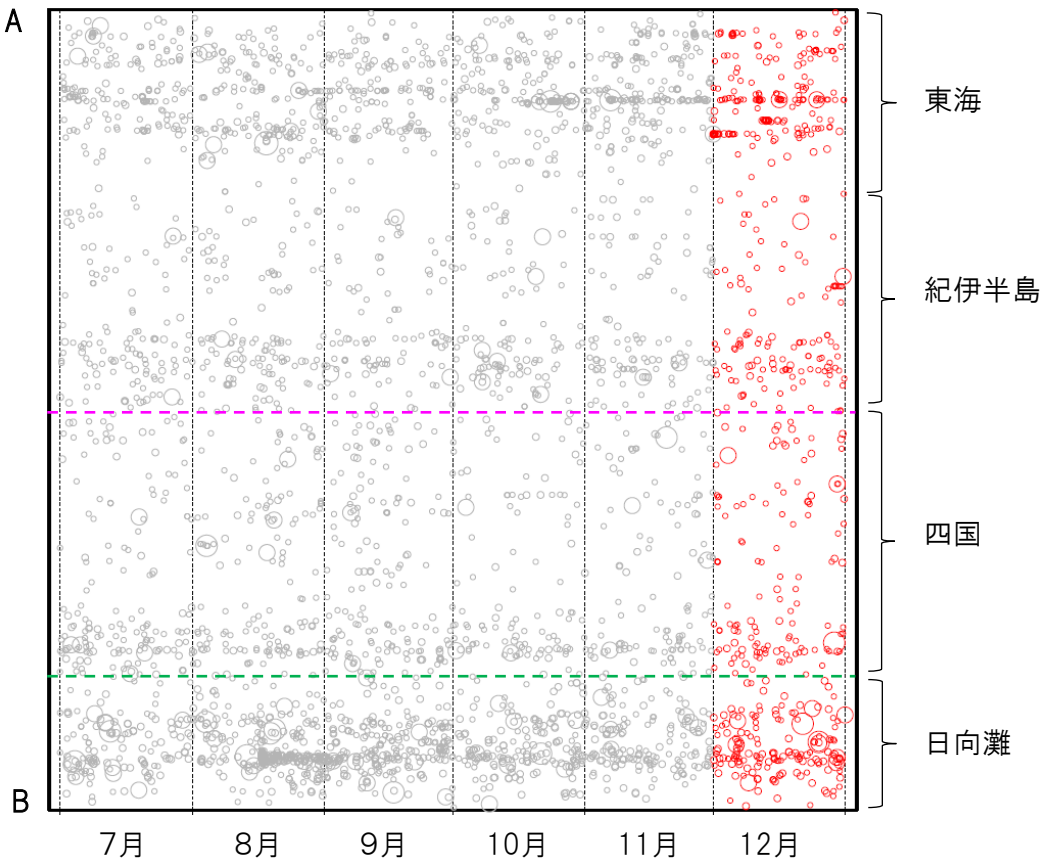
プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±8km未満の地震を表示している。
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～35kmの地震を追加している。

震央分布図
（2025年7月1日～2025年12月31日、M全て、2025年12月の地震を赤く表示）



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図（A-B投影）



・フィリピン海プレート上面の深さは、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差（+は浅い、-は深い）を示す。
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

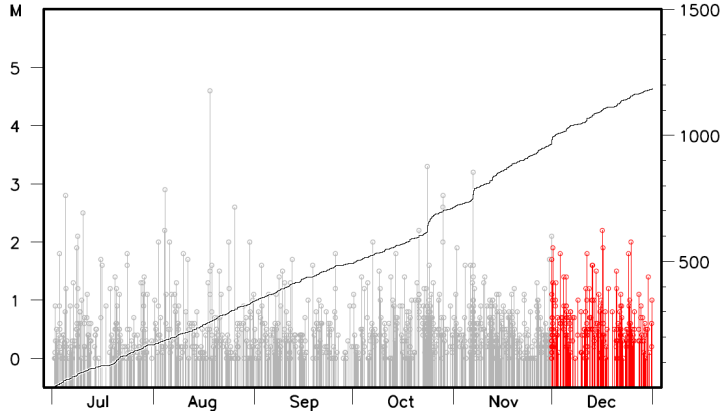
気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

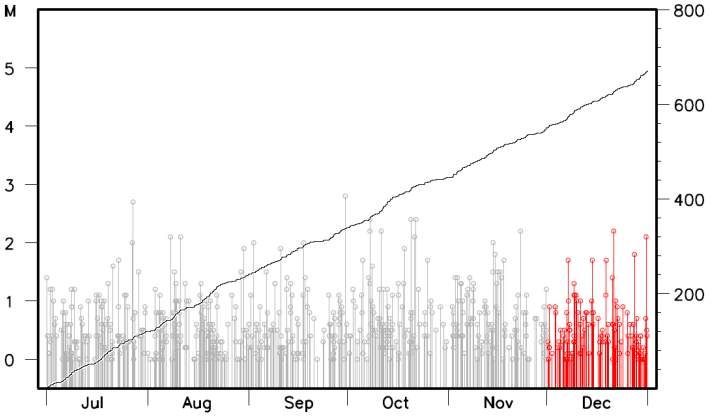
フィリピン海プレート上面の深さから±8km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図･回数積算図
（2025年7月1日～2025年12月31日、M全て、2025年12月の地震を赤く表示）

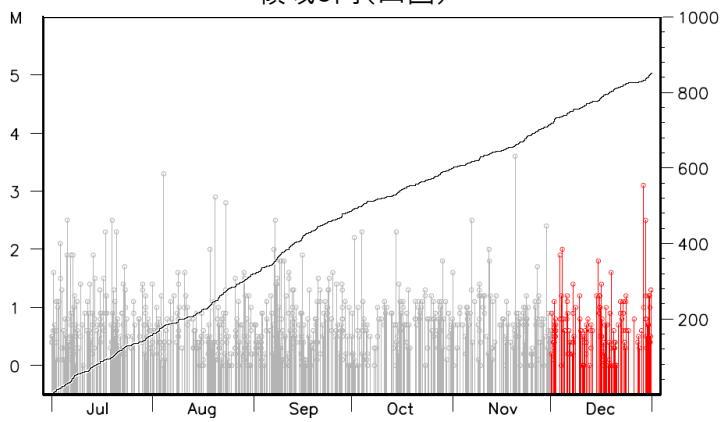
領域a内（東海）



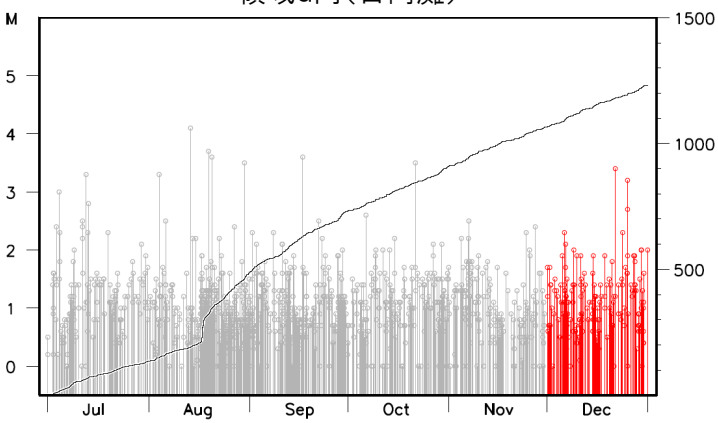
領域b内（紀伊半島）



領域c内（四国）



領域d内（日向灘）

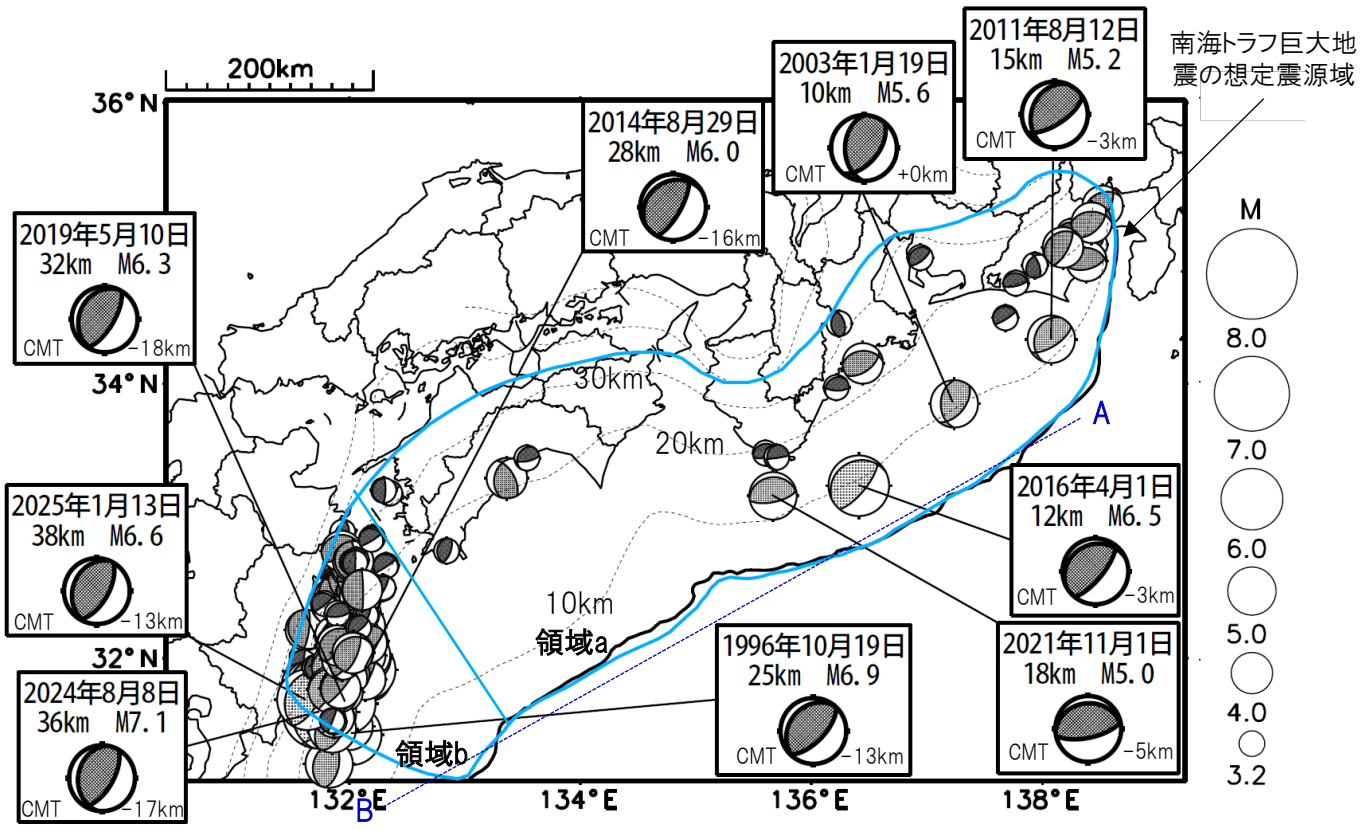


※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

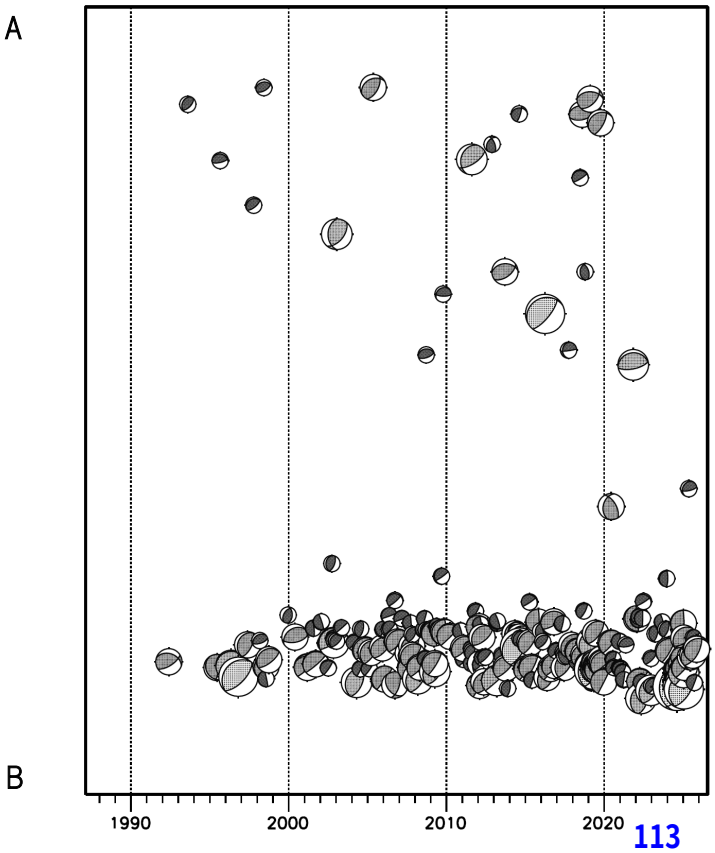
想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図（1987年9月1日～2025年12月31日、M≧3.2、2025年12月の地震を赤く表示）



・フィリピン海プレート上面の深さは、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
・今期間に発生した地震（赤）、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。
・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、−は深いことを示す。
・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。
・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

震央分布図内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】
・M3.2以上の地震
・領域a内（南海トラフの想定最大規模の想定震源域内）で発生した地震
・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。
　P軸の傾斜角が45度以下
　P軸の方位角が65度以上180度以下（※）
　T軸の傾斜角が45度以上
　N軸の傾斜角が30度以下
　※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様
・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。
・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。
・東海地方から四国地方（領域a）は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘（領域b）は、+10km～−20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成